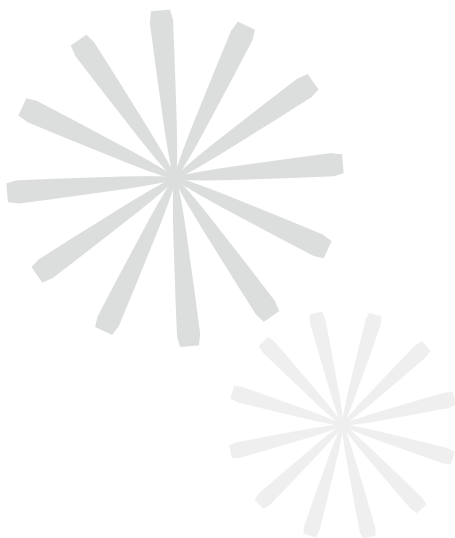


取扱書

トヨタ純正 SDナビゲーション

■ 型番: NSDD-W61



お買い上げいただきありがとうございました。ご使用前に必ずこの取扱書をお読みいただき、記載された内容にしたがって正しくお使いください。本書は紛失しないように車の中に保管してください。

トヨタ自動車株式会社

この取扱書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

取り扱い上のご注意

測位状態が安定してから走行することをおすすめします

- 測位状態が不十分なときに走り出すと、自転車位置がずれる場合がありますので、GPSマークが表示されてから走行することをおすすめします。

※本書の画面と実際の画面は、地図データの作成時期・種類などによって異なることがあります。

本機のために必ず守っていただきたいことや、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

重要

機器の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと。
機器が故障したときにしていただきたいこと。

アドバイス

知っておいていただきたいこと

チェック

操作する前に知っておいていただきたいこと

- 製品に添付されている各種取扱書や保証書などは必ずお読みください。
これらの指示を守らなかったことによる不具合に対しては、当社は責任を負いかねます。
- 仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合もありますのでご了承ください。

本書はやさしく取り扱ってください。

無理に広げたり引っ張ったりするとページがバラバラになってしまう場合があります。

やさしい取り扱いをお願いします。

目次

詳細目次については、それぞれの章をご覧ください。

取り扱い上のご注意	1
はじめてナビをお使いいただく方へ	3

はじめに	10
------	----

ナビゲーション	35
---------	----

オーディオ	123
-------	-----

便利な機能	214
-------	-----

カスタマイズ機能	264
----------	-----

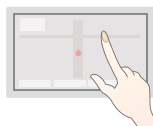
オプション機能	288
---------	-----

ご参考に	334
------	-----

はじめてナビをお使いいただく方へ

ナビゲーションの基本操作

パネルを操作する



本機はパネルスイッチとタッチスイッチを直接タッチして操作します。ナビを操作する前に、パネルスイッチとタッチスイッチについて説明します。

詳しくは18ページをご覧ください。

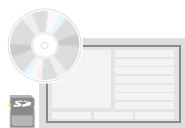
初期設定をする



初めて本機を起動したときに設定します。最初に設定しておくくと便利な自宅登録や案内音量などが設定できます。

詳しくは7ページをご覧ください。

メディアを出し入れする



CDやDVD・SDメモリーカードの出しかた・入れかたを説明します。メディアの再生や、データの追加ができます。

詳しくは25ページをご覧ください。

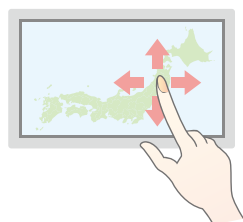
文字を入力する



場所や音楽のタイトル情報を登録するときに、文字を入力することができます。漢字やひらがなの他にも、数字や英語も入力できます。

詳しくは30ページをご覧ください。

地図の見方と操作方法



ナビゲーション画面の見方 P37

地図をスクロールさせたい P38

地図の向きを変えたい P40

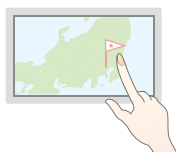
周辺施設を表示したい P47

現在地を表示したい P38

地図を拡大・縮小したい P39

地図の表示を変えたい P41

場所を登録する



覚えておきたい場所を登録したい P93

登録した場所を削除したい P100

登録した場所を変更したい P96



ナビゲーションを使う -目的地へ行く-

STEP 1 地図画面を表示させます。
 ① にタッチします。

STEP 2 目的地を探します。
 MENU DISP ⇒ ナビ にタッチします。

STEP 3 目的地を決定します。
 目的地セット にタッチします。

STEP 4 案内を開始します。
 案内開始 にタッチします。

GOAL 目的地に到着!

目的地を探す

- 自宅 → 53ページ
- 50音 → 55ページ
- 電話番号 → 58ページ
- 履歴 → 60ページ
- その他▶
 - 主要施設 → 60ページ
 - 住所 → 61ページ
 - メモリ地点 → 62ページ
 - ジャンル → 62ページ
 - マップコード → 63ページ
 - 特別メモリ 1~5 → 53ページ

ルートを変更したい

- 5ルートから選択する → 74ページ
- 通過道路を変更する → 77ページ

目的地を変更したい

- 目的地を追加する → 70ページ
- 目的地を消去する → 72ページ
- 目的地を並び替える → 73ページ

はじめてナビをお使いいただく方へ

オーディオを使う

STEP 1 オーディオ画面を表示します。

1

MENU DISP ⇒ オーディオ にタッチします。

STEP 2 オーディオを選択します。

2

お好みのオーディオにタッチします。

STEP 3 音量を調整します。

3

VOL または VOL にタッチします。

STEP 4 音質を調整します。

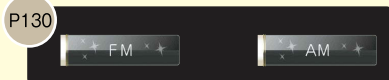
4

設定 にタッチします。



GOAL オーディオを楽しむ!

各オーディオの操作方法



ラジオ



ワンセグ

DISC



SDメモリー
カード

Bluetooth

OPTION



USB
iPod

VTR

メディアの出し入れ ▶ 25ページ

音量バランス → 129ページ

前後左右の音量バランスを調整します。

■ 音質にこだわりたい

イコライザ → 128ページ

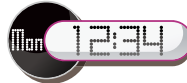
あらかじめ設定されているイコライザで、お好みの音質に設定できます。

■ ガジェットとは

ディスプレイをその日の気分や、お好みにあわせて自由にカスタマイズができる機能です。時計やフォトビューアなどを配置することができます。画面に配置しておくことによって、いろいろな機能を使用することができます。



初期状態で用意されている時計ガジェットのイメージです。



■ ガジェットを使う

STEP 1 ガジェット画面を表示します。

1

MENU
DISP ⇒ コミュ ⇒ ガジェット ⇒
にタッチします。

STEP 2 ガジェット画面を設定します。

2

ガジェット一覧 にタッチします。

GOAL

ガジェットを楽しむ!

■ ガジェットを使いこなしたい

ガジェットをダウンロードする

ガジェットのポータルサイトにアクセスして新しいガジェットをナビに追加することができます。

P266



[ガジェットポータルサイト]
<http://gadgetportal.jp>

フォトビューアを使う

SDメモリーカード、またはUSBメモリに入っている画像のスライドショーを見ることができます。

P273



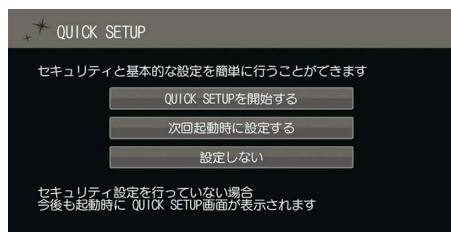
QUICK SETUP (機器の初期設定)

はじめてお使いいただくときの初期設定をサポートします。

はじめて本機を起動したときやバッテリーをはずしたときは、QUICK SETUP画面が表示されます。セキュリティの設定や最初に設定しておく便利な、自宅や案内音量、車両情報などを設定することができます。設定状況は、画面で確認することができます。

QUICK SETUPを行う

1 QUICK SETUPを開始する にタッチ。



● 次回起動時に設定する ...QUICK SETUPを終了

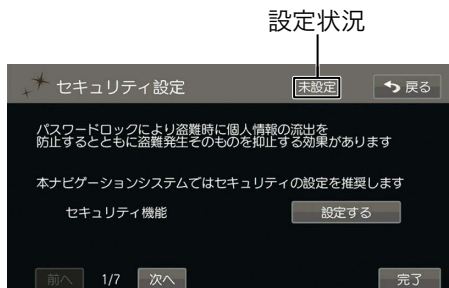
次回本機を起動したとき、QUICK SETUP画面が再度表示されます。

● 設定しない ...QUICK SETUPを終了

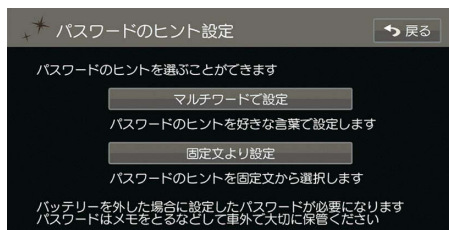
今後も本機の起動時に、QUICK SETUP画面が表示されます。

▶ QUICK SETUPは、ナビ詳細設定からも操作することができます (→118)。

2 セキュリティを設定する。



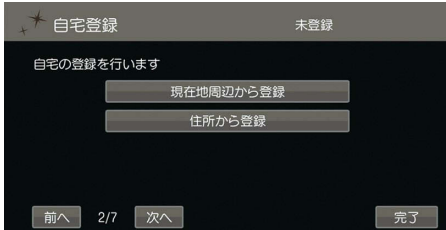
● 設定する ...パスワードのヒント設定画面を表示



● マルチワードで設定、固定文より設定 ... (→280)

3 次へ にタッチ。

4 自宅の地図を呼び出す。



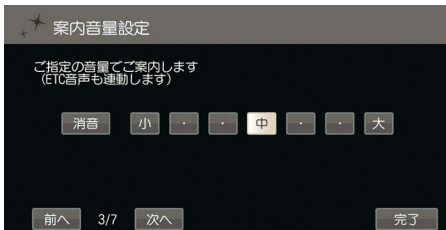
- **現在地周辺から登録** ... 現在地周辺の地図を表示
- **住所から登録** ... (→61).
- ▶ 項目により、設定状況が表示されます。

5 **セット** にタッチ。



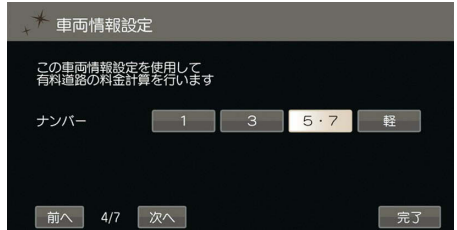
6 **次へ** にタッチ。

7 案内音量を設定する(→46)。



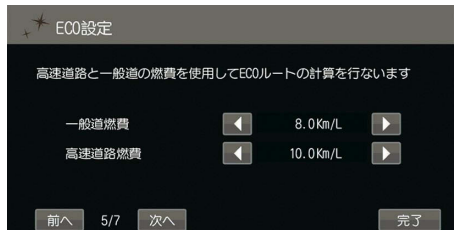
8 **次へ** にタッチ。

9 車両情報を設定する(→120)。



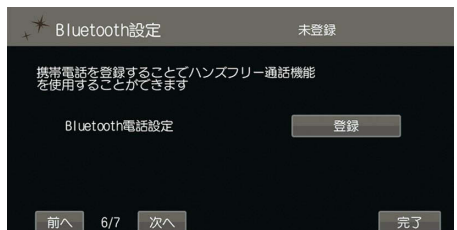
10 **次へ** にタッチ。

11 ECO設定をする(→118)。



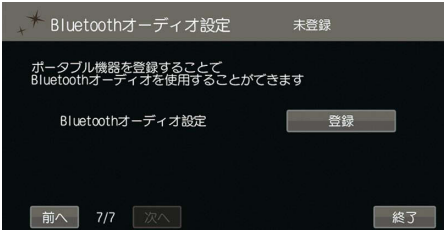
12 **次へ** にタッチ。

13 Bluetooth電話を設定する(→221)。



14 **次へ** にタッチ。

15 Bluetoothオーディオを設定する(→154)。



16 **終了** にタッチ。

17 **はい** にタッチ。



- **前へ** ...前の画面に戻る

アドバイス

- 設定の途中でパネルスイッチをタッチして他の画面に切り替えた場合、そこまでの設定が反映されます。次回本機を起動したとき、QUICK SETUP画面が再度表示されます。
- 設定の途中で **完了**、または **はい** にタッチした場合、そこまでの設定が反映されます。次回本機を起動したとき、QUICK SETUP画面は表示されません。設定の続きは、ナビ詳細設定から操作してください (→118)。

はじめに

01. ナビゲーションシステムについて	11
02. 本書の見方	12
03. 画面の着せ替えについて	13
04. 安全上のご注意	15
05. スイッチの名称について	18
パネルスイッチについて	18
タッチスイッチについて	19
06. 電源について	20
電源を入れる・切る	20
07. 機能の使用条件一覧	21
08. 知っておきたい基本操作	22
画面を見やすくする	22
角度を調整する	22
画質を調整する	23
昼画表示と夜画表示を切り替える	24
画面を消す	24
メディアを入れる・取り出す	25
メディアの取り扱いについて	25
CD/DVD/SDメモリーカードを入れる	28
CD/DVD/SDメモリーカードを取り出す	29
文字を入力する	30
入力の基本操作	31
文字を変換する	32
リスト画面を切り替える	32
項目を切り替える	32
ページを切り替える	32
50音順を切り替える	32
行を切り替える	33
マークを切り替える	33
種類を切り替える	33
施設項目を切り替える	33
文字の表示範囲を切り替える	33

ナビゲーションシステムについて

ナビゲーションは、あくまでも走行の参考として地図と音声で案内するものですが、精度により、まれに不適切な案内をする場合があります。

案内ルートを走行するときは、必ず実際の交通規制（一方通行など）にしたがってください。

<地図データについて>

このGPSナビゲーションシステムの「地図」は一般財団法人日本デジタル道路地図協会の「全国デジタル道路地図データベース」と株式会社ゼンリンの地理情報に基づいて、株式会社デンソーと株式会社トヨタマップマスターが制作したものです。但し、調査時期やその取得方法により現場の状況と異なる場合があるため、使用に際しては実際の道路状況および交通規制にしたがってください。

地図データの詳細につきましては、**MENU DISP** → **ナビ** → **設定** → **使用データ** をご覧ください。

いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

- ▶ この地図の作成に当たっては、国土交通省国土地理院発行の5万分の1地形図および2.5万分の1地形図を使用しました。
- ▶ この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て同院発行の2.5万分の1地形図を使用しました。(測量法第30条に基づく成果使用承認 平15企指向第2号)
- ▶ この地図の作成に当たっては、国土情報整備事業の一環として国土交通省国土地理院において作成された、国土数値情報を使用しました。
- ▶ この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。(測量法第44条に基づく成果使用承認06-052T)
- ▶ 交通規制データの出典について
この地図に使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を使用して、(株)トヨタマップマスターが作成したものを使用しています。
- ▶ 道路交通規制の優先について
このデータが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・標示等にしたがってください。
- ▶ 道路交通情報データについて
道路交通情報データは、公益財団法人日本道路交通情報センターから提供されます。データ作成には、一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（VICSセンター）の技術が用いられています。
- ▶ 統計交通情報について
統計交通情報データは、JARTIC/VICSおよび独自で収集した交通情報を基にトヨタメディアサービス株式会社が統計処理をしたデータを使用しています。

一般財団法人日本デジタル道路地図協会

©ZENRIN CO.,LTD.& (株)トヨタマップマスター&株式会社デンソー



本製品は、T-Engineフォーラム (www.t-engine.org) のT-Licenseに基づきT-Engine T-Kernelソースコードを利用しています。

02 本書の見方

セクションタイトル

セクションタイトルを表示しています。

項目タイトル

項目ごとに No. とタイトルがつけられています。

説明文

項目に記載されている簡単な説明文です。

操作タイトル

操作を行うことなどを記述しています。

操作手順

操作の内容です。番号の順に操作してください。

操作画面

操作する画面を表示しています。

アドバイス

操作に関連することなどを記述しています。

チェック

操作前に行うことなどを記述しています。

01

オーディオ

オーディオの基本操作

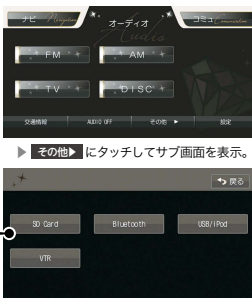
オーディオの基本的な操作を説明します。

オーディオを切り替える

1 MENU DISP にタッチ。

2 オーディオ にタッチ。

3 切り替えたいオーディオのスイッチにタッチ。



アドバイス

調整時に ▲、▼、◀、▶ のいずれかにタッチし続けると、連続的に変化しますが、センター値で停止します。再度、▲、▼、◀、▶ のいずれかにタッチすると、調整することができます。

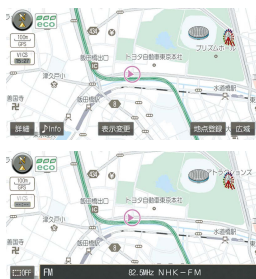
オーディオの情報を見る

ナビゲーション画面を表示したまま、聞いている曲名やアーティスト名、受信している放送局名などの情報を表示することができます。

チェック

ナビゲーション画面を表示しているときに操作します。

1 Info にタッチ。



チェック

- 本書では、一部を除きオプション機器が接続されている画面で説明しています。ナビゲーションは、一部を除きスタイリッシュ表示のノースアップ1画面で説明しています。
- スイッチ表示について

パネルスイッチをタッチするときは、**○** (**▲**・**▼** など) でスイッチ名称を表示しています。

画面のタッチスイッチにタッチするときは、**○○○** でスイッチ名称を表示しています。

1つ前の画面に戻すときは、**戻る** にタッチするとタッチした画面で行った操作がキャンセルされます。(一部の機能では、キャンセルされないものがあります)

画面の着せ替えについて

本機は、4種類（kirakira、nekoko、hana、pokadot）のデザインから画面の着せ替えが可能です。本書では、kirakiraの画面で操作の説明をしています。

デザインによってタッチスイッチのレイアウトは異なりますが、機能の違いはありません。

■ ナビ | にタッチした場合



[kirakira]



[nekoko]



[hana]



[pokadot]

■ オーディオ にタッチした場合



[kirakira]



[neko]



[hana]



[pokadot]

■ コミュ にタッチした場合



[kirakira]



[neko]



[hana]



[pokadot]

安全上のご注意

安全にお使いいただくために必ずお読みください。

警告

- 本機はDC12V⊖アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災の原因となります。
- ナビゲーションによるルート案内時も、実際の交通規制に従って走行してください。ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると実際の交通規制に反する可能性があり、交通事故の原因となります。
- 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながる恐れがあります。車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中に画面を注視しないでください。運転者が走行中、画面を注視することは法律で禁止されています。前方不注意となり事故の原因となります。
- 運転者は走行中に音量調整などの操作をしないでください。前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 運転者は走行中にディスクの切り替えをしないでください。前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 運転者は走行中に地点登録・メモリ設定などの操作をしないでください。前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 運転者がテレビやビデオなどを見るときは必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキを使用してください。テレビやビデオは安全のため走行中は表示されません。
- 走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。
- ディスクおよびSDメモリーカード差し込み口に異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。
- 本機を分解したり、改造しないでください。事故、火災、感電の原因となります。
- 機器内部に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。
- 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故、火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換する時は、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなど異常が起こったら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- 雷が鳴りだしたら、アンテナ線や本機に触れないでください。落雷により感電の危険性があります。
- 本機を使用するために禁止された場所に駐・停車しないでください。
- 車内に直射日光が差し込んだ場合、製品に光が反射する場合があります。十分に注意して運転してください。
- 運転中は、絶対にヘッドホン・イヤホンを使用しないでください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

⚠ 注意

- 本機はエンジンスイッチがONまたはACCのときに使用できますが、バッテリー保護のため、エンジンをかけた状態でご使用ください。
 - 本機を車載用以外としては使用しないでください。感電やけがの原因となることがあります。
 - 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
 - 電源ON時は、ボリュームに注意してください。電源ON時に突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
 - ディスプレイに強い力を加えたりしないでください。故障の原因となることがあります。
 - ディスプレイの上にコップや缶などの異物を置かないでください。また、ディスプレイを倒したままにしないでください。故障の原因となることがあります。
 - ディスクおよびSDメモリーカード差し込み口に手や指を入れないでください。けがの原因となることがあります。
 - ディスプレイの収納や角度調整時に、手や指を挟まないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。
 - 本機の放熱部に手を触れないでください。放熱部の熱でやけどをする場合があります。
 - 本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお求めの販売店へ依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
 - 音声が割れる、歪むなどの異常状態で使用しないでください。火災の原因となることがあります。
 - 極端な高温や低温でのご使用は誤作動や故障の原因となります。とくに夏期は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなどして温度を下げてからご使用ください。
 - 本機の中に金属や水が入ったり、強い衝撃が加わると故障の原因となりますのでご注意ください。
 - 表示画面のタッチスイッチ内側に結露が発生した場合、正しく動作しないことがありますので、無理に使用せず、結露がなくなるまで操作をしないようにしてください。
 - 液晶画面に保護フィルム（保護フィルター）等を貼り付けしないでください。タッチスイッチが正常に操作できなくなります。
 - ディスク等を取り出すときや、チルト位置を設定する際に、下記に注意してください。
- < A/T車の場合 >
- ・ ディスク等を取り出す際、Pレンジで干渉する場合はNレンジに切り替えてから操作してください。（コラムA/Tの場合はPまたはNレンジで操作してください。）
 - ・ チルト位置を設定する際、Pまたは®、Nレンジで手などが干渉しないように設定しご使用ください。（走行レンジで干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。）
- < M/T車の場合 >
- ・ ディスク等を取り出す際、1・3・5・®ポジションで干渉する場合はニュートラルに切り替えてから操作してください。但し、走行中は操作しないでください。
 - ・ チルト位置を設定する際、1・3・5・®ポジションで手などが干渉しないように設定しご使用ください。（干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。）

アドバイス

- 走行中操作できないものは走行状態になると色がトーンダウンし、操作できません。また、操作できないスイッチにタッチすると、画面に操作禁止メッセージが表示されることがあります。
- 悪路走行中などの振動の激しい場合は、ディスクおよびSDメモリーカードのデータを読み取れなくなり正常に作動しないことがあります。振動が静まり、しばらくすると正常に戻ります。
- 本機に結露が発生した場合、1時間ほどそのままの状態でも放置しておけば結露が取り除かれ、正常に作動するようになります。何時間経っても正常に戻らない場合は、販売店にご相談ください。
- 本機をお買い上げ後、はじめてご使用になるときや長時間バッテリーをはずしておいた場合などは、現在地を正しく表示しないことがあります。しばらくするとGPSの測位によって表示位置などが修正されます。
- 本機は精密機器であり、静電気、電氣的なノイズ、振動等により記録されたデータが消失する場合があります。お買い上げ後、お客様が記録されるデータにつきましては、データ消失の場合にそなえて、別にメモをとるなどして保管してください。
- なお、次のような場合、保証はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。本機を装着もしくはご使用されたときは、次の内容を承認されたものとみなさせていただきます。
 - ① 本機の故障、誤作動、または不具合等により、あるいは本機が電氣的なノイズの影響等を受けたことにより、お客様が記録されたSDメモリーカード内のデータ等が変化・消失した場合。
 - ② お客様、または第三者が本機の使用を誤ったことにより、SDメモリーカード内の地図データや基本プログラムが変化・消失した場合。
 - ③ 本機の故障・修理に際し、お客様が記録されたSDメモリーカード内のデータ等が変化・消失した場合。
- 本機は他の電装品からの電氣的ノイズに対して影響を受けにくい構造になっておりますが、強力なノイズを発生する電装品があり、本機のそばで使用された場合、画面の乱れ、雑音等の誤作動をすることがあります。その場合は、原因と思われる電装品の使用をやめてください。
- 地図データに情報がない場合、路線名の表示や施設の検索、ルートの案内などをすることができません。
- 施設の表示やルートの案内などは、実際と異なることがあります。
- 本機が探索するルートは目的地周辺までの参考ルートです。必ずしも最短ルート、早く行けるルート、渋滞していないルートではありません。
- 交差点案内や音声案内などは、状況により異なることがあります。また、まれに誤った案内をすることがあります。

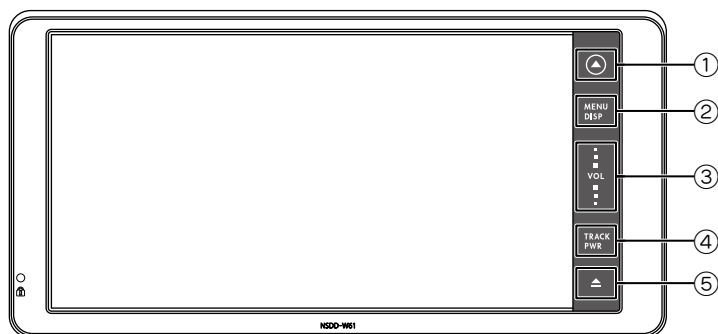
スイッチの名称について

スイッチの名称と、はたらきについて説明します。

本機はパネルに配置しているスイッチ（パネルスイッチ）や、画面に表示されるスイッチ（タッチスイッチ）を直接タッチして操作します。

パネルスイッチについて

それぞれのパネルスイッチをタッチして操作します。



①		現在地スイッチ	ナビゲーション画面／現在地を表示するときにタッチします。
②		MENU／ディスプレイ スイッチ	いろいろな設定をするときや、画質の調整をしたり画面を消すときにタッチします。 画質の調整や画面を消すときは、1秒以上タッチします。
③		音量調整スイッチ	オーディオの音量を調整するときにタッチします。
④		選局／選曲スイッチ オーディオスイッチ	オーディオの電源を入れるとき、切るときに、1秒以上タッチします。 オーディオの電源が入っているときにタッチすると、TV・ラジオの選局、音楽の選曲、DVDのチャプターが選択できます。
⑤		TILT/EJECT スイッチ	ディスプレイを開くときや、画面の角度調整をするときにタッチします。

タッチスイッチについて

⚠ 注意

タッチスイッチは指でタッチしてください。

ボールペン、シャープペンの先など、先端の硬い物や鋭利な物で操作すると、故障の原因になることがあります。



- ▶ タッチスイッチは"ピッ"という応答音が鳴るまでタッチしてください。
- ▶ **戻る** をタッチした場合、操作がキャンセルされ、前の画面に戻ります（一部を除く）。
- ▶ スイッチの反応がない場合、一度画面から手を離してから再度タッチしてください。
- ▶ タッチスイッチの色がトーンダウンしている場合、操作することができません。
- ▶ スイッチの機能が働いている場合、タッチスイッチの色が明るくなるものや、作動表示灯が点灯するものがあります。

👉 アドバイス

タッチスイッチの操作音の **ON** / **OFF** を設定することができます。(→275)

電源について

電源の入れかた、切りかたを説明します。

電源を入れる・切る

1 車両のエンジンスイッチをACC、またはONにする。

- ▶ オープニング画面を表示し、その後自動でナビゲーション画面、またはオーディオ画面に切り替わります。



- ▶ 車両のエンジンスイッチをOFF (LOCK) にすると、本機の電源が切れます。

機能の使用条件一覧

お車のエンジンスイッチの位置によって使用できる機能を説明します。

本機の機能は、次の条件（車両のエンジンスイッチの位置）により、操作できる場合とできない場合があります。

○：操作できます ×：操作できません

各機能	エンジンスイッチ				ディスプレイがオープン状態
	OFF (LOCK)	ACC	ON 停車中	ON 走行中	
GPSボイスナビゲーション/情報	×	○	○	※3	×
オーディオ※1 (映像を伴わないオーディオモード)	×	○	○	※3	× 音声は継続して流れます。
オーディオ※2 (映像を伴うオーディオモード)	×	○	○	※4	× 音声は継続して流れます。
ハンズフリー	×	○	○	※3	○
ディスク、SDメモリーカードの出し入れ/ディスプレイの角度調整	×	○	○	○	ディスプレイの角度調整不可

※1 映像を伴わないオーディオモード...AM、FM、CD、MP3/WMA、iPod® オーディオ、USBオーディオ、Bluetoothオーディオ、SDメモリーカード

※2 映像を伴うオーディオモード...DVD、TV（地上デジタルTV放送）、iPodビデオ、VTR

※3 安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。

※4 安全上の配慮などから、音声のみになります。

知っておきたい基本操作

知っておいてほしい基本的な操作を説明します。

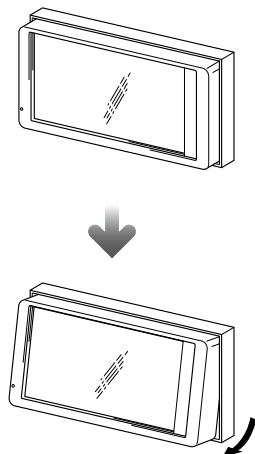
画面を見やすくする

》角度を調整する

- 1 ▲ にタッチ。
- 2 ▲、または ▼ にタッチ。



- ▲ ...タッチすることによりディスプレイが傾いた状態から1段階ずつ戻る（最大4段階）
- ▼ ...タッチすることによりディスプレイが斜め下方に1段階ずつ傾く（最大4段階）



- 3 調整後、▲ にタッチ。

アドバイス

ディスプレイ部を傾けた状態で車両のエンジンスイッチをOFF（LOCK）にすると、自動で傾いていない状態になります。次にエンジンスイッチをACC、またはONにした場合、もとの傾いた状態に戻ります。

》画質を調整する

コントラスト（鮮明度）や明るさなどを調整して、画面を見やすくすることができます。

チェック

色合いや色の濃さは、テレビやDVDなどの映像画面を表示している場合、調整することができます。

1 MENU DISP を1秒以上タッチ。

2 画質を調整する。



[画質調整画面]



[画質調整画面(映像画面時)]

- 強 ...コントラストが強くなる
- 弱 ...コントラストが弱くなる
- 明 ...画面が明るくなる
- 暗 ...画面が暗くなる
- 赤 ...赤色が強くなる
- 緑 ...緑色が強くなる
- 濃 ...色が濃くなる
- 淡 ...色が淡くなる

3 調整後、調整完了 にタッチ。

アドバイス

コントラストや明るさ調整は、昼画と夜画で独立して調整することができます。

≫昼画表示と夜画表示を切り替える

ライト（車幅灯、尾灯、番号灯）の点灯、消灯により、昼画表示と夜画表示を切り替えることができます。また、ライトを点灯して切り替わった夜画表示を、昼画表示に切り替える



[昼画表示(ライト消灯時)]



[夜画表示(ライト点灯時)]

1 MENU DISP を1秒以上タッチ。

2 昼画面 にタッチ。



▶ タッチするごとに、昼画表示と夜画表示が切り替わります。

3 調整後、調整完了 にタッチ。

≫画面を消す

1 MENU DISP を1秒以上タッチ。

2 画面消 にタッチ。



▶ 画面消 にタッチすると、画面が表示されません。

アドバイス

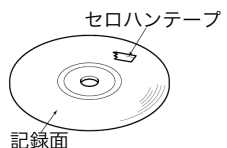
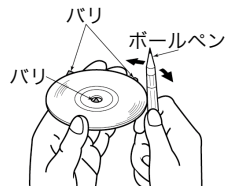
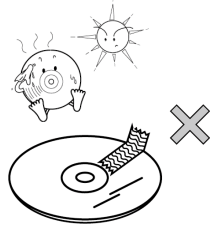
画面を消しても、GPSによる現在地測位は継続されます。

メディアを入れる・取り出す

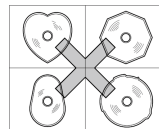
》メディアの取り扱いについて

ディスクの取り扱いについて

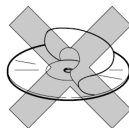
- ▶ ディスクは直射日光をさげ、必ずケースに入れて保管してください。ディスクがそり、使用できなくなる恐れがあります。
- ▶ 記録面はもちろん、レーベル面にも紙テープを貼らないでください。故障の原因となります。
- ▶ ひびが入ったディスクやそりが大きいディスクは、使用しないでください。故障の原因となります。
- ▶ 記録面（虹色に光っている面）に触れないように持ってください。ディスクが汚れ、音とびをすることがあります。
- ▶ 汚れたディスクを使用するとディスクにキズがつき、音とびをする恐れがあります。ディスクが汚れた場合、市販のディスク・クリーナーでディスクの内側中心から外側方向へ軽くふき取ってください。
- ▶ 新しいディスクをご使用になると、ディスクのセンターホールや外周部に"バリ"があることがあります。"バリ"がついているときは、ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。"バリ"がついているディスクを使用すると、ディスクを正しく認識できないなど、正常に動作しないことがあります。
- ▶ レンタルしたディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのままプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。



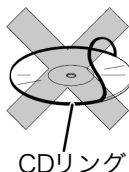
- ▶ ハート型や八角形など特殊形状のディスクは、演奏できません。機器の故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。



- ▶ 音質向上やディスク保護用として市販されているアクセサリ（スタビライザー、保護シールなど）は使用しないでください。ディスクの厚さや外形寸法が変わるため、故障の原因となります。



- ▶ 音質向上や防振効果を高めるCDの保護用として市販されているアクセサリ（CDリング・プロテクター）は使用しないでください。内部ではずれて再生できなったり取り出せなくなるため、故障の原因となることがあります。



- ▶ 8cmディスクおよびアダプターを使用しないでください。無理に挿入しないでください。故障の原因になります。
- ▶ ディスクを重ねて挿入しないでください。ディスクを複数枚重ねた状態で挿入しようとするとプレーヤーに正しく納まらず、故障の原因となります。

SDメモリーカードの取り扱いについて

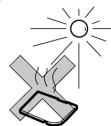
- ▶ 定期的にSDメモリーカードの表面についたホコリやゴミなどを乾いた布でふき取ってください。



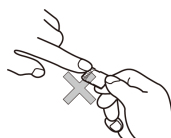
- ▶ ラベルがはがれていたり、ネームテープ（ラベル）が貼ってあるSDメモリーカードは使用しないでください。



- ▶ 直射日光や湿気の多いところをさけて保管してください。SDメモリーカードが使用できなくなることがあります。



- ▶ 端子部には、手や金属が触れないようにしてください。



- ▶ 静電気や電氣的ノイズを受ける恐れのある場所に、SDメモリーカードを放置しないでください。データが破壊される恐れがあります。

- ▶ SD、SDHCカードマークの付いたSDメモリーカードを使用してください。
- ▶ 乳幼児の手の届く恐れのある場所に、SDメモリーカードを置かないでください。SDメモリーカードを誤って飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだと思われる場合は、すぐ医師にご相談ください。

USBメモリの取り扱いについて

- ▶ USBメモリの動作保証はしておりません。ご使用の際には、USBメモリの使用条件内でのご利用をお願いいたします。使用条件についてはUSBメモリに添付の取扱説明書をご覧ください。
- ▶ 直射日光や湿気の多いところをさけて保管してください。USBメモリが使用できなくなるなど、故障の原因となる場合があります。
- ▶ 車内に長時間放置しないでください。高温多湿の環境に弱いため、USBメモリが劣化し再生不能となる場合があります。
- ▶ USBメモリは運転に支障をきたさない場所に固定してください。
- ▶ USBメモリ規格に準拠したUSBメモリを使用しても、USBメモリの種類や状態により正常に動作できない場合があります。
- ▶ USBメモリの種類や記録状態、エンコードソフトの設定によっては再生や表示ができない場合があります。
- ▶ USBハブを接続してUSBメモリを認識させることはできません。
- ▶ USBメモリ内の大切なデータはパソコン等を用いて、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- ▶ 規定電流を超えるUSB機器が接続された場合、過電流を検知して電源を停止します。車両のエンジンスイッチをOFF（LOCK）にしたあと、ACC、またはONにすると復帰します。

》CD/DVD/SDメモリーカードを入れる

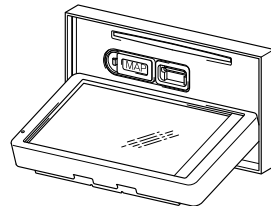
CDやDVDを再生する場合はディスクを、SDメモリーカードを使用して再生したり、ガジェットを追加する場合はSDメモリーカードを各差し込み口に挿入します。

⚠ 注意

- ディスプレイの開閉時にオートマチックチェンジレバー ("P"位置) もしくはシフトレバー (1・3・5・R位置) やカップホルダー上の缶などに干渉する場合は、チェンジレバーもしくはシフトレバーを"N"または"ニュートラル"位置にするか、缶などを取り除いて開閉を行ってください。
- ディスプレイ部を開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶などの物を置かないでください。ディスプレイが損傷する恐れがあります。
- ディスプレイ部にジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。そのまま放置しておくとも故障する恐れがあります。
- 熱やホコリからディスプレイを保護するため、出し入れするとき以外は、ディスプレイ部を閉じておいてください。
- SDメモリーカードはラベルを上にして、"カチッ"と音がするまで差し込んでください。奥のストッパーに突き当たると、それ以上は差し込めませんので、無理に力を加えないでください。
- ディスク、またはSDメモリーカードの差し込み途中に **CLOSE**、または **▲** をタッチしないでください。

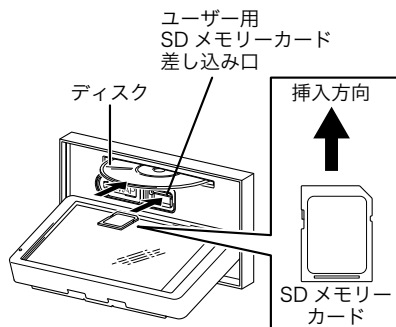
1 **▲** にタッチ。

2 **OPEN** にタッチ。



▶ ディスプレイ部が開きます。

- 3** 差し込み口にディスク、またはSDメモリーカードを差し込む。



- ▶ ディスクは、中心の穴と端を挟んで持ち、ラベル面を上にして差し込みます。
- ▶ ディスクを差し込むと、自動でディスプレイ部が閉じます。
- ▶ CDを差し込んだ場合、音楽CD、またはMP3/WMAの再生が始まります。
- ▶ DVDを差し込んだ場合、DVDの再生が始まります。
- ▶ SDメモリーカードを奥まで差し込んだことを確認してください。
- ▶ SDメモリーカードを差し込んだあと、ディスプレイを閉じる場合は、**CLOSE** をタッチしてください。
- ▶ **▲** をタッチしても、ディスプレイ部は閉じます。

アドバイス

- SDメモリーカードを使用するときは、ユーザー用SDメモリーカード差し込み口を使用してください (→28)。
- DVDおよびCDの差し込み口は同じですので、どちらか一方の使用になります。

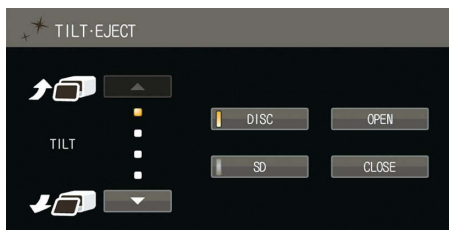
▶▶ CD/DVD/SDメモリーカードを取り出す

⚠ 注意

- ディスクを取り出す際、下記に注意してください。
 - ・ A/T車はディスクを取り出す際、Pレンジで干渉する場合は、Nレンジに切り替えてから操作してください。(コラム A/Tの場合はPまたはNレンジで操作してください。)
 - ・ M/T車はディスクを取り出す際、1・3・5・**Ⓜ**ポジションで干渉する場合は、ニュートラルに切り替えてから操作してください。
- ディスク、またはSDメモリーカードを取り出すとき、押し出された状態のままディスプレイ部を閉じないでください。本機およびディスクにキズがつく恐れがあります。
- ディスプレイ部を手で閉じないでください。ディスプレイが損傷する恐れがあります。
- SDメモリーカードから情報を読み込み中は、絶対に取り出さないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。
- 本機からディスク、またはSDメモリーカードを取り出すときは水平方向に引き出してください。上側に強く引き出さないでください。また、下側にも強く押しながらか引き出さないでください。ディスクにキズがつき、音とびをしたり、SDメモリーカードを破損する恐れがあります。

1 ▲ にタッチ。

2 DISC、または SD にタッチ。



- ▶ ディスクは自動で排出されます。
- ▶ SDメモリーカードはカードを軽く押して取り出します。

3 CLOSE にタッチ。

- ▶ ディスプレイ部が閉じます。
- ▶ ▲ をタッチしてもディスプレイ部は閉じます。

文字を入力する

場所や音楽のタイトル情報を登録する場合など、文字を入力することができます。ひらがなや漢字の他、数字や英語などを入力することができます。

アドバイス

文字の入力方法は、機能により異なります。

》入力の基本操作

1 次の各スイッチをタッチして入力する。



スイッチ	名称	内容
①	スペーススイッチ	空白が入力されます。
②	入力スイッチ	文字が入力されます。
③	変換スイッチ	入力した文字を漢字などに変換します (→32)。
④	無変換スイッチ	表示されている文字で確定します。
⑤	修正スイッチ	1文字消去されます。
⑥	ページ切り替えスイッチ ^{※1}	表示する数記号が切り替わります。
⑦	入力位置切り替えスイッチ	文字を入力する位置が切り替わります。
⑧	かなスイッチ カナスイッチ 英数字スイッチ 数記号スイッチ	入力する文字の種類が切り替わります。
⑨	半角/全角スイッチ ^{※2}	入力する文字の半角と全角が切り替わります。
⑩	大文字/小文字スイッチ ^{※3}	入力する文字の大文字と小文字が切り替わります。

※1 数記号を入力するときに表示されます。

※2 カナ、英数字、数記号を入力するときに表示されます。

※3 英数字を入力するときに表示されます。

2 **完了** にタッチ。

≫文字を変換する

- 1 **変換** にタッチ。



- 2 入力する単語や熟語にタッチ。



- **全確定** ...表示されている文字で入力
▶、または ◀ ...変換する文字の範囲
を切り替え

リスト画面を切り替える

≫項目を切り替える

- 1 ▲前、または ▼次 にタッチ。



≫ページを切り替える

- 1 ▲ページ (▲), または ▼ページ (▼) に
タッチ。



≫50音順を切り替える

- 1 ▲50音、または ▼50音 にタッチ。



- ▶ タッチすることにより、「あ→い」というように
にリストが動きます。

》行を切り替える

- 1 **あ行**、**か行**、**さ行**、**た行**、**な行**、**は行**、**ま行**、**や行**、**ら行**、**わ行**のいずれかにタッチ。



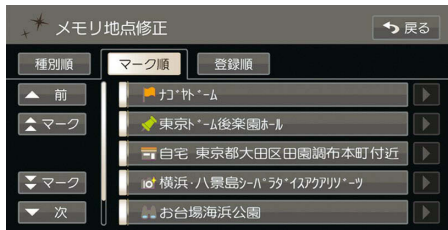
》施設項目を切り替える

- 1 **店**、**車**、**宿泊**、**遊び**、**公共**、**医療**、**交通**、**文化**、**他**のいずれかにタッチ。



》マークを切り替える

- 1 **▲マーク**、または **▼マーク** にタッチ。



》文字の表示範囲を切り替える

リストに表示されている名称の文字数が多い場合、表示範囲を切り替えることができます。

- 1 **▶**、または **◀** にタッチ。



》種類を切り替える

- 1 **▲種類**、または **▼種類** にタッチ。



01. 知っておきたいナビ機能………… 37

ナビゲーション画面の見方……………	37
地図を操作する……………	38
現在地の地図を表示する……………	38
見たい場所まで地図を動かす……………	38
縮尺を切り替える……………	39
向きを切り替える……………	40
表示を切り替える……………	41
画面上のタッチスイッチを消す……………	46
ナビゲーションの音量を切り替える……………	46
音量を調整する……………	46
周辺の施設を表示する……………	47
走行中に表示する……………	48
全ジャンルから選択する……………	48
検索して詳細を表示する……………	50
施設の情報を表示する……………	51

02. 目的地を探してルートを決める…………… 52

目的地を探す……………	52
地図スクロールから設定する……………	52
登録地点（自宅・特別メモリ）から設定する……………	53
地図の呼び出し方法から検索する……………	54
50音から検索する……………	55
電話番号から検索する……………	58
目的地履歴から検索する……………	60
主要施設から検索する……………	60
住所から検索する……………	61
登録した場所（メモリ地点）から検索する……………	62
ジャンルから検索する……………	62
マップコードから検索する……………	63
呼び出した地図を操作する……………	64
目的地までのルートを決める……………	66
全ルート図の見方……………	67
案内を開始する……………	69

03. 目的地やルートを変更する………… 70

目的地を変更する……………	70
目的地を追加する……………	70
目的地を消去する……………	72
目的地を並び替える……………	73
ルートを変更する……………	74
5つのルートから選択する……………	74
条件を変えてルートを探す……………	75
通過する道路を指定・変更する……………	77

ルートを確認する……………	81
デモ走行で確認する……………	81
目的地までのルートを再表示する……………	82

04. 目的地案内について………… 83

案内方法について……………	83
案内画面の見方……………	83
拡大図を表示する……………	84
音声で案内させる……………	90
目的地案内中の音声案内の例……………	90
到着予想時刻と残り距離を表示する……………	90
案内ルートからはずれたときは……………	91
案内中にルートを変更する……………	91
案内を中止・再開する……………	92

05. 場所を登録する………… 93

登録する……………	93
覚えておきたい場所を登録する……………	93
通りたくない場所（迂回メモリ地点）を登録する……………	94
登録した場所を修正する……………	96
設定メニューから修正する……………	96
地図画面から修正する……………	97
各項目を修正する……………	97
登録した場所を消去する……………	100
設定メニューから消去する……………	100
地図画面から消去する……………	101
登録した場所のデータを移す……………	101
SDメモリーカードについて……………	101
データを保存する……………	102
パスワードを設定する……………	103
SDメモリーカードを初期化する……………	104
パスワードを初期化する……………	105
登録した場所のデータを本機に移す……………	105

06. VICS 情報を利用する………… 107

VICSとは……………	107
VICS 情報提供内容と表示について……………	107
VICS 文字情報（レベル1）……………	107
VICS 図形情報（レベル2）……………	107
VICS 地図情報（レベル3）……………	108
VICS 情報の表示……………	108
地図に交通情報を表示する……………	109
表示する情報を設定する……………	109
表示の設定をする……………	110

ナビゲーション

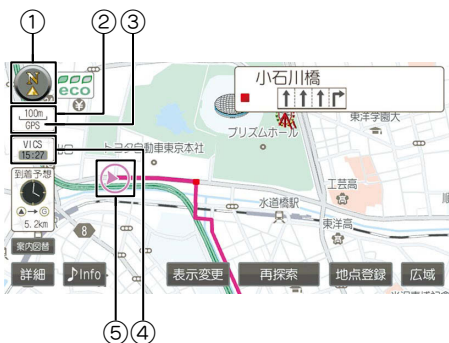
VICSの詳細情報を見る	111
渋滞・規制を音声で案内させる	111
VICS図形情報、VICS文字情報を表示する	112
VICSの放送局を選ぶ	114
VICS放送局を選局する	114
VICSの用語説明	114
VICSの問い合わせ先	115
07. ナビ機能の設定を変える	116
ナビゲーションの詳細を設定する	116
地図表示に関する設定	116
画面の自動表示に関する設定	117
音声に関する設定	118
その他の設定一覧	118


知っておきたいナビ機能

ナビゲーションを使うために必要な機能を説明します。

ナビゲーション画面の見方

地図画面には自転車位置を示した現在地画面（→38）と、地図を動かしたときに表示されるスクロール画面（→38）があります。




表示	名称	内容	ページ
①	方位マーク	地図の向きを表しています。タッチすると、向きを切り替えることができます。	40
②	スケール表示	地図のスケールを表しています。この場合、  の長さが100mです。	39
③	GPSマーク	3個以上のGPS衛星から情報を受信して、自転車位置を正確に計測していることを表しています。	-
④	VICSタイムスタンプ ／VICS情報	<ul style="list-style-type: none"> ●VICS情報が提供された時刻を表しています。渋滞・規制音声案内があるときは、スイッチになります。 ●リアルタイムに受信した道路の混雑状況を表しています。 	108
⑤	自転車マーク	自転車の現在地と向きを表しています。	-
⑥	現在地からの距離	自転車位置からカーソルまでの直線距離を表しています。	-
⑦	カーソル	表示している地図の中心を表しています。タッチした方向に移動します。	38
⑧	地名表示	カーソルの中心の地名を表しています。	-

地図を操作する

》現在の地の地図を表示する

1  にタッチ。



▶ 再度、 をタッチすると、現在地付近の地名が表示されます。

👉 アドバイス

- 走行中は道路の表示が制限されます（細街路などは表示されません）。ただし、細街路を走行したときなどは、必要に応じて表示されます（→67）。
- 現在地が道路上の場合、路線名や路線番号が表示されることがあります（25m～200mスケール図のとき）。

》見たい場所まで地図を動かす


地図をタッチして、地図を動かすこと（スクロール）ができます。

1  地図にタッチ。



- ▶ タッチした地点が画面の中心になります。（ワンタッチスクロール）
- ▶ 地図左に現在地からの直線距離が表示されます。
- ▶ 画面の中心付近にタッチし続けると、ゆっくり地図が移動します。
- ▶ 画面の端付近にタッチし続けると、高速で地図が移動します。

👉 アドバイス



- 安全のため、走行中の地図の移動は、一定の距離でスクロールします。
- 地図を動かした場合、車が移動しても地図は動きません。 にタッチすると、現在地を表示して地図を動かすことができます。
- 地図を移動させたときは、地図向きの切り替えができないことがあります（→40）。
- カーソル位置が道路上の場合、路線名や路線番号が表示されることがあります（25m～200mスケール図のとき）。

》縮尺を切り替える

地図の縮尺を25m～200kmの範囲で切り替えることができます。

1 **広域**、または **詳細** にタッチ。





- ▶ タッチするごとに、1段階ずつ縮尺が切り替わります。
- ▶ スケールバーが表示され、切り替えた縮尺にスライダが表示されます。
- ▶ 目的地が設定されている場合、→が表示されます。






スライダ



スケールバー

- ▶ スケールバーをタッチすると、タッチした縮尺に切り替わります。
- ▶ →にタッチすると、現在地から次の目的地までの縮尺に切り替わります。

👉 アドバイス

- 最大範囲（200kmスケール図）にした場合、**広域**が消去されます。25mスケール図にした場合、**詳細**が消去されます。
- 設定しているルートや現在地により、→をタッチしてもルート全体を表示できないことがあります。
- 3D表示をしている場合、スケール表示のは表示されません。
- 次のときは→は表示されません。
 - ・ 3D表示中（→42）

》向きを切り替える

表示させている地図の向きを切り替えることができます。

ノースアップ表示

車の進行方向に関係なく、北をつねに上向きにした地図が表示されます。



ヘディングアップ表示 北を示します

車の進行方向をつねに上向きにした地図が表示されます。



チェック

3D表示 (→42) にしている場合、地図向きを切り替えることができません。

1 (または) にタッチ。

▶ タッチすると、ノースアップ表示とヘディングアップ表示が切り替わります。

アドバイス

ヘディングアップ表示の場合、目的地の設定で呼び出した地図(→52)や全ルート図(→67)などは、ノースアップ表示になりますが、現在地画面にすると、ヘディングアップ表示に戻ります。

》表示を切り替える

地図の表示を3Dや2画面に切り替えることができます。また、高速道路では表示を切り替えることができます。



[2D]



[3D]



[2D ツイン]



[3D ツイン]



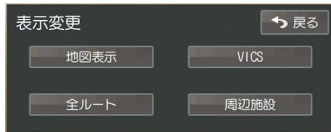
[高速略図画面]

地図の表示を切り替える

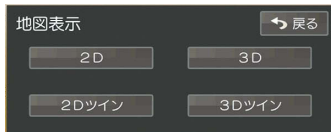
1 **表示変更** にタッチ。



2 **地図表示** にタッチ。



3 表示する地図にタッチ。



アドバイス

高速略図画面を表示している場合、2画面表示に切り替えることができません。



3D表示について

■3D表示の地図向きを切り替える


3D表示中は、地図の向きを回転させることができます。

1 地図にタッチ。



2 、または  にタッチ。



▶  にタッチすると回転前の地図に戻ります。

アドバイス

3D表示は、ヘディングアップで表示されません。

2画面表示について

■2画面表示中の地図を操作する

2画面表示中は、左画面とは別に右画面の縮尺や向きなどを切り替えることができます。左画面は、1画面と同様の操作をすることができます。



1 右画面の地図にタッチ。



2 右画面を操作する。



- **詳細**、**広域** ...地図の縮尺を切り替え (→39)

- 、 ...地図の向きを切り替え (→40)

- **3D表示** ...地図を3D表示に切り替え (→42)

- **周辺施設表示** ...左画面に周辺施設を表示させている場合、右画面にも周辺施設を表示 (→47)

- **VICS表示** ...左画面にVICS情報を表示させている場合、右画面にもVICS情報を表示 (→108)

- ▶ 地図縮尺、または地図の向きを切り替えた場合、**戻る** をタッチします。

アドバイス

- 2画面表示は、前回と同じ設定で表示されます (→43)。
- 目的地の設定で呼び出した地図 (→52) や全ルート図 (→67) を表示した場合、2画面表示は解除されます。現在地画面を表示した場合、2画面表示に戻ります。
- 左画面は地図を移動させることができますが、右画面は地図を移動させることができません。
- 右画面の周辺施設とVICS表示は、左画面と同じ設定で表示されます。左画面で表示していない場合、右画面にも表示することができません。

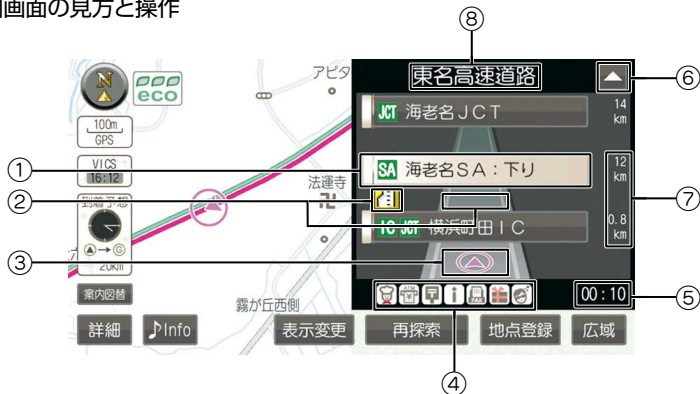
高速略図画面について

高速道路走行中に画面を2分割して、次に通るインターチェンジやサービスエリアの名称、距離などが表示されます。高速道路を走行すると自動で表示されます。

アドバイス

- 目的地案内をしている場合、都市高速や有料道路でも高速略図画面が自動で表示されます。
- サービスエリアやパーキングエリアに入った場合など、高速道路の本線からはずれたときは、高速略図画面が解除されることがあります。
- 目的地案内中、出口インターチェンジ、分岐するジャンクションやサービスエリア、パーキングエリアの手前では、高速分岐模式図が自動で表示されることがあります(→117)。ジャンクション、サービスエリア、またはパーキングエリアの場合、高速分岐模式図が終了すると、自動で高速略図画面に戻ります。
- 複数の案内図を表示できる場合は、**案内図替** にタッチするとお好みの案内図を選択することができます。

■高速略図画面の見方と操作



スイッチ/表示	名称	内容
①	施設名称	これから通過する施設の名称が表示されます。
②	VICS マーク・表示	受信した VICS 情報が表示されます (→107)。
③	自車マーク、または 現区間スイッチ	タッチすると、現在地からの最寄施設表示に切り替わります。
④	設備マーク	選択した施設にある設備が最大7つまで表示されます。
⑤	通過予想時刻	選択した施設を通過する予定時刻が表示されます。
⑥	施設切り替えスイッチ	タッチすると、施設を切り替えることができます。
⑦	施設までの距離	現在地から施設までの距離が表示されます。
⑧	道路名称	走行中、または選択した施設のある道路名称が表示されます。

設備マーク	内容	設備マーク	内容
	公衆電話		FAXサービス
	自動販売機		郵便ポスト
	障害者用公衆電話		ハイウェイ情報ターミナル
	障害者用トイレ		キャッシュコーナー
	インフォメーション		ハイウェイ温泉
	スナックコーナー		仮眠休憩施設
	授乳室・ベビーベッド		レストラン
	コインランドリー		ドラッグストア
	コインシャワー		コーヒーショップ
	トイレ		軽食
	休憩所		ガソリンスタンド
	ショッピングコーナー		ハイウェイオアシス

ガソリンスタンドは、ロゴマークが表示されます。

 **アドバイス**

- VICS情報の表示を"非表示"に設定している場合、VICS情報は表示されません(→110)。
- 反対車線の施設情報は表示することができません。

》画面上のタッチスイッチを消す

地図を表示させているときに、画面上のタッチスイッチの表示を少なくすることができます。

- 1 info にタッチ。



▶ 現在作動しているオーディオ名や再生している曲名、受信している放送局名などの情報が表示されます (→125)。

- 2 OFF にタッチ。



▶ タッチスイッチを消したあと、ON にタッチすると、タッチスイッチが表示されます。

ナビゲーションの音量を切り替える

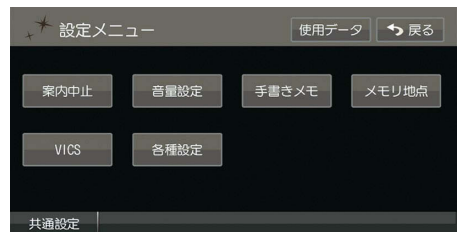
ルート案内中に聞こえる音声の音量を調整することができます。

》音量を調整する

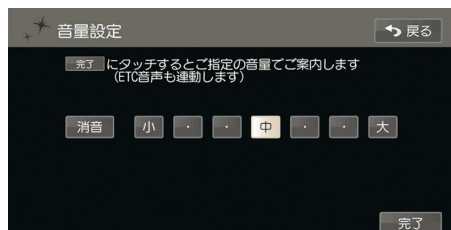
- 1 MENU DISP にタッチ。
- 2 ナビ にタッチ。
- 3 設定 にタッチ。



- 4 音量設定 にタッチ。



- 5 消音、小、中、大のいずれかにタッチ。



- 6 完了 にタッチ。

周辺の施設を表示する

地図に施設ランドマークを表示することができます。



アドバイス

- (A)、または (B) から半径約10km以内にある施設を表示することができます (最大200件まで)。
- 800mスケール図以下の詳細な地図に表示することができます (全ルート図を除く)。

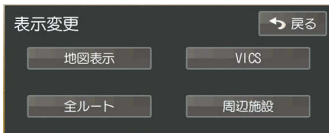
》走行中に表示する

走行中に簡易操作で施設ランドマークを表示することができます。



表示変更 → 表示変更画面

1 周辺施設 にタッチ。



2 GS、コンビニ、レストラン、駐車場、銀行、郵便局 のいずれかにタッチ。



- 表示解除 ...施設ランドマークの表示を解除する
 - ▶ タッチした施設ランドマークが表示されます。
 - ▶ 5ジャンルまでの施設ランドマークを表示することができます。他の施設ランドマークを表示する場合、再度、表示変更画面から操作します。



アドバイス

停車時も操作することができます。設定できる施設ランドマークは変更することができます (→118)。

》全ジャンルから選択する

全ジャンルから表示する施設ランドマークを選択することができます。



表示変更 → 周辺施設 → 周辺施設画面

1 全ジャンル にタッチ。



2 施設のジャンルにタッチ。



ナビゲーション一知ろおきたいナビ機能

3 詳細な施設のジャンルにタッチ。

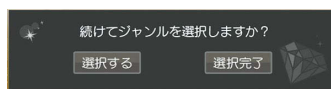


- ▶ マークが表示されていないジャンルにタッチしたときは、さらに詳細な施設のジャンルを選択することができます。
- ▶ 5ジャンルまでの施設ランドマークを同時に表示させることができます。
- ▶ **〇〇全て** にタッチすると、その項目の全てのジャンルが選択されます。
- ▶ もう一度タッチすると、選んだ施設ランドマークが解除されます。

4 完了 にタッチ。



5 選択完了 にタッチ。






- ▶ 選択した施設ランドマークが表示されます。
- ▶ 続けてジャンルを選択する場合は、**選択する** にタッチします。

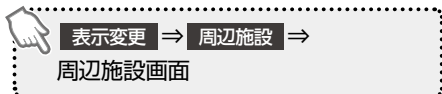
アドバイス

走行中は、全ジャンルから選択することはできません。

》検索して詳細を表示する

周辺の施設を検索する

施設ランドマークを表示している場合、、またはの位置の近くにある施設の名称と直線距離を表示することができます。また、のときは施設の方向を表示することができます。





1 施設検索 にタッチ。





2 施設名称にタッチ。



● 距離順 ... 、またはから近い施設の距離順に並び替え

● 種類順 ... 施設のマークの種類順に並び替え

▶ 選んだ施設を中心にした地図が表示され、施設の名称と現在地からの直線距離が表示されます。

▶ のとき前方に施設がある場合、 (矢印上) で表示されます (車の進行方向から見える位置)。



▶ 情報 が表示された場合、施設の情報を表示することができます (→64)。

》施設の情報を表示する

1 施設ランドマークにタッチ。



2 情報 にタッチ。



- ▶ 施設の名称と現在地からの直線距離が表示されます。
- ▶ 同じ建物に複数の施設がある場合、施設ランドマークをタッチするごとに、施設名称が切り替わります。

👉 アドバイス

地図データに情報が収録されていない場合、**情報** は表示されません。

目的地を探してルートを決める

いろいろな方法で目的地を探することができます。また、目的地までのルートを決めます。

目的地を探す

アドバイス

目的地に設定した地点は、自動で記憶（最大100カ所まで）され、次回、目的地を設定するときなどに、地図を呼び出すことができます。100カ所を超えた場合、古いものから自動で消去されますが、不要な目的地は消去することもできます（→118）。

≫地図スクロールから設定する

現在、表示している地図を目的地に設定することができます。

1 地図にタッチ。

2 **目的地セット** にタッチ。



3 **目的地セット**、**新規目的地**、**追加目的地** のいずれかにタッチ。



目的地が設定されていない場合



目的地が設定されている場合

● **目的地セット** ...目的地が設定されていない場合に表示

表示している地点が目的地に設定されます。


● **新規目的地** ...目的地が設定されている場合に表示

設定されている目的地を消去して、表示している地点が目的地に設定されます。

● **追加目的地** ...目的地が設定されている場合に表示

表示している地点が一番最初に向かう目的地に設定されます。

▶  の位置に目的地が  マークで表示され、ルート探索が開始されます。

▶  にタッチすると、地図を移動することができます。

▶ 高速道路や橋、トンネルなどの付近では、目的地を設定する道路の種類を選ぶ画面が表示されることがあります。



● **設定する** ...表示している道路を目的地に設定

● **他の道路** ...他の道路を表示

▶ 道路の種類を選ぶ画面が表示された場合、**設定する**、または **他の道路** にタッチします。

》登録地点（自宅・特別メモリ）から設定する

自宅から設定

- 1 MENU DISP にタッチ。
- 2 ナビ にタッチ。
- 3 自宅 にタッチ。



- ▶ 自宅の位置に目的地が **G** で表示され、ルート探索が開始されます。
- ▶ 目的地が設定されている場合、**新規目的地**、または **追加目的地** が表示されます。



- **新規目的地** ... (→52)
- **追加目的地** ... (→52)

アドバイス

自宅を登録していない場合、**自宅** にタッチするとメッセージが表示されます。

特別メモリから設定

- 1 MENU DISP にタッチ。
- 2 ナビ にタッチ。
- 3 その他▶ にタッチ。



- 4 1～5 にタッチ。



- ▶ 特別メモリ地点の位置に目的地が **G** で表示され、ルート探索が開始されます。
- ▶ 目的地が設定されている場合、**新規目的地**、または **追加目的地** が表示されます。



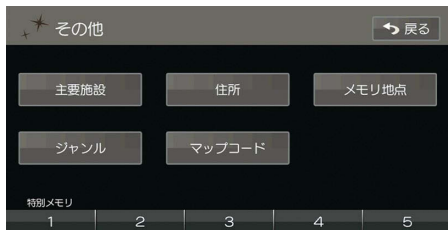
- **新規目的地** ... (→52)
- **追加目的地** ... (→52)

》地図の呼び出し方法から検索する

- 1 **MENU DISP** にタッチ。
- 2 **ナビ** にタッチ。
- 3 地図の呼び出し方法を選び、目的地を設定する地点の地図を表示する。



- **その他** ... サブ画面を表示



- **50音** ... (→55)
- **電話番号** ... (→58)
- **履歴** ... (→60)
- **自宅** ... (→53)
- **主要施設** ... (→60)
- **住所** ... (→61)
- **メモリ地点** ... (→62)
- **ジャンル** ... (→62)
- **マップコード** ... (→63)
- **特別メモリ 1 ~ 5** ... (→53)

- 4 **目的地セット**、**新規目的地**、**追加目的地** のいずれかにタッチ。



目的地が設定されていない場合



目的地が設定されている場合

- **目的地セット** ... (→52)
 - **新規目的地** ... (→52)
 - **追加目的地** ... (→52)
 - ▶ ⊕ の位置に目的地が **G** マークで表示され、ルート検索が開始されます。
 - ▶ 高速道路や橋、トンネルなどの付近では、目的地を設定する道路の種類を選ぶ画面が表示されることがあります。
- 戻る

都市高速道路上に目的地を設定しますか？

設定する 他の道路
- **設定する** ... (→52)
 - **他の道路** ... (→52)
 - ▶ 道路の種類を選ぶ画面が表示された場合、**設定する**、または **他の道路** にタッチします。

》50音から検索する

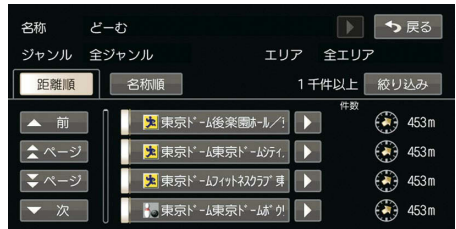
部分的にわかっている施設の名称を入力し、ジャンルや地域、市区町村名などで候補を絞り込んで地図を呼び出すことができます。また、住所の名称を入力すると、その地域の地図を呼び出すことができます。

- 1 施設の名称(または住所)を入力する(→31)。

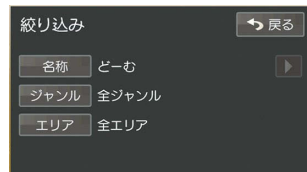


- ▶ 35文字まで入力でき、16文字まで表示されます。
- ▶ 間違えたときは **修正** にタッチすると、1文字ずつ消去されます。
- ▶ 検索先の候補がない文字のタッチスイッチは色がトーンダウンし、タッチしても入力できません。
- ▶ 1文字ずつタッチすることにより、検索される施設名称の件数が表示されます。また、施設名称の件数が4件以下になり、約10秒以上操作しなかった場合、自動で施設名称のリスト画面が表示されます。
- ▶ 複数の条件で検索する場合は、検索ワードの間で **AND** にタッチします。

- 2 施設名称(または住所)にタッチ。



- **戻る** ...入力した画面が表示され、名称を修正することができる
- **名称順** ...施設・店舗の名称、または都道府県名の50音順に並び替え
- **距離順** ...現在地から近い施設の順に並び替え
- ▶ 見つかった地図が表示されます(→64)。
- ▶ 施設が特定できなかった場合、表示された画面で、**OK** にタッチすると、周辺の地図を表示することができます。
- ▶ 施設名称に複数の店舗(チェーン店)がある場合、グループ化されます。施設名称の右側に検索された施設の店舗数が表示されます。
- ▶ 住所を入力した場合、住所にタッチすると、地図が表示されます(→64)。
- ▶ 同じ名称の施設が複数ある場合、**絞り込み** で、施設の絞り込みを行うことができます。



- **名称** ...入力した画面が表示され、名称を修正
- **ジャンル** ...探している施設のジャンルを指定(→60)
- **エリア** ... **周辺指定**、**県別指定** の2タイプから施設のあるエリアを指定(→56)

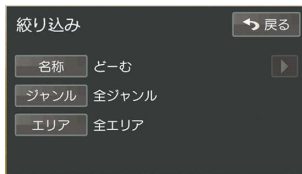
エリアで絞り込む

■周辺から絞り込むとき

1 **絞り込み** にタッチ。



2 **エリア** にタッチ。



3 **周辺指定** にタッチ。

4 地図を呼び出す方法にタッチ。



- **全エリア** ...施設名称のリスト画面 (→55 2) に戻る

目的地周辺 ...目的地を1カ所設定している場合、目的地周辺の地図を表示
目的地を複数設定している場合、目的地のリストが表示されます。

目的地のリストが表示された場合、目的地にタッチします。

現在地周辺 ...現在地周辺の地図を表示

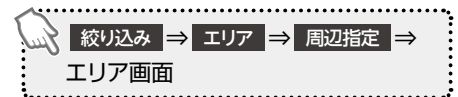
住所指定 ...住所を入力すると、該当する住所周辺の地図を表示

5 **セット** にタッチ。



▶ **↑** にタッチすると、地図を移動することができます。

■住所から絞り込むとき



1 **住所指定** にタッチ。



- **全エリア** ...施設名称のリスト画面 (→55 2) に戻る

2 地名にタッチ。

▶ 都道府県名、市区町村名、町名、丁目（字）の順にタッチします。

3 番地指定 にタッチ。

● ○○**主要部** ... 指定した都道府県（一部市）別施設リスト画面を表示

4 番地を入力して、完了 にタッチ。

▶ 指定した住所別施設リスト画面が表示されます。

■ 都道府県別から絞り込むとき



1 県別指定 にタッチ。

2 都道府県（一部市）名にタッチ。

● **全エリア** ... 施設名称のリスト画面
(→55 2) に戻る

▶ 指定した都道府県（一部市）別施設リスト画面が表示されます。

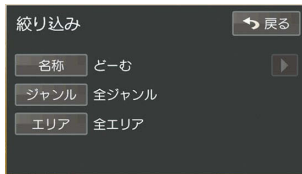
施設ジャンル別で絞り込む

施設のジャンルで絞り込むことができます。



絞り込み ⇒絞り込み画面

1 ジャンル にタッチ。



2 施設のジャンルにタッチ。



● **選択解除** ...選択されているジャンルを右側から順に解除

ジャンル全解除 ...選択されている全てのジャンルを解除

▶5つまで選択することができます。

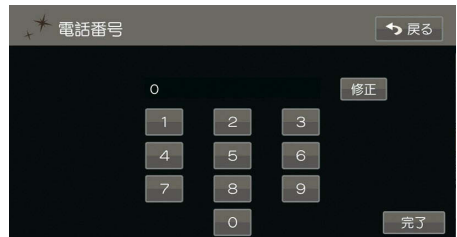
3 **完了** にタッチ。

▶指定したジャンル別施設リスト画面が表示されます。

電話番号から検索する

電話番号を入力すると、登録されている施設の場合は、周辺の地図を、それ以外はその局番を使用している周辺の地図を呼び出すことができます。また、メモリ地点に電話番号を登録している場合(→96)、メモリ地点や特別メモリ地点を呼び出すことができます。

1 電話番号を入力する。



● **修正** ...1文字ずつ消去

▶市外局番から入力します。

▶市内局番までで検索する場合、6桁（一部地域は5桁）入力します。

2 完了 にタッチ。

- ▶ 入力した番号に該当する施設がある場合、その施設付近の地図が表示されます (→64)。
- ▶ 入力した番号に該当する施設がない場合、市内局番まで入力した場合、または入力した番号が個人住宅などの場合、入力した市外、市内局番が使用されている地域の地図が表示されます (→64)。
- ▶ 同じ電話番号で複数の地点がある場合、施設名称を選ぶ画面が表示されます。



- ▶ 施設名称を選ぶ画面が表示された場合、施設名称にタッチします。

アドバイス

- 局番が変更になった場合は検索できません。また、一部地域では検索できないことがあります。検索できない場合、他の方法で地図を呼び出してください。
- 施設により、表示した地点が必ずしも正確な所在地とは限りません。また、次のような場合、一般情報誌などとは異なる検索がされることがあります。
 - ・ デパート内の美術館、アミューズメントパークなどでは、問い合わせ先の場所と所在地が離れていることがあります。このとき、電話番号を入力すると、問い合わせ先の所在地の地図が表示されます。
 - ・ 一般情報誌などではホールなどの電話番号として、管理会社の電話番号を記載していることがあります。この場合、電話番号を入力すると、ホール名ではなく、管理会社名が検索され、その管理会社の所在地周辺の地図が表示されます。
- 地図に隣接する地名が表示されることがあります。
- 収録されていない電話番号（全桁）を入力して表示した地点は、目的地の設定などをした時点で自動で記憶されます。次回、同じ番号を入力すると記憶された地図が表示されます。
- 収録されていない電話番号を入力して表示し、目的地やメモリ地点などに設定した地点は、最大100カ所まで記憶されます。100カ所をこえた場合、古い地点から自動で消去されます。

》目的地履歴から検索する

以前に設定した目的地を100カ所まで自動で記憶し、簡単に同じ地図を呼び出すことができます。

1 履歴にタッチ。



- **前回出発地** ... 前回、ルート案内をした出発地の地図を表示。
▶ 見つかった地図が表示されます (→64)。

アドバイス

- 目的地履歴には、目的地に設定した日付が表示されます。
- 自宅および特別メモリ地点は、目的地履歴に記憶されません。
- 携帯電話で呼び出した地図は、目的地履歴に記憶されないことがあります。また、設定したときの名称と異なる名称が記憶されることがあります。
- 記憶された目的地履歴が100カ所を超えた場合、古いものから自動で消去されます。また、不要な目的地履歴を消去することもできます (→118)。

》主要施設から検索する

様々なジャンルから施設を選択して地図を呼び出すことができます。

1 施設のジャンルにタッチ。



- **その他** ... タッチスイッチ以外のジャンルを表示



- ▶ **他** にタッチした場合、施設のジャンルをタッチします。

2 都道府県名にタッチ。



- **全国** ...全国の施設名称を50音順に表示
- ▶ さらに市区町村名(路線名、販売会社名)が表示されることがあります。この場合、同様に市区町村名(路線名、販売会社名)をタッチします。

3 施設名称にタッチ。



- ▶ 見つかった地図が表示されます (→64)。

アドバイス

施設名称により、登録されていない施設があります。その場合、名称(→55)、住所(→61)、電話番号(→58)、ジャンル(→62)による検索で周辺の地図を呼び出すことができます。

住所から検索する

1 地名にタッチ。



- ▶ 都道府県名、市区町村名、町名、丁目(字)の順にタッチします。

2 番地指定 にタッチ。



- **○○主要部** ...地名の広域図を表示

3 番地を入力する。



- **修正** ...1文字ずつ消去

4 完了 にタッチ。

- ▶ 該当する住所がある場合、その住所付近の地図が表示されます (→64)。
- ▶ 該当する住所がない場合、その丁目 (字) の広域図が表示されます (→65)。

》登録した場所 (メモリ地点) から検索する

メモリ地点をあらかじめいくつか登録しておく (→93)、メモリ地点から地図を呼び出すことができます。

1 メモリ地点にタッチ。



- ▶ 見つかった地図が表示されます (→64)。

》ジャンルから検索する

現在地や目的地 (目的地設定時) 周辺、または指定した住所周辺の施設付近から地図を呼び出すことができます。

1 施設のジャンルにタッチ。



- エリア ...エリアを指定 (→56)

2 詳細な施設のジャンルにタッチ。



- 選択解除 ... (→58)

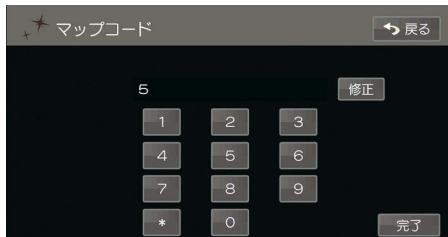
ジャンル全解除 ... (→58)

- ▶ マークが表示されていないジャンルをタッチした場合、さらに詳細な施設のジャンルが表示されます。
- ▶ 5つまで選択することができます。再度、タッチすると、選んだジャンルが解除されます。

》マップコードから検索する

マップコードから地図を呼び出すことができます。

1 マップコードを入力する。



● **修正** ...1文字ずつ消去

2 **完了** にタッチします。

▶ 見つかった地図が表示されます (→64)。

👉 アドバイス

- マップコードとは、日本全国の全ての位置を数字としてコード化し、6～10桁の番号（標準マップコードの場合）でその場所を特定することができるものです。従来は、住所などを使って、場所を特定していましたが、住所では特定できないところ（景勝地や山、川、海など）もマップコードで位置を特定することができます。
- 標準マップコード（6～10桁）のあとに*を入力し、高分解能マップコード（1～2桁）を入力することで、より詳細な位置を特定することができます。
- マップコードについては、次のホームページを参照してください。
<http://www.e-mapcode.com>

- マップコードは、メモリ地点や迂回メモリ地点を登録すると、修正画面に表示することができます (→96)。
- 「マップコード」は、株式会社デンソーの登録商標です。

》呼び出した地図を操作する

呼び出した地図で住所の絞り込みなどを行うことができます。

表示している地図を動かす

1 ↑ にタッチ。




アドバイス

携帯電話で地図を呼び出した場合、**戻る**が表示されません。

施設情報を表示する


チェック

次の方法で地図を検索し、該当する情報がある場合、**情報**が表示されます。また、詳細な情報を表示できる場合、地図に  が表示されます。


- 名称で地図を検索した場合
- 施設で地図を検索した場合
- 電話番号で地図を検索した場合
- ジャンルで地図を検索した場合
- 携帯電話で地図を検索した場合

1 **情報** にタッチ。



▶ 施設の内容が表示されている画面で  をタッチすると、表示されている電話番号に電話をかけることができます。(ハンズフリー接続時のみ)

アドバイス

- 施設により、情報が表示されないことや、一部の情報のみ表示されることがあります。
- 携帯電話から地図を呼び出した場合、情報画面からメモリ地点に登録すると、登録した地点の情報が、情報画面に表示されていた情報と異なることがあります。
- 携帯電話から地図を呼び出した場合、**情報**が表示されないことがあります。また、 が表示されても、情報を表示できないことがあります。

住所一覧から住所を絞り込む

チェック

次の方法で地図を検索した場合、**住所一覧**が表示されます。

- 名称（地名）で地図を検索した場合
- 電話番号で地図を検索した場合

1 **住所一覧** にタッチ。



2 住所にタッチ。



● ○○**主要部** ... タッチした地名の広域図を表示

アドバイス

住所一覧 から番地を入力して検索できない場合、**周辺住所** が表示されます (→65)。

周辺住所から住所を絞り込む

チェック

次の方法で地図を検索した場合、**周辺住所**が表示されます。

- 住所で地図を検索した場合
- 住所一覧** から検索できない場合

1 **周辺住所** にタッチ。



2 住所にタッチ。



▶ リストの最上段の住所が 📍 で表示されます。

目的地までのルートを決める

目的地を設定すると、原則として道幅が5.5m以上の道路を対象に、自動でルート探索が開始されます。ルートが見つかったら、全ルート図が表示されます(→67)。ルートは探索された5つのルートから選ぶ他、条件を指定して、新しくルートを探索することができます(→75)。ルートを決めると、目的地への案内が開始されます(→69)。

アドバイス

- ルート探索中に、他の画面に切り替えても探索は継続されます。
- 目的地や出発地の周辺は、細街路を探索することがあります。
- 道幅が5.5m未満の主要道路でも、ルートを探索することがあります。
- 高速道路や有料道路のインターチェンジやサービスエリア、パーキングエリアなどでルート探索をすると、その周辺の一般道から案内を開始するルートが探索されることがあります。この場合、ルートが再探索されます(→75)。
- 交通規制(一方通行など)により、通行できないルートが探索されることがあります。必ず、実際の交通規制にしたがってください。
- 目的地までの距離が近い場合、ルートを表示することができません。
- 受信したVICS情報などの交通状況を考慮したルートを探索することができます(→289)。


》全ルート図の見方

全ルート図では、現在地から目的地までの到着予想時間や距離などが表示されます。



表示	名称	内容
①	到着予想時刻	最終目的地に到着する予想時刻が表示されます。
	残距離表示	最終目的地までの残りの距離が表示されます。目的地案内開始後にルートからはずれた場合、目的地までの直線距離が表示されます。
②	ICマーク	有料道路を通る場合、入口と出口のインターチェンジに表示されます。
③	有料道路距離	目的地までに走行する有料道路の距離が表示されます。
	有料道路料金	目的地までに走行する有料道路の料金が表示されます。
	全走行距離	最終目的地までの距離が表示されます。
④	インターチェンジ名称	有料道路を通る場合、入口と出口のインターチェンジ名称が表示されます。
⑤	ルート表示	<ul style="list-style-type: none"> ● 目的地までのルートが表示されます。ルートは種類により色が異なります。 ● ピンク色 (スタイリッシュ表示)、または青色 (ノーマル表示) ... 現在地から次の目的地までの道路 ● 赤枠のピンク色 (スタイリッシュ表示)、または青枠の水色 (ノーマル表示) ... 目的地が複数設定されているときの、現在地から次の目的地以外の道路 ● 薄いピンク色 (スタイリッシュ表示)、または薄い青色 (ノーマル表示) ... 細街路 (幅が5.5 m未満の道路)
⑥	ECOマーク	最もガソリン消費量の少ないルートに表示されます。

アドバイス

- 到着予想時刻は平均車速（高速道路80km/h、有料道路60km/h、一般道路30km/h）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- 交通規制（常時進入禁止、時間による進入禁止など）区間を通らないと目的地に行けない場合など、ルート上の規制箇所に  が表示されることがあります。
- 料金は設定した車両情報（→120）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 高速道路上に目的地を設定した場合や、高速道路走行中にルートを変更した場合、料金は案内されません。
- 交通規制（一方通行など）により、通行できないルートが探索されることがあります。必ず、実際の交通規制にしたがってください。
- 目的地案内を開始したあとも、全ルート図を表示させることができます（→82）。
- 季節規制区間を含むルートが探索された場合、メッセージが表示されます。

フェリー航路について



- ▶ フェリーターミナルまで音声案内が行われます。
- ▶ フェリー利用後、しばらく走行すると目的地案内が再開されます。

アドバイス

フェリー航路を使用する全ルート図では、フェリー料金を表示しません（到着予想時刻は、フェリー時間を含んでいます）。

案内を開始する

ルートの探索が終了すると、全ルート図(→67)が表示されます。

1 **案内開始** にタッチ。



▶全ルート図が表示されたあと、**▲** をタッチした場合、または走行して約3秒以上操作しなかった場合、自動で目的地案内が開始されます。

目的地やルートを変更する

目的地やルートの変更方法を説明します。

目的地を変更する

》目的地を追加する

目的地を設定したあと、最大5カ所まで立ち寄り場所や、最後に向かう目的地を追加することができます。

1 にタッチ。

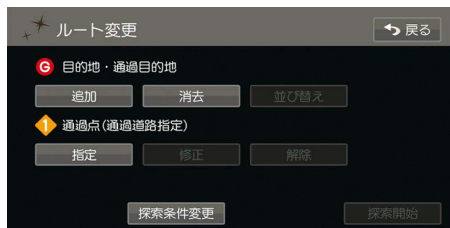
2 **再探索** にタッチ。



3 **ルート変更** にタッチ。



4 **追加** にタッチ。



5 地図の呼び出し方法を選び、目的地を設定する地点の地図を表示する。



● **50音** ... (→55)

主要施設 ... (→60)

住所 ... (→61)

メモリ地点 ... (→62)

履歴 * ... (→60)

電話番号 ... (→58)

ジャンル ... (→62)

マップコード ... (→63)

特別メモリ **1** ~ **5** * (→53)

自宅周辺 * ... 自宅周辺の地図を表示

※ 走行中もトーンアップされます。

6 目的地セット にタッチ。



- ▶ ① の位置に目的地が ② で表示されません。
- ▶ 高速道路や橋、トンネルなどの付近では、目的地を設定する道路の種類を選ぶ画面が表示されることがあります。

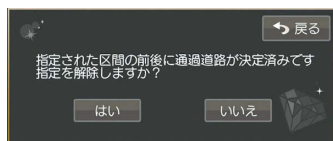


- **設定する** ... (→52)
- **他の道路** ... (→52)
- ▶ 道路の種類を選ぶ画面が表示された場合、**設定する**、または **他の道路** にタッチします。

7 設定する区間の **設定** にタッチ。



- ▶ 通過道路を指定している場合、解除する画面が表示されることがあります。



- **はい** ...通過道路の指定を解除して、目的地を追加
- **いいえ** ...通過道路の指定を解除しないで、目的地を追加
- ▶ 解除する画面が表示された場合、**はい**、または **いいえ** にタッチします。

8 探索開始 にタッチ。

- ▶ さらに目的地を追加する場合、**追加** にタッチして、⑤～⑦を繰り返します。

アドバイス

- 通過道路 (→77) が指定されている場合、目的地を追加すると、指定されている地点により、通過道路の指定が解除されることがあります。
- 目的地の追加は全ルート図 (→67)、または目的地を設定 (→52) するときも操作することができます。

》目的地を消去する

複数設定した目的地の1つを消去することができます。また、全ての目的地を同時に消去することもできます。



1 消去 にタッチ。



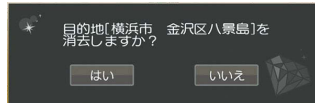
▶ 1カ所のみ設定している場合、**3** の画面が表示されます。

2 目的地名称にタッチ。



● **全消去** ...全ての目的地を選択

3 はい にタッチ。



▶ 全ての目的地を消去した場合、1カ所のみ設定していた場合は、現在地画面が表示されます。

4 探索開始 にタッチ。

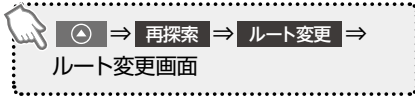
▶ ルート探索が開始されます。

アドバイス

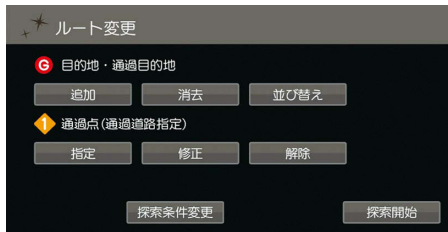
ルート変更 からの消去は、全ルート図からも操作することができます (→82)。

》目的地を並び替える

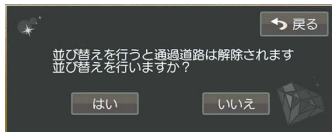
複数設定した目的地を並び替えて再探索することができます。



1 **並び替え** にタッチ。

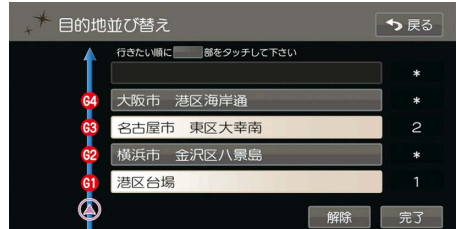


▶ 通過道路を指定している場合、解除して、並び替えをするか確認する画面が表示されます。



- **はい** ...通過道路の指定を解除して、並び替え
- **いいえ** ...並び替えを中止し、もとの画面に戻る
- ▶ 確認する画面が表示された場合、**はい**、または **いいえ** にタッチします。

2 次に行く目的地の順に、目的地名称にタッチ。



- **解除** ...選ばれていた順番を解除
- ▶ タッチした目的地名称の右側に、新しい順番が表示されます。
- ▶ 選ばれている目的地名称にタッチすると、その目的地の順番が解除され、以降の順番が繰り上がります。

3 **完了** にタッチ。

- ▶ 最終目的地の1つ手前の目的地を選択すると、**完了** をタッチしなくても、約3秒後、自動で画面が切り替わります。その後、**4** の操作をします。
- ▶ 全ての目的地名称をタッチしないで、並び替えたい目的地のみをタッチしてから **完了** にタッチした場合、タッチした目的地のみが手前になります。

4 **探索開始** にタッチ。

- ▶ ルート探索が開始されます。

アドバイス

目的地の並び替えは、全ルート図からでも操作することができます (→82)。

ルートを変更する

》5つのルートから選択する

目的地を設定すると推奨ルートが探索され、現在地から目的地までの全ルート図が表示されます。推奨ルート以外に有料道路優先ルート、一般道路優先ルート、距離優先ルート、別ルートの合計5ルートを同時表示して選ぶことができます。探索が終了したルートから順に表示されます。

チェック

全ルート図から操作することができます(→82)。

1 5ルート にタッチ。



▶ 5つのルートが色分けされて表示されます。

2 全行程一覧 にタッチ。



▶ 5つのルートの距離、料金、所要時間が表示されます。

▶ ルート名称にタッチすると、タッチしたルートが表示された全ルート図が表示されます。

3 ルート名称 にタッチ。

探索条件	全行程	有料道路	料金	所要時間
推奨	526 km	524 km	12250 円	6時間 54分
有料優先	519 km	516 km	12250 円	6時間 53分
一般優先	540 km	0 km		16時間 47分
距離優先	506 km	339 km	9350 円	9時間 24分
別ルート	573 km	553 km		7時間 48分

● **推奨** ... 一般的なルート

有料優先 ... 有料道路を優先したルート

一般優先 ... 一般道路を優先したルート

距離優先 ... 走行距離の短いルート

別ルート ... 上記とは別のルート

▶ タッチしたルートが表示された、全ルート図が表示されます。

アドバイス

- 最もガソリン消費量の少ないルートには **E** が表示されます。(→118)
- 料金は設定した車両情報(→120)から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 所要時間は平均車速(高速道路80km/h、有料道路60km/h、一般道路30km/h)から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- 次の場合、5ルートの同時表示はできません。
 - ・目的地を2カ所以上設定している場合
 - ・通過する地点(通過道路)を指定している場合
 - ・目的地案内を開始したあと

条件を変えてルートを探す

ルートの再探索

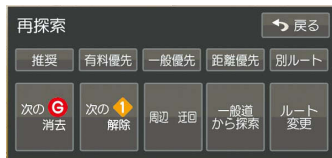
チェック

- 周辺迂回** は、ルート上を走行している場合に表示されます。
- 一般道から探索** や **有料道から探索** は、一般道と有料道路が並行して続くような場所で、ルート上を走行している場合に表示されます(案内できる別のルートがある場合のみ)。

1 再探索 にタッチ。



2 探索する条件にタッチ。



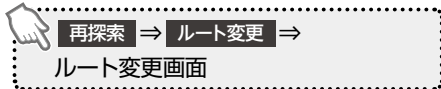
- **推奨** ・ **有料優先** ・ **一般優先** ・ **距離優先** ・ **別ルート** ...各条件でルートを探索(→74)
- **次のG 消去** ...次の目的地を消去してルートを探索
- **次の解除** ...通過道路の指定を解除して、ルートを探索
- **周辺迂回** ...前方の案内ルート周辺を迂回したルートを探索
- **一般道から探索** ・ **有料道から探索** ...タッチした道路を通るルートを探索

アドバイス

- ルートを大きくはずれて走行している場合、目的地やインターチェンジ、通過道路に向かうルートが再探索されます。
- 一般道路と有料道路が並行して続くような場所でルートを探索した場合、走行しているルートを間違えることがあります。その場合、**一般道から探索**、または **有料道から探索** にタッチして、正しいルートに修正します。
- 道路の形状により、再探索されない場合や同じルートが再探索される場合があります。

探索条件の変更

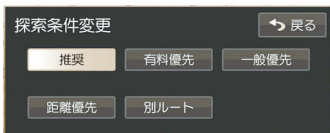
探索条件を変更して、再探索することができます。



1 「探索条件変更」にタッチ。



2 探索条件(ルート名称)にタッチ。



- **推奨** ・ **有料優先** ・ **一般優先** ・ **距離優先** ・ **別ルート** ...各条件でルートを探索 (→74)

3 「探索開始」にタッチ。

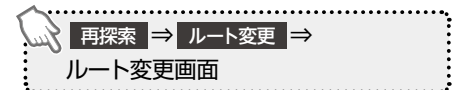
- ▶ ルート探索が開始されます。

アドバイス
探索条件の変更は、全ルート図からでも操作することができます (→82)。

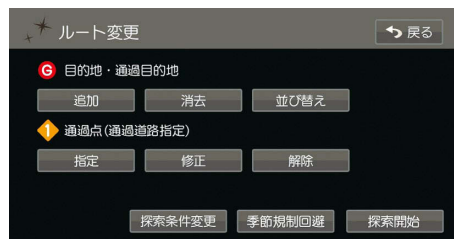
季節規制区間を回避する

長期間に亘り規制される区間(冬期通行止めになる道路など)を含むルートが探索された場合、全ルート図にメッセージが表示されます。

チェック
季節規制回避 (または **季節規制通過**) は、季節規制区間を通るルートが探索された場合、表示されます。



1 「季節規制回避」にタッチ。



- ▶ ルート探索が開始されます。
- ▶ 再度、季節規制区間を通るルートを探索する場合、**季節規制通過** にタッチします。

アドバイス
● 規制区間を通らないと目的地などに行けない場合など、**季節規制回避** にタッチしても、規制区間を利用するルートが探索されることがあります。
● 季節規制区間の回避は、全ルート図からでも操作することができます (→82)。

》通過する道路を指定・変更する

通過道路を指定する

■全ルート図から指定する

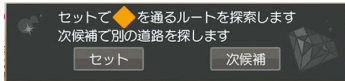
全ルート図から操作することができます(→82)。

1 全ルート図表示画面で、地図にタッチ。

2 通過道路指定 にタッチ。



3 セット、または 次候補 にタッチ。



- ▶ 通過道路が ◆ で指定されます。
- ▶ 目的地を1カ所のみ設定していて、通過道路を指定していなかった場合、ルートが探索され、全ルート図になります。
- ▶ 目的地を2カ所以上設定している場合や、通過道路を指定している場合、指定する区間を設定する画面が表示されます。



- ▶ 指定する区間を設定する画面が表示された場合、指定する区間の **設定** にタッチします。
- ▶ ルートが探索され、全ルート図が表示されます。

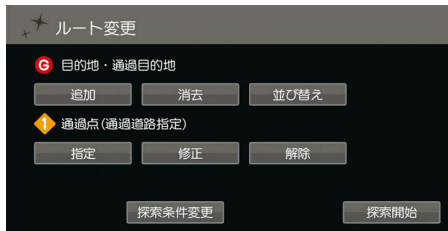
アドバイス

- 最大2カ所まで指定することができます。
- 表示されている地図に道路情報が少ない場合、**次候補** にタッチしても、道路が選択できないことがあります。

■ルート変更から指定する



1 **指定** にタッチ。

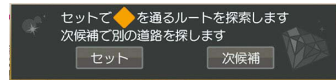


2 通過道路を指定する位置に地図をスクロールする。



3 **通過道路セット** にタッチ。

4 **セット**、または **次候補** にタッチ。



- ▶ 通過道路が◆で指定されます。
- ▶ 目的地を1カ所のみ設定していて、通過道路を指定していなかった場合、5の操作をします。
- ▶ 目的地を2カ所以上設定している場合や、通過道路を指定している場合、指定する区間を設定する画面が表示されます。



- ▶ 指定する区間の **設定** にタッチします。

5 **探索開始** にタッチ。

- ▶ ルート探索が開始されます。

アドバイス

- 表示している地図に道路情報が少ない場合、**次候補** にタッチしても、道路が選択できないことがあります。
- **ルート変更** からの指定は、全ルート図からも操作することができます (→82)。

指定した通過道路を修正する

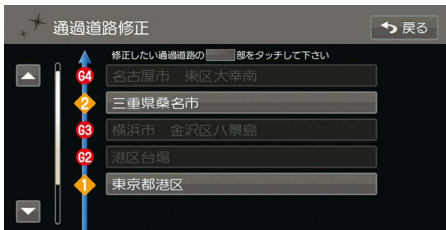


1 **修正** にタッチ。



▶ 1カ所のみ設定していた場合、3の画面が表示されます。

2 道路名称などにタッチ。



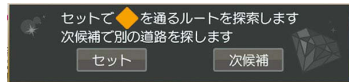
3 通過道路を修正する位置に地図をスクロールする。



▶ 近接した道路を選択する場合、地図は動かしません。

4 **通過道路セット** にタッチ。

5 **セット**、または **次候補** にタッチ。



▶ 通過道路が◇で指定されます。

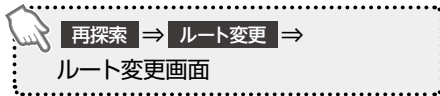
6 **探索開始** にタッチ。

▶ ルート探索が開始されます。

アドバイス

- 表示している地図に道路情報が少ない場合、**次候補** にタッチしても、道路が選択できないことがあります。
- 指定した通過道路の修正は全ルート図からも操作することができます (→82)。

通過道路指定を解除する

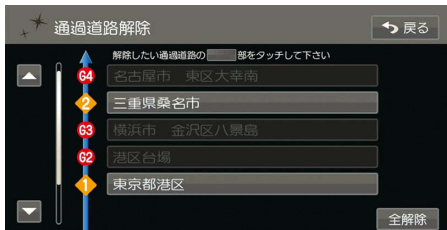


1 **解除** にタッチ。



▶ 1カ所のみ設定していた場合、**3** の画面が表示されます。

2 道路名称などにタッチ。



● **全解除** ...全ての通過道路を選択

3 **はい** にタッチ。



4 **探索開始** にタッチ。

▶ ルート探索が開始されます。

アドバイス

通過道路の解除は、全ルート図 (→82) から操作することができます。

ルートを確認する

》デモ走行で確認する

ルート探索終了後、目的地案内を開始する前に、目的地案内のデモ走行を見ることができます。

デモ機能で確認する

チェック

デモ走行機能は、目的地設定後のルート探索終了時（案内開始前）に表示される全ルート図から操作することができます。

- 1 全ルート図表示画面で、**案内開始** に約3秒以上タッチ。



- ▶ デモ走行が始まります。



- ▶ 縮尺を広域にした場合、デモ走行の速度が速くなります。
- ▶ 縮尺を詳細にした場合、デモ走行の速度が遅くなります。
- ▶ **⏪** をタッチすると、デモ走行が終了します。
- ▶ 走行した場合、デモが終了し、目的地案内が開始されます。

》目的地までのルートを再表示する

出発地から目的地までの全ルート図を再度表示することができます。

1 **表示変更** にタッチ。



2 **全ルート** にタッチ。



- ▶ 全ルート図では、目的地設定時と同じ操作をすることができます (→67)。
- ▶ 全ルート図を表示したあと、**案内に戻る** にタッチすると、現在地画面が表示されます。

アドバイス

- 再表示された全ルート図には、残り料金、全料金が表示されます。
- 設定しているルートにより、ルート全体を表示できないことがあります。

目的地案内について

案内中の画面表示や音声案内について説明します。

案内方法について

目的地へは、状況に応じて案内図や拡大図などを表示して案内させることができます。

》案内画面の見方

目的地案内中は、通常の現在地画面にルートや到着予想時刻が表示されます。



表示	名称	内容
①	レーン（車線）表示	通過、分岐する交差点の車線が表示されます。
②	到着予想時刻*	目的地へ到着する予想時刻が表示されます。
	残距離表示	現在地から目的地までの距離が表示されます。ルートからはずれた場合、目的地までの直線距離が表示されます。
③	ルート表示	目的地までのルートが表示されます。
④	案内ポイント	交差点案内が表示される地点です。マークごとに案内方法が異なります。
		● (赤) ... 交差点拡大図が表示されます。
		● (白) ... 信号機がある交差点名称、レーンが表示されます。 ● (灰) ... レーンが表示されます。
⑤	道路名称 交差点名称	走行中の道路名称、または通過、分岐する交差点の名称が表示されます。
⑥	エコ運転評価マーク	急加速、急減速の少ない運転をエコ運転と判断し、4段階で表示します。(→119)

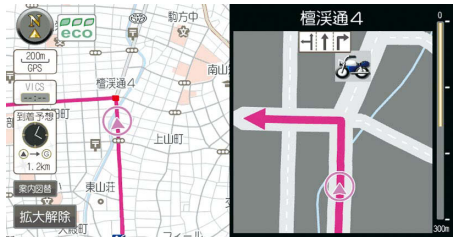
※到着予想時刻は平均車速（高速道路80km/h、有料道路60km/h、一般道路30km/h）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。

》拡大図を表示する

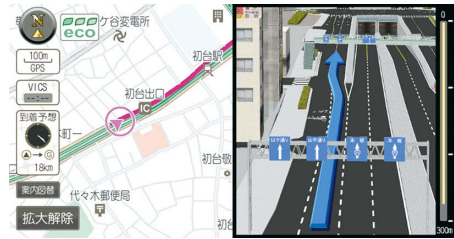
拡大図について

案内するポイントに近づくと、状況に合わせて様々な拡大図を表示することができます。

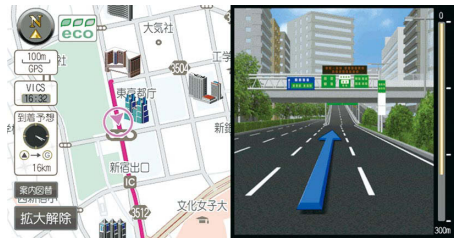
拡大図	内容
交差点拡大図	分岐する交差点が拡大表示されます。
3Dイラスト拡大図	都市高速のインターチェンジ (IC) の入口などが立体的に表示されます。
立体交差点拡大図	一般道の立体交差点が立体的に表示されます。
難交差点拡大図	複雑な形状の交差点が立体的に表示されます。
高速分岐モード図	高速道路の分岐点が立体的に表示されます。
レーンリスト図	分岐する交差点の手前で、走行する交差点の名称と車線のリストが表示されます。
ターンリスト図	分岐する交差点・インターチェンジ (IC)・ジャンクション (JCT) などの名称、案内方向、距離、路線名、路線番号が表示されます。



[交差点拡大図]



[難交差点拡大図]



[3Dイラスト拡大図]



[高速分岐モード図]



[立体交差点拡大図]



[レーンリスト図]



[ターンリスト図]

拡大図を表示する

チェック

- 交差点拡大図は分岐する交差点から300m以内に近づいた場合、表示することができます。
- 高速分岐モード図は高速道路の分岐点から1km以内に近づいた場合、表示することができます。
- レーンリスト図は分岐する交差点から700m以内に近づいた場合、表示することができます。
- 一般道路走行中は、ターンリスト図を表示させていても交差点の約700m手前ではレーンリスト図が、交差点の約300m手前では交差点拡大図が自動的に表示されます。

1 ▲ にタッチ。

- ▶ 表示したあと、**拡大解除** にタッチすると、拡大図が解除されます。
- ▶ 複数の案内図を表示できる場合は、**案内図替** にタッチするとお好みの案内図を選択することができます。

アドバイス

- 案内地点から遠い場合、タッチスイッチが表示されません。
- 交差点拡大図、3Dイラスト拡大図、立体交差点拡大図、難交差点拡大図、高速分岐モード図、レーンリスト図は、拡大図・案内図自動表示が“する”の場合、自動で表示されます (→117)。
- ターンリスト図は、ターンリスト自動表示が“する”の場合、自動で表示されます (→117)。

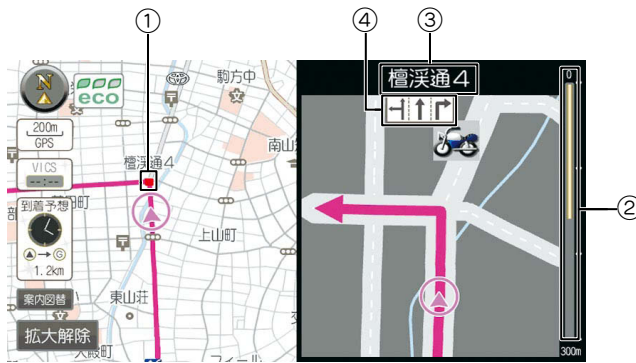
交差点拡大図について

交差点に近づくと、走行を推奨するレーンや交差点の名称などを表示することができます。案内方法は、分岐の有無により異なります。

👉 アドバイス

目的地案内の開始直後や目的地周辺では、交差点案内はされないことがあります。

■ 交差点拡大図の見方



表示	名称	内容
①	案内ポイント	交差点案内が表示される地点です。マークごとに、案内方法が異なります。 <ul style="list-style-type: none"> ● (赤) ... 交差点拡大図が表示されます。 ● (赤) ... 信号機がある交差点名称、レーンが表示されます。 ● (灰) ... レーンが表示されます。
②	残距離表示	交差点までの距離が表示されます。
③	交差点名称	通過、分岐する交差点の名称が表示されます。
④	レーン (車線) 表示	通過、分岐する交差点の車線が表示されます。

ナビゲーション 目的地案内について

高速分岐模式図について

高速道路の分岐点（インターチェンジやジャンクションなど）に近づくと、走行する車線や分岐点の名称などを表示することができます。

アドバイス

- 次の分岐点に近い場合、続けて高速分岐模式図が表示されます。
- 目的地案内開始直後、または目的地周辺では、高速分岐模式図が表示されないことがあります。

■高速分岐模式図の見方



表示	名称	内容
①	残距離表示	分岐点までの距離が表示されます。
②	分岐点および方面名称	インターチェンジ、ジャンクション、サービスエリア、パーキングエリアおよび方面の名称が表示されます。

アドバイス

高速分岐模式図が表示されても、分岐点および方面名称が表示されないことがあります。

レーンリスト図について

分岐する交差点に近づくると、車線情報のリストを表示することができます。

アドバイス

レーンリスト図表示中も、案内ポイントに近づくると交差点拡大図が表示されます（→84）。

■レーンリスト図の見方



表示	名称	内容
①	案内ポイント	車線情報を表示している交差点に表示されます。地図上の案内ポイントとレーンリストの案内ポイントは同じ色で表示されます。 ● (赤) ... 交差点拡大図が表示されます。 ● (緑色、桃色、橙色) ... 車線情報が表示されます。
②	交差点名称	車線情報を表示している交差点の名称が表示されます。
③	レーン（車線）表示	通過する交差点の車線情報が表示されます。

ターンリスト図について

分岐する交差点・インターチェンジ・ジャンクションなどの名称、案内方向、距離、路線名、路線番号を表示することができます。

アドバイス

ターンリスト図表示中も、案内ポイントに近づくと交差点拡大図(→86)、レーンリスト図(→88)が表示されます。

■ターンリスト図の見方



表示	名称	内容
①	案内ポイント	分岐する交差点・インターチェンジ・ジャンクション名称が表示されます。現在地から次に分岐する交差点・インターチェンジ・ジャンクションまでは、現在走行中の路線名が表示されます。
②	距離、路線番号表示	案内ポイント区間の距離、案内ポイント通過後の路線番号が表示されます。
③	案内方向	案内ポイントでの案内する方向が表示されます。

アドバイス

地図データに情報のない交差点・インターチェンジ・ジャンクション名称、路線名、路線番号は表示されません。

音声で案内させる

目的地案内中は、交差点、分岐点、通過点、インターチェンジ (IC)、サービスエリア (SA)、パーキングエリア (PA) の入口、出口、ジャンクション (JCT)、目的地に近づくと、自動で残りの道のりと曲がる方向を8方向 (右、左、ナナメ右、ナナメ左、右手前、左手前、戻る、直進) 音声で案内させることができます。音声案内はPCM音声 (肉声) で案内します。

1  にタッチ。

アドバイス

音声案内は目的地周辺までの案内をしますが、実際の道路状況および交通規制にしたがって走行してください。

》目的地案内中の音声案内の例

【一般道音声機能】

交差点などで交差点名や残りの距離、方向などを案内します。

また、分岐点の直前でチャイム「ポンポン」が鳴ります。(ジャスト案内)

- ▶ およそ700m先、○○を右方向です。
- ▶ まもなく右方向です。

【高速分岐音声案内】

高速道路のルート走行中は、分岐点で拡大表示を行い、音声で進行方向が案内されます。

- ▶ およそ○○km先、○○方向、○○方面です。

【目的地に到着したときの音声案内の例】

- ▶ 目的地周辺です。この先注意して走行してください。

到着予想時刻と残り距離を表示する

目的地案内中の現在地画面 (現在地がルート上にあるとき) で、目的地が2カ所以上設定されている場合、目的地までの残り距離と到着予想時刻を切り替えることができます。

1 到着予想時刻/残り距離表示にタッチ。



- ▶ 目的地が2カ所の場合、タッチするごとに、到着予想時刻/残り距離表示の目的地が切り替わります。
- ▶ ルートからはずれた場合、目的地の直線距離が表示されます。

- 2 現在地画面に表示させたい目的地までの到着予想時刻／残り距離表示にタッチ。



◀ ...もとに戻す

👉 アドバイス

状況により目的地までの残り距離表示は、次のように異なります。

- ・ 現在地がルート上にある場合...表示されているルートを通っての距離
- ・ ルートからはずれた場合...直線距離

案内ルートからはずれたときは

ルートからはずれた場合、自動的に再探索（周辺探索、または全ルート探索）させることができます。

再探索されるルートは、ルートからはずれたときの状況により次のように異なります。

- ・ 周辺探索...もとのルートへ復帰するルートが探索されます。
- ・ 全ルート探索...現在地から目的地の間で、選ばれている条件でルートが探索されます。現在地と次の目的地の間に通過道路が指定されている場合、現在地から指定している通過道路の間で、ルートが探索されます。

案内中にルートを変更する

ルート案内中も条件を変更してルートを探したり、目的地を追加したりすることができません（→74）。

案内を中止・再開する

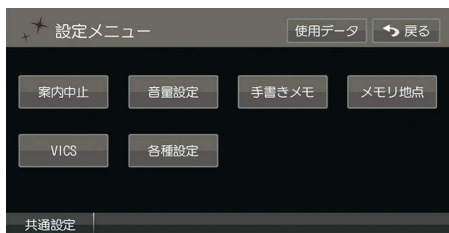
1 MENU DISP にタッチ。

2 ナビ にタッチ。

3 設定 にタッチ。



4 案内中止 にタッチ。



● 案内再開 ...目的の案内を再開

👉 アドバイス

目的の案内を中止しても、目的地は消去されません。

場所を登録する

よく行く場所や覚えておきたい場所を登録することができます。

覚えておきたい場所を500カ所（自宅1カ所、特別メモリ地点5カ所を含む）まで登録することができます。登録した場所の地図は簡単に表示することができます。

登録した場所は名称や電話番号を入力できる他、通りたくない場所を10カ所まで登録することもできます。

登録する

覚えておきたい場所を登録する

表示している場所を登録する

表示している地図をワンタッチで登録することができます。

1 地点登録 にタッチ。



2 メモリ地点 にタッチ。



- ▶ 、または の位置にメモリ地点が で表示されます。
- ▶ 現在地以外を登録する場合、地図を動かします。

離れた場所を登録する

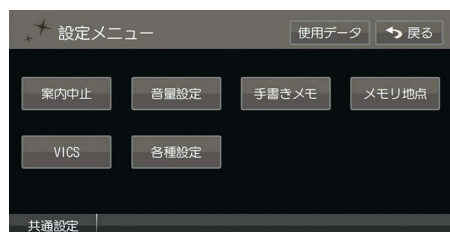
1 MENU DISP にタッチ。

2 ナビ にタッチ。

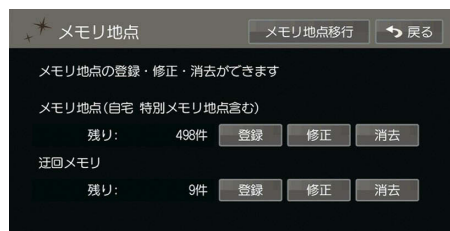
3 設定 にタッチ。



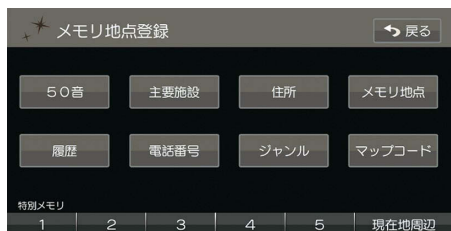
4 メモリ地点 にタッチ。



5 登録 (メモリ地点) にタッチ。



6 登録する場所の地図を表示する。

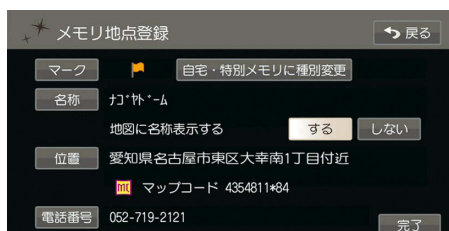


- **50音** ... (→55)
- 主要施設** ... (→60)
- 住所** ... (→61)
- メモリ地点** ... (→62)
- 履歴** ... (→60)
- 電話番号** ... (→58)
- ジャンル** ... (→62)
- マップコード** ... (→63)
- 特別メモリ **1** ~ **5** ... (→53)
- 現在地周辺** ... 現在地周辺の地図を表示

7 セット にタッチ。

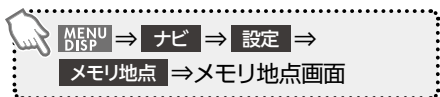


8 完了 にタッチ。

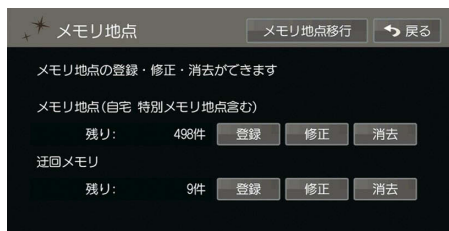


▶登録するマークや名称などは変更することができません (→96)。

》通りたくない場所 (迂回メモリ地点) を登録する

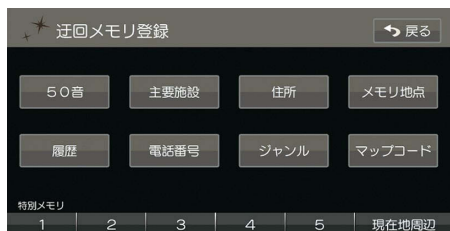


1 登録 (迂回メモリ) にタッチ。



ナビゲーション場所を登録する

2 登録する場所の地図を表示する。

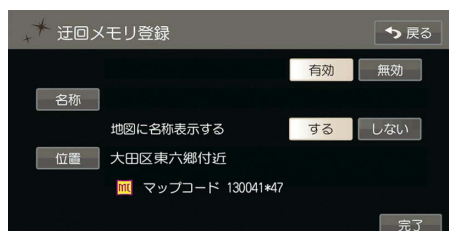


- **50音** ... (→55)
- **主要施設** ... (→60)
- **住所** ... (→61)
- **メモリ地点** ... (→62)
- **履歴** ... (→60)
- **電話番号** ... (→58)
- **ジャンル** ... (→62)
- **マップコード** ... (→63)
- **特別メモリ 1 ~ 5** ... (→53)
- **現在地周辺** ... 現在地周辺の地図を表示

3 セット にタッチ。




4 完了 にタッチ。



- ▶ **無効** にタッチすると、巡回メモリ地点を登録しても、巡回するルートを探させなくすることができ、**有効** にタッチすると、巡回するルートを探させることができます。

アドバイス

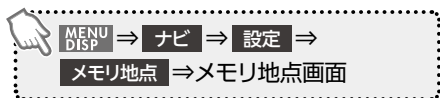
- 登録した巡回メモリ地点は、付近の住所およびマップコードが表示されます。
- 目的地などを設定した位置および現在の地の位置などにより、巡回しないことがあります。
- 登録する場所、地図の呼び出し方法により、名称が同時に入力されることがあります。
- 表示される巡回メモリ地点の住所は、登録の方法により異なります。
- 高速道路（都市高速、有料道路を含む）およびフェリー航路は、巡回地点に設定しても巡回させることができません。巡回したい場合、巡回地点（)を地図上に設定します。

登録した場所を修正する

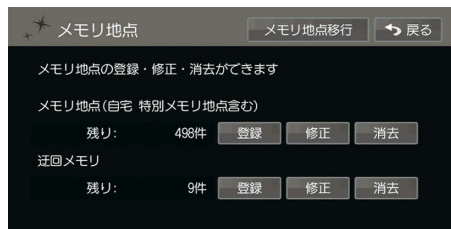
登録したメモリ地点や迂回メモリ地点の名称やマークなどを変更することができます。

》設定メニューから修正する

メモリ地点や迂回メモリ地点を修正することができます。



- 1 **修正** (メモリ地点/迂回メモリ地点)にタッチ。



- 2 **メモリ地点/迂回メモリ地点**にタッチ。



- **種類別** ... 自宅、特別メモリ地点、メモリ地点の順に並び替え
- **マーク** ... マークの種類別に並び替え
- **登録順** ... メモリ地点の登録順に並び替え

- 3 **修正、入力する項目**をタッチ。



[メモリ地点修正画面]



[迂回メモリ修正画面]

- **マーク** ... (→98)
- **自宅・特別メモリに種別変更** ... 自宅や特別メモリ地点として設定 (→97)
- **自宅・特別メモリの種別解除** ... 自宅や特別メモリ地点を通常のメモリ地点として設定 (→98)
- **名称** ... (→99)
- **する / しない** ... 地図への名称表示を設定
- **位置** ... (→99)
- **電話番号** ... (→100)
- **有効 / 無効** ... ルート探索のとき、迂回メモリ地点を考慮するかを設定

- 4 **完了** にタッチ。

》地図画面から修正する

地図画面からはメモリ地点のみ修正することができます。迂回メモリ地点は設定メニューから修正します(→96)。

1 地図上のメモリ地点にタッチ。

2 **情報** にタッチ。

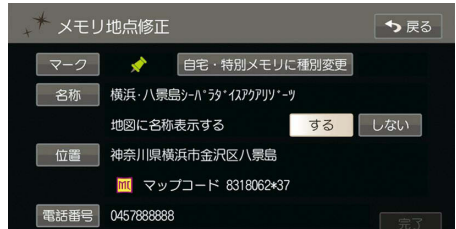


3 **修正** にタッチ。



- **目的地セット** (**新規目的地**、**追加目的地**) ...目的地に設定(→52)
📞 ...表示されている電話番号に電話をかけることができる(ハンズフリー接続時のみ)

4 修正、入力する項目をタッチ。



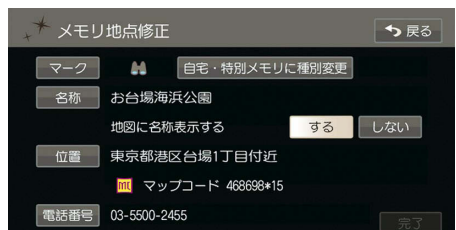
5 **完了** にタッチ。

》各項目を修正する

メモリ地点の種別(自宅、特別メモリ)を変更する

メモリ地点を自宅や特別メモリ地点として登録することができます。登録した地点は、目的地などを設定するときに簡単に呼び出すことができます。

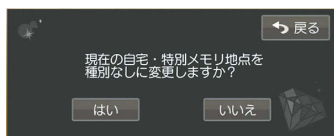
1 メモリ地点修正画面で、**自宅・特別メモリに種別変更** にタッチ。



- 2 自宅、または特別メモリ1～5のいずれかにタッチ。



- ▶すでに自宅、または特別メモリ地点を登録している場合、メッセージが表示されます。



- ▶メッセージが表示された場合、**はい**、または**いいえ**にタッチします。

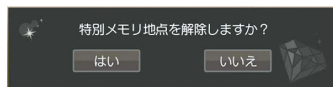
自宅、特別メモリ地点を解除する

自宅や特別メモリ地点を、メモリ地点に戻すことができます。

- 1 メモリ地点修正画面で、**自宅・特別メモリの種別解除**にタッチ。



- 2 **はい**にタッチ。



メモリ地点のマークを変更する

地図に表示するマークを選ぶことができます。

- 1 **マーク**にタッチ。



- 2 マークにタッチ。



- **マーク1**、**マーク2**、**マーク3** ... マークの表示を切り替え
- **マーク無し** ... 登録したメモリ地点のマークを地図に表示しない

メモリ地点の名称を入力する

① **名称** にタッチ。



② メモリ地点の名称を入力する(→31)。



- ▶ 35文字まで入力することができます。
- ▶ 未確定状態で24文字まで入力することができます。24文字を超えた場合、「入力文字数が一杯です」のメッセージが表示されます。

👉 アドバイス

- 登録した地点により、メモリ地点の名称が入力されていることがあります。
- 地図に表示できる文字数は、最大15文字(半角30文字)までです。

位置を修正する


① **位置** にタッチ。



② **位置** にタッチして、修正する位置に地図を動かす。



③ **セット** にタッチ。

- ▶  の位置にメモリ地点が、①で表示されているマークで表示されます。
- ▶ 位置を修正した場合、①で表示されている住所とマップコードも修正されます。

電話番号を入力する

- 1 **電話番号** にタッチ。



- 2 電話番号を入力する。



- **修正** ...1文字ずつ消去
▶ 市外局番から入力します。

- 3 **完了** にタッチ。

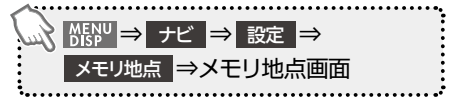
アドバイス

- メモリ地点に電話番号を入力した場合、そのメモリ地点は、電話番号で地図を呼び出すことができます (→58)。
- 登録した地点により、電話番号が入力されていることがあります。

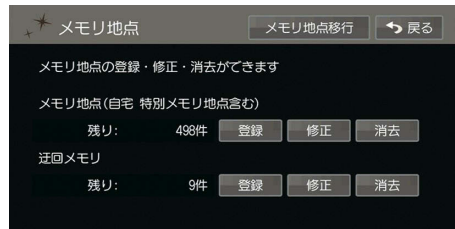
登録した場所を消去する

》設定メニューから消去する

メモリ地点および迂回メモリ地点を消去することができます。



- 1 **消去** (メモリ地点/迂回メモリ地点) にタッチ。

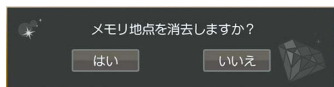


- 2 メモリ地点/迂回メモリ地点にタッチ。



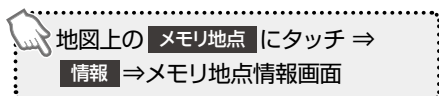
- **全消去** ...全ての地点を選択

3 はい にタッチ。

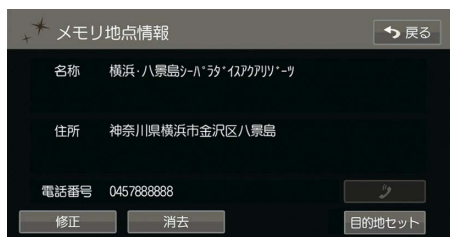


》地図画面から消去する

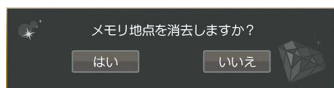
地図画面からはメモリ地点のみ消去することができます。迂回メモリ地点は設定メニューから消去します (→100)。



1 消去 にタッチ。



2 はい にタッチ。



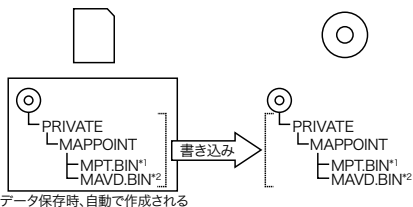
登録した場所のデータを移す

メモリ地点データ移行機能を使うと、メモリ地点のデータを他のトヨタ純正ナビゲーションシステム (2006年以降発売のモデル) に移し替えることができます。詳しくは、販売店にご相談ください。

- ▶メモリ地点のデータ移行操作時は、他の操作をすることができません。
- ▶パソコンを使って、保存したメモリ地点データをCD-R/RWに書き込む場合、下記のようにデータ保存時、自動で作成された状態のまま書き込みを行ってください。

■SDメモリーカード

■CD-R/RW



- *1 メモリ地点のデータ
- *2 迂回メモリ地点のデータ

》SDメモリーカードについて

次のSDメモリーカードを使用することができます。

種類	
容量	8MB～2GB (SDメモリーカード) 4GB～32GB (SDHCメモリーカード)

アドバイス

SDロゴ、SDHCロゴは商標です。

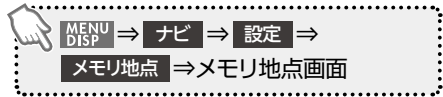
》データを保存する

登録されているメモリ地点、迂回メモリ地点のデータをSDメモリーカードに保存することができます。

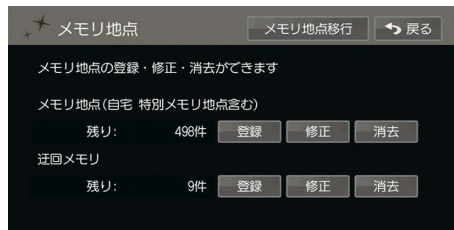
保存されるメモリ地点は最大500カ所（自宅1カ所、特別メモリ地点5カ所を含む）、迂回メモリ地点は最大10カ所です。

チェック

- メモリ地点を保存する前に、パスワードを設定してください（→103）。
- メモリ地点を保存するときを使用したパスワードは、SDメモリーカードからメモリ地点を読み込むときに必要です。設定したパスワードは忘れないよう控えておいてください。
- メモリ地点をSDメモリーカードに保存すると、本機に登録しているメモリ地点は全て消去されます。また、パスワードも初期化されます。
- すでにメモリ地点のデータを保存しているSDメモリーカードを使用した場合、上書き保存となり、保存していたデータは消去されます。消去したデータは補償できませんので注意して保存してください。
- SDメモリーカードにデータを保存中はエンジンスイッチをOFF（LOCK）にしないでください。データが破損する恐れがあります。



- 1 **メモリ地点移行** にタッチ。



- 2 SDメモリーカードを、ユーザー用SDメモリーカード差し込み口に差し込む（→28）。

- 3 **保存**（SDカード）にタッチ。



- 4 パスワードを入力する。



- **修正** ...1文字ずつ消去

5 入力完了 にタッチ。

▶ 入力完了後、SDメモリーカードにメモリ地点ファイルがすでにある場合、「上書きしてもよろしいですか?」とメッセージが表示されます。**はい**、または **いいえ** にタッチしてください。

アドバイス

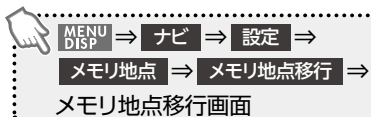
- 登録している全てのメモリ地点が保存されます。
- 車両のエンジンスイッチをOFF (LOCK)にするなどして保存、読み込みが中断した場合、再度操作します。
- SDメモリーカード、SDHCメモリーカードのフォーマット（初期化）は、次のソフトを使用してフォーマットします。次のソフトでフォーマットしていないSDメモリーカード、SDHCメモリーカードで、SD規格に準拠していない場合、本機で使用できないことがあります。
 - ・ Panasonic SD-Jukebox V5以降
 - ・ Panasonic SDメモリーカードフォーマットソフトウェアV2.0
- メモリ地点移行画面（3）の画面）でパネルスイッチをタッチしても、操作することができません。**戻る** にタッチして、メモリ地点画面から操作します。

パスワードを設定する

データの読み込みで使用するパスワードを設定すると、メモリ地点のデータを保存することができます。

チェック

- 設定したパスワードは忘れないよう控えておいてください。
- 万一パスワードを忘れた場合、パスワードの初期化が必要です。初期化すると、本機に登録しているメモリ地点も消去されますのでご注意ください。



1 設定 (パスワード)にタッチ。



2 パスワードを入力する。



- **修正** ...1文字ずつ消去
- ▶ 0000～9999までの数字4桁を入力します。
- ▶ すでにパスワードが設定されている場合、既存のパスワードを入力後、新しいパスワードを入力します。

3 **入力完了** にタッチ。

4 もう一度パスワードを入力する。

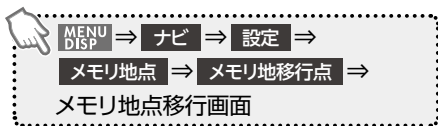
5 **入力完了** にタッチ。

》SDメモリーカードを初期化する

SDメモリーカードに保存したメモリ地点や迂回メモリ地点のデータを初期化することができます。

🔍 チェック

SDメモリーカードの誤消去防止スイッチがLOCKの状態になっている場合、誤消去防止スイッチのLOCKを解除してから操作します。

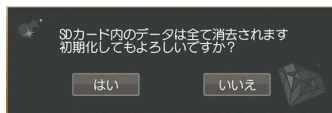


1 SDメモリーカードを、ユーザー用SDメモリーカード差し込み口に差し込む (→28)。

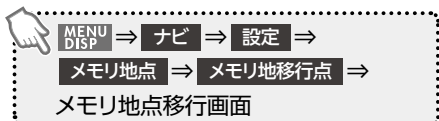
2 初期化(SDカード)にタッチ。



3 **はい** にタッチ。



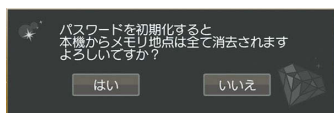
》パスワードを初期化する



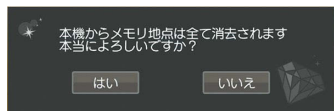
1 **初期化** (パスワード)にタッチ。



2 **はい** にタッチ。



3 **はい** にタッチ。



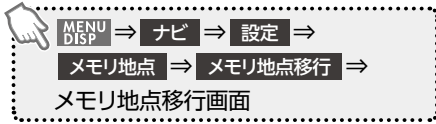
》登録した場所のデータを本機に移す

SDメモリーカードに保存したメモリ地点や迂回メモリ地点のデータを本機に移すことができます。

本機で読み込み可能なメモリ地点は最大500カ所（自宅1カ所、特別メモリ地点5カ所を含む）、迂回メモリ地点は最大10カ所です。

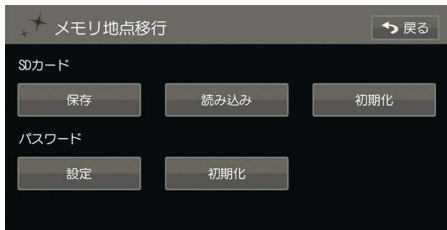
チェック

- メモリ地点を移すには、保存するときに入力したパスワードが必要です。
- メモリ地点を移すと、本機に登録しているメモリ地点のデータは全て消去され、SDメモリーカードに保存したメモリ地点、迂回メモリ地点のデータに置き換えられます。
- SDメモリーカードからメモリ地点を移すと、SDメモリーカードに保存していたメモリ地点のデータは全て消去されます。
- SDメモリーカードの誤消去防止スイッチがLOCKの状態になっている場合、誤消去防止スイッチのLOCKを解除してから操作します。



1 メモリ地点移行画面で、SDメモリーカードをユーザー用SDメモリーカード差し込み口に差し込む(→28)。

2 **読み込み** (SDカード)にタッチ。



3 保存したときに使用したパスワードを入力する。



● **修正** ...1文字ずつ消去

4 **入力完了** にタッチ。

▶ 入力完了後、本機にメモリ地点ファイルがすでにある場合、「本機からメモリ地点は全て消去されSDメモリーカード内のデータに置き換えられます。読み込み後にSDメモリーカードからメモリ地点は全て消去されます。よろしいですか?」とメッセージが表示されます。**はい**、または**いいえ** にタッチしてください。

5 **確認** にタッチ。

アドバイス

データを移す機器により、保存できるメモリ地点の件数は異なります。詳しくは、データを移す機器の取扱説明書を参照してください。


VICS 情報を利用する

VICS 情報センターからの交通情報を利用してナビゲーションをより活用することができます。

VICS とは

道路交通情報通信システム (VICS : Vehicle Information and Communication System) は渋滞や事故、工事、所要時間、駐車場の道路交通情報をリアルタイムに送信し、地図画面等に表示するシステムです。また、道路交通情報の提供をとおして、安全性の向上、交通の円滑による環境の保全等を促進することを目的としています。

VICS リンクデータベースの著作権は一般財団法人日本デジタル道路地図協会、公益財団法人日本交通管理技術協会が有しています。

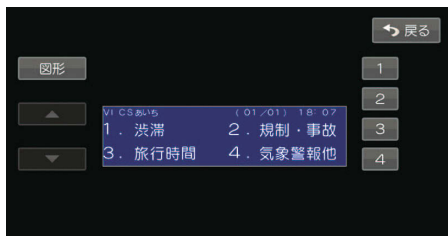
VICS および本機に付与された  VICS のマーク・ロゴタイプは一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

VICS 情報提供内容と表示について

- ▶ VICS 情報は文字情報表示、簡易図形情報表示、または地図情報表示から渋滞・交通規制等を表示します。
- ▶ VICS 情報は、FM 多重放送局から送信された情報の提供時刻が表示されます。

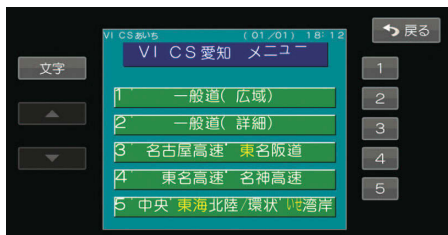
》VICS 文字情報 (レベル1)

- ▶ 文字情報表示画面



》VICS 図形情報 (レベル2)

- ▶ 簡易図形情報表示画面



》VICs地図情報（レベル3）

▶ 地図情報表示画面



アドバイス

- 情報が受信できない場合など、VICs情報が表示できないことがあります。
- 情報提供エリアの違いなどによって情報内容が異なります。

》VICs情報の表示




地図にVICs情報（渋滞・規制情報、VICsマーク）を表示させることができます。

タイムスタンプについて

VICs情報を受信すると、タイムスタンプに提供された時刻が表示されます。

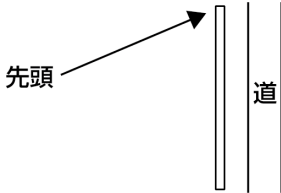


タイムスタンプ

- ▶ タイムスタンプは、受信状況や受信した情報により、表示が切り替わります。
 - ・ （黒）...表示中の地図にVICs情報（レベル3）がある場合
 - ・ （灰）...VICs情報を受信していない場合
- ▶ ルート上（約10km以内）にVICs情報がある場合、タイムスタンプの色が次のように切り替わります。また、タッチスイッチに切り替わった場合、タッチすると音声案内を聞くことができます。
 - ・ 赤色...渋滞情報の場合
 - ・ 橙色...混雑情報の場合
 - ・ 黄色...交通規制情報の場合
 - ・ タッチスイッチ（）...渋滞・規制音声案内がある場合

渋滞情報について

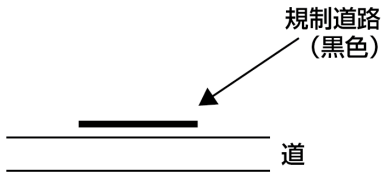
渋滞の長さや混雑状況が表示されます。



- ・ 赤色...渋滞
- ・ 橙色...混雑
- ・ 水色...空いている道

規制情報について

規制されている道路の長さが、黒い線で表示されます。



VICSマークについて

規制情報や駐車場の混雑情報などがマークで表示されます。この他、受信した情報により様々なマークが表示されます (→359)。



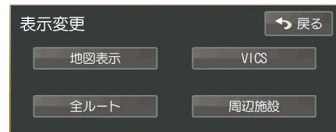
地図に交通情報を表示する

》表示する情報を設定する

1 **表示変更** にタッチ。



2 **VICS** にタッチ。



3 **表示設定** にタッチ。



4 表示する情報にタッチ。



- **渋滞・混雑** ...VICSから受信した渋滞・混雑情報を表示
 - **空き道** ...VICSから受信した空いている道の情報を表示
 - **規制情報** ...VICSから受信した事象・規制情報を表示
 - **駐車場** ...VICSから受信した駐車場情報を表示
- ▶「表示する」にしたときは、作動表示灯が点灯します。

5 完了 にタッチ。

アドバイス

VICSマーク(→359)は、**規制情報**、または**駐車場**を設定しないと表示することができません。

》表示の設定をする

VICS情報の表示、非表示を設定することができます。

表示変更 ⇒ VICS ⇒ VICS画面

1 全て、または非表示 にタッチ。



- **全て** ...全ての道路に交通情報を表示
- **非表示** ...交通情報の表示を消す

アドバイス

- VICS情報は、800mスケール図以下の地図に表示することができます。
- VICSマークにより、表示されるスケールが異なります。
- VICS情報が表示されている場合、高速略図にも表示されます。

VICSの詳細情報を見る

表示されているVICSマークの詳細情報を表示することができます。

- 1 地図に表示されているVICSマークにタッチ。




- ▶ VICSマークの内容と現在地からの直線距離が表示されます。

アドバイス

VICSマークにより、情報が表示できないことがあります。

渋滞・規制を音声で案内させる

ルート上にVICSの渋滞・規制案内がある場合、タイムスタンプがタッチスイッチ（）に切り替わり、渋滞・規制の音声案内を出力することができます。

- 1 タイムスタンプにタッチ。



タイムスタンプ

アドバイス

- 音声案内の音量は、調節することができます（→46）。
- 渋滞・規制音声案内は、自動で出力させることができます（→118）。

VICS 図形情報、VICS 文字情報 を表示する

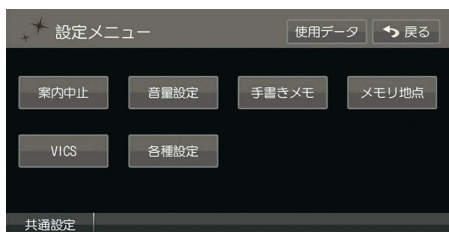
1 MENU DISP にタッチ。

2 ナビ にタッチ。

3 設定 にタッチ。



4 VICS にタッチ。



5 FM 図形、または FM 文字 にタッチ。

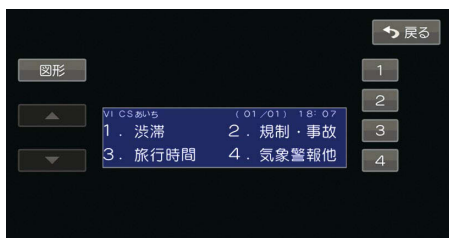


6 表示させる図形情報(または文字情報)の番号にタッチ。



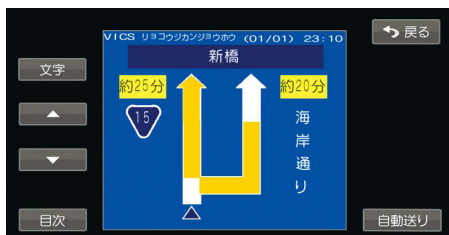
FM 図形 にタッチした場合

● 文字 ...VICS 文字情報を表示



FM 文字 にタッチした場合

● 図形 ...VICS 図形情報を表示



[VICS 図形情報]



[VICS 文字情報]

● **目次** ...目次に戻る

- ▶ **自動送り** にタッチすると（タッチスイッチが **停止** になります）、図形情報（または文字情報）を自動で送ることができます。全ての情報が表示されたあとは、最初のページに戻ります。
- ▶ **停止** にタッチ、または自動送り中に、**▲**、または **▼** にタッチして、図形情報（または文字情報）を送った場合、自動送りを終了することができます。

 **アドバイス**

緊急情報を受信した場合、他の情報より優先して表示されます。

割り込んで表示された情報は、**割り込情報** から再表示させることができます（→289）。

VICSの放送局を選ぶ

VICS情報を提供しているFM放送局は自動で選局されます。

≫ VICS放送局を選局する

現在地がある都道府県の放送局が受信され、現在地を移動させると、自動で放送局を切り替えることができます。

👉 アドバイス

- 受信した周波数は、その都道府県で受信できる放送局を選局します。
- 新規エリアについては受信できないことがあります。
- VICSによる交通情報（渋滞や混雑など）の地図上への表示は、毎年、追加、更新、削除され、その削除された部分は経年により一部の情報が表示されなくなることがあります。
- VICS FM多重放送の運用時間は24時間です。休止時間については、VICS FM多重放送の「気象警報他」でご案内します。運用時間は予告なく変更されることがあります。
- 情報提供エリアの違いにより情報内容が異なります。

VICSの用語説明

より正しく有効に利用していただくために、次に出てくる用語の説明をご一読ください。

■ 緊急情報

津波情報等の緊急に伝達される必要のある情報の場合、本機では、他の情報より優先して表示提供されます。

■ 交通情報関連の用語

- ▶ 渋滞：交通の流れが非常に悪い状態をいいます。
- ▶ 混雑：交通の流れがやや悪い状態をいいます。

■ 駐車場情報関連の用語

- ▶ 満車：駐車場において、ほぼ満車の状態をいいます。
- ▶ 混雑：駐車場において、利用率が高い状態をいいます。
- ▶ 空車：駐車場の利用が可能な状態をいいます。
- ▶ 不明：駐車場の情報がない状態をいいます。
- ▶ 閉鎖：駐車場が閉鎖されている状態をいいます。

VICSの問い合わせ先

- ▶ VICS車載機の調子や使用方法、受信の可否に関して
- ▶ 地図表示（レベル3）の内容に関して
- ▶ VICS情報の受信エリアや内容の概略に関して

これらの内容のお問い合わせは、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

- ▶ 文字表示（レベル1）の内容に関して
- ▶ 簡易図形表示（レベル2）の内容に関して
- ▶ VICSの概念、サービス提供エリアに関して

これらの内容のお問い合わせは、VICSセンター（東京）までご連絡ください。

電話受付 <受付時間09:30～17:45土曜、日曜、祝日を除く>

0570-00-8831（全国）

電話番号 （全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。）

※ PHS、IP電話等からはご利用できません。

FAX受付 <受付時間24時間>

FAX番号 03-3592-5494（全国）

VICSの最新情報やFM多重放送局の周波数の情報などは、下記のホームページでご覧いただけます。

URL : <http://www.vics.or.jp/>

なお、お問い合わせ先の判断に迷うようなときには、まずお買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

ナビ機能の設定を変える

お好みに合わせて設定を変えれば、ナビゲーションをより使いやすくなることができます。

ナビゲーションの詳細を設定する

》地図表示に関する設定

地図の見え方や、マークの表示などを設定することができます。

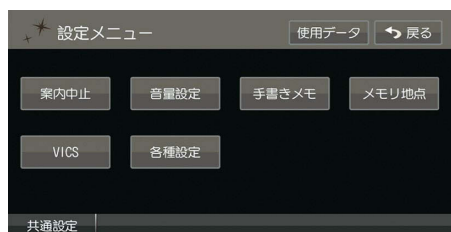
1 MENU DISP をにタッチ。

2 ナビ にタッチ。

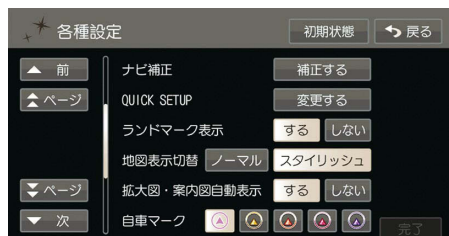
3 設定 にタッチ。



4 各種設定 にタッチ。



5 各機能の設定をする。



- 初期状態 ... 地図色や自転車マーク、**する**、または **しない** の設定を初期状態に戻す
- ▶ 地図表示切替 (→116)
- ▶ 自転車マーク (→116)
- ▶ ランドマーク表示 (→117)

6 完了 にタッチ。

地図の表示切り替え

地図の表示を2種類から選ぶことができます。

1 ノーマル、または スタイリッシュ (地図表示切替) にタッチ。

自転車マーク変更

自転車マークを5種類から選ぶことができます。

1  (自転車マーク) のいずれかにタッチ。

ランドマーク表示

地図に立体的なランドマーク（立体ランドマーク）やシーズンが限定される観光スポット（桜の名所など）のマーク（シーズンレジャーランドマーク）を表示することができます。



立体ランドマーク



シーズンレジャーランドマーク

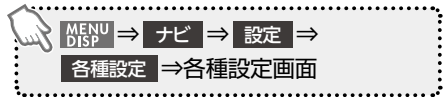
1 **する**、または **しない**（ランドマーク表示）にタッチ。

アドバイス

シーズンレジャーランドマークの表示は、季節や場所により異なります。

》画面の自動表示に関する設定

目的地案内中に分岐点に差し掛かったときなど、案内画面を自動で表示することができます。



1 自動表示の設定をする。



- **初期状態** ... (→116)
- ▶ **拡大図・案内図自動表示** (→117)
- ▶ **ターンリスト自動表示** (→118)

2 **完了** にタッチ。

拡大図・案内図の自動表示

1 **する**、または **しない**（拡大図・案内図自動表示）にタッチ。

アドバイス

拡大図・案内図自動表示を **する** にすると交差点拡大図(→86)、高速分岐模式図(→87)、レーンリスト図(→88)を自動で表示します。

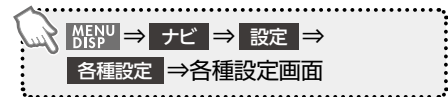
ターンリスト図の自動表示

ターンリスト図(→89)を自動で表示することができます。

- 1 **する**、または **しない** (ターンリスト自動表示)にタッチ。

》音声に関する設定

VICS情報の音声案内を設定することができます。



VICS渋滞・規制音声自動発声

目的地案内中に、ルート上のVICS情報(→107)を自動で音声案内させることができます。



- 1 **する**、または **しない** (VICS渋滞・規制音声自動発声)にタッチ。

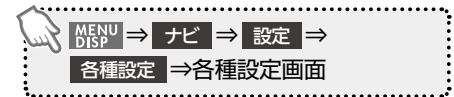


- 初期状態 ... (→116)

- 2 **完了** にタッチ。

》その他の設定一覧

車両情報の登録や自転車位置の修正など、ナビゲーションに関する設定をすることができます。



- 1 各機能の設定をする。



- 初期状態 ... (→116)
- ▶ 平均燃費 (→118)
- ▶ エコ運転評価表示 (→119)
- ▶ 周辺施設 走行中呼出ジャンル (→119)
- ▶ 車両情報設定 (→120)
- ▶ 目的地履歴の消去 (→120)
- ▶ ナビ補正 (→120)
- ▶ QUICK SETUP (→122)

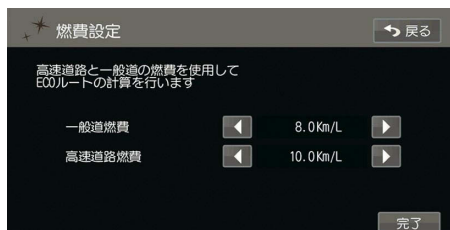
- 2 **完了** にタッチ。

燃費設定

高速道路と一般道路の燃費を使用して、最もECOなルートを探します。

- 1 **変更する** (平均燃費)にタッチ。

- 2 一般道燃費と高速道路燃費の ◀、または ▶ にタッチして燃費を入力する。



- 3 完了 にタッチ。

アドバイス

- 燃費設定の初期値は、一般道燃費8.0km/L、高速道路燃費10.0km/Lです。
- 燃費設定は、最大99.9km/L、最小0.1km/Lです。◀、または▶にタッチすると0.1km/Lずつ数値が変わります。

エコ運転評価表示

エコ運転評価マーク(→83)を設定することができます。

- 1 する、またはしない (エコ運転評価表示)にタッチ。

アドバイス

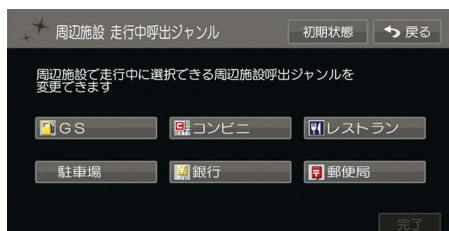
- エコ運転評価は走行中の5秒間隔の車速変化から急加速、急減速を判断します。5分間急加速、急減速がない場合、エコ運転評価を1段階上げ、急加速、急減速が3回続いた場合、1段階下げます。
- エコ運転評価の初期値は、レベル1です。次にエンジンスイッチをON、またはACCにすると初期値に戻ります。

周辺施設 走行中呼出ジャンル

走行中に簡易操作で表示が可能な施設ランドマークを設定することができます。

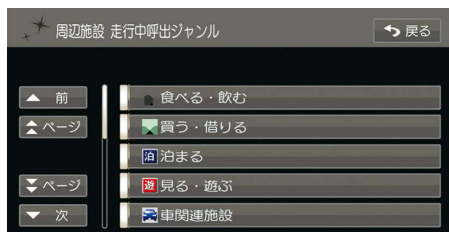
- 1 変更する (周辺施設 走行中呼出ジャンル)にタッチ。

- 2 施設のジャンルにタッチ。



- 初期状態 ... 表示設定を初期状態に戻す

- 3 施設のジャンルにタッチ。



- 4 詳細な施設のジャンルにタッチ。



- 5 完了 にタッチ。

車両情報設定

車両情報を設定すると、料金計算など、次の機能の基準とすることができます。

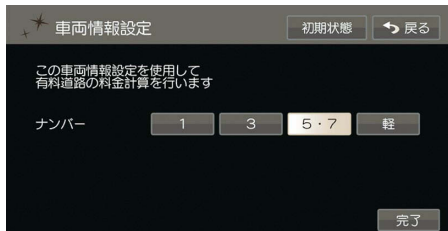
- ▶ 全ルート図の料金表示 (→67)
- ▶ 全行程一覧表 (5ルート同時表示) の料金表示 (→74)

チェック

目的地を消去してから操作してください (→72)。

1 **変更する** (車両情報設定) にタッチ。

2 **1**、**3**、**5・7**、**軽** のいずれかにタッチ。



● **初期状態** ... 初期状態に戻す

3 **完了** にタッチ。

目的地履歴の消去

これまでに設定した目的地の履歴を消去することができます。

1 **消去する** (目的地履歴の消去) にタッチ。

2 地点名称にタッチ。



● **全消去** ... 全ての目的地履歴を選択

3 **はい** にタッチ。

アドバイス

携帯電話から呼び出す (→247) で設定した目的地は履歴に異なる名称で登録されることがあります。

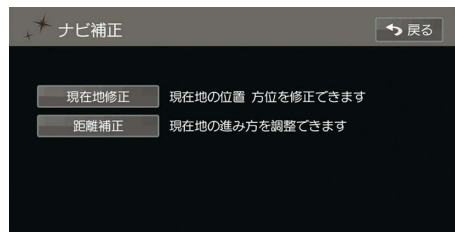
ナビ補正

■ 現在地の修正

現在地と自車マークの位置がずれているときは、現在地を修正することができます。

1 **補正する** (ナビ補正) にタッチ。

2 **現在地修正** にタッチ。



- 3 ↑ にタッチして、現在地に地図を動かす。



- 4 セット にタッチ。

- 5 ↖、または ↘ にタッチして、方向を合わせる。



- 6 セット にタッチ。

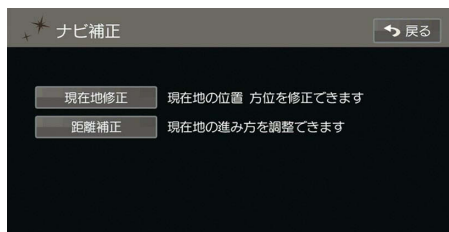
■距離の補正

タイヤを交換した場合などは、自車位置がずれることがあります。その場合、自動ですれを補正することができます。

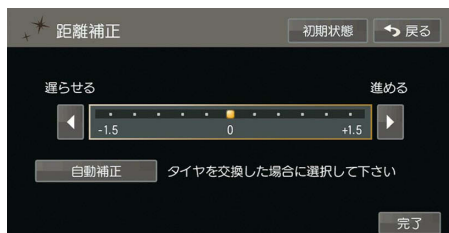
走行中、実際の車と自車マークの進み方が大きくずれる場合は進み方を手で調整します。

- 1 補正する (ナビ補正) にタッチ。

- 2 距離補正 にタッチ。



- 3 自動、または手動で距離を補正する。



- 自動補正 ...自動で補正を開始
しばらく走行すると、自動補正が終了
- ▶ ...自車マークの進行が速くなる
- ◀ ...自車マークの進行が遅くなる

- 4 完了 にタッチ。

アドバイス

- 本機は、GPSと車速信号により、自動で距離の補正をしていますが、補正を上回る急激な変化（タイヤを新品に交換したり、本機を別のお車に取り付けたときなど）をした場合、距離の補正が遅れることがあります。この場合、GPS電波の受信状態が良好な道路を約30km走行します。
- 補正できない場合、販売店で点検を受けてください。
- 自動補正中は自車位置がずれることがあります。
- 自動補正が終了しても距離補正の学習機能を持っているため、自車マークの進み方が走行状態により、変化することがあります。
- 自動補正中は手動補正をすることができません。

QUICK SETUP

QUICK SETUPの設定（→7）や設定した内容を修正することができます。設定状況は、画面で確認することができます。

- 1** **変更する**（QUICK SETUP）にタッチ。
- 2** QUICK SETUP（→7）にしたがって変更する。

01. オーディオの基本操作 …	125	対応しているSDメモリーカード ……	148
オーディオを切り替える ……	125	SDメモリーカードを聞く ……	149
オーディオの情報を見る ……	125	基本操作 ……	150
オーディオの電源を切る ……	126	曲を一覧から選ぶ ……	151
音量を調整する ……	126	曲を選曲モードから探す ……	151
トラックバーで操作する ……	127	SDメモリーカードを止める ……	152
音質を調整する ……	128	06. Bluetooth オーディオを聞く 153	
イコライザを変更する ……	128	使用できるBluetooth対応機器について	153
音量のバランスを調整する ……	129	本機に接続する ……	154
02. ラジオを聞く ……	130	Bluetoothオーディオを登録する ……	154
ラジオを聞く ……	130	Bluetoothオーディオを自動で接続する	155
基本操作 ……	131	Bluetoothオーディオを手動で接続する	156
放送局を記憶する ……	132	Bluetoothオーディオを再生する ……	156
放送局を一時的に記憶する (AUTO.P)	132	基本操作 ……	157
今いる地域の放送局を表示する ……	133	曲を一覧から選ぶ ……	159
ラジオを止める ……	134	他の機器に切り替える ……	159
交通情報を聞く ……	134	設定を変更する ……	160
03. 音楽CDを聞く ……	135	登録した機器を削除する ……	160
再生できるCDについて ……	135	機器名称を変更する ……	160
CDを聞く ……	136	パスキーを変更する ……	161
CDが入っていない場合 ……	136	自動Bluetooth接続を設定する ……	161
CDが入っている場合 ……	136	詳細情報を表示・変更する ……	162
基本操作 ……	137	機器名称を変更する ……	162
CDを止める ……	138	接続方法を変更する ……	163
04. MP3/WMA を聞く ……	139	Bluetoothオーディオを止める ……	163
再生できるMP3/WMAについて ……	139	07. DVD を見る ……	164
対応しているファイル ……	139	再生できるDVDについて ……	164
対応しているディスク ……	141	市販されているDVD ……	165
MP3/WMA を聞く ……	143	家庭で録画したDVD ……	165
CDが入っていない場合 ……	143	DVD を見る ……	166
CDが入っている場合 ……	143	DVDが入っていない場合 ……	166
基本操作 ……	144	DVDが入っている場合 ……	166
フォルダを一覧から選ぶ ……	145	基本操作 ……	167
曲を一覧から選ぶ ……	145	DVDメニューを操作する ……	169
MP3/WMA を止める ……	146	ダイレクトタッチ操作画面から操作する…	169
05. SDメモリーカードの音楽を聞く	147	タッチスイッチから操作する ……	169
再生できるMP3/WMAについて ……	147	見たい映像を探す ……	170
対応しているファイル ……	147	タイトル番号から探す ……	170
		タッチスイッチの表示を切り替える…	170
		タッチスイッチを消す ……	170
		タッチスイッチの表示場所を切り替える…	171
		画面表示・音声の切り替え ……	171

オーディオ

音声を切り替える	171	ファイルを選曲モードから探す	194
字幕言語を切り替える	172	iPodを止める	195
アングルを切り替える	172	対応可能なiPodについて	196
静止画を切り替える	173		
DVDを止める	173	10. iPodビデオを見る	197
DVDプレーヤーの設定	174	iPodを接続する	198
優先音声言語を設定する	175	iPodを取りはずす	198
優先字幕言語を設定する	175	iPodビデオを再生する	199
メニュー言語を設定する	176	基本操作	200
マルチアングルの表示を設定する	177	映像を一覧から選ぶ	201
視聴制限を設定する	177	映像を選曲モードから探す	201
音域の設定をする	178	画像サイズを切り替える	202
画像サイズを切り替える	179	iPodを止める	202
再生モードを切り替える	179	対応可能なiPodについて	202
言語コード一覧	180		
08. ワンセグを見る	181	11. USBオーディオを聞く	203
ワンセグをお使いになる前に	181	再生できるMP3/WMAについて	203
地上デジタルTV放送について	181	対応しているファイル	203
緊急警報放送(EWS)を受信したときは	181	対応しているUSBメモリ	205
初回起動画面	182	USBメモリを接続する・取りはずす	206
ワンセグを見る	183	USBオーディオを聞く	207
中継局サーチについて	183	基本操作	208
基本操作	184	曲を一覧から選ぶ	209
放送局名一覧で選局する	185	ファイルを選曲モードから探す	209
番組表を見る	185	USBオーディオを止める	209
主音声と副音声を切り替える	186		
今いる地域の放送局を記憶する	186	12. VTRを見る	210
チャンネルを一時的に記憶する(AUTO.P)	187	VTRを再生する	210
画像サイズを切り替える	187	基本操作	211
設定を変更する	188	画面のサイズを切り替える	212
チャンネルを記憶する	188	VTRを止める	212
放送している音声を切り替える	188		
音声多重放送の音声モードを切り替える	188		
番組の字幕言語を切り替える	189		
中継局サーチを設定する	189		
ワンセグを止める	189		
09. iPodオーディオを聞く	190		
iPodを接続する	191		
iPodを取りはずす	191		
iPodオーディオを再生する	192		
基本操作	193		
曲を一覧から選ぶ	194		

オーディオの基本操作

オーディオの基本的な操作を説明します。

オーディオを切り替える

- 1 **MENU DISP** にタッチ。
- 2 **オーディオ** にタッチ。
- 3 切り替えたいオーディオのスイッチにタッチ。



▶ **その他** にタッチしてサブ画面を表示。



オーディオの情報を見る

ナビゲーション画面を表示したまま、聞いている曲名やアーティスト名、受信している放送局名などの情報を表示することができます。

チェック

ナビゲーション画面を表示しているときに操作します。

- 1 **info** にタッチ。



オーディオの電源を切る

1 **TRACK PWR** に1秒以上タッチ。

- ▶ 再度、**TRACK PWR** に1秒以上タッチすると、電源を切る前のオーディオが作動します。
- ▶ オーディオモード選択画面の **AUDIO OFF** にタッチしても、オーディオの電源が切れます。



音量を調整する

1 **VOL**、または **VOL** にタッチ。

- ▶ 調整できる音量レベルは0～40の範囲です。
- ▶ 本機では、下記のように音量レベルを記憶します。

オーディオソース	内容
AM/FM/交通情報 CD/TV/VTR/SDメモリーカード/Bluetooth オーディオ/iPodオーディオ/iPodビデオ/ USBオーディオ	左記オーディオソースを再生中に音量を調整した場合、オーディオソース用の音量レベルとして記憶することができます。全て同じ音量レベルで記憶されます。
DVD	DVDビデオを再生中に音量を調整した場合、DVD用の音量レベルとして記憶することができます。

トラックバーで操作する

TRACK PWR にタッチするとトラックバーがオンスクリーン表示されます。

トラックバーのスイッチにタッチすることで各オーディオの主要操作をすることができます。



スイッチ	名称	機能	ページ
①	トラックスイッチ	選択中のオーディオ操作画面が表示されます。	-
②※1	選局／選曲 スイッチ	CD、MP3/WMA、SDメモリーカード、Bluetoothオーディオ、iPodオーディオ、USBオーディオを再生している場合 タッチすると、次の曲や再生中の曲の頭（繰り返し押しすと前の曲）に切り替わります。	137 144 150 157 193 208
		DVD、iPodビデオを再生している場合 タッチすると、次のチャプターや再生中のチャプターの頭（繰り返し押しすと前のチャプター）に切り替わります。	167 200
		ラジオ、TVを受信している場合 タッチすると、プリセットスイッチに記憶されている放送局が順番に呼び出されます。	131 184
③※1	早送り／早戻し スイッチ	CD、MP3/WMA、SDメモリーカード、Bluetoothオーディオ、iPodオーディオ、USBオーディオを再生している場合 タッチすると、曲が早送りや早戻しされます。	137 144 150 157 193 208
		DVD、iPodビデオを再生している場合 タッチすると、映像が早送りや早戻しされます。	167 200
		ラジオ、TVを受信している場合 タッチすることにより、1ステップ※2ずつ周波数が切り替わります。 "ピッ"と音がするまでタッチすると、受信中の周波数に一番近い放送局が自動で選局されます。	131 184

※1 ナビゲーション画面表示中や画面が消えている場合に操作すると、スクリーンが表示されます。

※2 AMは9kHzずつ、FMは0.1MHzずつ切り替わります。

音質を調整する

イコライザや音量バランスなどを調整することにより、お好みの音響空間を創り出すことができます。

》イコライザを変更する

あらかじめ設定されているイコライザを選択し、お好みの音質に設定することができます。

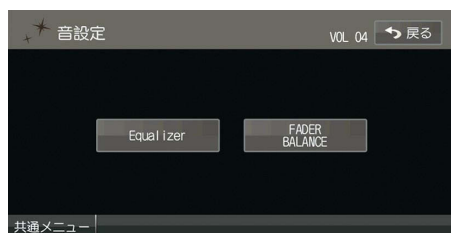
1 **MENU DISP** にタッチ。

2 **オーディオ** にタッチ。

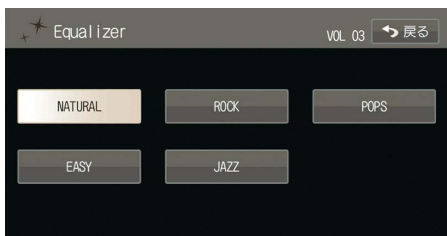
3 **設定** にタッチ。



4 **Equalizer** にタッチ。



5 お好みのイコライザ設定スイッチにタッチ。



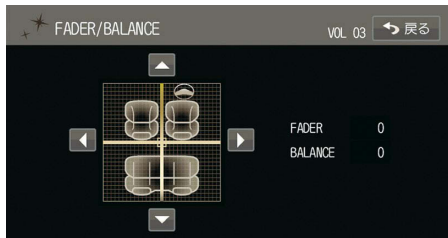
- **NATURAL** ... 自然でフラットな音を再現
- **ROCK** ... スピーディーで力強い音を再現
- **POPS** ... 中高音域をメインにリズムカルな音を再現
- **EASY** ... 中高音域をベースにした味わい深い音を再現
- **JAZZ** ... ジャズ演奏にあった音を再現

》音量のバランスを調整する

前後、左右の音量バランスを調整し、届きにくいスピーカーからの音を強調することができます。



- 1 ▲、▼、◀、▶ のいずれかにタッチして、音場の中心にしたいポイントを調整。



アドバイス

調整時に ▲、▼、◀、▶ のいずれかにタッチし続けると、連続的に変化しますが、センター値で停止します。再度、▲、▼、◀、▶ のいずれかにタッチすると、調整することができます。

ラジオを聞く

AM放送とFM放送を聞くことができます。

ラジオを聞く

- 1 **MENU DISP** にタッチ。
- 2 **オーディオ** にタッチ。
- 3 **AM**、または **FM** にタッチ。



基本操作

ラジオ放送を聞いているときにトラックバーの  にタッチすると、次の画面が表示されます。



スイッチ	名称	機能
①	オーディオモード スイッチ	タッチすると、オーディオモード選択画面を表示します。
②	プリセット スイッチ ^{※1}	タッチすると、記憶されている放送局が受信されます。
③	早送り／早戻し スイッチ	タッチすることにより、1ステップ ^{※2} ずつ周波数が切り替わります。 "ピッ"と音がするまでタッチすると、受信中の周波数に一番近い放送局が自動で選局されます。
④	AM／FMスイッチ	タッチすることにより、バンドが切り替わります。

※1 あらかじめ放送局を記憶します (→132)。

※2 AMは9kHzずつ、FMは0.1MHzずつ切り替わります。

アドバイス

受信電波の弱い地域では、自動で選局できないことがあります。

放送局を記憶する

ふだんお聞きになる放送局をプリセットスイッチに記憶することができます。

チェック

"AUTO.P"、または"AREA.P"が画面表示されている場合、**AUTO.P**、または**エリア**をタッチすると、表示が消えて記憶できるようになります。

- 1 選局スイッチを操作して記憶したい放送局を受信する。
- 2 プリセットスイッチを"ピーツ"と音がするまでタッチ。

放送局を一時的に記憶する (AUTO.P)

AUTO.Pは放送局を一時的にプリセットスイッチに記憶する機能です。

AUTO.Pを使用しても手動で記憶した放送局は別で記憶されています。

ふだんお聞きになる放送局は手動で記憶して、旅先などでその地域の放送局を一時的に記憶したい場合にAUTO.Pを使用することができます。

- 1 **AUTO.P**を"ピーツ"と音がするまでタッチ。

- ▶ "AUTO.P"が点滅し、"ピッピッ"と音がすると、記憶が完了します。
- ▶ 受信感度の良い放送局が周波数の小さい順に6局まで自動で記憶されます。
- ▶ 再度、**AUTO.P**をタッチすると、記憶した放送局は消去され、手動で記憶した放送局が表示されます。
- ▶ 放送局が記憶されたあと、別の放送局を選択して、プリセットスイッチを"ピーツ"と音がするまでタッチすると、記憶する放送局を変更することができます。

アドバイス

- 受信電波の弱い地域では、AUTO.Pで自動受信できないことがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、選局スイッチで記憶した放送局とAUTO.Pスイッチで記憶した放送局は一致しないことがあります。
- AUTO.Pスイッチを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶される放送局が異なることがあります。
- 受信できた放送局が6局未満の場合、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

今いる地域の放送局を表示する

自分がいる地域の放送局の受信周波数がわからない場合、その地域の放送局を表示し、選局することができます。

1 **エリア** にタッチ。

- ▶ "AREA.P"が表示されます。
- ▶ 再度、**エリア** をタッチすると、手動で記憶した放送局が表示されます。
- ▶ 放送局が表示されたあと、プリセットスイッチをタッチすると、放送局を選局することができます。

アドバイス

放送を受信できても、放送局名を表示できない地域があります。

ラジオを止める

1 **TRACK PWR** に1秒以上タッチ。

- ▶ 再度、**TRACK PWR** に1秒以上タッチすると、止める前の放送局が受信されます。

交通情報を聞く

MENU DISP ⇒ **オーディオ** ⇒
オーディオメニュー画面

1 **交通情報** にタッチ。







- ▶ 放送局 (1620kHz、1629kHz) を選択できます。
- ▶ 交通情報を受信中は、選局スイッチを操作しても他の放送局に切り替えることができません。

03 音楽CDを聞く

販売やレンタルされているCDの他、個人で作成したCDなどを再生することができます。

再生できるCDについて

ディスクの種類	   
大きさ	12cm
その他のディスク	<p>スーパーオーディオCD (SACD) はハイブリッドディスクのCD層のみ再生することができます。</p>  <p>CD-EXTRAは音楽CDとして再生することができます。 Mixed Mode CDは音楽トラックのみ再生することができます。</p>

アドバイス

- CD-TEXTなど、CDのタイトルや曲名などが収録されている場合、半角25文字、全角12文字まで表示されます。収録タイトル文字数の多いCD-TEXTは表示できないことがあります。
- CD-TEXT機能は市販のCD-TEXT対応CDのみ表示されます。CD-RやCD-RWのCD-TEXTは表示されないことがあります。
- CD-R (CD-Recordable)、CD-RW (CD-ReWritable) は、記録状態やディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できないことがあります。また、ファイナライズ処理されていないCD-R、CD-RWやUDFフォーマットで書き込まれたCD-R、CD-RWは再生することができません。
- 記録部分に透明または半透明部分があるCD、C-thru Discは、正常に出し入れや再生ができなくなる恐れがありますので使用しないでください。
- Video-CDは再生することができません。
- Dual Discには対応していません。機器の故障の原因およびディスクの出し入れの際にディスクにキズがつく原因になることがあるため、使用しないでください。
- CCCD (Copy Control CD) は正式なCD規格に準拠していないため再生できないことがあります。



- Mixed Mode CDのデータトラックの音声やDTSが混在しているMixed Mode CDは再生することができません。

CDを聞く

》CDが入っていない場合


- 1 CDを挿入する(→28)。

》CDが入っている場合

- 1 **MENU DISP** にタッチ。
- 2 **オーディオ** にタッチ。
- 3 **DISC** にタッチ。



基本操作

CDを再生中にトラックバーの  にタッチすると、次の画面が表示されます。



※イラストはCD-TEXT再生時の例です。

スイッチ	名称	機能
①	オーディオモードスイッチ	タッチすると、オーディオモード選択画面を表示します。
②	選曲スイッチ (右側)	タッチすると、次の曲に切り替わります。
	選曲スイッチ (左側)	タッチすると、曲の頭出し、連続でタッチすると、前の曲に切り替わります。
③	早送りスイッチ (右側)	タッチすると、曲が早送りされます。
	早戻しスイッチ (左側)	タッチすると、曲が早戻しされます。
④	リピート再生スイッチ	タッチするとRPTが表示され、再生中の曲が繰り返し再生されます。再度タッチすると、リピート再生が解除されます。
⑤	ランダム再生スイッチ	タッチするとRANDが表示され、全ての曲がランダムに再生されます。再度タッチすると、ランダム再生が解除されます。
⑥	再生/一時停止スイッチ	タッチすることにより、曲が再生/一時停止されます。

アドバイス

DTS-CDを早送り、または早戻しする場合、音声は再生されません。

CDを止める

1 **TRACK PWR**に1秒以上タッチ。

- ▶再度、**TRACK PWR**に1秒以上タッチすると、再生が再開されます。

MP3/WMA を聞く

MP3/WMA形式で作成したCDを聞くことができます。

再生できるMP3/WMAについて

MP3/WMAを再生するためには、対応しているファイルの準備とディスクへの書き込みが必要です。

》対応しているファイル

⚠ 注意

MP3/WMA以外のファイルに"mp3"/"wma"の拡張子を付けると、MP3/WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3/WMA以外のファイルに、"mp3"/"wma"の拡張子を付けないでください。

■MP3ファイル

規格	MPEG1 レイヤ3、MPEG2 LSF レイヤ3		
サンプリング周波数 (kHz)	MPEG1 レイヤ3 : 32 / 44.1 / 48 MPEG2 LSF レイヤ3 : 16 / 22.05 / 24		
ビットレート (kbps) ※	MPEG1 レイヤ3 : 32,40,48,56,64,80,96,112,128,160,192,224,256,320 MPEG2 LSF レイヤ3 : 8,16,24,32,40,48,56,64,80,96,112,128,144,160		
チャンネルモード	<ul style="list-style-type: none"> ●ステレオ ●ジョイントステレオ ●デュアルチャンネル ●モノラル 		
ID3タグ	バージョン	1.0、1.1	2.2、2.3
	項目/文字数	TITLE	半角30文字
		ARTIST	
	ALBUM	80文字	
文字	英数字 (ASCIIコード)	日本語 (Unicode)	

※ VBR (可変ビットレート) 対応

■ WMA ファイル

規格		WMA Ver.7、8、9 (9.1 / 9.2 に対応)	
サンプリング周波数 (kHz)		32、44.1、48	
ビットレート (kbps) ※		Ver.7、8 : CBR48 ~ 192 Ver.9 (9.1 / 9.2) : CBR48 ~ 320	
チャンネルモード		●ステレオ ●モノラル	
WMA タグ	バージョン	ASF Revision1.02.02	80文字
	項目 / 文字数	TITLE	
		ARTIST	
		ALBUM	
文字	●英数字 (ASCIIコード / Unicode) ●日本語 (Unicode)		

※ VBR (可変ビットレート) 対応
2ch 再生対応

アドバイス

DRM (著作権管理 Digital Rights Management) システムの WMA ファイルやプロテクト録音 (ライセンス管理) された WMA ファイルは再生できません。

》対応しているディスク

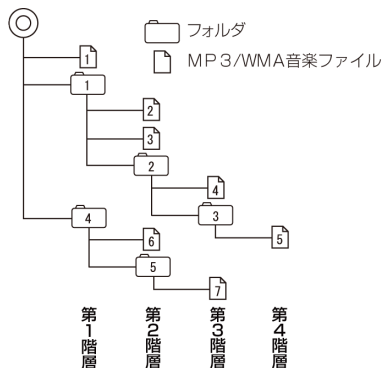
ディスクの種類	<ul style="list-style-type: none"> ●CD-R ●CD-RW (データをクイックおよび高速消去したディスクは再生できません) 				
書き込み方法	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクアットワンス (推奨) ●セッションアットワンス (再生までに時間がかかる場合があります。) ●トラックアットワンス (再生までに時間がかかる場合があります。) 				
ディスクフォーマット	<ul style="list-style-type: none"> ●CD-ROM MODE1 ●CD-ROM XA MODE2 (Form1) 				
ファイルフォーマット	ISO9660			拡張フォーマット	
	LEVEL1	LEVEL2	ROMEO形式	JOLIET形式	
	フォルダ名 (最大文字数)	半角8文字	文字半角31	文字半角128文字	半角、全角 64文字 (". "と拡張子を含む)
	ファイル名 (最大文字数)	8.3形式	半角31文字	半角128文字 (". "を含む)	64文字
	文字	英数字 (ASCIIコード)		英数字 (ASCIIコード) 日本語 (S-JISコード)	英数字 (Unicode) 日本語 (Unicode)
最大ディレクトリ階層	8階層				
1枚のディスクに書き込み可能なフォルダ数	192 (ルート含む)				
1枚のディスクに書き込み可能なファイル数	255 (1フォルダあたり)				

アドバイス

- CD-RWを消去して使用する場合、完全に消去したことを確認してから使用してください（消去方法はライティングソフトで異なります。また、クイックおよび高速消去は使用できません）。
- パケットライト記録ディスクには対応していません。（例えば、DirectCDなどで作成したディスクには対応していません）。
- MP3/WMAファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります（VBRのFAST UP/DOWN動作をすると、演奏時間が一致しないことがあります）。
- MP3/WMAファイルおよびフォルダのリストは、同一階層内にあるMP3/WMAファイル、フォルダが次のように表示されます。
 - ① MP3/WMAファイルが数字、アルファベット、日本語の昇順に表示
 - ② 次にフォルダが数字、アルファベット、日本語の昇順に表示
 - ③ 同一階層内に、同じファイル名でMP3とWMAが存在する場合、MP3が優先して表示
- Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国マイクロソフトコーポレーションの米国、およびその他の国における登録商標および商標です。

MP3/WMA を聞く

ここでの操作説明は、次のMP3/WMAファイル作成例をもとに説明しています。



» CDが入っていない場合

1 **MENU DISP** にタッチ。

» CDが入っている場合

1 **MENU DISP** にタッチ。

2 **オーディオ** にタッチ。

3 **DISC** にタッチ。

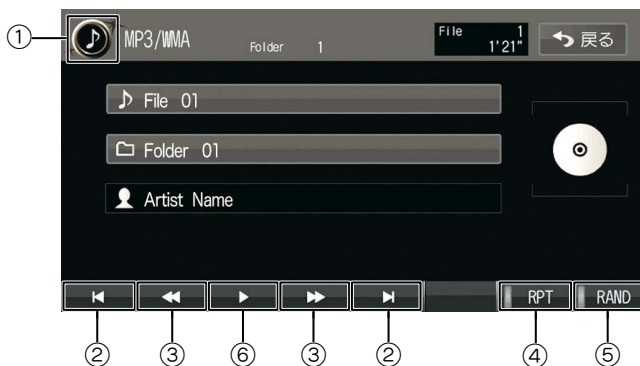


アドバイス

- 通常は、**1**、**2**、**3**、**4**、**5**、**6**、**7**の順に再生されます。
- 同じ階層に複数のMP3/WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、数字、アルファベット、日本語の昇順に再生されます。
- MP3/WMAディスクにフォルダ名や音楽ファイル名などが記録されている場合、半角25文字、全角12文字まで表示されます。

基本操作

MP3/WMAデータを再生中にトラックバーの  にタッチすると、次の画面が表示されます。

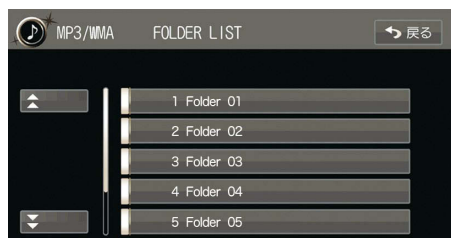


スイッチ	名称	機能
①	オーディオモードスイッチ	タッチすると、オーディオモード選択画面を表示します。
②	選曲スイッチ (右側)	タッチすると、次の曲に切り替わります。
	選曲スイッチ (左側)	タッチすると、曲の頭出し、連続でタッチすると、前の曲に切り替わります。
③	早送りスイッチ (右側)	曲が早送りされます。
	早戻しスイッチ (左側)	曲が早戻しされます。
④	リピート再生スイッチ	タッチするとRPTが表示され、再生中の曲が繰り返し再生されます。再度タッチすると、リピート再生が解除されます。
⑤	ランダム再生スイッチ	タッチするとFLD.RANDが表示され、選択中のフォルダ内全ての曲がランダムに再生されます。再度タッチすると、ランダム再生が解除されます。
⑥	再生/一時停止スイッチ	タッチすることにより曲の再生/一時停止をします。

フォルダを一覧から選ぶ

オーディオディスク内に収録されているフォルダの一覧を表示して、聞きたいフォルダを選ぶことができます。

- 1 フォルダ名にタッチ。
- 2 フォルダにタッチ。



- 3 曲にタッチ。



- 4 完了 にタッチ。

曲を一覧から選ぶ

選択中のフォルダに収録されている曲の一覧を表示して、聞きたい曲を選ぶことができます。

- 1 ファイル名にタッチ。
- 2 曲にタッチ。



MP3/WMA を止める

1 **MENU**
DISP に1秒以上タッチ。

- ▶ 再度、**MENU**
DISP に1秒以上タッチすると、再生が再開されます。

SDメモリーカードの音楽を聞く

SDメモリーカード内のMP3/WMAを聞くことができます。

再生できるMP3/WMAについて

MP3/WMAを再生するためには、対応しているファイルの準備が必要です。

≫対応しているファイル

⚠ 注意

MP3/WMA以外のファイルに"mp3"/"wma"の拡張子を付けると、MP3/WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3/WMA以外のファイルに、"mp3"/"wma"の拡張子を付けしないでください。

■MP3ファイル

規格	MPEG1 レイヤ3、MPEG2 LSF レイヤ3		
サンプリング周波数 (kHz)	MPEG1 レイヤ3 : 32 / 44.1 / 48 MPEG2 LSF レイヤ3 : 16 / 22.05 / 24		
ビットレート (kbps) ※	MPEG1 レイヤ3 : 32,40,48,56,64,80,96,112,128,160,192,224,256,320 MPEG2 LSF レイヤ3 : 8,16,24,32,40,48,56,64,80,96,112,128,144,160		
チャンネルモード	<ul style="list-style-type: none"> ●ステレオ ●ジョイントステレオ ●デュアルチャンネル ●モノラル 		
ID3タグ	バージョン	1.0、1.1	2.2、2.3
	項目/文字数	TITLE	半角30文字
		ARTIST	
	ALBUM	80文字	
文字	英数字 (ASCIIコード)	日本語 (Unicode)	

※ VBR (可変ビットレート) 対応

■WMA ファイル

規格	WMA Ver.7、8、9 (9.1/9.2に対応)		
サンプリング周波数 (kHz)	32、44.1、48		
ビットレート (kbps) ※	Ver.7、8 : CBR48～192 Ver.9 (9.1/9.2) : CBR48～320		
チャンネルモード	●ステレオ ●モノラル		
WMA タグ	バージョン	ASF Revision1.02.02	
	項目/文字数	TITLE	80文字
		ARTIST	
		ALBUM	
文字	●英数字 (ASCIIコード/Unicode) ●日本語 (Unicode)		

※ VBR (可変ビットレート) 対応
2ch再生対応

アドバイス

DRM (著作権管理 Digital Rights Management) システムのWMA ファイルやプロテクト録音 (ライセンス管理) されたWMA ファイルは再生できません。

≫対応しているSDメモリーカード

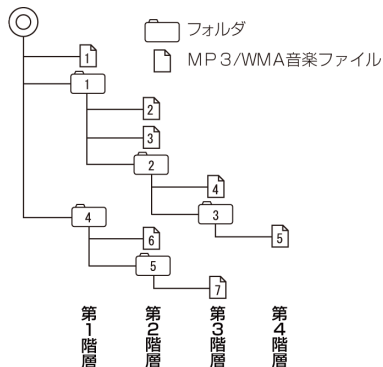
種類	
容量	8MB～2GB (SDメモリーカード)、4GB～32GB (SDHCメモリーカード)

アドバイス

- SDメモリーカードの特性により読み取れない場合があります。
- MP3/WMA ファイルの保存状況により、演奏時間が一致しないことがあります (VBRのFAST UP/DOWN動作をすると、演奏時間が一致しないことがあります。)
- MP3/WMA ファイルおよびフォルダのリストは、同一階層内にあるMP3/WMA ファイル、フォルダが次のように表示されます。
 - ① MP3/WMA ファイルが数字、アルファベット、日本語の昇順に表示
 - ② 次にフォルダが数字、アルファベット、日本語の昇順に表示
 - ③ 同一階層内に、同じファイル名でMP3とWMAが存在する場合、MP3が優先して表示
- Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国マイクロソフトコーポレーションの米国、およびその他の国における登録商標および商標です。
- SDロゴ、SDHCロゴは商標です。

SDメモリーカードを聞く

ここでの操作説明は、次のMP3/WMAファイル作成例をもとに説明しています。



1 SDメモリーカードが入っていない場合、カードをカードスロットに挿入する(→28)。

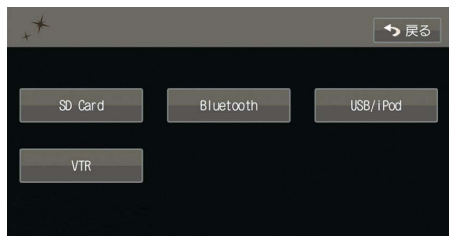
2 **MENU DISP** にタッチ。

3 **オーディオ** にタッチ。

4 **その他▶** にタッチ。



5 **SD Card** にタッチ。



▶ SDメモリーカードに入っている音楽ファイルの再生を始めます。

▶ 通常は、**1**、**2**、**3**、**4**、**5**、**6**、**7**の順に再生されます。

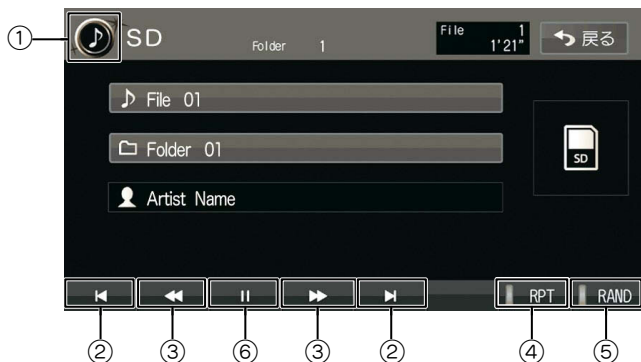
▶ 同じ階層に複数のMP3/WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、数字、アルファベット、日本語の昇順に再生されます。

アドバイス

- 本機にSDメモリーカードを挿入しても、自動でSDメモリーカードモードに切り替わりません。
- MP3/WMAデータにフォルダ名や音楽ファイル名などが記録されている場合、半角25文字、全角12文字まで表示されます。

基本操作

SDメモリーカードを再生中にトラックバーの  にタッチすると、次の画面が表示されます。



スイッチ	名称	機能
①	オーディオモードスイッチ	タッチすると、オーディオモード選択画面を表示します。
②	選曲スイッチ (右側)	タッチすると、次の曲に切り替わります。
	選曲スイッチ (左側)	タッチすると、曲の頭出し、連続でタッチすると、前の曲に切り替わります。
③	早送りスイッチ (右側)	タッチすると、曲が早送りされます。
	早戻しスイッチ (左側)	タッチすると、曲が早戻しされます。
④	リピート再生スイッチ	タッチするとRPTが表示され、再生中の曲が繰り返し再生されます。2度続けてタッチするとFLD.RPTが表示され、選択しているフォルダ内全ての曲が繰り返し再生されます。再度タッチすると、リピート再生が解除されます。
⑤	ランダム再生スイッチ	タッチするとRANDが表示され、選択しているフォルダ内全ての曲がランダムに再生されます。2度続けてタッチするとFLD.RANDが表示され、SDメモリーカード内全ての曲がランダム再生されます。再度タッチすると、ランダム再生が解除されます。
⑥	再生/一時停止スイッチ	タッチするごとに、曲が再生/一時停止されます。

曲を一覧から選ぶ

フォルダ/アルバムの中から聞きたい曲を選ぶことができます。

1 ファイル名またはトラック名にタッチ。

2 曲にタッチ。



曲を選曲モードから探す

アーティスト名やフォルダ名/アルバム名からリストを表示して、曲を探すことができます。

1 フォルダ名またはアルバム名にタッチ。

2 選曲モードにタッチ。



- **フォルダ** ...フォルダのリストを表示
- **アーティスト** ...アーティストのリストを表示
- **アルバム** ...アルバムのリストを表示

3 曲にタッチ。



4 **完了** にタッチ。

SDメモリーカードを止める

1 **TRACK PWR** に1秒以上タッチ。

- ▶ 再度、**TRACK PWR** に1秒以上タッチすると、再生が再開されます。

Bluetooth オーディオを聞く

Bluetooth対応オーディオ機器の音楽を聞くことができます。



BluetoothはBluetooth SIG,Inc.
の登録商標です。

⚠ 注意

- 本機の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・化学・医療用機器のほか、工場製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。（上記3種の無線局を以下「他の無線局」と略します。）
- 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。万一本機から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合は、速やかに場所を変更して電波干渉を回避してください。
- 本機の使用周波数は2.4GHz帯です。
- 変調方式としてFH-SS変調方式を採用しています。
- 想定干渉距離は10m以下です。
- 本機は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。
- 本機は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本機を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

👉 アドバイス

Bluetoothオーディオと他の無線機器を同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。

使用できるBluetooth対応機器について

次のBluetooth対応のポータブルオーディオを使用することができます。

仕様	Bluetooth Specification Ver.1.1以上（Ver.2.0+EDR以上を推奨）
プロファイル	<ul style="list-style-type: none"> ● A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)Ver.1.0以上 ● AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile)Ver.1.0以上（Ver.1.4以上を推奨）

👉 アドバイス

Bluetoothオーディオの機種により一部機能が制限されることがあります。

本機に接続する

Bluetoothオーディオを使用するため、本機に登録する必要があります。

Bluetoothオーディオは、最大5台まで登録することができます。操作の前にBluetoothオーディオの電源をONにするなど、本機と接続できる状態にします。

注意

- 本機で使用中に Bluetoothオーディオのデータが消失しても、消失したデータの補償はできませんのでご注意ください。
- Bluetoothオーディオを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- Bluetoothオーディオを本機に近づけすぎないでください。音質が劣化したり、接続状態が悪化することがあります。

Bluetoothオーディオを登録する

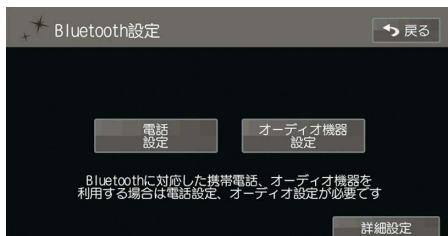
1 **MENU DISP** にタッチ。

2 **コミュ** にタッチ。

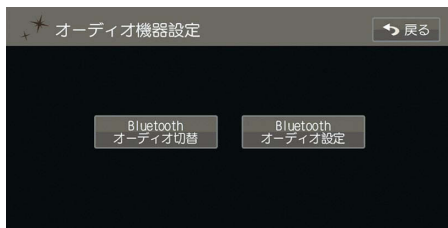
3 **設定** にタッチ。



4 **オーディオ機器設定** にタッチ。



5 **Bluetoothオーディオ設定** にタッチ。



6 **登録** にタッチ。



7 Bluetoothオーディオ本体で登録操作する。



● 中止 ...登録を中止

- ▶ Bluetoothオーディオ本体で、画面に表示されている機器名称を選択し、必要に応じてパスキーを入力します。
- ▶ Bluetoothオーディオ本体での登録操作は、Bluetoothオーディオ接続中画面が表示されているときに行います。
- ▶ 登録が完了すると、メッセージが表示されます。

👉 アドバイス

- パスキーとは、Bluetoothオーディオを本機に登録する場合のパスワードです。任意の数字に変更することもできます(→161)。
- Bluetoothオーディオを登録すると、一番新しく登録したBluetoothオーディオが選択されます。複数登録している場合、使用するBluetoothオーディオを選択することができます。

▶▶ Bluetoothオーディオを自動で接続する

Bluetoothオーディオを登録すると、自動で接続される状態になります。これにより、車両のエンジンスイッチをACC、またはONにするごとに、本機に選択されているBluetoothオーディオ(→154)と自動的に接続されます。

- 1 Bluetoothオーディオの電源をONにするなど、本機と接続できる状態にする。
- 2 車両のエンジンスイッチをACC、またはONにする。
 - ▶ 接続が完了するとメッセージが表示されます。
 - ▶ 接続に失敗した場合、手動で接続することができます(→156)。

👉 アドバイス

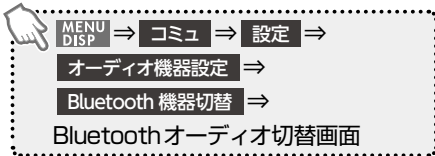
自動接続の設定(→161)が"しない"に設定されている場合や機器により接続できない場合、手動で接続します(→156)。

》Bluetoothオーディオを手動で接続する

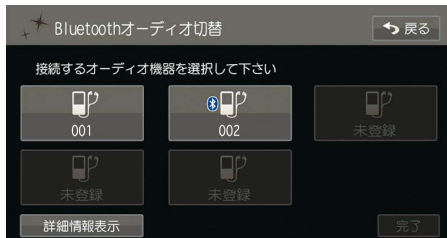
Bluetoothオーディオとの自動接続に失敗した場合や自動接続の設定(→161)が"しない"に設定されている場合は、手動で接続することができます。

チェック

Bluetoothオーディオの電源をONにするなど、本機と接続できる状態にします。



- 1 接続するオーディオプレーヤーを選択する。



- 2 完了 にタッチ。

▶ 接続が完了するとメッセージが表示されます。

Bluetoothオーディオを再生する

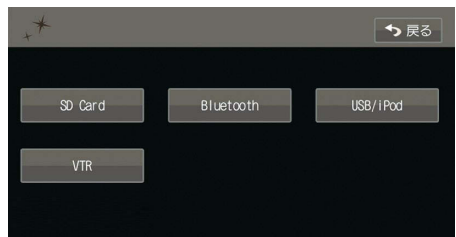
チェック

本機とBluetoothオーディオを接続します。(→154)

- 1 MENU DISP にタッチ。
- 2 オーディオ にタッチ。
- 3 その他▶ にタッチ。



- 4 Bluetooth にタッチ。




▶ 音楽ファイルの再生を始めます。

基本操作

Bluetoothオーディオを再生中にトラックバーの  にタッチすると、次の画面が表示されます。



スイッチ	名称	機能
①	オーディオモードスイッチ	タッチすると、オーディオモード選択画面を表示します。
②	選曲スイッチ (右側)	タッチすると、次の曲に切り替わります。
	選曲スイッチ (左側)	タッチすると、曲の頭出し、連続でタッチすると、前の曲に切り替わります。
③	早送りスイッチ (右側)	タッチすると、曲が早送りされます。
	早戻しスイッチ (左側)	タッチすると、曲が早戻しされます。
④	再生スイッチ	タッチすると、曲が再生されます。
⑤	一時停止スイッチ	タッチすると、再生が一時停止します。
⑥	リピート再生スイッチ	タッチするとRPTが表示され、再生中の曲が繰り返し再生されます。 2度続けてタッチするとALB.RPTが表示され、選択しているアルバム内全ての曲が繰り返し再生されます。 再度タッチすると、リピート再生が解除されます。
⑦	ランダム再生スイッチ	タッチするとRANDが表示され、選択しているアルバム内全ての曲がランダム再生されます。 2度続けてタッチするとALB.RANDが表示され、Bluetoothオーディオに収録されている全ての曲がランダム再生されます。 再度タッチすると、ランダム再生が解除されます。
⑧	Bluetooth接続状態表示	<p>非接続 ←悪い ←→ 良い</p>  <p>(灰色)</p>

 アドバイス

- Bluetoothオーディオにより、機能に対応していないため、タッチスイッチが表示されなかったり、操作ができないことがあります。また、機能に対応している場合でも別動作をすることがあります。
- 本機での表示に対応しているBluetoothオーディオは、収録されている曲にアーティスト名や曲名が記録されている場合、半角24文字、全角12文字まで表示されます。
- Bluetoothオーディオを再生中に音量を調整した場合、Bluetoothオーディオ用の音量レベルとして記憶することができます。記憶した音量レベルは、Bluetoothオーディオを接続していないときに初期設定値に戻ります。
- Bluetoothオーディオに収録されている音楽ファイル数、ソフトウェアバージョンにより、操作画面による操作を行っても、すぐに反応しなかったり、正しく動作しないことがあります。
- 次の場合、Bluetoothオーディオを使用すると、Bluetooth接続ができないことがあります。接続可能な位置までポータブルオーディオを移動します。
 - ・ Bluetoothオーディオがディスプレイから隠れる場所（シートのうしろや下、またはグローブボックス内やコンソールボックス内）にある場合
 - ・ Bluetoothオーディオが金属製のものに接したり、覆われている場合
- Bluetoothオーディオ再生中に携帯電話の接続動作を行った場合、Bluetoothオーディオの音声かとぎれることがあります。
- Bluetoothオーディオの電池残量表示は目安です。Bluetoothオーディオの表示と一致しないことがあります。また、接続した機種により、表示されないことがあります。
- Bluetooth接続により、Bluetoothオーディオの電池が早く消耗します。
- Bluetoothオーディオを接続しても充電されません。

曲を一覧から選ぶ

リストを表示して、曲を選ぶことができます。

① アルバム名／トラック名にタッチ。

② リストにタッチ。



▶ フォルダ名にタッチした場合、次の階層のリストが表示されます。

他の機器に切り替える

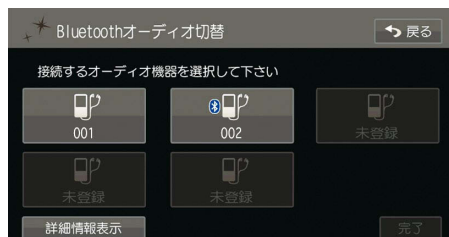
登録したBluetoothオーディオの中から使用する機器を選択することができます。本機には、一番新しく登録したBluetoothオーディオが選択されます。

チェック

使用するBluetoothオーディオの電源をONにするなど、本機と接続できる状態にします。

① **接続** にタッチ。

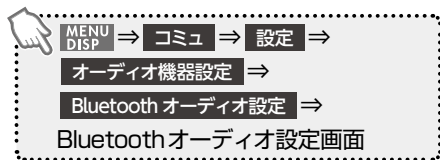
② 使用するBluetoothオーディオにタッチ。



● **詳細情報表示** ... 選択したBluetoothオーディオの機器名称などの情報を表示(→162)

③ **完了** にタッチ。

設定を変更する



- 1 Bluetoothオーディオ設定画面で次の設定を行うことができます。



- **初期状態** ...全ての項目設定を初期の状態に戻す

項目	機能	ページ
Bluetoothオーディオ設定	登録	154
	削除	160
機器名称	変更	160
パスキー	変更	161

登録した機器を削除する

- 1 Bluetoothオーディオ設定画面で**削除**にタッチ。
- 2 削除するBluetoothオーディオにタッチ。



- 3 **完了**にタッチ。
- 4 **はい**にタッチ。

機器名称を変更する

Bluetoothネットワーク内での本機の名称を変更することができます。

- 1 Bluetoothオーディオ設定画面で、**変更** (機器名称)にタッチ。
- 2 機器名称を入力する(→31)。



- 3 **完了**にタッチ。

》パスキーを変更する

Bluetoothオーディオを本機に登録するときのパスキーを変更することができます。

- 1 Bluetoothオーディオ設定画面で、**変更** (パスキー)にタッチ。
- 2 4～8桁の数字を入力する。

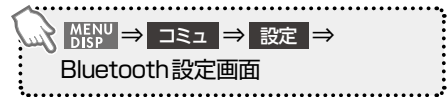


- **修正** ...1文字ずつ削除

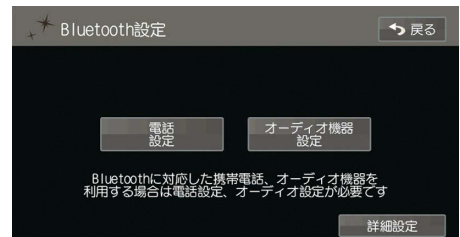
- 3 **完了** にタッチ。

自動Bluetooth接続を設定する

初期状態では、車両のエンジンスイッチをACC、またはONにした場合、Bluetooth機器を自動で接続するように設定されています。自動で接続するか、しないかを選択することができます。



- 1 **詳細設定** にタッチ。



- 2 **する**、または**しない** (自動Bluetooth機器接続)にタッチ。

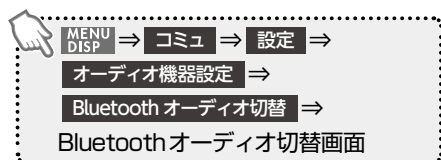


- **初期状態** ...全ての項目設定を初期の状態に戻す

- 3 **完了** にタッチ。

詳細情報を表示・変更する

使用しているBluetoothオーディオの情報（機器名称、機器アドレス、接続方法）を表示、変更することができます。



- 1 現在使用しているBluetoothオーディオにタッチ。



- 2 詳細情報表示 にタッチ。

機器名称を変更する

使用中のBluetoothオーディオの名称を変更することができます。

- 1 Bluetoothオーディオ詳細情報画面で、変更 にタッチ。



- 2 機器名称を入力する(→31)。



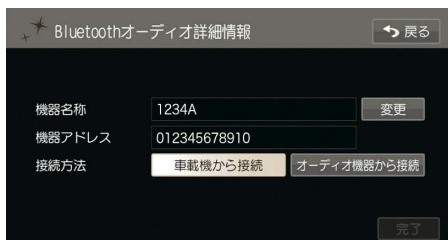
▶ 半角20文字、全角10文字まで入力することができます。

- 3 完了 にタッチ。

》接続方法を変更する

使用中のBluetoothオーディオの接続方法を変更することができます。

- 1 Bluetoothオーディオ詳細情報画面で、
車載機から接続、または
オーディオ機器から接続 にタッチ。



- **車載機から接続** ...本機側から接続する場合
- **オーディオ機器から接続** ...Bluetoothオーディオ側から接続する場合

- 2 **完了** にタッチ。

アドバイス

オーディオ機器から接続 を選択した場合、オーディオ機器の操作が必要になります。操作方法については、オーディオ機器の取扱説明書を参照してください。

Bluetoothオーディオを止める

- 1 **TRACK PWR** に1秒以上タッチ。

▶再度、**TRACK PWR** に1秒以上タッチすると、再生が再開されます。

DVDを見る

DVDビデオおよびDVD-VRを見ることができます。

車両のエンジンスイッチがON、またはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみDVDをご覧になることができます。

走行中は音声のみ聞くことができます。

⚠ 注意

本機は、マクロビジョンコーポレーションやその他の権利者が保有する、米国特許権及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。

👉 アドバイス

DVDビデオは、DVD、ソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。その場合、ソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が動かないことがあります。再生するディスクに付属の取扱説明書も必ずご覧ください。

再生できるDVDについて

販売やレンタルされているDVDの他、家庭で録画したDVDビデオなどを再生することができます。

市販されているDVD

次のDVDに対応しています。また、NTSCカラーテレビ方式に対応していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」のマークが表示されているディスクを使用してください。

ディスクの種類	 		
大きさ／再生面 ／最大再生時間 (MPEG 2方式)	12cm／片面	1層	133分
		2層	242分
	12cm／両面	1層	266分
		2層	484分
リージョンコード	 		
その他のディスク	<p>Dolby Digitalに対応しており、下のマークのついたディスクが使用できます。</p> <p style="text-align: center;"></p> <p>ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。 Dolby、ドルビー、およびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。</p>		

家庭で録画したDVD

ディスクの種類	     		
データ形式	DVD±R DVD±RW DVD±R DL	DVDビデオフォーマット（ビデオモード）	
	CPRM対応DVD-R CPRM対応DVD-RW CPRM対応DVD-R DL	DVDビデオレコーディングフォーマット（VRモード）	

アドバイス

- DVDビデオディスクにより、一部機能が使用できないことがあります。
- Dual Discには対応していません。機器の故障の原因およびディスクの出し入れの際にディスクにキズがつく原因になることがあるため、使用しないでください。
- DVD±R/RW/R DL（DVD±Recordable/ReWritable/Recordable Dual Layer）は、記録状態やディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できないことがあります。また、ファイナライズ処理されていないDVD±R/RW/R DLは再生することができません。パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定や環境により再生できないことがあります。

DVD を見る

≫ DVDが入っていない場合

- 1 DVDを挿入する(→28)。

≫ DVDが入っている場合


- 1 **MENU DISP** にタッチ。
- 2 **オーディオ** にタッチ。
- 3 **DISC** にタッチ。



アドバイス

ディスクにより、自動再生されない場合や、ディスクに記録されているメニュー項目を選択しないと、再生されない場合があります。再生されない場合、メニュー画面から操作します(→169)。

基本操作

DVDを再生中にトラックバーの  または映像画面にタッチすると、次の画面が表示されます。
[DVD-ビデオ]



スイッチ	名称	機能
①	オーディオモードスイッチ	タッチすると、オーディオモード選択画面を表示します。
②	チャプター切り替えスイッチ (右側)	タッチすると、次のチャプターに切り替わります。
	チャプター切り替えスイッチ (左側)	タッチすると、チャプターの頭出し、連続でタッチすると前のチャプターに切り替わります。
③	リターンスイッチ	タッチすると、ディスクの指定された位置に移動し再生します。
④	再生/一時停止スイッチ	タッチすることにより映像の再生/一時停止をします。
⑤	停止スイッチ	タッチすると、映像が停止します。
⑥	早戻しスイッチ	タッチし続けている間、映像が早戻しされます。
⑦	早送りスイッチ	タッチし続けている間、映像が早送りされます。
⑧	ダイレクトスイッチ	タッチすると、ダイレクトタッチ操作画面を表示します。(→169)

[DVD-VR]



スイッチ	名称	機能
①	オーディオモードスイッチ	タッチすると、オーディオモード選択画面を表示します。
②	チャプター切り替えスイッチ (右側)	タッチすると、次のチャプターに切り替わります。 "ピッ"と音がするまでタッチすると、次のプログラム (プレイリスト [※]) に切り替わります。
	チャプター切り替えスイッチ (左側)	タッチすると、チャプターの頭出し、連続でタッチすると、前のチャプターに切り替わります。 "ピッ"と音がするまでタッチすると、プログラム (プレイリスト [※]) が頭出しされます。
③	再生/一時停止スイッチ	再生中にタッチすると、映像が一時停止します。 一時停止中にタッチすると、映像が再生されます。
④	停止スイッチ	タッチすると、映像が停止します。
⑤	早戻しスイッチ	タッチし続けている間、映像が早戻しされます。
⑥	早送りスイッチ	タッチし続けている間、映像が早送りされます。

※ プレイリストを切り替える場合、再生モードをプレイリストに設定します (→179)。

アドバイス

DVD基本操作画面で画面にタッチすると、フル画面表示に戻ります。また操作をせずに5秒以上経過すると自動でフル画面表示に戻ります。

DVDメニューを操作する

[DVD-ビデオ]

ディスクが自動で再生されない場合や、好みの場面を再生したい場合、ディスクに収録されているDVDメニューを操作して再生することができます。

》ダイレクトタッチ操作画面から操作する






ディスクを差し込んだときに、ディスクメニューが表示される場合は、メニューのアイコンに直接タッチして、選択することができます。

- 1 DVDメニューのアイコンにタッチ。



》タッチスイッチから操作する

ディスクを差し込んだときに、DVDメニューが表示されない場合は、次の方法でDVDメニューを表示させることができます。

- 1 **メニュー**、**トップメニュー** または  にタッチ。
- 2     にタッチし、メニューを選択。



- **移動** ...タッチすることによりタッチスイッチの表示位置を上下に切り替え
- **OFF** ...タッチスイッチを消す
- **ダイレクト** ...ダイレクトタッチ操作が可能

- 3 **決定** にタッチ。

アドバイス

- ディスクによって記録されているDVDメニュー項目は異なります。また、ディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能しない場合があります。
- 再生している映像がディスクに収録されているDVDメニューに切り替わるとダイレクト操作画面が表示されます。
- ディスクによって、表示されるDVDメニューをダイレクト操作画面から操作できない場合があります。

見たい映像を探す

見たい映像をタイトル番号から探すことができます。

》タイトル番号から探す

- 1 **サーチ** にタッチ。
- 2 **-10** **+10** **-1** **+1** にタッチし、タイトル番号を指定。



- **-1**、または **+1** ... タイトル番号を1ずつ切り替え
- **-10**、または **+10** ... タイトル番号を10ずつ切り替え

- 3 **決定** にタッチ。

タッチスイッチの表示を切り替える

[DVD-ビデオ]

タッチスイッチの表示を切り替えたり、タッチスイッチの表示を消すことができます。

》タッチスイッチを消す

- 1 **メニュー**、**トップメニュー** または **⇄** にタッチ。
- 2 **OFF** にタッチ。



》タッチスイッチの表示場所を切り替える

1 **メニュー**、**トップメニュー** または **+** にタッチ。

2 **移動** にタッチ。



▶ タッチするごとに、タッチスイッチの表示位置が上下に切り替わります。

画面表示・音声の切り替え

再生する映像の字幕言語や音声言語、表示アングル、音声多重を切り替えることができます。

》音声を切り替える

ディスクに複数の音声言語が収録されている場合には音声言語を、音声多重放送が収録されている場合には主音声と副音声を切り替えて再生することができます。

1 **NEXT** にタッチ。

2 **音声** にタッチ。



3 **音声切替** にタッチ。



▶ タッチするごとに、ディスクに収録されている音声切り替わります。

》字幕言語を切り替える

ディスクに複数の字幕言語が収録されていると、字幕を切り替えて表示することができます。

- 1 **NEXT** にタッチ。
- 2 **字幕** にタッチ。
- 3 **字幕切替** にタッチ。



- ▶ タッチするごとに、ディスクに収録されている字幕言語が切り替わります。
- ▶ **字幕非表示** にタッチすると、字幕を表示させないようにすることができます。表示させるときは、再度 **字幕非表示** にタッチします。

》アングルを切り替える

[DVD-ビデオ]

ディスクに複数のアングルが収録されていると、アングルを切り替えて表示することができます。

チェック

- 画面にマルチアングルマークが表示されているときに、アングルを切り替えることができます。
- マルチアングルマークを表示するには、マルチアングルの設定を"表示"に設定する必要があります (→177)。

- 1 **NEXT** にタッチ。

マルチアングルマーク (📐)



- 2 **アングル** にタッチ。



- 3 **アングル切替** にタッチ。



- ▶ タッチするごとにアングル番号が変わり、ディスクに収録されているアングルが順に切り替わります。

》静止画を切り替える

[DVD-VR]

- 1 **NEXT** にタッチ。
- 2 **ページ送り** にタッチ。



DVDを止める

- 1 **TRACK PWR** に1秒以上タッチ。
 - ▶ 再度、**TRACK PWR** に1秒以上タッチすると、再生が再開されます。

DVD プレーヤーの設定

再生中の音声や字幕表示、メニュー表示の言語をあらかじめ設定することができます。また、マルチアングルマークの表示・非表示や視聴制限なども設定することができます。

- 1 **NEXT** にタッチ。
- 2 **設定** にタッチ。
- 3 **初期設定** にタッチ。



- 4 DVD初期設定画面で各タッチスイッチにタッチすると次の設定を行うことができる。



タッチスイッチ	機能	ページ
音声	再生する映像の優先音声言語を設定します。	175
字幕	再生する映像の優先字幕言語を設定します。	175
ソフトメニュー	表示するメニューの言語を設定します。	176
マルチアングルマーク	マルチアングルマークの表示・非表示を設定します。	177
視聴制限	再生できる DVDビデオを制限します。	177
音声ダイナミックレンジ	音域の広さ設定します。	178

- **初期状態** ...全ての項目設定を初期の状態に戻す。

アドバイス

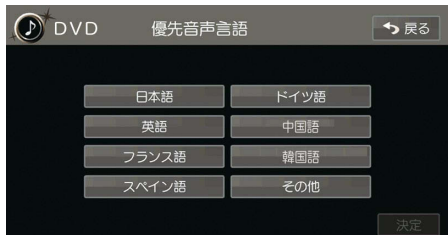
DVD初期設定画面で設定を変更したあと、**決定** にタッチせずに、画面が切り替わるスイッチを押すとDVDの再生は停止した状態になります。

再度、再生する場合は映像操作画面で **▶** にタッチします。(→167)

》優先音声言語を設定する

再生中の映像をお好きな言語で楽しむことができます。

- 1 DVD初期設定画面で **音声** にタッチ。
- 2 優先音声言語設定画面でお好みの言語にタッチ。



- **その他** ...画面に表示された言語以外の言語を設定

コードを入力する

- ▶ 言語コードについては「言語コード一覧」(→180) を参照してください。

- 1 優先音声言語設定画面で **その他** にタッチ。
- 2 言語コードを入力する。



- 3 **決定** にタッチ。

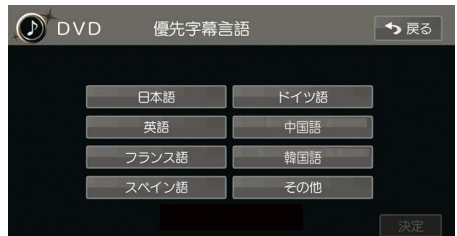
👉 アドバイス

- 選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。
- ディスクに優先される音声言語、または字幕言語が記録されていると、ディスク内容にしたがって再生を行うため、設定した言語に切り替わらない場合があります。この場合は、「画面表示・音声の切り替え」(→171)で言語を切り替えてください。

》優先字幕言語を設定する

再生中の映像をお好きな字幕で表示することができます。

- 1 DVD初期設定画面で **字幕** にタッチ。
- 2 優先字幕言語設定画面でお好みの言語にタッチ。



- **その他** ...画面に表示された言語以外の言語を設定

- 3 **決定** にタッチ。

コードを入力する

▶ 言語コードについては「言語コード一覧」(→180)を参照してください。

1 優先字幕言語設定画面で **その他** にタッチ。

2 言語コードを入力する。



3 **決定** にタッチ。

アドバイス

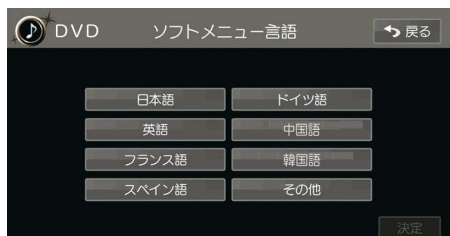
- 選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。
- ディスクに優先される音声言語、または字幕言語が記録されていると、ディスク内容にしたがって再生を行うため、設定した言語に切り替わらない場合があります。この場合は、「画面表示・音声の切り替え」(→171)で言語を切り替えてください。

》メニュー言語を設定する

ディスクに収録されているメニューなどの表示言語を設定することができます。

1 DVD初期設定画面で **ソフトメニュー** にタッチ。

2 ソフトメニュー言語設定画面でお好みの言語にタッチ。



- **その他** ...画面に表示された言語以外の言語を設定

コードを入力する

▶ 言語コードについては「言語コード一覧」(→180)を参照してください。

1 ソフトメニュー言語設定画面で **その他** にタッチ。

2 言語コードを入力する。



3 **決定** にタッチ。

アドバイス

- 選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。
- ディスクに優先される音声言語、または字幕言語が記録されていると、ディスク内容にしたがって再生を行うため、設定した言語に切り替わらない場合があります。この場合は、「画面表示・音声の切り替え」(→171)で言語を切り替えてください。

》マルチアングルの表示を設定する

再生中、マルチアングルマークの表示・非表示を設定することができます。

チェック

マルチアングルマークの表示設定を「表示」に設定すると、ディスク内の複数アングルが選択可能な状態になったとき、画面の上部にマルチアングルマークが表示されます。

- 1 DVD初期設定画面で **マルチアングルマーク** にタッチ。



- ▶ タッチすることにより「表示」と「非表示」が切り替わります。

- 2 **決定** にタッチ。

》視聴制限を設定する

ディスクの中には、成人向けの内容や暴力シーンなど、子どもに見せたくない場面の視聴を制限できるものがあります。この視聴制限は、レベルによって段階的に設定することができます。

チェック

- 視聴制限レベルが記録されていないディスクでは設定できません。
- 一度、暗証番号を入力すると次回以降、本項目の利用時には暗証番号が必要になります。暗証番号を忘れないようご注意ください。

- 1 DVD初期設定画面で **視聴制限** にタッチ。
- 2 数字を1番号ずつタッチして暗証番号を入力する。



- ▶ 暗証番号が入力されていない場合、上側に表示される暗証番号は「----」で表示されます。

- 3 **決定** にタッチ。

4 お好みの視聴制限レベルにタッチ。



5 **決定** にタッチ。

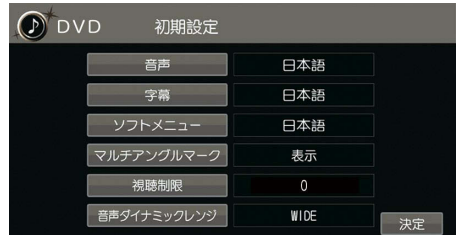
アドバイス

視聴制限レベルは大きく3種類に分類されます。

- レベル1...
 - ・子ども向けのDVDソフトのみを再生します。(一般向けと成人向けのDVDソフトの再生を禁止します。)
- レベル2～7...
 - ・子ども向けと一般向けのDVDソフトのみを再生します。(成人向けのDVDソフトの再生を禁止します。)
- レベル8...
 - ・全てのDVDソフトを再生します。(初期設定)

》音域の設定をする

1 DVD初期設定画面で
音声ダイナミックレンジ にタッチ。



▶ タッチするごとに「WIDE」→「NARROW」
→「NORMAL」の順に切り替わります。

画像サイズを切り替える

⚠ 注意

お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

- 1 **NEXT** にタッチ。
- 2 **設定** にタッチ。
- 3 **ワイドモード** にタッチ。
- 4 **標準**、**ワイド1**、**ワイド2** のいずれかにタッチ。



- **標準** ...通常の4:3 (横:縦) の画面を表示。画面の両端が黒く表示されます。
- **ワイド1** ...4:3の画面を左右方向に拡大。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。
- **ワイド2** ...4:3の画面を上下左右とも同じ比率で拡大。上下が少しカットされます。

再生モードを切り替える

[DVD-VR]

ディスク内にお気に入りの映像を集めたプレイリストが作成されている場合、再生モードを切り替えてプレイリストを再生することができます。

- 1 **再生モード** にタッチ。
- 2 **再生モード切替** にタッチ。



▶ タッチすることにより、再生モードが切り替わります。

言語コード一覧

「音声」、「字幕」、「ソフトメニュー」の言語は、下記のコード番号から数字を入力し選択することができます。

コード	言語名称
1001	日本語
0514	英語
0618	フランス語
0405	ドイツ語
0920	イタリア語
0519	スペイン語
1412	オランダ語
1821	ロシア語
2608	中国語
1115	韓国語
0512	ギリシャ語
0101	アファル語
0102	アブバジャ語
0106	アフリカーンス語
0113	アムハラ語
0118	アラビア語
0119	アッサム語
0125	アイマラ語
0126	アゼルバイジャン語
0201	バシキール語
0205	ベラルーシ語
0207	ブルガリア語
0208	ビハリー語
0209	ビスラマ語
0214	ベンガル語
0215	チベット語
0218	ブルトン語
0301	カタロニア語
0315	コルシカ語
0319	チェコ語
0325	ウェールズ語
0401	デンマーク語
0426	ブータン語
0515	エスペラント語
0520	エストニア語
0521	バスク語
0601	ペルシア語
0609	フィンランド語
0610	フィジー語
0615	フェロー語
0625	フリジア語
0701	アイルランド語
0704	スコットランドゲール語
0712	ガルシア語
0714	グアラニ語
0721	グジャラート語

コード	言語名称
0801	ハウサ語
0809	ヒンディー語
0818	クロアチア語
0821	ハンガリー語
0825	アルメニア語
0901	国際語
0905	Interlingue
0911	イヌピアック語
0914	インドネシア語
0919	アイスランド語
0923	ヘブライ語
1009	イディッシュ語
1023	ジャワ語
1101	グルジア語
1111	カザフ語
1112	グリーンランド語
1113	カンボジア語
1114	カナダ語
1119	カシミール語
1121	クルド語
1125	キルギス語
1201	ラテン語
1214	リンガラ語
1215	ラオス語
1220	リトアニア語
1222	ラトビア語
1307	マダガスカル語
1309	マオリ語
1311	マケドニア語
1312	マラヤーラム語
1314	モンゴル語
1315	モルダビア語
1318	マラータ語
1319	マライ語
1320	マルタ語
1325	ビルマ語
1401	ナウル語
1405	ネパール語
1415	ノルウェー語
1503	プロバンス語
1513	オロモ語
1518	オリヤー語
1601	パンジャブ語
1612	ポーランド語
1619	アフガニスタン語
1620	ポルトガル語

コード	言語名称
1721	ケチュア語
1813	レートロマン語
1814	キルンディー語
1815	ルーマニア語
1823	キンヤルワンダ語
1901	サンスクリット語
1904	シンド語
1907	サンド語
1908	セルボクロアチア語
1909	セイロン語
1911	スロバク語
1912	スロベニア語
1913	サモア語
1914	シヨナ語
1915	ソマリ語
1917	アルバニア語
1918	セルビア語
1919	シスワティ語
1920	セストゥ語
1921	スンダ語
1922	スウェーデン語
1923	スワヒリ語
2001	タミル語
2005	テルグ語
2007	タジク語
2008	タイ語
2011	ツルキ語
2012	タガログ語
2014	セツワナ語
2018	トルコ語
2019	ツォンガ語
2020	タタール語
2023	トウィ語
2111	ウクライナ語
2118	ウルドゥー語
2126	ウズベグ語
2209	ベトナム語
2215	ボラビュク語
2315	ウォルフ語
2408	コーサ語
2621	ズールー語

ワンセグを見る

ワンセグを利用した地上デジタル放送を見ることができます。

ワンセグをお使いになる前に

車両のエンジンスイッチがON、またはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみ地上デジタルTV放送をご覧になることができます。

走行中は音声のみ聞くことができます。

》地上デジタルTV放送について

車載機での地上デジタルTV放送の受信は受信場所により、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難なことがあります。この関係の主な例を次に説明します。

- ▶ 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで受信すると、映像が静止したり音声かとぎれることがあります。
- ▶ 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなることがあります。
- ▶ ラジオ放送やアマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、映像が静止したり音声かとぎれることがあります。
- ▶ トンネル内に入ると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
- ▶ 放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
- ▶ 一部の地域において、アナログTV放送、ラジオ放送などの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像が静止したり音声かとぎれることがあります。

》緊急警報放送（EWS）を受信したときは

EWS (Emergency Warning System) とは、放送局が緊急警報信号を送信し、地震や津波などの情報をお知らせするシステムです。緊急警報放送は、警戒宣言、津波警報、知事からの要請があったときに放送されます。

TV映像画面を表示中に緊急警報放送を受信した場合、自動で放送内容が表示されます。放送が終了すると、自動的にもとの番組に戻ります。なお、TV映像画面以外を表示していた時に受信した場合は、「緊急警報放送が開始されました」がオンスクリーン表示されます。

👉 アドバイス

地上デジタルTV放送は、1つのチャンネル（放送局）で複数の番組（サービス）を同時に放送することができます。1つのチャンネルで同じ番組を放送している場合や、ワンセグ放送が1つのチャンネルで複数放送している場合があります。違うチャンネルの番組に切り替えたい場合、チャンネルを選択したあと、番組を切り替えます。

初回起動画面

ワンセグ機能をはじめてご利用になる場合、プリセットスイッチにチャンネルを記憶します。

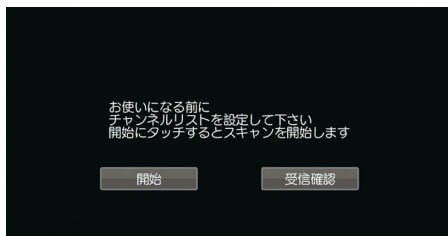
1 **MENU DISP** にタッチ。

2 **オーディオ** にタッチ。

3 **TV** にタッチ。



4 **開始** にタッチ。



▶ 選局中に **中止** をタッチ、またはチャンネルが受信できなかった場合、再度、**開始** をタッチします。

▶ **受信確認** をタッチすると、各チャンネルのアンテナの入力レベル、映像、音声の受信状態を確認することができます。



▶ ▲、または ▼ をタッチすると、確認するチャンネルを切り替えることができます。

ワンセグを見る

- 1 **MENU DISP** にタッチ。
- 2 **オーディオ** にタッチ。
- 3 **TV** にタッチ。



アドバイス

双方向通信やデータ放送には対応していません。


中継局サーチについて

現在受信しているチャンネルが受信できなくなった場合、その地点の周辺にある中継局を自動で探し受信します。受信した場合プリセットスイッチにチャンネルを記憶します。


アドバイス

- 中継局のサーチ中は、「受信できる放送局を探しています。サーチを終了する際は、他の番組を選局して下さい。」のメッセージが表示されます。
- 中継局サーチは、設定によりOFFにすることができます。(→189)
- エリアプリセットモード(→133)のときは、中継局サーチでチャンネルが切り替わってもプリセットスイッチは更新されません。

基本操作

TVを視聴中にトラックバーの 、または画面にタッチすると、次の画面が表示されます。



スイッチ	名称	機能
①	オーディオモードスイッチ	タッチすると、オーディオモード選択画面を表示します。
②	サービス切替スイッチ※1	タッチするごとに、番組が切り替わります。
③	プリセットスイッチ※2	タッチすると、記憶されているチャンネルが受信されます。
④	アンテナインジケータ	 受信不可 ← 受信状態が悪い ← → 受信状態が良い

※1 ご覧のチャンネルが複数の番組（サービス）を同時に放送している場合に使用できます。

※2 あらかじめチャンネルを記憶します。（→188）

アドバイス

- 受信電波の弱い地域では、自動で選局できないことがあります。
- 電波の受信状態が悪くなり、受信レベルが弱くなると、画像が静止して、音が出なくなることがあります。
- アンテナインジケータの受信レベルは目安です。受信レベルが弱くても映像が受信できたり、強くても映像が静止したり、音声がとぎれることがあります。

放送局名一覧で選局する

プリセットされている放送局の一覧を表示して、選局します。

1 **放送局リスト** にタッチ。

2 お好みの放送局にタッチ。



3 **全画面** にタッチ。

▶ 選局した放送局に切り替わります。

番組表を見る

番組表を表示して見たい番組を探します。

1 **放送局リスト** にタッチ。

2 **番組** にタッチ。



▶ 番組表画面が表示されます。



- ▶ ◀、または ▶ にタッチすると、プリセットチャンネルの番号順に番組表を切り替えることができます。
- ▶ 選択しているチャンネルで複数の番組が放送されている場合、**サービス切替** にタッチすると、番組表を切り替えることができます。
- ▶ 情報を見たい番組にタッチすると、その番組の内容を見ることができます。

主音声と副音声を切り替える

ご覧になっている番組が音声多重放送を提供している場合、主音声と副音声を切り替えることができます。

1 **放送局リスト** にタッチ。

2 **MAIN / SUB** にタッチ。



▶ タッチすることにより、MAIN（主音声）、SUB（副音声）、MAIN / SUB（主 / 副音声）の順に切り替わります。

今いる地域の放送局を記憶する

自分がいる地域の放送局のチャンネルがわからない場合、その地域のチャンネルを記憶し、選局することができます。

1 **エリア** にタッチ。

- ▶ "AREA.P"が表示されます。
- ▶ 再度、**エリア** をタッチすると、あらかじめ記憶したチャンネルが表示されます。
- ▶ チャンネルが表示されたあと、プリセットスイッチをタッチすると、チャンネルを選局することができます。

アドバイス

放送を受信できても、放送局名を表示できない地域があります。

チャンネルを一時的に記憶する (AUTO.P)

AUTO.Pはチャンネルを一時的にプリセットスイッチに記憶する機能です。

AUTO.Pを使用してもあらかじめ記憶したチャンネルは別で記憶されています。

ふだんご覧になるチャンネルは自動で記憶して、旅先などでその地域のチャンネルを一時的に記憶したい場合にAUTO.Pを使用することができます。

1 **AUTO.P** に"ピーッ"と音がするまでタッチ。

- ▶ "AUTO.P"が点滅し、"ピッピッ"と音がすると、記憶が完了します。
- ▶ 受信感度の良いチャンネルが小さい順に12局まで自動で記憶されます。
- ▶ 再度、**AUTO.P** にタッチすると、記憶したチャンネルは消去され、チャンネルリストスキャンで記憶したチャンネルが表示されます。

アドバイス

- 受信電波の弱い地域では、AUTO.Pで自動受信できないことがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、チャンネルリストスキャンで記憶したチャンネルとAUTO.Pで記憶したチャンネルは一致しないことがあります。
- AUTO.Pを同じ場所で繰り返しても、受信電波の状態により、記憶されるチャンネルが異なることがあります。
- 受信できたチャンネルが12局未満の場合、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

画像サイズを切り替える

注意

お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

 放送局リスト ⇒ **WIDEMODE** ⇒ **WIDEMODE**画面

1 **Normal**、または **Wide** にタッチ。



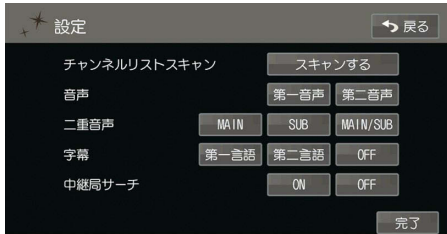
● **Normal** ...通常の4:3 (横:縦) の画面を表示します。画面の両端が黒く表示されます。

● **Wide** ...4:3の画面を左右方向に拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。

設定を変更する

ワンセグの設定を変更することができます。

- 1 **放送局リスト** にタッチ。
- 2 **設定** にタッチ。
- 3 お好みの設定にタッチ。



》チャンネルを記憶する

ふだんご覧になるチャンネルをプリセットスイッチに自動で記憶することができます。

- 1 設定画面で **スキャンする** にタッチ。
 - ▶ チャンネルの選局が開始され、次の画面が表示されます。
 - ▶ **中止** にタッチすると、選局を止めることができます。
 - ▶ 選局中に **中止** にタッチ、または選局終了後、1つのチャンネルも受信できなかった場合、ワンセグ放送をご覧になることができません。再度、**開始** にタッチします。

》放送している音声を切り替える

- 1 設定画面で **第一音声**、または **第二音声** にタッチ。
- 2 **完了** にタッチ。

》音声多重放送の音声モードを切り替える

- 1 設定画面で、**MAIN**、**SUB**、**MAIN / SUB** のいずれかにタッチ。
- 2 **完了** にタッチ。

》番組の字幕言語を切り替える

1 設定画面で、**第一言語**、**第二言語**、**OFF**のいずれかにタッチ。

2 **完了**にタッチ。

》中継局サーチを設定する

現在受信しているチャンネルが受信できなくなった場合、中継局を自動で探し受信できるように設定することができます。

1 設定画面で、**ON**、または**OFF**にタッチ。

設定	内容
ON	受信していたエリアからはずれた場合、その地点の周辺にある中継局を探します。受信するとプリセットスイッチにチャンネルが更新されます。
OFF	中継局のサーチを行いません。

2 **完了**にタッチ。

アドバイス

中継局のサーチ中は、映像および音声が出ません。

ワンセグを止める

1 **TRACK PWR**に1秒以上タッチ。

▶再度、**TRACK PWR**に1秒以上タッチすると、止める前のチャンネルが受信されます。

注意

本製品は、AVC PATENT PORTFOLIO LICENSEに基づきライセンスされており、当該ライセンスは、以下の(i)、(ii)に記載する行為であって、且つお客様が個人的に使用する場合、または非営利目的のみに限られ、それ以外の使用にはライセンスが許諾されておりません。

(i) AVC規格に準拠する動画（以下AVCビデオ）をエンコードする場合；

(ii) 個人的活動に従事する消費者よりエンコードされたか、AVCビデオを提供するためのライセンスを受けたビデオ・プロバイダーより取得したAVCビデオをデコードする場合。

なお、詳細情報については、米国法人MPEGLA, LLC.より入手可能です。

<http://www.mpegla.com>

iPod オーディオを聞く

iPodに入っている音楽ファイルを聞くことができます。

オプションのiPod対応USB/VTRアダプターで、iPodを接続するとiPodの音楽ファイルを再生することができます。また、リピート再生やランダム再生の切り替えなどを、本機で操作することができます。

 注意

- iPod対応USB/VTRアダプターに同梱のiPod用USBケーブルをご使用ください。指定以外のケーブルを使用すると、iPodが故障する原因となります。
- 本機でiPodを使用しているときにiPodのデータが消失しても、消失したデータの補償はできませんのでご容赦ください。
- iPodを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

 アドバイス

- ご使用になるiPodが本機に対応しているかどうか確認してください。対応しているiPodについては、「対応可能なiPodについて」(→196)を参照してください。
- 本機とiPodを接続しても、自動でiPodモードに切り替わりません。
- iPodと接続用ケーブルが正しく接続されていないと、iPodの電源がONにならない場合や、本機に認識されない場合があります。この場合は、一度iPodを取りはずし、再度接続してください。
- エンジンスイッチがONまたはACCになっている場合、接続したiPodのバッテリーが充電されます。ただし、電池残量によりiPodが起動するまでに時間がかかる場合があります。
- 本機にiPodを接続すると、本機で表示される曲名リストの順番がiPodと異なることがあります。
- iPodが操作不能になった場合は、iPodの接続をはずし、iPodをリセットしてから再度接続してください。iPodのリセット方法については、iPodの取扱説明書を参照してください。

iPodを接続する

iPodの接続・取りはずし方法の詳細は、iPod対応USB/VTRアダプターに同梱の取扱書を参照してください。

チェック

- iPodを接続する場合は、オプションのiPod対応USB/VTRアダプターをお買い求めください。
- 走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。
- iPodに接続されているアクセサリは全て取りはずしてください。

1 iPod対応USB/VTRアダプターへ、同梱のiPod用USBケーブルを接続する。

2 iPodとiPod用USBケーブルのiPod Dockコネクタを接続する。

アドバイス

本機は市販のUSBハブやマルチカードリーダー、外付けのハードディスク、USB端子付ポータブルオーディオプレーヤーには対応していません。

iPodを取りはずす

チェック

エンジンスイッチがONの場合、オーディオソースがiPod以外になっていること、またはエンジンスイッチがOFF (LOCK) になっていることをご確認ください。

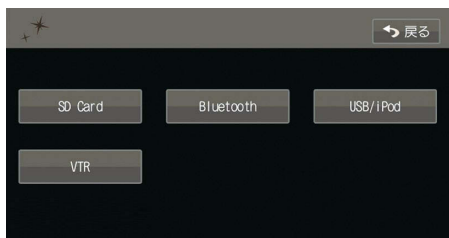
1 Dockコネクタを取りはずす。

iPod オーディオを再生する

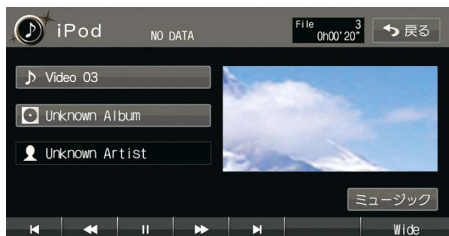
- 1 **MENU DISP** にタッチ。
- 2 **オーディオ** にタッチ。
- 3 **その他▶** にタッチ。



- 4 **USB/iPod** にタッチ。



- 5 再生モードがビデオモードの場合、**ミュージック** にタッチ。




▶ iPodに収録されている音楽ファイルの再生が始まります。

アドバイス

- 収録されている曲にアーティスト名や曲名が記録されている場合、半角32文字、全角16文字まで表示されます。
- 収録されている曲にジャケット写真のデータが収録されている場合、ジャケット写真を表示することができます。再生中の曲に複数ジャケット写真のデータが収録されている場合は、先頭に収録されている画像のみ表示することができます。
- ジャケット写真のデータによっては、表示できない場合があります。
- iPodに収録されているファイル数、ファームウェアバージョンによっては、操作画面による操作を行っても、すぐに反応しなかったり、正しく動作しない場合があります。
- iPod本体に「接続を解除できます。」が表示されますが、再生中は、iPod保護のため、iPodを取りはずさないでください。

基本操作

iPod を再生中にトラックバーの  にタッチすると、次の画面が表示されます。



表示	名称	内容
①	オーディオモードスイッチ	タッチすると、オーディオモード選択画面を表示します。
②	選曲スイッチ (右側)	タッチすると次の曲に切り替わります。
	選曲スイッチ (左側)	タッチすると、曲の頭出し、連続でタッチすると、前の曲に切り替わります。
③	早送りスイッチ (右側)	タッチすると、曲が早送りされます。
	早戻しスイッチ (左側)	タッチすると、曲が早戻しされます。
④	再生/一時停止スイッチ	タッチすること曲の再生/一時停止をします。
⑤	リピート再生スイッチ	タッチするとRPTが表示され、再生中の曲が繰り返し再生されます。再度タッチすると、リピート再生が解除されます。
⑥	ランダム再生スイッチ	タッチするとRANDが表示され、再生中のアルバム内にある全ての曲がランダムに再生されます。 2度続けてタッチするとALB.RANDが表示され、アルバム単位でランダムに再生されます。(ただし、アルバム内の曲は、先頭から再生されます。) 再度タッチすると、ランダム再生が解除されます。

曲を一覧から選ぶ

現在、再生対象となっている全ての曲を一覧で表示して、曲を選ぶことができます。

1 トラック名にタッチ。

2 曲にタッチ。



ファイルを選曲モードから探す

アーティスト名やジャンルなどの選曲モードからリストを表示して、ファイルを探すことができます。

1 **選曲** にタッチ。

2 選曲モードにタッチ。

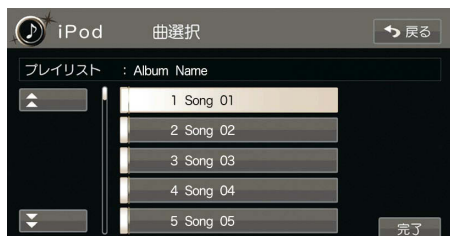


- **プレイリスト** ...プレイリストのリストを表示
 - **アーティスト** ...アーティストのリストを表示
 - **アルバム** ...アルバムのリストを表示
 - **曲** ...iPodに収録されている全ての曲が表示され、曲をタッチすると、再生
 - **ポッドキャスト** ...ポッドキャストのリストを表示
 - **オーディオブック** ...オーディオブックのリストが表示され、ブック名をタッチすると、再生
 - **ジャンル** ...ジャンルのリストを表示
 - **作曲家** ...作曲家のリストを表示
- ▶ ◀、▶ にタッチしてページを切り替える。

3 カテゴリにタッチ。



4 曲にタッチ。



5 **完了** にタッチ。

iPod を止める

1 **TRACK PWR** に1秒以上タッチ。

▶ 再度、**TRACK PWR** に1秒以上タッチすると、再生が再開されます。

対応可能な iPod について

本機は下記の iPod®、iPod nano®、iPod classic®、iPod touch®、iPhone®を使用することができます。

- ・ iPod with video
- ・ iPod nano (6th generation)
- ・ iPod nano (5th generation)
- ・ iPod nano (4th generation)
- ・ iPod nano (3rd generation)
- ・ iPod nano (2nd generaton)
- ・ iPod nano (1st generation)
- ・ iPod classic
- ・ iPod touch (4th generation)
- ・ iPod touch (3rd generation)
- ・ iPod touch (2nd generation)
- ・ iPod touch (1st generation)
- ・ iPhone 4
- ・ iPhone 3GS
- ・ iPhone 3G

アドバイス

- iPod および iTunes は、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPod のファームウェアバージョンは、iPod 本体で確認することができます。詳しくは、iPod の取扱説明書をご覧ください。
- iPod の最新ファームウェアバージョンは、トヨタ自動車のホームページを参照ください。
- iPod の機種およびファームウェアバージョンにより、正しく動作しなかったり、反応しない場合があります。
- "Made for iPod", "Made for iPhone", mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, iPhone, respectively and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.



- Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod, iPhone may affect wireless performance.
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

10 iPodビデオを見る

iPodに入っているビデオファイルを見ることができます。

オプションのiPod対応USB/VTRアダプターで、iPodを接続するとiPodのビデオファイルを再生することができます。

車両のエンジンスイッチがON、またはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみiPodビデオをご覧になることができます。走行中は音声のみ聞くことができます。

⚠ 注意

- iPod対応USB/VTRアダプターに同梱のiPod用USBケーブルをご使用ください。指定以外のケーブルを使用すると、iPodが故障する原因となります。
- 本機でiPodを使用しているときにiPodのデータが消失しても、消失したデータの補償はできませんのでご容赦ください。
- iPodを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

👉 アドバイス

- ご使用になるiPodが本機に対応しているかどうか確認してください。対応しているiPodについては、「対応可能なiPodについて」(→196)を参照してください。
- 本機とiPodを接続しても、自動でiPodモードに切り替わりません。
- iPodと接続用ケーブルが正しく接続されていないと、iPodの電源がONにならない場合や、本機に認識されない場合があります。この場合は、一度iPodを取りはずし、再度接続してください。
- エンジンスイッチがONまたはACCになっている場合、接続したiPodのバッテリーが充電されます。ただし、電池残量によりiPodが起動するまでに時間がかかる場合があります。
- 本機にiPodを接続すると、本機で表示される曲名リストの順番がiPodと異なることがあります。
- iPodが操作不能になった場合は、iPodの接続をはずし、iPodをリセットしてから再度接続してください。iPodのリセット方法については、iPodの取扱説明書を参照してください。

iPodを接続する

「iPodオーディオを聞く」の「iPodを接続する」を参照してください。

(→191)

iPodを取りはずす

「iPodオーディオを聞く」の「iPodを取りはずす」を参照してください。

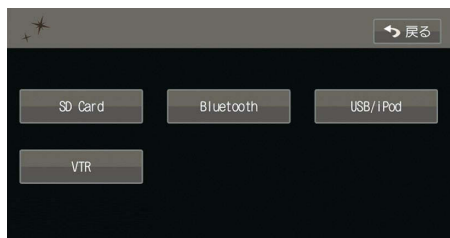
(→191)

iPodビデオを再生する

- 1 **MENU DISP** にタッチ。
- 2 **オーディオ** にタッチ。
- 3 **その他▶** にタッチ。



- 4 **USB/iPod** にタッチ。



- 5 再生モードがミュージックモードの場合、**ビデオ** にタッチ。




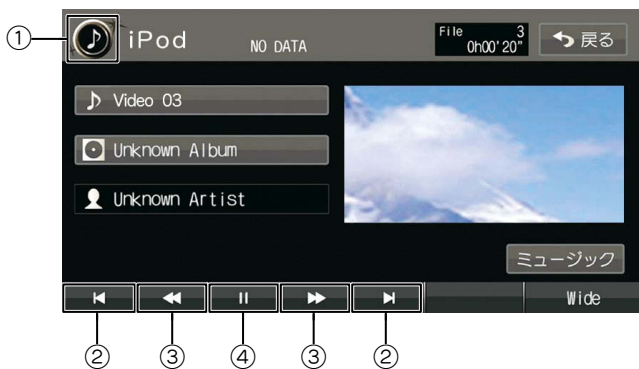
▶ iPodに収録されている映像の再生が始まります。

アドバイス

- 収録されている映像にアーティスト名や曲名が記録されている場合、半角32文字、全角16文字まで表示されます。
- iPodに収録されているファイル数、ファームウェアバージョンによっては、操作画面による操作を行っても、すぐに反応しなかったり、正しく動作しない場合があります。
- iPod本体に「接続を解除できます。」が表示されますが、再生中は、iPod保護のため、iPodを取りはずさないでください。

基本操作

iPod を再生中にトラックバーの  にタッチすると、次の画面が表示されます。



表示	名称	内容
①	オーディオモードスイッチ	タッチすると、オーディオモード選択画面を表示します。
②	選曲スイッチ (右側)	タッチすると次の映像に切り替わります。
	選曲スイッチ (左側)	タッチすると、映像の頭出し、連続でタッチすると、前の映像に切り替わります。
③	早送りスイッチ (右側)	タッチすると、映像が早送りされます。
	早戻しスイッチ (左側)	タッチすると、映像が早戻しされます。
④	再生/一時停止スイッチ	タッチすること再生/一時停止をします。

映像を一覧から選ぶ

現在、再生対象となっている全ての映像を一覧で表示して、選ぶことができます。

- 1 ファイル名にタッチ。
- 2 映像データ名にタッチ。



映像を選択モードから探す

ミュージックビデオやムービーなどの選択モードからリストを表示して、映像を探すことができます。

- 1 アルバム名にタッチ。
- 2 グループ名にタッチ。



- **ビデオプレイリスト** ...ビデオプレイリストのリストを表示
- **ムービー** ...ムービーのリストを表示
- **ミュージックビデオ** ...ミュージックビデオのリストを表示

- 3 映像データ名にタッチ。



画像サイズを切り替える

⚠ 注意

お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

- 1 **Wide** にタッチ。
- 2 **Normal**、**wide1**、**wide2** のいずれかにタッチ。



- **Normal** ...通常の4:3（横：縦）の画面を表示します。画面の両端が黒く表示されます。
- **wide1** ...4:3の画面を左右方向に拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。
- **wide2** ...4:3の画面を上下左右とも同じ比率で拡大します。上下が少しカットされます。

- 3 **Save** にタッチ。

iPodを止める

- 1 **TRACK PWR** に1秒以上タッチ。
▶再度、**TRACK PWR** に1秒以上タッチすると、再生が再開されます。

対応可能な iPod について

「iPod オーディオを聞く」の“対応可能な iPod について”を参照してください。

(→196)

USB オーディオを聞く

USBメモリ内の音楽ファイルを聞くことができます。

再生できるMP3/WMAについて

MP3/WMAを再生するためには、対応しているファイルの準備が必要です。

》対応しているファイル

⚠ 注意

MP3/WMA以外のファイルに"mp3"/"wma"の拡張子を付けると、MP3/WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3/WMA以外のファイルに、"mp3"/"wma"の拡張子を付けしないでください。

■MP3ファイル

規格	MPEG1 レイヤ3、MPEG2 LSF レイヤ3			
サンプリング周波数 (kHz)	MPEG1 レイヤ3 : 32 / 44.1 / 48 MPEG2 LSF レイヤ3 : 16 / 22.05 / 24			
ビットレート (kbps) ※	MPEG1 レイヤ3 : 32,40,48,56,64,80,96,112,128,160,192,224,256,320 MPEG2 LSF レイヤ3 : 8,16,24,32,40,48,56,64,80,96,112,128,144,160			
チャンネルモード	ステレオ ジョイントステレオ デュアルチャンネル モノラル			
ID3タグ	バージョン	1.0、1.1	2.2、2.3	
	項目/文字数	TITLE	半角30文字	80文字
		ARTIST		
		ALBUM		
文字	英数字 (ASCIIコード)	日本語 (Unicode)		

※ VBR (可変ビットレート) 対応

■WMA ファイル

規格		WMA Ver.7、8、9 (9.1/9.2に対応)	
サンプリング周波数 (kHz)		32、44.1、48	
ビットレート (kbps) ※		Ver.7、8 : CBR48～192 Ver.9 (9.1/9.2) : CBR48～320	
チャンネルモード		<ul style="list-style-type: none"> ●ステレオ ●モノラル 	
WMA タグ	バージョン	ASF Revision1.02.02	
	項目/文字数	TITLE	80文字
		ARTIST	
		ALBUM	
文字	<ul style="list-style-type: none"> ●英数字 (ASCIIコード/Unicode) ●日本語 (Unicode) 		

※ VBR (可変ビットレート) 対応
2ch 再生対応

アドバイス

DRM (著作権管理 Digital Rights Management) システムの WMA ファイルやプロテクト録音 (ライセンス管理) された WMA ファイルは再生できません。

》対応しているUSBメモリ

対応クラス	マスストレージクラス
ファイルシステム	FAT16、32
対応USB Ver.	USB1.1、2.0、3.0
最大ディレクトリ階層	8階層
USBメモリに保存可能なフォルダ数	512（ルート含む）
USBメモリに保存可能なファイル数	3000 [※]

※メタデータの状況によっては少なくなります。

アドバイス

- USBメモリの特性により読み取れない場合があります。
- MP3/WMAファイルの保存状況により、演奏時間が一致しないことがあります（VBRのFAST UP/DOWN動作をすると、演奏時間が一致しないことがあります。）
- MP3/WMAファイルおよびフォルダのリストは、同一階層内にあるMP3/WMAファイル、フォルダが次のように表示されます。
 - ① MP3/WMAファイルが数字、アルファベット、日本語の昇順に表示
 - ② 次にフォルダが数字、アルファベット、日本語の昇順に表示
 - ③ 同一階層内に、同じファイル名でMP3とWMAが存在する場合、MP3が優先して表示
- Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国マイクロソフトコーポレーションの米国、およびその他の国における登録商標および商標です。

USBメモリを接続する・取りはずす

USBメモリの接続・取りはずし方法の詳細は、iPod対応USB/VTRアダプターに同梱の取扱書を参照してください。

注意

本機でUSBメモリを使用しているときにUSBメモリのデータが消失しても、消失したデータの補償はできませんのでご容赦ください。

USBメモリを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

チェック

USBメモリを接続する場合は、オプションのiPod対応USB/VTRアダプターをお買い求めください。

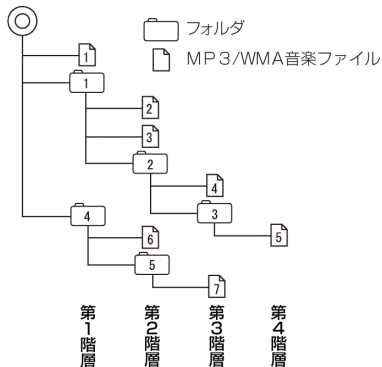
- 1 同梱のUSB延長コードを使用して、USBメモリをiPod対応USB/VTRアダプターに接続、または取りはずす。

アドバイス

- 本機とUSBメモリを接続しても、自動でUSBモードに切り替わりません。
- 本機にUSBメモリを接続すると、本機で表示されるリストの順番がUSBメモリと異なることがあります。
- USBメモリとiPod対応USB/VTRアダプターが正しく接続されていないと、本機に認識されない場合があります。この場合は、一度USBメモリを取りはずし、再度接続してください。
- 本機は市販のUSBハブやマルチカードリーダー、外付けのハードディスク、USB端子付ポータブルオーディオプレーヤーには対応していません。
- グローブボックス内などでUSBメモリを直接接続した場合、USBメモリ本体と車内部分が干渉し、USBメモリが破損する恐れがあります。その場合は、同梱のUSBメモリ接続用ケーブルを使用してください。
- 接続したUSBメモリが規定電流を超えると、保護のため電源を停止します。復帰させるには、車両のエンジンスイッチを一旦OFFしてください。

USBオーディオを聞く

ここでの操作説明は、次のMP3/WMAファイル作成例をもとに説明しています。



1 USBメモリをiPod対応USB/VTRアダプター(オプション)に接続する。

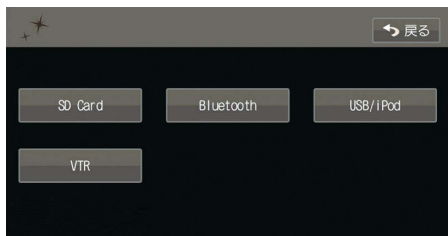
2 **MENU DISP** にタッチ。

3 **オーディオ** にタッチ。

4 **その他▶** にタッチ。



5 **USB/iPod** にタッチ。



▶ USBメモリに入っている音楽ファイルの再生を始めます。

▶ 通常は、**1**、**2**、**3**、**4**、**5**、**6**、**7**の順に再生されます。

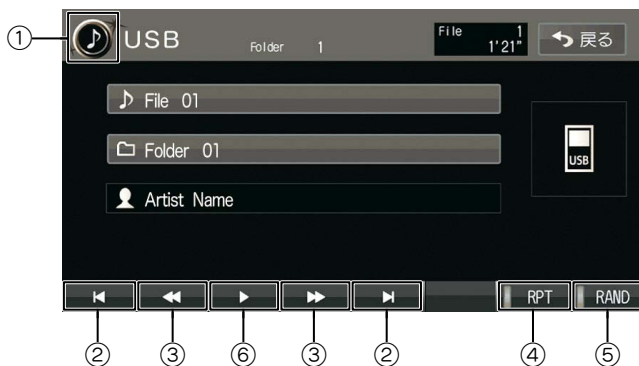
▶ 同じ階層に複数のMP3/WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、数字、アルファベット、日本語の昇順に再生されます。

アドバイス

MP3/WMAデータにフォルダ名や音楽ファイル名などが記録されている場合、半角25文字、全角12文字まで表示されます。

基本操作

USB オーディオを再生中にトラックバーの  にタッチすると、次の画面が表示されます。



スイッチ	名称	機能
①	オーディオモードスイッチ	タッチすると、オーディオモード選択画面を表示します。
②	選曲スイッチ (右側)	タッチすると、次の曲に切り替わります。
	選曲スイッチ (左側)	タッチすると、曲の頭出し、連続でタッチすると、前の曲に切り替わります。
③	早送りスイッチ (右側)	タッチすると、曲が早送りされます。
	早戻しスイッチ (左側)	タッチすると、曲が早戻しされます。
④	リピート再生スイッチ	タッチするとRPTが表示され、再生中の曲が繰り返し再生されます。2度続けてタッチするとFLD.RPTが表示され、選択しているフォルダ内全ての曲が繰り返し再生されます。再度タッチすると、リピート再生が解除されます。
⑤	ランダム再生スイッチ	タッチするとRANDが表示され、再生しているフォルダ内全ての曲がランダムに再生されます。2度続けてタッチするとFLD.RANDが表示され、USBメモリ内全ての曲がランダム再生されます。再度タッチすると、ランダム再生が解除されます。
⑥	再生/一時停止スイッチ	タッチすることにより、曲が再生/一時停止されます。

曲を一覧から選ぶ

フォルダ/アルバムの中から聞きたい曲を選ぶことができます。

- 1 ファイル名またはトラック名にタッチ。
- 2 曲にタッチ。



ファイルを選曲モードから探す

アーティスト名やフォルダ、アルバムなどの選曲モードからリストを表示して、曲を探すことができます。

- 1 フォルダ名またはアルバム名にタッチ。
- 2 選曲モードにタッチ。



- **フォルダ** ...フォルダのリストを表示
- **アーティスト** ...アーティストのリストを表示
- **アルバム** ...アルバムのリストを表示

- 3 曲にタッチ。



- 4 **完了** にタッチ。

USB オーディオを止める

- 1 **TRACK PWR** に1秒以上タッチ。

▶再度、**TRACK PWR** に1秒以上タッチすると、再生が再開されます。

12 VTRを見る

VTR機器を接続してビデオを見ることができます。

オプションのiPod対応USB/VTRアダプターで市販のVTR機器を接続すると、ビデオをご覧になれます。

車両のエンジンスイッチがON、またはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみビデオをご覧になることができます。

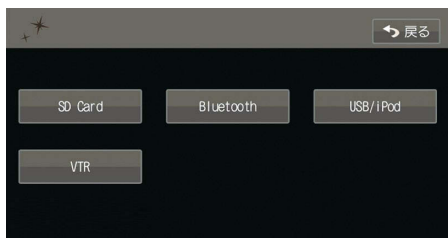
走行中は音声のみ聞くことができます。

VTRを再生する

- 1 MENU DISP にタッチ。
- 2 オーディオ にタッチ。
- 3 その他▶ にタッチ。



- 4 VTR にタッチ。

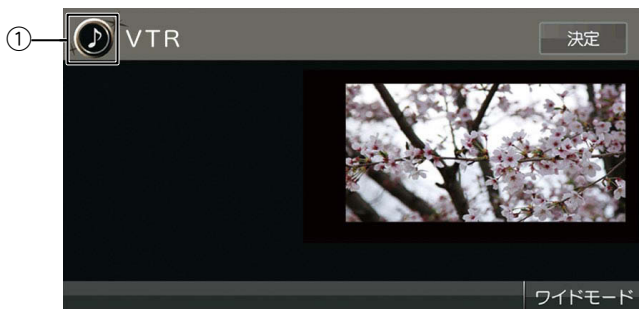


アドバイス

接続する機器類により、映像が正常に表示されないことがあります。

基本操作

VTR機器の映像を視聴中にトラックバーの  にタッチすると、次の画面が表示されます。



スイッチ	名称	機能
①	オーディオモードスイッチ	タッチすると、オーディオモード選択画面を表示します。

画面のサイズを切り替える

VTR機器の再生画面に合わせて画面サイズを切り替えることができます。

注意

お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

- 1 **ワイドモード** にタッチ。
- 2 **標準**、**ワイド1**、**ワイド2** のいずれかにタッチ。



- **標準** ...通常の4:3 (横:縦) の画面を表示
画面の両端が黒く表示されます。
- **ワイド1** ...4:3の画面を左右方向に拡大
映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。
- **ワイド2** ...4:3の画面を上下左右とも同じ比率で拡大
上下が少しカットされます。

VTRを止める

- 1 **TRACK PWR** に1秒以上タッチ。
▶再度、**TRACK PWR** に1秒以上タッチすると、VTR画面に切り替わります。

便利な機能

01. 現在地の座標を表示する	215	携帯電話の電話帳データを転送する	241
座標を表示する	215	電話帳のデータを削除する	243
02. ハンズフリー機能について	216	ワンタッチダイヤルを登録する	243
ハンズフリーについて	216	ワンタッチダイヤルを削除する	244
ハンズフリーが使用できないとき	217	履歴の削除	245
マイクについて	217	履歴を削除する	245
ハンズフリー操作について	217	03. 携帯連携機能	246
音声について	218	携帯連携画面を表示する	246
お車を手放すとき	218	携帯電話で目的地を設定する	247
Bluetooth 機器使用上の注意事項	219	携帯電話に目的地や現在地の情報を送信する	249
各種表示について	219	04. iPhone ナビ連携機能	250
受信レベル表示	219	iPhone ナビ連携機能について	250
電池残量表示	220	Bluetooth 機器について	251
Bluetooth 接続状態表示	220	iPhone ナビ連携を起動する	252
ハンズフリーの準備	221	iPhone ナビ連携の操作について	253
携帯電話の登録	221	05. 車のメンテナンス時期をお知らせ	
携帯電話の接続	223	する	254
Bluetooth 接続の再接続について	225	メンテナンスの設定をする	255
電話のかけ方	226	メンテナンス時期を案内する	257
ダイヤル画面を表示する	226	メンテナンス時期の案内について	257
ダイヤル発信する	226	メンテナンス時期の自動通知を設定する	257
電話帳発信する	227	メンテナンス時期を更新する	258
履歴発信する	228	項目ごとに更新する	258
ワンタッチ発信する	229	全ての項目を更新する	258
携帯電話本体から発信する	230	メンテナンスの設定を消去する	259
発信を中断する	230	項目ごとに消去する	259
電話の受け方	230	全ての項目を消去する	259
電話を受ける	230	メンテナンスする店を設定する	260
着信中画面で操作する	231	メンテナンスする店を消去する	261
通話中の操作	232	06. ステアリングスイッチで操作する	
通話中画面で操作する	232	262
簡易画面での操作	234		
簡易画面で操作する	234		
ハンズフリーの設定	235		
電話設定画面を表示する	235		
音量の設定をする	235		
使用する通信機器を選択する	236		
電話機詳細情報を表示する	236		
パスキー・機器名称を変更する	237		
Bluetooth 電話機の登録を削除する	238		
電話詳細設定をする	239		
電話帳の編集	240		
電話帳について	240		
電話帳転送画面を表示する	240		


01

現在地の座標を表示する

現在地の緯度と経度を表示することができます。

現在地画面から現在地の位置情報を知ることができます。

座標を表示する

1 現在地が表示されている画面で  にタッチ。


2 **座標** にタッチ。



3 座標情報画面が表示される。



アドバイス

- 走行中は、**座標** がトーンダウンして操作できません。
- 本画面表示中に現在地が移動しても住所、緯度、経度の表示内容は変わりません。
- 本画面表示中に走行すると、住所、緯度、経度の表示はされません。
-  ... 現在地画面に戻る

ハンズフリー機能について

お手持ちのBluetooth携帯電話を接続してハンズフリーをご利用いただけます。

ハンズフリーについて

動作確認済みのBluetooth携帯電話*（以下「携帯電話」）を本機に接続することで、携帯電話を直接操作することなく、「電話をかける」「電話を受ける」という電話機能を使用できます。これをハンズフリー機能と呼びます。本機に接続する携帯電話は、次の仕様に対応した携帯電話である必要があります。ただし、携帯電話の機種により、一部機能が制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※Bluetoothアダプターを装着した携帯電話を含みます。

■対応Bluetooth仕様

Bluetooth Specification Ver.1.1以上
(Ver.2.0+EDR以上を推奨)

■対応Profile

- ▶ HFP (Hands Free Profile) Ver.1.0
- ▶ OPP (Object Push Profile) Ver.1.1



BluetoothはBluetooth SIG, Inc.の登録商標です。

本機は、電波法に基づく特定無線設備の工事設計の認証を取得しています。

▲ 警告

- ハンズフリーを携帯電話で使用する場合、安全のため、運転者は走行中に電話機の接続や、携帯電話本体は使用しないでください。
- 運転中は電話をかけないでください。また、運転中にかかってきたときには、あわてずに安全な場所に停車してから受けてください。どうしても受けなければいけないときは、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してからかけ直してください。

▲ 注意

- 携帯電話は車室内に放置しないでください。(炎天下など、車室内が高温となる場合があります。)
- Bluetooth携帯電話を本機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、音質が劣化したり、接続状態が悪化することがあります。

アドバイス

- Bluetooth携帯電話と他の無線機器を同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
- Bluetooth携帯電話は、Bluetooth接続により、携帯電話の電池が早く消耗します。
- 携帯電話の機種によっては、エンジンスイッチがONのときに表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話本体で照明をOFFにしてください。(設定については、携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。)
- 携帯電話の設定によっては、接続後にダイヤルロックがかかることがあります。携帯電話のオートロック機能を解除してご使用ください。
- 接続する携帯電話によっては、動作や音量が異なることがあります。
- 通話中にエンジンスイッチをOFF (LOCK) にすると、機種によって、通話が切断される場合と、通話が携帯電話で継続される場合があります。なお、通話が携帯電話で継続される場合は、携帯電話の操作が必要になることがあります。
- ハンズフリーを携帯電話で使用する場合、割込通話 (キャッチホン) や三者通話を契約しているときは、携帯電話本体で割込通話 (キャッチホン) や三者通話を解除してからお使いください。

》ハンズフリーが使用できないとき

次の場合は、ハンズフリーを使用することができません。

- ▶ 通話エリア外るとき
- ▶ 回線が混雑しているなど、発信規制中のとき
- ▶ ハンズフリーを携帯電話で使用するとき
は、次の場合もハンズフリーを使用することができません。
 - ・ 携帯電話から電話帳データを転送中のとき
 - ・ 携帯電話から目的地を転送中のとき
 - ・ 携帯電話がダイヤルロックされているとき
 - ・ 携帯電話が故障しているとき
 - ・ 携帯電話が本機に接続されていないとき
 - ・ 携帯電話のバッテリー残量が不足しているとき
 - ・ 携帯電話の電源がOFFのとき
 - ・ 携帯電話の設定がハンズフリーモードでないとき
 - ・ 車載機側で電話帳転送からハンズフリー通話に切り替えているとき (切り替え中は本機にBluetooth接続状態表示が表示されません。)
 - ・ その他、携帯電話自体が使えないとき

》マイクについて

- ▶ 通話時に、音声入力マイクを使用します。

》ハンズフリー操作について

- ▶ 本機の画面に表示されるタッチスイッチを操作することにより、ハンズフリーの様々な機能が利用できます。

》音声について

- ▶ 発信後および着信後は、マイクおよびスピーカーを通して通話できます。
- ▶ 着信通知や通話時などの音声出力は、前席両側のスピーカーから出力されます。ただし、状況によっては、片側のスピーカーから出力されることがあります。
- ▶ ハンズフリーで音声や呼出音などが出力されると、オーディオ音声やナビ案内音声などはミュート(消音)されます。ただし、ハンズフリーより優先される音声の場合は、ミュートされません。

👉 アドバイス

- 通話時は通話相手と交互にお話してください。通話相手と同時に話した場合、こちらの音声相手に、相手の音声がこちらに聞こえにくくなる場合があります。(故障ではありません。)
- 受話音量はできるだけ小さく調整してください。通話相手側にエコーが聞こえることがあります。また、音声は大きくはつきりとお話してください。
- 次のような場合は、通話相手側にこちらの音声聞こえにくくなる場合があります。
 - ・ 悪路走行時
 - ・ 高速走行時
 - ・ 窓を開けているとき
 - ・ エアコンの吹き出し口をマイクの方に向けたとき
 - ・ エアコンのファンの音が大きいとき
 - ・ 携帯電話をマイクに近づけたとき
- 使用する携帯電話やネットワークの影響により、音質が悪化(ノイズ、エコーなど)することがあります。
- 他のBluetooth対応機器(ポータブルオーディオ)が同時に接続されている場合、ハンズフリーの音声にノイズが発生することがあります。

お車を手放すとき

ハンズフリーを使用すると、多数の個人情報が登録されます。

お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。「個人情報を初期状態に戻す」(→284)

なお、個人情報の初期化を行うと、二度ともとの状態に戻すことはできません。間違えて初期化してしまわないよう、ご注意ください。

ハンズフリーでは、次の情報が初期化されません。

- ▶ 電話帳データ
- ▶ 発信履歴および着信履歴
- ▶ ワンタッチダイヤル
- ▶ Bluetooth 電話機の登録情報
- ▶ ハンズフリー関連の設定・編集項目

Bluetooth機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

（上記3種の無線局を以下「他の無線局」と略します）

この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。

この機器の使用周波数帯は2.4GHz帯です。変調方式としてFH-SS変調方式を採用しています。

想定干渉距離は10m以下です。この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

アドバイス

- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

各種表示について

受信レベル表示

電波の受信レベルの目安を表示します。ただし、電話帳データの転送中は表示されません。

- ▶ 「圏外」の表示が出ているときは、サービスエリア外、または電波の届かない場所にいます。この場合は、携帯電話本体も使用できません。「圏外」の表示が消えるところまで移動してください。
- ▶ ハンズフリーを携帯電話で使用する場合、受信レベルは携帯電話の表示と一致しないことがあります。また、機種によっては、受信レベルの表示ができないことがあります。



表示	圏外	📶	📶	📶	📶
レベル	圏外	弱	←	→	強

》電池残量表示

携帯電話の電池残量の目安を表示します。ただし、電話帳データの転送中は表示されません。

- ▶ 電池残量表示は携帯電話の表示と一致しないことがあります。また、機種によっては、電池残量の表示ができないことがあります。
- ▶ 本機には携帯電話の充電機能はありません。

電池残量表示



表示				
残量	無し	少	← → 多	

》Bluetooth 接続状態表示

携帯電話のBluetooth接続状態を表示します。

Bluetooth接続状態



表示				
接続状態	非接続 (灰色)	悪い	← → 良い	

- ▶ 青色表示
Bluetooth接続の状態が良好であることを示しています。この状態で携帯電話をご使用ください。
- ▶ 灰色表示
本機と携帯電話が接続されていないか、接続範囲外に離れています。本機と携帯電話を接続するか、表示が青色に変わる距離まで本機と携帯電話を近づけてください。

アドバイス

- Bluetooth通信用の車両側アンテナがディスプレイ内に内蔵されています。次のような場所や状態でBluetooth携帯電話を使用すると、Bluetooth接続状態表示が灰色になることや、Bluetooth接続ができないことがあります。

- ・ 携帯電話がディスプレイから隠れる場所にあるとき
(携帯電話がシートのうしろや下にあるとき、またはグローブボックス内やコンソールボックス内にあるときなど)
- ・ 携帯電話が金属製のものに接したり、覆われているとき

Bluetooth携帯電話を使用するときは、青色の表示が出るように、携帯電話の場所を移動させてください。

- 携帯電話を省電力モードに設定していると、自動的にBluetooth接続が切断されてしまうことがあります。この場合は、携帯電話の省電力モードを解除してください。

ハンズフリーの準備

ハンズフリーを使用する際には、使用する通信機器の設定をします。

》携帯電話の登録

携帯電話は、本機に最大5台まで登録することができます。

携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。

- 1 **MENU DISP** にタッチ。
- 2 **コミュ** にタッチ。
- 3 **電話**、または **設定** にタッチ。



- 4 **電話** をタッチした場合は **設定** に、**設定** をタッチした場合は **電話設定** にタッチ。

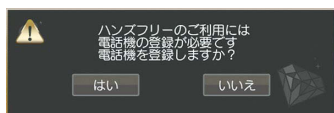


電話 をタッチした場合



設定 をタッチした場合

- 5 **はい** にタッチ。



- 6 **Bluetooth設定** にタッチ。



- 7 Bluetooth電話設定の **登録** にタッチ。



- ▶ 複数の携帯電話を登録する場合は、メッセージが表示されることがあります。画面の案内にしたがって操作してください。

- 8 Bluetooth接続画面が表示されたら、携帯電話からBluetooth登録する。



- **中止** ...中止するとき
- ▶ 携帯電話側の登録操作は、必ずこのBluetooth接続画面を表示させて行ってください。

- 9 携帯電話本体で、画面に表示されている機器名称を選択し、必要に応じてパスキーを入力する。

- 10 接続完了のメッセージが表示される。



- ▶ Bluetoothオーディオ機能のある携帯電話を登録する場合は、メッセージが表示されることがあります。画面の案内にしたがって操作してください。
- ▶ 複数の携帯電話を使用する場合は、携帯電話の数だけ登録を繰り返します。

■接続失敗画面が表示されたとき

「接続できませんでした」のメッセージが表示されたときは、画面の案内にしたがってやり直してください。

アドバイス

- パスキーとは、Bluetooth携帯電話を本機に登録する際のパスワードです。任意の数字に変更することもできます。(→238)
- 携帯電話の登録をすると、一番新しく登録した携帯電話が本機で使用する携帯電話として選択されます。
- 携帯電話の設定によっては、接続後にダイヤルロックがかかることがあります。携帯電話のオートロック機能を解除してご使用ください。
- HFPに対応していない携帯電話は、本機に登録ができません。また、そのような携帯電話では、OPPのみのサービスは利用できません。
- 接続する携帯電話により、動作や音量が異なることがあります。
- Bluetoothオーディオ再生中に携帯電話を登録する場合、Bluetoothオーディオの音声かとぎれることがあります。
- 登録時、携帯電話側に登録完了が表示されても、本機の登録が完了しない場合があります。その場合、携帯電話側からBluetoothの接続を行ってください。

≫携帯電話の接続

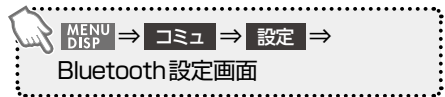
Bluetooth携帯電話の本機への接続は、自動と手動の2通りの方法があります。

なお、携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。

携帯電話を自動で接続する

自動Bluetooth機器接続が**する**に設定されている場合、エンジンスイッチをOFF (LOCK) からACC、またはONにするたびに、本機は選択されている携帯電話と自動的にBluetooth接続します。

■自動Bluetooth機器接続を設定する



- 1 詳細設定 にタッチ。



- 2 自動Bluetooth機器接続の**する**、または**しない** にタッチ。



- ▶ 通常は **する** を選択した状態で使用してください。

- ▶ 携帯電話はBluetooth接続可能な状態にしておいてください。

- 3 **完了** にタッチ。

アドバイス

- 携帯電話の機種によっては、エンジンスイッチがACC、またはONのときに表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話本体で照明をOFFに設定してください。(設定については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。)
- ハンズフリーを使用する場合、他のBluetooth対応機器(ポータブルオーディオ)を使用しているときは、次のようになります。
 - ・ 携帯電話のBluetooth接続が切断されることがあります。
 - ・ ハンズフリーの音声にノイズが発生することがあります。
 - ・ ハンズフリーの動作が遅くなる場合があります。
- ハンズフリー接続とオーディオ接続の両方に対応している携帯電話でも、ハンズフリー接続とオーディオ接続を同時にできない場合があります。
- Bluetoothオーディオ再生中に接続動作を行った場合、音声がとぎれることがあります。
- Bluetoothオーディオの操作後に携帯電話の接続を行った場合、接続できないことがあります。また、携帯電話の接続動作中にBluetoothオーディオの操作を行った場合、接続が中断されます。これらの場合、しばらくしてから手動で接続を行ってください。(→225)

Bluetooth接続案内

詳細設定画面のACC ON時のBluetooth接続確認案内(→240)で、**する**を選択しているときは、Bluetooth接続されると、接続完了の表示が画面上部に表示されます。

ハンズフリーを使用するときは、この表示をご確認ください。

電話

電話の接続が完了しました

- ▶ Bluetoothが接続されたかどうかは、Bluetooth接続状態表示でも確認できません。(→220)

自動接続できなかった場合

自動接続は約60秒行います。自動接続を開始して約10秒経過した時点で接続完了していない場合「携帯電話が接続できませんでした。携帯電話を忘れていませんか?」というメッセージが表示され、同内容の音声案内が流れます。60秒以内に接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。(→225)

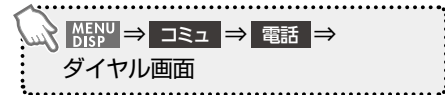
アドバイス

接続状況により、携帯電話がある場合でも案内が表示されることがあります。

携帯電話を手動で接続する

携帯電話の自動接続が失敗したときや、自動接続OFF状態にしているときにBluetooth接続するときは、手動でBluetooth接続操作をします。

- 1 携帯電話をBluetooth接続可能な状態にする。



- 2 **ハンズフリー** にタッチ。



- 3 スイッチが点灯し、Bluetooth接続状態となる。

- ▶ 携帯電話の使用が可能です。
- ▶ スイッチが点灯中に再度、**ハンズフリー** にタッチすると、Bluetooth接続が解除されます。

アドバイス

- 接続完了の表示は、エンジンスイッチをOFF (LOCK) からACC、またはONにしたあと、はじめて携帯電話とBluetooth接続完了したときに1回のみ表示されます。接続失敗の表示がされてもその後接続できれば、接続完了の表示が1回のみ表示されます。
- 携帯電話の状態によっては、一度で接続できない場合があります。その場合、しばらくしてから再度接続操作を行ってください。

▶ Bluetooth接続の再接続について

エンジンスイッチがACC、またはONのときに、一度接続が成立したBluetooth接続がBluetoothネットワーク電波状況などで切断された場合は、自動接続の設定に関わらず、自動的に再接続処理を行います。この場合、接続完了しても表示はありません。

■ Bluetooth接続が意図的に切断された場合
携帯電話側からBluetooth接続をOFFにするなど、一度接続が成立したBluetooth接続が意図的に切断された場合は、再接続処理は行いません。
この場合は、次のいずれかの方法で再接続してください。

- ▶ 手動で接続する
- ▶ 改めて携帯電話を選択する (→236)

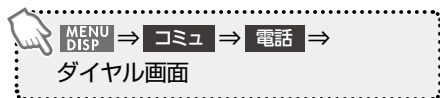
アドバイス

再接続処理は一定時間行われます。その間に接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。

電話のかけ方

本機では様々な方法で電話番号を呼び出し、電話をかけることができます。

》ダイヤル画面を表示する



1 ダイヤル画面が表示される。



- ▶ 走行中に操作した場合は、ワンタッチダイヤル画面が表示されます。
- ▶ この画面から、次のいずれかの方法で電話をかけることができます。
 - ・ダイヤル発信 (→226)
電話番号を入力して電話をかける
 - ・電話帳発信 (→227)
本機の電話帳から電話をかける
 - ・履歴発信 (→228)
発信履歴、または着信履歴から電話をかける
 - ・ワンタッチ発信 (→229)
ワンタッチダイヤルから電話をかける
- ▶ その他、次の方法で電話をかけることもできます。
 - ・携帯電話本体からの発信 (→230)
携帯電話本体から電話をかける

アドバイス

- ハンズフリーを使用して電話をかけるときの通話料は、お客様のご負担になります。
- ハンズフリーを携帯電話で使用する場合は、次の点に注意してください。
 - ・Bluetooth携帯電話は、本機に携帯電話を登録してBluetooth接続しないとハンズフリーが使用できません。ハンズフリーを使用するときは、まずご使用になる携帯電話の登録を行ってください。(→221)
 - ・携帯電話はBluetooth機能を使用できる状態にしてご使用ください。携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。
 - ・Bluetooth接続状態表示が灰色の場合は、ハンズフリーはご使用になれません。
 - ・走行中は安全のため画面に電話番号などが表示されず、一部の操作ができなくなります。ただし、電話帳に登録されている電話番号のときは、電話帳に登録されている名称が表示されます。
 - ・電話をかけると同時に着信があると、画面表示と携帯電話の動作が異なることがあります。


》ダイヤル発信する

電話番号を入力して電話をかけることができます。ダイヤル画面を表示しているときに走行を開始すると、10キーがトーンダウンして、操作できなくなります。この場合、電話番号が入力済みであれば、発信することはできます。

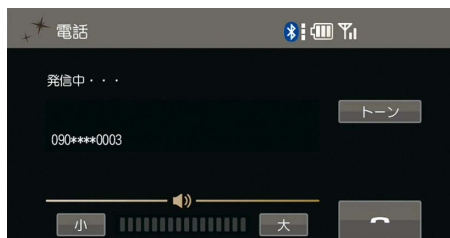
- 1 ダイヤル画面で、1桁ずつタッチして電話番号を入力する。



- **修正** ...最後の1桁を消去
タッチし続けると、最後から1桁ずつ順に消去できます。

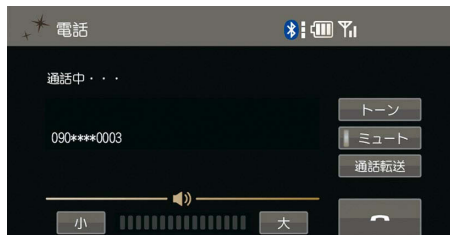
- 2  にタッチ。

- 3 発信できると、発信中画面が表示される。



- ▶ 発信音が鳴ったあと、呼出音が鳴ります。

- 4 相手が電話に出ると、通話中画面が表示される。



- ▶ この画面で通話ができます。

アドバイス

- 携帯電話の機種によっては、次のようなことがあります。
 - ・ 発信音や呼出音が鳴らず、無音になることがあります。
 - ・ 発信中画面が表示されず、相手が電話に出る前に通話中画面が表示されることがあります。
 - ・ 通信事業者のサービスにより発信中画面で10キー入力する必要がある場合、10キー入力してもトーン信号を送れないことがあります。「10キー入力する」(→233)
- ハンズフリーを携帯電話で使用する場合、Bluetoothオーディオ再生中に発信すると、発信中画面の表示および発信音の鳴る動作が遅れることがあります。

》電話帳発信する

あらかじめ電話番号を本機の電話帳に登録しておくことにより(→240)、登録した電話番号を呼び出して電話をかけることができます。

- 1 ダイヤル画面で、**電話帳** にタッチ。

- ▶ 電話帳データが登録されていないときはメッセージが表示されます。画面のメッセージにしたがって電話帳を登録してください。

2 電話帳画面が表示される。



▶ショートカットスイッチは、**その他** にタッチすると英数字ショートカット、**50音** にタッチすると50音ショートカットに切り替わります。

▶英数字ショートカットを表示しているときは、アルファベットのショートカットスイッチのみ任意のアルファベットが選択できます。

(例) **ABC** に2回タッチすると、Bで始まるデータのリストが先頭に表示されます。

3 希望の通話相手にタッチ。

4 電話番号が2件以上登録してあるときは、希望の電話番号にタッチ。



5 にタッチ。

履歴発信する

過去に発信、または着信した電話番号を、それぞれ最大5件記憶しています。それぞれの履歴は5件以上になると、古い履歴から自動で削除されます。

履歴に登録されている電話番号を呼び出して電話をかけることができます。

1 ダイヤル画面で、履歴 にタッチ。

2 必要に応じて、発信履歴、または着信履歴 にタッチして、履歴の表示を切り替える。




[発信履歴画面]

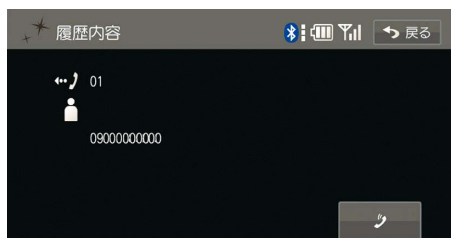


[着信履歴画面]

不在着信アイコン

3 希望の通話相手にタッチ。

4  にタッチ。



アドバイス

- 着信履歴画面では、不在着信および着信拒否の電話番号の場合、それぞれアイコンが表示されます。
- 発信履歴は、状況によって次のように登録されます。
 - ・ 本機の電話帳、またはナビに登録されている電話番号に発信した場合、そのデータに名称情報があると、名称も発信履歴に登録されます。
 - ・ 同一電話番号から発信した場合は、最新の発信履歴のみ登録されます。
- 着信履歴は、状況によって次のように登録されます。
 - ・ 本機の電話帳に登録してある電話番号から着信した場合、そのデータに名称情報があると、名称も着信履歴に登録されます。
 - ・ 不在着信および着信拒否も着信履歴として登録されます。
 - ・ 相手先電話番号の情報がない場合は、着信履歴に「通知不可」と表示されます。
- 履歴は削除することができます。「履歴を削除する」(→245)

ワンタッチ発信する

電話帳に登録してある任意の電話番号をワンタッチダイヤルとして登録しておくことにより(→243)、簡単な操作で電話をかけることができます。

また、ワンタッチ発信は走行中でも使用することができます。

1 ダイヤル画面で、**ワンタッチダイヤル** にタッチ。

2 希望の電話番号にタッチして、発信する。



▶ ページを切り替えるときは、**ワンタッチ1**、**ワンタッチ2**、**ワンタッチ3** のいずれかにタッチします。

■走行中に電話をかける場合

走行中にダイヤル画面を呼び出すと、ワンタッチダイヤル画面になり、ワンタッチで発信することができます。

アドバイス

走行中にワンタッチ発信する場合、タッチスイッチに電話番号は表示されません。

≫携帯電話本体から発信する

本機にBluetooth接続された携帯電話本体を直接操作して、発信することができます。

警告

運転者が走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

■ハンズフリー画面を表示する

携帯電話本体から発信しても、Bluetooth接続中であれば、コミュニケーション画面で、**電話** にタッチすると、ハンズフリー画面が表示されます。

この場合、**通話転送** 以外のタッチスイッチはトーンダウンし、操作できません。タッチスイッチを使用したいときは、通話転送の操作をしてください。(→234)

アドバイス

- 携帯電話本体から発信した場合、次の点がハンズフリーと異なります。
 - ・携帯電話側で直接操作して発信した場合は、発信履歴に登録されません。
 - ・単独で通話中の携帯電話が本機に接続された場合、相手先電話番号は発信履歴、または着信履歴に登録されません。
- 携帯電話本体から発信した場合、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、機種によって異なります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。

≫発信を中断する

発信中画面で、**電話** にタッチすると、発信を中断できます。

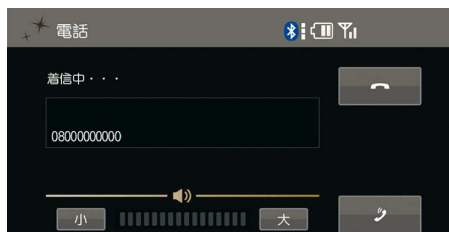
- ▶携帯電話本体で電話を切った場合も、発信を中断します。(携帯電話接続時)
- ▶発信が中断されると、ハンズフリー画面が解除されます。

電話の受け方

ここでは、全画面表示の場合で説明しています。簡易表示の場合は、相手の名前や電話番号が表示されません。(→234)

≫電話を受ける

- 1 表示中の画面に関わらず、電話がかかってくるとう着信音を鳴らして着信中画面を表示し、着信を通知する。



- 2 **電話** にタッチ。
 - ▶通話中画面が表示されます。
 - ▶通話終了後は、ハンズフリー画面が解除されます。

アドバイス

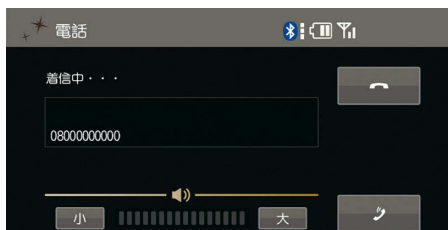
- 着信したら、ハンズフリー以外で出力される音声をミュート(消音)します。ただし、ハンズフリーより優先される音声の場合は、ミュートされません。
- ハンズフリーを携帯電話で使用する場合は、次のようなことがあります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。
 - ・ ドライブモードなど、携帯電話の設定によっては、着信できないことがあります。
 - ・ 携帯電話をマナー(バイブレータ)モードや着信音消去に設定すると、着信音が聞こえない場合があります。
 - ・ 着信音については、
 - ① 車両のスピーカーから聞こえる
 - ② 携帯電話から聞こえる
 - ③ 両方から聞こえるなど、機種によって異なります。また、携帯電話の着信音が鳴らないときは、本機に登録されている着信音が鳴ることがあります。
 - ・ 機種によっては、着信時に相手の電話番号が表示されないことがあります。
 - ・ 携帯電話を直接操作して電話を受けたときは、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、機種によって異なります。
- Bluetoothオーディオ再生中に着信があった場合、着信中画面の表示および着信音の鳴る動作が遅れることがあります。


》着信中画面で操作する


ここでは、電話を受ける以外に着信中画面で操作できることを説明します。

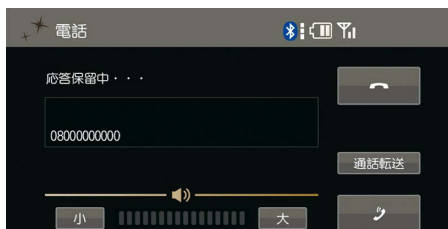
電話を保留する(応答保留)

- 1 着信中、 にタッチ。



- ▶ 応答が保留されます。
- ▶ 応答保留中、**小**、または **大** にタッチすると音量を調整できます。
- ▶ 応答保留中、 にタッチすると、電話を切って、ハンズフリー画面が解除されます。

- 2  にタッチ。



- ▶ 応答保留が解除され、通話できるようになります。

■通話を転送する

Bluetooth携帯電話では、応答保留中でも **通話転送** にタッチすると、通話を転送することができます。(→234)

着信音量を調整する

着信中画面で、**小**、または**大**にタッチすると音量を調整できます。

着信拒否する

着信中画面で、**☐**にタッチし続けると、着信拒否できます。ただし、携帯電話使用時は、携帯電話が着信拒否に対応しているときのみ使用することができます。着信拒否すると、ハンズフリー画面が解除されます。

アドバイス

ハンズフリーを携帯電話で使用する場合は、次のようなことがあります。

- 携帯電話の機種によっては、応答保留できないことがあります。
- 携帯電話の機種によっては、本機の操作で応答保留中になると、自動的に携帯電話本体での通話に切り替わることがあります。
- Bluetooth接続中に、携帯電話本体で応答保留する、または携帯電話本体で応答保留を解除すると、携帯電話本体での通話に切り替わります。
- 着信音は携帯電話で選択している着信音を鳴らします。ただし、機種によっては、選択している音以外の着信音が鳴ることや着信音が聞こえないことがあります。

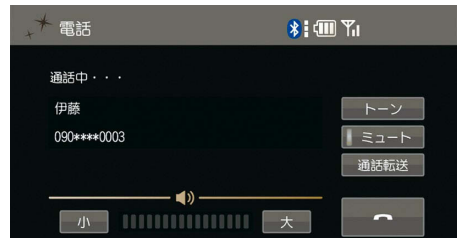
通話中の操作

ここでは、全画面表示の場合で説明しています。簡易表示の場合は、相手の名前や電話番号は表示されません。(→234)

》通話中画面で操作する

通話中は通話中画面が表示され、次の操作を行うことができます。

- ▶ 受話音量の調整
- ▶ 通話の終了
- ▶ 10キー入力
- ▶ 送話音のミュート
- ▶ 通話の転送



[通話中画面]

受話音量を調整する

通話中、次のいずれかの方法で調整します。

- ▶ 通話中画面で、**小**、または**大**にタッチします。
- ▶ ステアリングスイッチの音量スイッチで調整します。(ステアリングスイッチ装着車の場合)

通話を終了する

通話中画面で、**☐**にタッチすると、通話を終了します。携帯電話使用時は、携帯電話本体で電話を切った場合も、通話は終了します。通話が終了すると、ハンズフリー画面が解除されます。

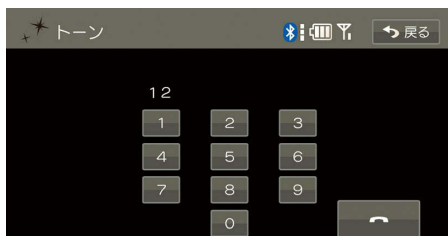
アドバイス

ハンズフリーを携帯電話で使用する場合は、次のようなことがあります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。

- 画面に表示される通話時間は、通話時間の目安を表示します。そのため、携帯電話の表示と一致しないことがあります。
- 単独で通話中の携帯電話が本機に接続されると、通話中画面が表示されます。この場合、そのまま通話が維持されるか、ハンズフリーでの通話になるかは、機種によって異なります。
- ハンズフリーで通話中にエンジンスイッチをOFF (LOCK) にする、またはエンジンをかけると、機種によって、通話が切断される場合と、通話が携帯電話で継続される場合があります。なお、通話が携帯電話で継続される場合は、携帯電話の操作が必要になることがあります。この場合、エンジンスイッチがACC、またはONであれば、通話を転送することでハンズフリーでの通話に切り替えられます。(→234)

10キー入力する

通話中画面で、**トーン** にタッチすると、トーン入力画面が表示され、10キー入力できるようになります。

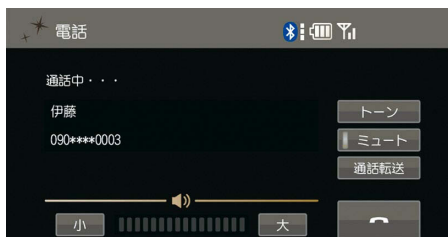


[トーン入力画面]

送話音をミュート (消音) する

お客様の音声を通話相手に聞こえなくすることができます。(この場合でも、通話相手の声はお客様に聞こえます。)

通話中画面で、**ミュート** にタッチします。



- ▶ミュート状態のときは、スイッチが点灯します。
- ▶ミュートを解除したいときは、**ミュート** にタッチします。

アドバイス

携帯電話の機種により、送話音をミュート (消音) できない場合があります。

通話を転送する

Bluetooth携帯電話では、本機と携帯電話の間で、通話を転送することができます。

ハンズフリーでの通話から携帯電話本体での通話、または携帯電話本体での通話からハンズフリーでの通話に切り替えられます。

■画面で操作する

通話中画面、または応答保留中画面で、**通話転送** にタッチします。

- ▶ 走行中は、ハンズフリーでの通話から携帯電話本体での通話に切り替えることはできません。

■携帯電話本体で操作する

発信中、通話中、着信中、応答保留中に通話を転送することができます。

- ▶ 携帯電話本体での通話からハンズフリーでの通話に切り替えると、ハンズフリー画面が表示され、タッチスイッチでの操作ができます。
- ▶ 携帯電話の機種により、転送方法や動作が異なります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。

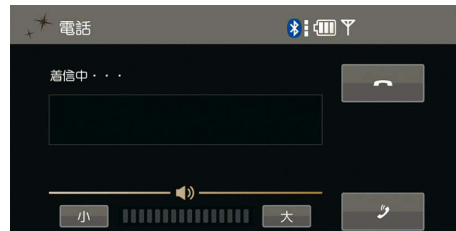
👉 アドバイス

画面で通話転送の操作をした場合、転送に失敗して音声がかえなくなることがあります。

簡易画面での操作

》簡易画面で操作する

詳細設定画面の着信割り込み表示(→239)で、**簡易** を選択しているときには、次のような画面が表示され、電話がつながっていることをお知らせします。画面に電話番号および名称は表示されませんが、通常通り操作することができます。電話が切れる、または電話を切ると、表示は解除されます。



[簡易画面]

👉 アドバイス

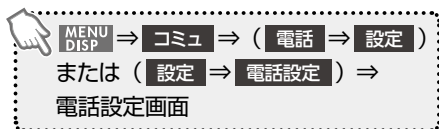
携帯電話の機種により、画面に電話番号が表示される場合があります。

ハンズフリーの設定

ここでは、ハンズフリーの各種設定方法について説明しています。

お客様の使用状況に応じて、ご利用ください。

》電話設定画面を表示する



- 1 電話設定画面が表示される。



タッチスイッチ	機能	ページ
音量設定	ハンズフリーの各音量の設定	235
電話機選択	使用する通信機器の選択	236
電話帳編集	電話機詳細情報の表示・変更	236
	電話帳の転送・削除	241
Bluetooth設定	ワンタッチダイヤルの登録・削除	243
	使用する携帯電話の登録	221
	携帯電話の登録削除	238

》音量の設定をする

- 1 電話設定画面で、**音量設定** にタッチ。
- 2 音量設定画面で各設定をする。



- **初期状態** ... 音量設定の項目が初期設定の状態に戻る

▶ 音量の **小**、または **大** にタッチしてハンズフリー音量（受話音量と着信音量）を同時に調整します。

受話音量：通話相手の音声の音量

着信音量：着信音の音量

- 3 設定が終わったら、**完了** にタッチ。

アドバイス

- 受話音量は、発信中画面、通話中画面、応答保留中画面でも調整できます。
- 着信音音量は、着信中画面でも調整できます。
- 受話音量はできるだけ小さく調整してください。エコーが出ることがあります。

》使用する通信機器を選択する

携帯電話の登録をすると、一番新しく登録した携帯電話が本機で使用する携帯電話として選択されます。複数の携帯電話を使用するときは、必要に応じて通信機器を選択する必要があります。携帯電話は本機に最大5台まで登録することができますが、本機で使用できるのは電話機選択で選択された携帯電話のみです。

- 1 電話設定画面で、**電話機選択** にタッチ。
- 2 携帯電話を使用するときは、携帯電話をBluetooth接続可能状態にしておく。
- 3 使用する携帯電話を選択しタッチ。

Bluetoothマーク



- 4 **完了** にタッチ。
 - ▶ 他の携帯電話がBluetooth接続中のときは、確認のメッセージが表示されます。切断してよければ、**はい** にタッチします。

- 5 接続完了のメッセージが表示される。

👉 アドバイス

- Bluetooth接続中の携帯電話は、Bluetoothマークが表示されます。
- 携帯電話の登録については、「携帯電話の登録」(→221)を参照してください。
- Bluetoothオーディオ再生中に電話機選択をした場合、音声かとぎれることがあります。

》電話機詳細情報を表示する

電話機詳細情報は、本機に登録されている携帯電話に関する情報の表示と設定をすることができます。情報は、次の項目が表示されます。

- ▶ 機器名称
本機に表示される携帯電話の名称です。任意の名称に変更することができます。
- ▶ 機器アドレス
機器固有のアドレスで、変更することはできません。
- ▶ 自局電話番号
携帯電話の電話番号です。

- 1 電話機選択画面で、詳細情報を表示したい携帯電話を選択しタッチ。



- 2 **詳細情報表示** にタッチ。

3 電話機詳細情報画面が表示される。



携帯電話の名称を変更する

本機に表示される携帯電話の名称を、任意の名称に変更することができます。全角で最大10文字、半角で最大20文字まで入力できます。なお、本機で機器名称を変更しても、携帯電話に登録されている機器名称は変更されません。

1 電話機詳細情報画面で、**変更** にタッチ。

2 機器名称を入力する。(→31)

3 **完了** にタッチ。

》パスキー・機器名称を変更する

初期設定では、本機に関するBluetooth設定情報の表示と設定の変更をすることができません。情報は、次の項目が表示されます。

▶ 機器名称

Bluetoothネットワーク内での本機の名称です。任意の名称に変更することができます。

▶ パスキー

携帯電話を本機に登録する際のパスワードです。4～8桁の任意の数字に変更することができます。

▶ 機器アドレス

本機に登録されている機器固有のアドレスで、変更することはできません。機器名称やパスキーを他のBluetooth機器と同じにしてしまい、ネットワーク内での本機の区別がつけられなくなってしまった場合に参考にすることができます。

1 電話設定画面で、**Bluetooth 設定** にタッチ。

2 Bluetooth設定画面が表示される。



● **初期状態** ... 詳細設定画面の全項目が初期状態に戻る

▶ 変更する項目の **変更** にタッチします。

アドバイス

機器名称を変更した場合、Bluetoothオーディオ設定の機器名称も同時に変更されます。パスキーについては、それぞれ別の数字を設定することができます。「設定を変更する」(→160)

機器名称を変更する

- 1 Bluetooth設定画面で、機器名称の**変更**にタッチ。

- 2 機器名称を入力する。(→31)

▶ 全角で最大10文字、半角で最大20文字まで入力できます。

- 3 **完了**にタッチ。

パスキーを変更する

- 1 Bluetooth設定画面で、パスキーの**変更**にタッチ。

- 2 4～8桁の範囲で任意の数字を入力する。



● **修正** ...数字を修正するとき

- 3 **完了**にタッチ。

Bluetooth電話機の登録を削除する

- 1 Bluetooth設定画面で、Bluetooth電話設定の**削除**にタッチ。

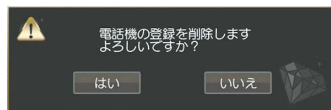


- 2 削除する携帯電話にタッチ。

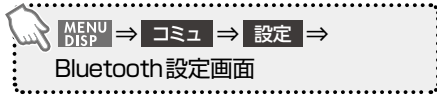


- 3 **完了**にタッチ。

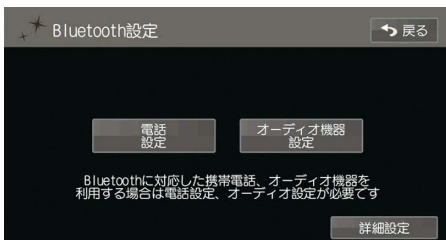
- 4 **はい**にタッチ。



》電話詳細設定をする



1 **詳細設定** にタッチ。



2 詳細設定画面で各設定をする。



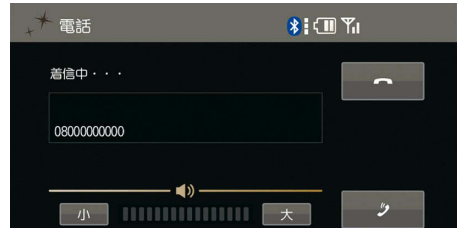
- ▶ ACC ON時のBluetooth接続確認案内 (→240)
- ▶ 着信割り込み表示 (→239)
- ▶ 自動Bluetooth機器接続の設定 (→223)

3 設定が終わったら、**完了** にタッチ。

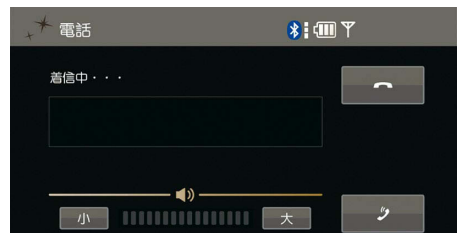
- **初期状態** ...詳細設定画面の全項目が初期状態に戻る

着信割り込み表示を変更する

ハンズフリー以外の画面が表示されているときに電話がかかってきた場合、画面の表示方法を選択できます。



[全画面表示]



[簡易表示]

1 詳細設定画面で、着信割り込み表示の**全画面**、または**簡易** にタッチ。

- ▶ 全画面：着信中、通話中および応答保留中に各画面が表示され、タッチスイッチで操作することができます。
- ▶ 簡易：着信中、通話中および応答保留中に、電話番号および名称を表示しない簡易画面が表示されます。全画面同様、タッチスイッチで操作することができます。

ACC ON時のBluetooth接続確認案内を表示する

エンジンスイッチをOFF (LOCK) からACC、またはONにして、携帯電話と自動的にBluetooth接続したときに、接続確認の案内を画面上部に表示するか、しないかを選択できます (→224)。

- 1 ACC ON時のBluetooth接続確認案内の **する**、または **しない** にタッチ。

アドバイス

携帯電話の機種により、Bluetooth接続確認案内が表示されない場合があります。

電話帳の編集

》電話帳について

携帯電話に登録してある電話帳を本機の電話帳に転送することができます。

この電話帳は1名につき最大3件の電話番号が登録でき、最大1000名分のデータが登録できます。

》電話帳転送画面を表示する

- 1 電話設定画面で、**電話帳編集** にタッチ。
- 2 電話帳転送画面が表示される。



電話帳転送画面から、以下の操作を行うことができます。

- ▶ 電話帳データの転送 (→241)
- ▶ 電話帳データの削除 (→243)
- ▶ ワンタッチダイヤルの登録 (→243)
- ▶ ワンタッチダイヤルの削除 (→244)

アドバイス

低温時は、登録、または転送した電話帳データが保存されないことがあります。

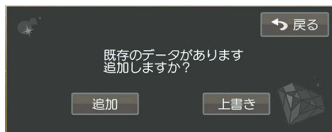
》携帯電話の電話帳データを転送する

携帯電話に登録してある電話番号(電話帳データ)を、本機に転送することができます。本機の電話帳は、1名につき最大3件の電話番号が登録でき、最大1000名分のデータが登録できます。転送するときは、エンジンをかけた状態で行ってください。

この機能は、OPPに対応していない携帯電話では使用できません。

また、携帯電話によって、携帯電話からの電話帳データの転送方法が異なります。詳しくは、携帯電話に添付の取扱説明書を合わせてご覧ください。

- 1 電話帳転送画面で、**電話帳転送** にタッチ。
- 2 既存のデータに上書きするときは **上書き**、既存のデータに追加するときは **追加** にタッチ。



- 3 電話帳データ転送画面が表示されたら、携帯電話を操作して電話帳データを転送する。



- **中止** ...転送を中止するとき
- ▶ 携帯電話側の転送操作は、必ずこの画面を表示させた状態で行ってください。
- ▶ 転送中は、転送完了のメッセージが表示されるまで、そのままお待ちください。
- ▶ 転送が完了すると、転送完了のメッセージが表示され、電話帳転送画面に戻ります。
- ▶ 転送失敗のメッセージが表示されたときは、転送操作を最初からやり直してください。

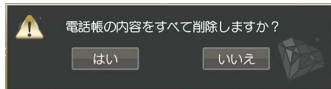
アドバイス

- 電話帳データを転送する際、各データについては、次のような制限があります。
 - ・ 携帯電話の電話帳で1つの名称に4件以上の電話番号が登録されている場合、本機の電話帳には同じ名称を複数登録して全ての電話番号を登録します。
 - ・ 電話番号と同時に名称・名称読みも転送されますが、機種によっては漢字や記号などが転送されないことや、全ての文字が転送されないことがあります。また、転送されても正しく表示されないことがあります。
 - ・ 通常はシークレットメモリの読み出しは行いません。(携帯電話の仕様により可能な場合もあります。)
 - ・ 携帯電話に登録されているグループ名は転送されません。
 - ・ 本機の電話帳で表示されるアイコンは、転送元の情報をもとにして自動で割り当てられます。ただし、携帯電話の機種や使用環境によっては、表示されるアイコンが全て同じになることがあります。
- 電話帳データを転送する際、機種によっては、携帯電話の暗証番号および認証パスワードの入力を求められることがあります。この場合、認証パスワードは"1234"を入力してください。
- 地図ソフト更新時には、電話帳データ、ワンタッチダイヤルを再度転送および登録してください。
- 一括転送可能な機種は、電話帳データを転送する際、次のような特徴があります。
 - ・ 転送には10分程度かかる場合があります。
 - ・ 電話帳データ転送画面が表示されているときでも他画面に切り替えることができます。この場合、電話帳データ転送は継続されます。
- 電話帳データ転送中は、次のように対応します。
 - ・ 電話帳データ転送中に着信があった場合は、状況によりどちらかが優先されます。着信が優先された場合、着信した電話は携帯電話本体での通話になります。この場合は、通話終了後、転送操作をやり直してください。
 - ・ 電話帳データ転送中に発信操作をした場合、転送を継続して発信を中止します。
 - ・ 電話帳データ転送中にエンジンスイッチをOFF (LOCK) にした場合、転送は中止されます。この場合は、エンジンをかけて、転送操作をやり直してください。
- 次の場合、転送済みの電話帳データは本機の電話帳に保存されます。
 - ・ 本機のメモリ容量により途中で転送が終了したとき
 - ・ 何らかの原因で転送が中断されたとき
- 本機の電話帳データを携帯電話に転送することはできません。
- 電話帳データ転送中は、Bluetoothオーディオの接続が切断されます。この場合、転送が終了すると再接続されます。(機種によっては、再接続できないことがあります。)

》電話帳のデータを削除する

電話帳のデータは、全削除ができます。

- 1 電話帳転送画面で、電話帳の **全削除** にタッチ。
- 2 **はい** にタッチ。



アドバイス

お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。(→285)

》ワンタッチダイヤルを登録する

電話帳に登録してある任意の電話番号を、最大17件までワンタッチダイヤルに登録することができます。1ページ目の6件目には、自動的に最新の発信履歴(リダイヤル)が登録されます。

- 1 電話帳転送画面で、ワンタッチダイヤルの **登録** にタッチ。
- 2 登録したいデータにタッチ。



- 3 登録したい電話番号にタッチ。



- 4 登録したいスイッチにタッチ。



- ▶ 登録済みスイッチを選択したときは、置き換え確認のメッセージが表示されます。置き換えしてもよいときは、**はい** にタッチします。

》ワンタッチダイヤルを削除する

ワンタッチダイヤルの01～17は、個別に選択して削除できます。

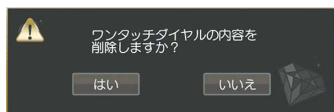
全削除すると、17件全てが削除できます。

ワンタッチダイヤルを個別に削除する

- 1 電話帳転送画面で、ワンタッチダイヤルの **削除** にタッチ。
- 2 削除したいワンタッチダイヤルのスイッチにタッチ。

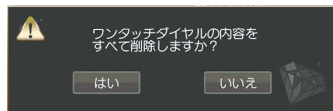


- 3 **はい** にタッチ。



ワンタッチダイヤルをすべて削除する

- 1 電話帳転送画面で、ワンタッチダイヤルの **全削除** にタッチ。
- 2 **はい** にタッチ。



アドバイス

- ワンタッチダイヤルの01～17は、電話帳のデータが削除されると、同時に削除されます。
- ワンタッチダイヤルのリダイヤルは、発信履歴を全て削除した場合に削除されます。

履歴の削除

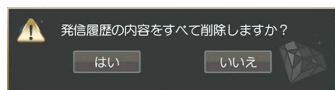
発信履歴および着信履歴のデータは、全削除ができます。

》履歴を削除する

- 1 発信履歴画面、または着信履歴画面(→228)で、**全削除** にタッチ。



- 2 **はい** にタッチ。



アドバイス

お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。(→285)

携帯連携機能

Bluetooth携帯電話と連携させて地点情報を送受信することができます。

警告

運転者が走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

Bluetooth携帯電話で検索した施設の位置情報を本機に送信して、その場所の地図を呼び出したり、Bluetooth携帯電話に本機で設定した目的地、または現在地の情報を送信することができます。

地点情報送受信機能を使用するためには、専用のアプリケーションを携帯電話にダウンロードする必要があります。本機で動作確認済みの機種、携帯電話の設定や利用方法については、次の方法でご確認ください。

- ▶ 各携帯電話会社へのお問い合わせ
- ▶ 携帯電話のパフレット
- ▶ 専用カタログ
- ▶ トヨタのホームページ

チェック

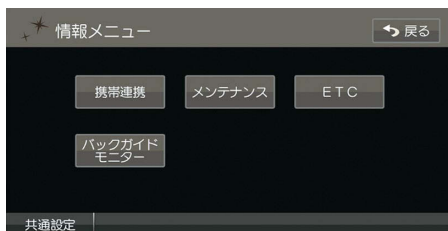
本機にハンズフリー登録している携帯電話のみ使用することができます (→221)。

携帯連携画面を表示する

- 1 MENU DISP にタッチ。
- 2 コミュ にタッチ。
- 3 情報 にタッチ。



- 4 携帯連携 にタッチ。



5 携帯連携画面が表示される。



携帯連携画面から、以下の操作を行うことができます。

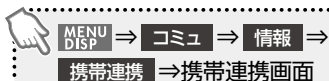
タッチスイッチ	機能概要	ページ
地点情報受信	Bluetooth携帯電話で検索した施設の位置情報を本機に送信して、地図を呼び出すことができます。	247
地点情報送信	Bluetooth携帯電話に本機で設定した目的地、または現在地の情報を送信して、地図を呼び出すことができます。	249

携帯電話で目的地を設定する

Bluetooth携帯電話で検索した施設の位置情報を本機に送信して、その場所の地図を呼び出すことができます。

チェック

本機にハンズフリー登録している携帯電話のみ使用することができます (→221)。



- 1 携帯連携画面で、**地点情報受信** にタッチ。
- 2 携帯電話から位置情報を送信する。



- **中止** ...通信を中止し、前の画面を表示

3 目的地セット にタッチ。



- **地点登録** ...送信した地点をメモリ地点として登録 (→93)。

情報 ...施設の内容を表示 (→64)。

- ▶ **↑** にタッチすると、地図を移動することができます。
- ▶ すでに他の目的地が設定されている場合は、**新規目的地**、または **追加目的地** にタッチします。

アドバイス

- 同乗者が携帯電話を操作する場合、ハンズフリー(→216)に接続中の携帯電話から、走行中は地点を受信することができません。
- 受信中にエンジンスイッチをOFF (LOCK) にした場合、受信が中止されます。その場合、エンジンスイッチをACC、またはONにして再度操作します。
- 受信中に本機を操作したり、他の画面に切り替わった場合、受信が中止されます。
- データ受信中は、Bluetoothオーディオ(→153)やハンズフリー(→216)の接続が切断されます。その場合、受信が終了すると、データ保存後に再接続されます(機種により、再接続に時間がかかることや再接続できないことがあります)。
- 表示された地図は、携帯電話で送信した位置情報とずれる場合があります。
- 携帯電話で地図を呼び出した場合、**情報** が表示されないことがあります。
- 受信した地点をメモリ地点として登録する場合、コンテンツによっては著作権で保護されているため地点情報を登録することはできません。

携帯電話に目的地や現在地の情報を送信する

携帯電話に本機で設定した目的地、または現在地の情報を送信することができます。

チェック

- 本機に登録している Bluetooth（ハンズフリー）接続中の携帯電話のみ使用することができます（→221）（→236）。
- 携帯電話をデータ受信可能状態にします。携帯電話の操作については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。



MENU DISP ⇒ コミュ ⇒ 情報 ⇒
携帯連携 ⇒ 携帯連携画面

1 携帯連携画面で、**地点情報送信** にタッチ。

2 **送信** にタッチ。



- **中止** ...通信を中止し前の画面を表示
- ▶ 位置情報の送信が完了するとメッセージが表示されます。

アドバイス

- 地点送信画面表示中に走行を開始した場合、前の画面に戻ります。ただし、送信の操作が完了している場合、送信が完了してから画面が切り替わります。
- 送信中にエンジンスイッチをOFF（LOCK）にした場合、送信が中止されます。その場合、エンジンスイッチをACC、またはONにして再度操作します。
- 送信中に本機を操作したり、他の画面に切り替わった場合、送信が中止されます。
- データ送信中は、Bluetoothオーディオ（→153）やハンズフリー（→216）の接続が切断されます。その場合、送信が終了すると、データ保存後に再接続されます（機種により、再接続に時間がかかることや再接続できないことがあります）。

iPhone ナビ連携機能

お手持ちのiPhoneを接続してナビゲーションを操作することができます。

iPhone ナビ連携機能について

⚠ 警告

安全のため、運転者は走行中にiPhoneの操作をしないでください。

⚠ 注意

- iPhoneは車室内に放置しないでください（炎天下など、車室内が高温となる場合があります）。
- iPhoneを本機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、接続状態が悪化することがあります。

iPhoneと本機を無線(Bluetooth)で接続して、専用のアプリケーションを使用することによって、地図の操作（スクロール、または縮尺の変更）や、iPhoneの地図上で目的地の設定をすることができます。

本機能を使用するためには、専用のアプリケーション（NaviCon）をiPhoneにダウンロードする必要があります。iPhoneの設定や利用方法については、App Storeのヘルプをご覧ください。

👉 アドバイス

- iPhoneナビ操作機能を使用するためには、iPhoneを本機に登録する必要があります（→221）。
- 一部機能については走行中の操作はできません。
- 接続対応iPhoneについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

- 「Made for iPhone」とは、iPhone 専用 に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示しています。
- アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。
- iPhoneは、米国及び他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- "Made for iPhone" means that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPhone and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.



- Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPhone may affect wireless performance.
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

》Bluetooth機器について

対応Bluetooth仕様および対応プロファイルについて

本機に接続することができるポータブルオーディオ機器は、下記の仕様に対応している必要があります。

■対応Bluetooth仕様

Bluetooth Specification Ver.1.1以上
(Ver.2.0+EDR以上を推奨)

■対応Profile

iAP over Bluetooth (Apple純正プロファイル)



BluetoothはBluetooth SIG, Inc.
の登録商標です。

Bluetooth機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

（上記3種の無線局を以下「他の無線局」と略します）

この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。

この機器の使用周波数帯は2.4GHz帯です。変調方式としてFH-SS変調方式を採用しています。

想定干渉距離は10m以下です。この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

アドバイス

- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

iPhone ナビ連携を起動する

警告

安全のため、運転者は走行中にiPhoneの操作をしないでください。

- 1 iPhoneを操作して、専用のアプリケーション(NaviCon)を起動する。



- ▶ iPhone専用のアプリケーション(NaviCon)が起動すると、iPhoneと本機の画面上に同じ位置の地図が表示されます。
- ▶ 接続が完了すると接続完了のメッセージが表示されます。
- ▶ 接続に失敗したときは、メッセージが表示されます。画面の案内にしたがってやり直してください。

アドバイス

専用のアプリケーション(NaviCon)起動時の操作方法は、App Storeのヘルプをご覧ください。

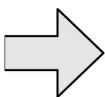
iPhone ナビ連携の操作について

警告

安全のため、運転者は走行中にiPhoneの操作をしないでください。

iPhoneを操作することによって、本機の下記操作を行うことができます。

- ▶ 地図のスクロール
- ▶ 地図の縮尺変更
- ▶ 目的地の設定



iPhoneの操作と同期して、本機も操作されます。

アドバイス

iPhoneの地図操作やアプリケーションの操作については、App Storeのヘルプをご覧ください。

車のメンテナンス時期をお知らせする

車のオイルや消耗部品の交換、各種点検の時期を登録すると、時期が来たときにメッセージを表示することができます。設定できるメンテナンス項目は次の通りです。

メンテナンス内容および時期の設定は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

スイッチ	内容	スイッチ	内容
	エンジンオイル交換		Vベルト交換
	オイルフィルター交換		冷却水交換
	タイヤローテーション (タイヤ位置交換)		ブレーキフルード交換
	タイヤ交換		ATF (オートマチックトランスミッションフルード) 交換
	エアクリナー交換		任意入力項目 (その他の項目を5つまで設定することができます。)
	ブレーキパッド交換		

便利な機能 車のメンテナンス時期をお知らせする

アドバイス

- 設定状況により、メンテナンス項目のスイッチの色が変わります。
 - ・ 青色...未設定
 - ・ 緑色...設定済み
 - ・ 橙色...メンテナンス時期
- お知らせするメンテナンス時期は、事前に走行距離や年月日をもとに設定します。お車の使用状況により、お知らせするメンテナンス時期と実際に必要なメンテナンス時期に誤差が発生することがあります。
- メンテナンス機能で計測される走行距離と実際の走行距離で誤差が発生することがあります。

メンテナンスの設定をする

メンテナンスの案内をさせる項目と時期を設定することができます。

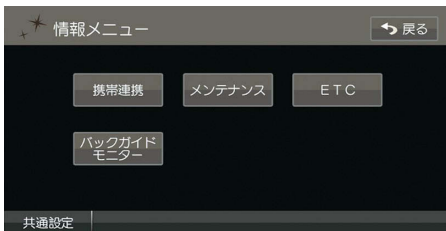
1 MENU DISP にタッチ。

2 コミュ にタッチ。

3 情報 にタッチ。



4 メンテナンス にタッチ。



5 任意入力 にタッチ。



▶ あらかじめ登録されている項目（エンジンオイル交換など）をタッチすると、8 の画面が表示されます。

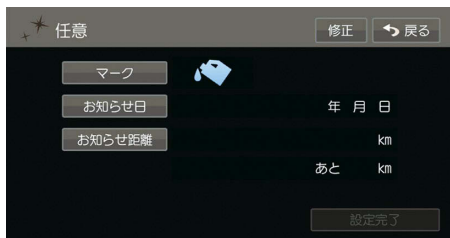
▶ 設定されている項目をタッチすると、設定内容を変更することができます。

6 マークにタッチ。



7 メンテナンス項目の名称を入力する (→31)。

8 お知らせ日、または お知らせ距離 にタッチ。



- **マーク** ... マークを変更する (**任意入力** に項目を設定している場合のみ)
修正 ... メンテナンス項目の名称を変更する (**任意入力** に項目を設定している場合のみ)

9 距離、または日付を入力する。



[距離入力画面]



[日付入力画面]

- **修正** ...1文字消去
年、**月**、**日** ...入力した文字が確定

10 完了 にタッチ。

11 設定完了 にタッチ。

▶ お知らせ日 と お知らせ距離 は同時に設定することができます。

アドバイス

設定したメンテナンス項目は、自動通知を設定すると案内させることができます (→257)。

メンテナンス時期を案内する

メンテナンスの自動通知を設定すると、設定した時期や距離に達した場合、メンテナンス項目を案内させることができます。

》メンテナンス時期の案内について

設定した時期や距離に達した場合、ナビゲーションを起動したときにメンテナンス項目が4つまで案内されます。

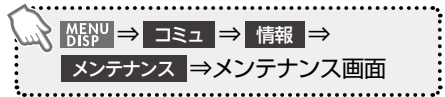


- **次回表示しない** ...次にナビゲーション画面が立ち上がる時の案内が非表示
- ▶ 5つ以上の項目がある場合、**etc** が表示されます。その場合、メンテナンス項目のスイッチの色でメンテナンス時期を確認することができます (→254)。

アドバイス

- 販売店を設定している場合、販売店名と電話番号が表示されます (→260)。
- 音声は、初回の案内のみ出力されます。

》メンテナンス時期の自動通知を設定する



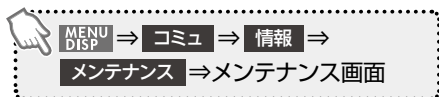
- 1 **する** (自動通知)にタッチ。



メンテナンス時期を更新する

設定したメンテナンスの時期を更新することができます。設定した距離はリセットされ、日付は自動的に新しい日付に変更されます。

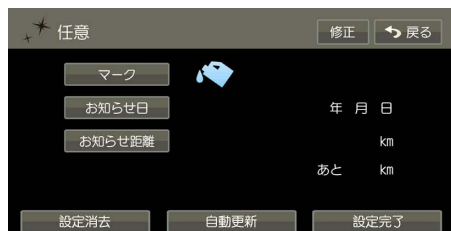
》項目ごとに更新する



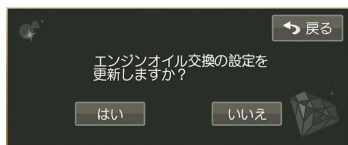
1 各項目にタッチ。



2 自動更新 にタッチ。

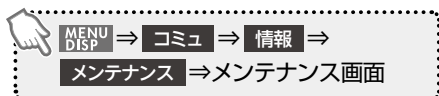


3 はい にタッチ。



4 設定完了 にタッチ。

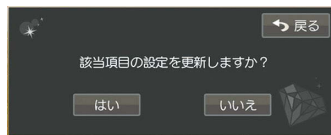
》全ての項目を更新する



1 自動全更新 にタッチ。



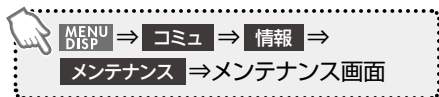
2 はい にタッチ。



メンテナンスの設定を消去する

設定したメンテナンスの項目や時期を消去することができます。

》項目ごとに消去する



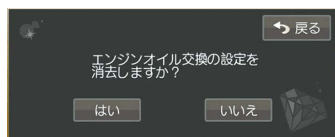
1 各項目にタッチ。



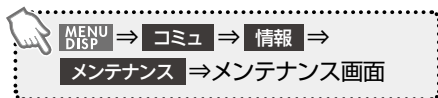
2 設定消去 にタッチ。



3 はい にタッチ。



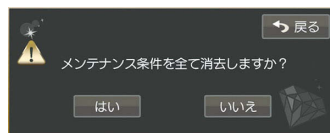
》全ての項目を消去する



1 設定全消去 にタッチ。

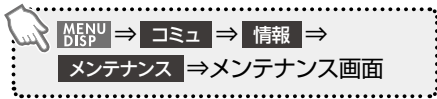


2 はい にタッチ。



メンテナンスする店を設定する

メンテナンスする店を設定すると、メンテナンス時期が案内される場合、店の名称や電話番号が同時に表示されます。



1 販売店設定 にタッチ。



2 販売店の地図を呼び出す。



- 50音 ... (→55)
- 主要施設 ... (→60)
- 住所 ... (→61)
- メモリ地点 ... (→62)
- 履歴 ... (→60)
- 電話番号 ... (→58)
- ジャンル ... (→62)
- マップコード ... (→63)
- 特別メモリ 1 ~ 5 ... (→53)
- 現在地周辺 ... 現在地周辺の地図を表示

3 セット にタッチ。



- ▶ ↑ タッチすると、地図を動かすことができます。

4 完了 にタッチ。

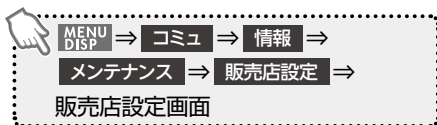


- **販売店名** ...販売店の名称を修正 (→99)
- **位置** ...販売店の位置を修正 (→99)
- **電話番号** ...電話番号を修正 (→100)
- **販売店の消去** ...販売店を消去 (→261)
- **販売店に行く** ...販売店の地図を表示

アドバイス

主要施設 にタッチしてトヨタ販売店から地図を呼び出した場合、動かさずに **セット** にタッチすると、販売店名や電話番号が自動的に入力されます。

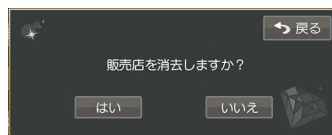
メンテナンスする店を消去する



1 販売店の消去 にタッチ。



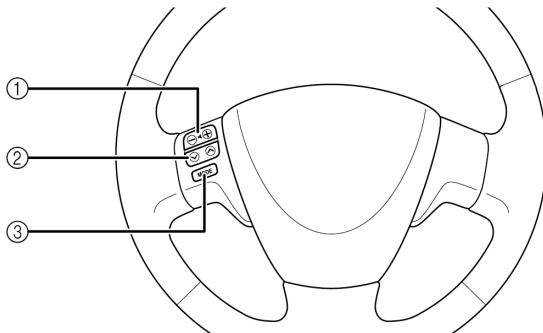
2 はい にタッチ。



ステアリングスイッチで操作する

お車のステアリングスイッチでナビゲーションシステムを操作することができます。

ステアリングスイッチ装着車は、手元にあるステアリングスイッチで各オーディオの主要操作をすることができます。



スイッチ	名称	機能	ページ
①	音量 スイッチ	押すごとに1ステップずつ音量が変わります。 押し続けると音量が連続して変わります。	128
②	選局/選曲 スイッチ	CD、iPodオーディオを再生している場合 押すと、次の曲や再生中の曲の頭(繰り返し押すと前の曲)に切り替わります。	137 193
		MP3/WMA、SDメモリーカード、USBメモリを再生している場合 押すと、次の曲や再生中の曲の頭(繰り返し押すと前の曲)に切り替わります。 "ピッ"と音がするまで押すと、前後のフォルダ/アルバムに切り替わります。	144 150 208
		Bluetoothオーディオを再生している場合 押すと、次の曲や再生中の曲の頭(繰り返し押すと前の曲)に切り替わります。 "ピッ"と音がするまで押すと曲が早送り/早戻しされます。	157
		DVD、iPodビデオを再生している場合 押すと、次のチャプターや再生中のチャプターの頭(繰り返し押すと前のチャプター)に切り替わります。	167 200
		ラジオ、TVを受信している場合 押すと、プリセットスイッチに記憶されている放送局が順番に呼び出されます。 "ピッ"と音がするまで押すと、受信中の周波数/チャンネルに一番近い放送局が自動で選局されます。	131 184
		オーディオの電源がOFFの場合、押すと、オーディオの電源がONになります。 "ピッ"と音がするまで押すと、オーディオの電源がOFFになります。	125
③	オーディオ 切り替え スイッチ	オーディオの電源がONの場合、押すごとに、次の順に切り替わります。 FM→DISC→SDメモリーカード→USBメモリ/iPod→ Bluetoothオーディオ→VTR→TV→AM	125

※ 再生または視聴できないモードはスキップされます。

カスタマイズ機能

01.ガジェット機能 ……………	265
ガジェットについて ……………	265
ガジェットとは ……………	265
ガジェットの種類について ……………	265
ガジェットのダウンロードについて ……	266
パソコンからポータルサイトへのアクセスにつ	
いて……………	266
ポータルサイトから各メディアへのダウンロー	
ドについて ……………	266
ダウンロードできるメディアについて ……	266
ガジェット画面 ……………	267
ガジェット一覧 ……………	268
ガジェットを確認する ……………	269
ガジェットを配置する ……………	269
ガジェットの情報を表示する ……………	270
ガジェットを追加する ……………	270
ガジェットを削除する ……………	272
ガジェットの操作について ……………	273
02.スイッチ操作音を設定する ……	275
スイッチ操作音の設定 ……………	275
03.画面の着せ替え ……………	276
着せ替えデザインを選択する ……………	276
04.手書きメモを作成する …………	277
手書きメモを登録する ……………	277
手書きメモを消去する ……………	278
手書きメモのデータを移行する ……………	279
05.セキュリティを設定する ……	280
セキュリティを作動させる ……………	280
セキュリティのロックを解除する ……………	282
作動インジケータを点滅させる ……………	283
セキュリティを停止する ……………	283
06.個人情報を初期状態に戻す ……	284
初期化される項目について ……………	284
個人情報を初期化する ……………	285

ガジェット機能

ガジェットを配置してディスプレイをお好みにアレンジすることができます。

まるで携帯電話の待ち受け画面をその日の気分で着せ替えるように、ナビディスプレイをお好みに自由にカスタマイズできます。気に入ったデザインの時計を配置することや、お気に入りの写真を表示することもできます。パーツや新しいアプリケーションはトヨタホームページのガジェットポータルサイトで更新されるので、お好みに追加することができます。

チェック

車両が走行状態になると、スイッチがトーンダウンする機能や通常画面に戻るガジェットがあります。操作する場合は、安全な位置に停車して操作してください。

ガジェットについて

》ガジェットとは

一目でわかるように情報提供し、様々な用途に使用できる小さなアプリケーションのことです。パソコンや携帯電話でも『ガジェット』が搭載され、使用されています。ガジェットは、画面の左側、中央、右側に配置することができます。画面に配置しておくことによって、いろいろな機能を使用することができます。

》ガジェットの種類について

本機には、初期状態で2種類のガジェットが用意されています。

- ▶ 時計ガジェット
- ▶ フォトビューアガジェット

ガジェットのダウンロードについて

ガジェットポータルサイトにアクセスして、新しいガジェットをSDメモリーカードやUSBメモリにダウンロードすることによって、本機に追加することができます。

チェック

ガジェットのダウンロードに必要な環境は次のようになります。

対応OS	Microsoft Windows 2000 Microsoft Windows XP Microsoft Windows Vista Microsoft Windows 7
その他環境	SDHCメモリーカードリーダー／ライターと、SDまたはSDHCメモリーカード、インターネット接続可能な環境が必要です。

》パソコンからポータルサイトへのアクセスについて

URLを入力、またはトヨタホームページよりアクセスすることができます。

▶ ポータルサイト

URL : <http://gadgetportal.jp>

アドバイス

USBメモリでの追加の場合には、別途iPod対応USB/VTRアダプターが必要です。

》ポータルサイトから各メディアへのダウンロードについて

本機にガジェットをダウンロードするためには、パソコンを使用してSDメモリーカード、またはUSBメモリ内に直接保存してください。

アドバイス

- SDメモリーカード、またはUSBメモリに作成したフォルダ内に保存すると本機にインストールできません。
- SDメモリーカード、またはUSBメモリにダウンロードするガジェットは16個以下にしてください。

》ダウンロードできるメディアについて

注意

本機の故障や誤作動、または不具合により消失したSDメモリーカード、またはUSBメモリ内のデータについては補償できません。大切なデータはパソコン等を用いて、バックアップを取っておくことをおすすめします。

SDメモリーカードについて

次のSDメモリーカードを使用することができます。

種類	
容量	8MB～2GB (SDメモリーカード) 4GB～32GB (SDHCメモリーカード)

アドバイス

SDロゴ、SDHCロゴは商標です。

USBメモリについて

次のUSBメモリを使用することができます。

対応クラス	マストレージクラス
ファイルシステム	FAT16、32
対応USB Ver.	USB1.1、2.0、3.0

iPod対応USB/VTRアダプターについて

オプションのiPod対応USB/VTRアダプターを接続すると、USBメモリでガジェットを追加することができます。

⚠ 注意

iPod対応USB/VTRアダプターは、USBハードディスク、USBハブ、USBカードリーダーには対応していません。

対応クラス	マストレージクラス
ファイルシステム	FAT16、32
対応USB Ver.	USB1.1、2.0、3.0
最大消費電流	500mA以下

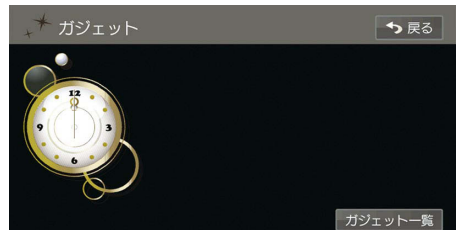
ガジェット画面

お好みのガジェット画面を表示して、いろいろな機能を使用することができます。

- 1 **MENU DISP** にタッチ。
- 2 **コミュ** にタッチ。
- 3 **ガジェット** タッチ。



- 4 ガジェット画面が表示される。



- ▶ ガジェットは最大3個まで表示させることができます。
- ▶ ガジェット一覧から画面の左側、中央、右側に配置することができます (→269)。
- ▶ 展開することができるガジェットは、**ガジェット** にタッチすると拡大表示 (展開画面) されます。

ガジェット一覧

ガジェット一覧を表示して、ガジェットの追加、プレビュー、情報表示、削除を行うことができます。最大で40個のガジェットを登録することができます。



- 1 **ガジェット一覧** にタッチ。
- 2 ガジェット一覧画面が表示される。

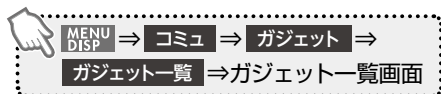


項目 (タッチスイッチ)	機能	ページ
①	現在選択されているガジェットを表示します。	-
②	ガジェット一覧を表示します。	-
◀、または ▶	一覧のページを切り替えます。	-
プレビュー	選択したガジェットを全画面で表示します。	269
情報	選択したガジェットの情報を表示します。	270
一覧に戻す	選択したガジェットを一覧に戻します。	-
削除 ※	選択したガジェットを削除します。	272
追加	SDメモリーカードやUSBメモリから新しいガジェットを追加します。	270
完了	ガジェット画面に戻ります。	-

※ 追加したガジェットを選択した場合のみ表示されます。

》ガジェットを確認する

一覧から選択したガジェットを全画面表示して確認することができます。



1 表示させたいガジェットにタッチ。

2 プレビュー にタッチ。

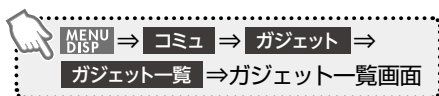


3 選択したガジェットが全画面表示される。



● 戻る ... ガジェット一覧画面に戻る

》ガジェットを配置する



1 配置する位置にタッチ。



配置位置

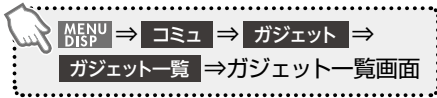
2 ガジェット一覧から配置するガジェットにタッチ。

3 完了 にタッチ。



》ガジェットの情報を表示する

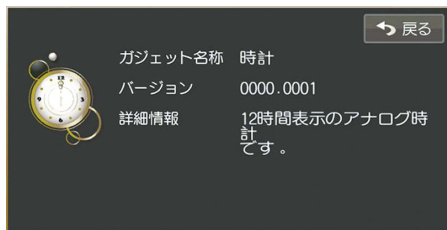
一覧から選択したガジェットの情報を表示させることができます。



- 1 表示させたいガジェットにタッチ。
- 2 **情報** にタッチ。



- 3 選択したガジェットの情報が表示される。



- **戻る** ... ガジェット一覧画面に戻る

》ガジェットを追加する

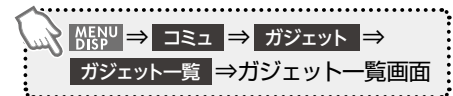
ガジェットポータルサイトより、SDメモリーカードやUSBメモリにダウンロードした新しいガジェットデータを追加することができます。

SDメモリーカードで追加する

SDメモリーカードにダウンロードした、新しいガジェットを追加することができます。

チェック

ガジェットのダウンロードについては、トヨタホームページのガジェットポータルサイトを確認してください。(→266)



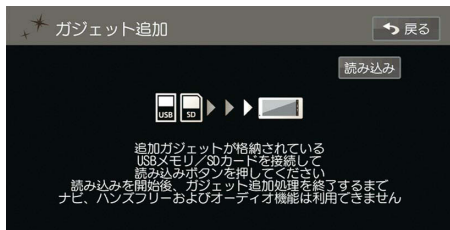
- 1 **追加** にタッチ。



- 2 ガジェットデータの入ったSDメモリーカードを、ユーザー用SDメモリーカード差し込み口に差し込む(→28)。

3 読み込み にタッチ。

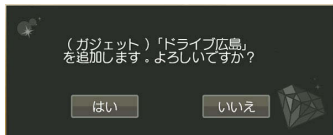
- ▶ SDメモリーカードから本機に、ガジェットデータを転送します。



4 追加したいガジェットにタッチ。



5 はい にタッチ。



- ▶ 追加が正常に完了すると、メッセージが表示されます。
- ▶ 他に追加するガジェットがある場合は、4 から繰り返します。

アドバイス

- SDメモリーカードの取り扱いは、「メディアを入れる・取り出す」(→25)を参照してください。
- SDメモリーカード内のデータにアクセス中は、SDメモリーカードを抜かないでください。
- ガジェット追加後はオーディオOFFになるため、オーディオソースを再設定ください。

USBメモリで追加する

USBメモリにダウンロードした、新しいガジェットを追加することができます。

チェック

- USBメモリを接続する場合は、オプションのiPod対応USB/VTRアダプターをお買い求めください。
- ガジェットのダウンロードについては、トヨタホームページのガジェットポータルサイトを確認してください。(→266)



MENU DISP ⇒ コミュ ⇒ ガジェット ⇒
ガジェット一覧 ⇒ガジェット一覧画面

1 追加 にタッチ。



- 2 ガジェットデータのいったUSBメモリを本機に接続する。

3 読み込み にタッチ。

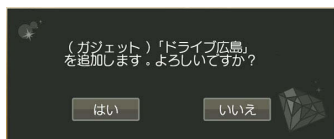
- ▶ USBメモリから本機にガジェットデータを転送します。



4 追加したいガジェットにタッチ。



5 はい にタッチ。



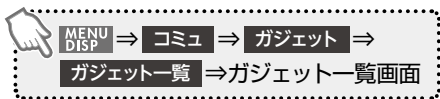
- ▶ 追加が正常に完了すると、メッセージが表示されます。
- ▶ 他に追加するガジェットがある場合は、4から繰り返します。

アドバイス

- USBメモリ内のデータにアクセス中は、USBメモリを抜かないでください。
- ガジェット追加後はオーディオOFFになるため、オーディオソースを再設定ください。

》ガジェットを削除する

追加したガジェットは、一覧から削除することができます。



1 削除したいガジェットにタッチ。

2 削除 にタッチ。



3 はい にタッチ。



アドバイス

初期登録されているガジェットは、削除することができません。追加されたガジェットのみ削除することができます。

ガジェットの操作について

初期の状態では、2種類のガジェットが格納されています。ここでは、フォトビューアガジェットの操作について説明します。

フォトビューア

SDメモリーカード、またはUSBメモリ内の画像を順番に表示させる（スライドショー）ことができます。

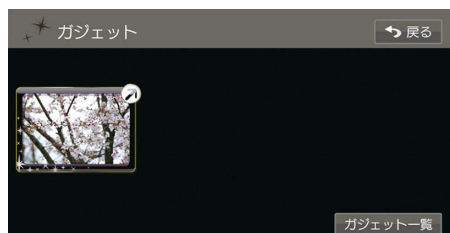
チェック

本機で表示できる画像データは、次の表を参照してください。

対応フォーマット	JPEG (.jpg)
画像データサイズ	10MB以下

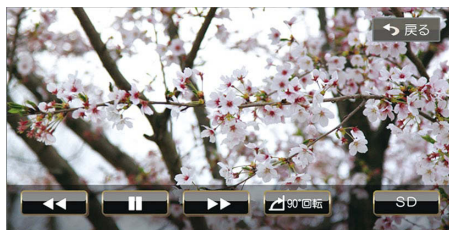
■通常画面

通常は、この画面でスライドショーを実施します。



- ▶ 画像にタッチすると、展開画面が表示されます。

■展開画面

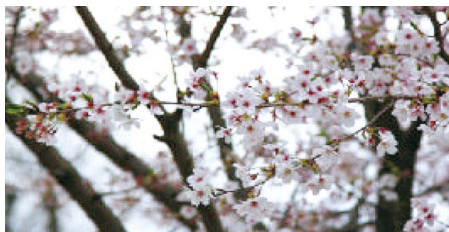


- ▶ 画像にタッチ、または5秒間入力がない場合、スライドショー画面が表示されます。
- ▶ 各スイッチについては、次の表を参照してください。

スイッチ	機能
	現在表示している画像からスライドショーを実施します。
	スライドショーを停止します。
	現在表示している次の画像を表示します。スライドショーを実施中の場合、新しく表示した画像から続きます。
	現在表示している前の画像を表示します。スライドショーを実施中の場合、新しく表示した画像から続きます。
	現在表示している画像を、時計回りに90°回転させます。ガジェットを終了するまで、またはSDメモリーカード（USBメモリ）を切り替えるまで保持し続けます。
または	画像を取得しているメディアを表示します。

※ スライドショー再生中のみ表示されます。

■スライドショー画面



- ▶ 画像にタッチすると展開画面に戻ります。
- ▶ **戻る** スイッチは5秒間経過すると非表示になります。 **戻る** スイッチにタッチすると通常画面に戻ります。

👉 アドバイス

- スライドショー表示中に、走行状態になった場合、画像の再生は一時停止します。
- 10MBを超える画像データは表示することができません。
- 表示される画像サイズは、幅916ピクセル×高さ480ピクセルです。画像データが表示領域に収まらない場合は、縦横比を保持したまま画像全体を表示します。収まる場合は、拡大しないで実サイズのまま表示します。

02

スイッチ操作音を設定する

スイッチをタッチしたときの操作音を設定することができます。

パネルスイッチや、タッチスイッチをタッチしたときの"ピッ"という操作音を設定することができます。

スイッチ操作音の設定

- 1 **MENU DISP** にタッチ。
- 2 **ナビ**、または **コミュ** にタッチ。
- 3 **ナビ** をタッチした場合は **設定** に、**コミュ** をタッチした場合は **情報** にタッチ。

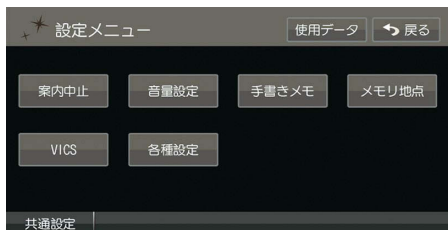


ナビ をタッチした場合



コミュ をタッチした場合

- 4 **共通設定** にタッチ。

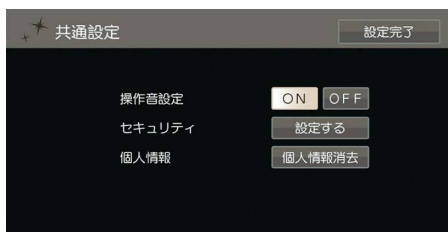


【設定メニュー画面】



【情報メニュー画面】

- 5 操作音設定の **ON**、または **OFF** にタッチ。



- 6 **設定完了** にタッチ。

画面の着せ替え

お好みに合わせて画面を着せ替えることができます。

ナビゲーションの情報画面やオーディオの操作画面などのデザインをお好みに合わせて切り替えることができます。

着せ替えデザインを選択する

- 1 MENU DISP にタッチ。
- 2 コミュ にタッチ。
- 3 着せ替え にタッチ。



- 4 着せ替えをするデザインにタッチ。



- 5 完了 にタッチ。

アドバイス

- kirakira、nekoko、hana、pokadotの4種類のデザインから選択することができます。
- デザインによってタッチスイッチのレイアウトは異なりますが、機能は変わりません。

手書きメモを作成する

自分で作成したメモを地図画面に表示することができます。

手書きのメモを作成して地図上に表示させることができます。

手書きメモを登録する

手書きメモは100件まで登録することができます。

1 現在地画面から **地点登録** にタッチ。

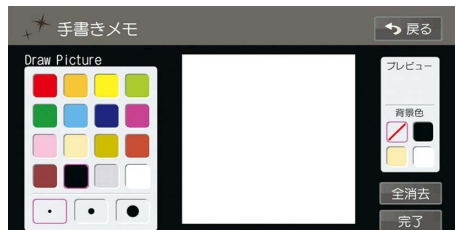


2 **手書きメモ** にタッチ。



▶ 走行中は **手書きメモ** がトーンダウンして操作できません。

3 手書きメモ作成画面が表示される。



4 描画エリアを指でなぞって、手書きメモを作成する。

注意

タッチペン、スタイラスペン等は使用しないでください。



- ① ... 描画エリア
- ② ... 地図上に表示されるサイズを表示
- ③ ... 描画色
- ④ ... 描画する線幅
- ⑤ ... 背景色
 - **全消去** ... 描画エリアを初期状態に戻す

5 **完了** にタッチ。

アドバイス

登録した手書きメモを別の地点に表示させることはできません。同じメモを使う場合でも新たに作成する必要があります。

手書きメモを消去する

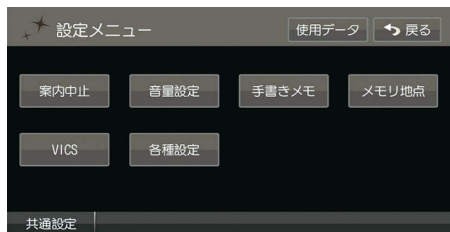
1 MENU DISP にタッチ。

2 ナビ にタッチ。

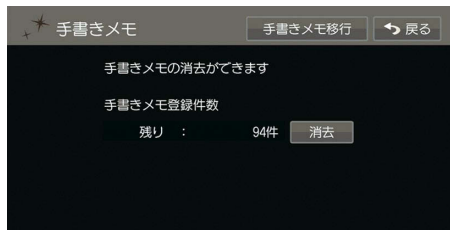
3 設定 にタッチ。



4 手書きメモ にタッチ。



5 消去 にタッチ。



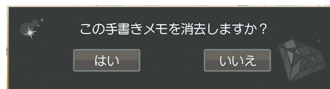
6 消去するリストにタッチ。



● 全消去 ... 手書きメモを全て消去

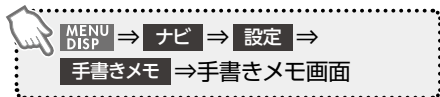
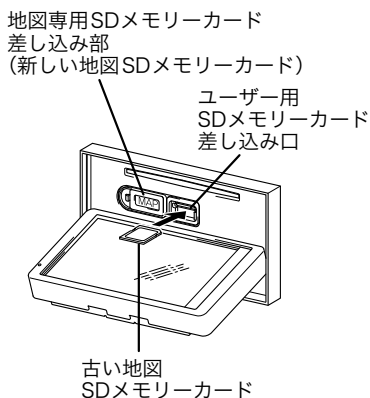
▶ 走行中は「戻る」以外はトーンダウンして操作できません。

7 はい にタッチ。

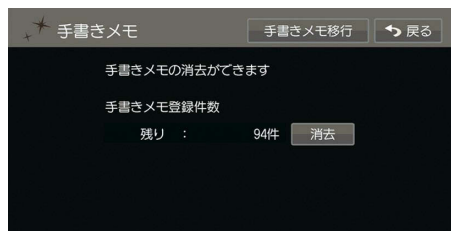


手書きメモのデータを移行する

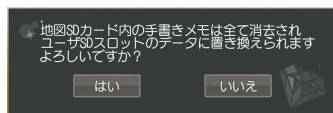
地図ディスクを更新する際に、新しい地図ディスクに手書きメモのデータを移行することができます。あらかじめ古い地図SDメモリーカードをユーザー用SDメモリーカードのスロットに差し込んでおきます。



1 手書きメモ移行 にタッチ。



2 はい にタッチ。



3 確認 にタッチ。

アドバイス

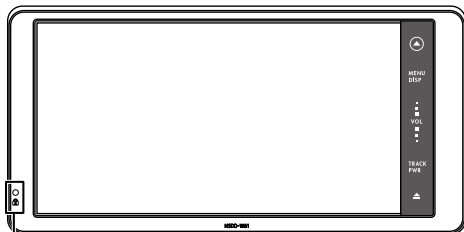
- コピー完了後、すでに展開されているデータと不整合を起こさないようナビゲーションシステムが再起動します。
- 新しい地図SDメモリーカードに手書きメモのデータがすでに登録されている場合、全て消去され、古い地図SDメモリーカードのデータに置き換わります。

セキュリティを設定する

セキュリティ機能や作動インジケータの設定を説明します。

セキュリティ機能を作動させると、車両のバッテリーターミナルをはずした場合、本機を操作することができません。セキュリティの作動中は、作動インジケータを点灯させて、盗難を抑止することができます。

また、表示されるシリアルナンバーを控えておくと、盗難などにあった場合、本機と所有者を確認することができます。



作動インジケータ

セキュリティを作動させる

パスワードのヒントとパスワードを登録すると、セキュリティを作動させることができます。

チェック

- パスワードのヒントとパスワードは、全角と半角、大文字と小文字を区別します。
- 登録したパスワードは忘れないよう控えておいてください。ロックを解除するときには必要です。

- ① **MENU DISP** にタッチ。
- ② **ナビ**、または **コミュ** にタッチ。
- ③ **ナビ** をタッチした場合は **設定** に、**コミュ** をタッチした場合は **情報** にタッチ。

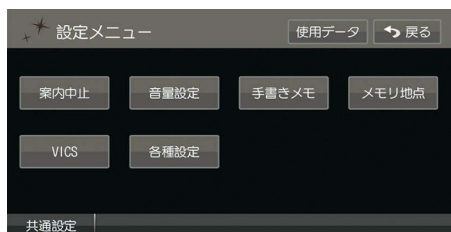


ナビ をタッチした場合



コミュ をタッチした場合

4 共通設定 にタッチ。

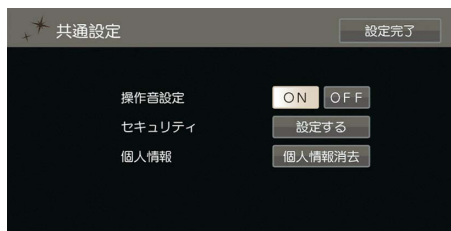


[設定メニュー画面]



[情報メニュー画面]

5 セキュリティの「設定する」にタッチ。



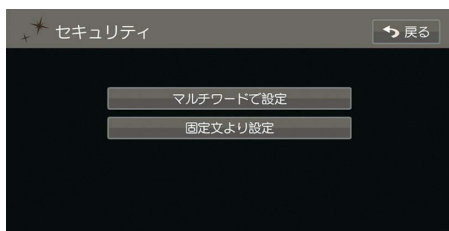
6 セキュリティ機能の「設定」にタッチ。



▶ パスワードを登録している場合、**設定** にタッチしたあと、**はい** をタッチするとパスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力すると、新しいパスワードを登録することができます。

▶ シリアルナンバーが表示されます。盗難などにあったとき、本機と所有者を確認することができます。

7 **マルチワードで設定**、または**固定文より設定** にタッチ。



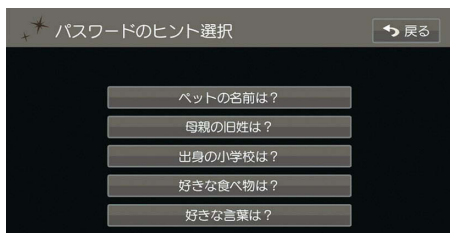
● **マルチワードで設定** ... マルチワード入力画面を表示
パスワードのヒントを任意に入力することができます。

固定文より設定 ... 固定文選択画面を表示
パスワードのヒントを5つの中から選ぶことができます。

8 パスワードのヒントを登録する。



[マルチワード入力画面]



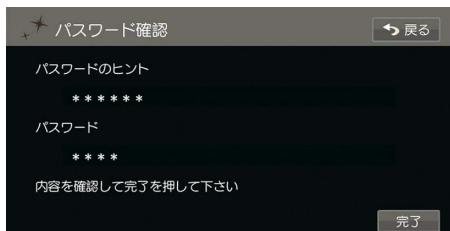
〔固定文選択画面〕

- ▶ ⑦で **マルチワードで設定** にタッチした場合、パスワードのヒントを入力します(→31)。パスワードのヒントは半角24文字、全角12文字まで入力することができます。
- ▶ ⑦で **固定文より設定** にタッチした場合、ヒントをタッチします。

⑨ パスワードを入力する(→31)。



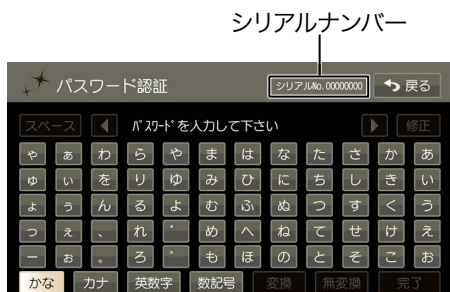
⑩ **完了** にタッチ。



セキュリティのロックを解除する

車両のバッテリーターミナルをはずして本機が操作できなくなった場合、登録したパスワードを入力すると、操作できるようになります。

① パスワードを入力する(→31)。



- ▶ シリアルナンバーが表示されます。盗難などがあったとき、本機と所有者を確認することができます。

② **OK** にタッチ。



アドバイス

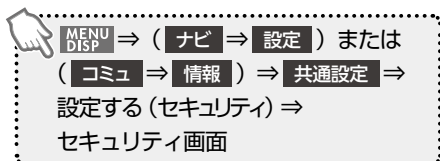
パスワードを忘れた場合、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

作動インジケータを点滅させる

エンジンスイッチをOFF (LOCK) にした場合、作動インジケータを点滅させることができません。

チェック

作動インジケータを点滅させる前に、セキュリティを作動します (→280)。

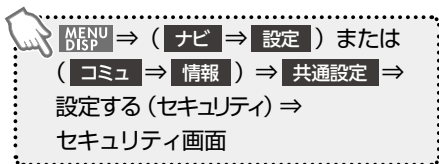


- 1 インジケータの **ON** にタッチ。



- **OFF** ...作動インジケータを点滅させない

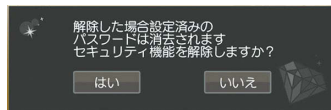
セキュリティを停止する



- 1 セキュリティ機能の **解除** にタッチ。



- 2 **はい** にタッチ。



- 3 パスワードを入力する(→31)。

- 4 **完了** にタッチ。

個人情報データを初期状態に戻す

登録した個人情報を消去し、初期状態に戻すことができます。

⚠ 注意

一度初期化されたデータはもとに戻せません。十分注意して初期化してください。

初期化される項目について

項目	初期化される情報
ナビゲーション	音量の設定
	メモリ地点、目的地履歴
	各種設定
	メンテナンス各種設定、自動通知の設定、販売店の設定
	操作音の設定、手書きメモ
	VICSの設定（地図／道路表示の設定、VICS 割込設定）
オーディオ	TVの各種設定
	TVの個人情報データ（プリセットCH、郵便番号設定、県域設定）
	Bluetoothオーディオの登録情報
ハンズフリー	登録した電話帳データ
	発信履歴および着信履歴
	登録したワンタッチダイヤル
	登録したBluetooth電話機の情報
	ハンズフリー関連の設定、編集項目
ガジェット	ガジェットの設定
	登録したガジェットデータ

個人情報初期化する

チェック

セキュリティを設定している場合は、解除してから初期化してください。(→283)

- 1 **MENU DISP** にタッチ。
- 2 **ナビ**、または **コミュ** にタッチ。
- 3 **ナビ** をタッチした場合は **設定** に、**コミュ** をタッチした場合は **情報** にタッチ。

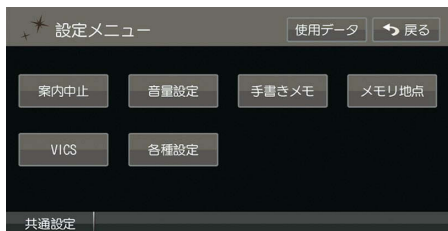


ナビ をタッチした場合

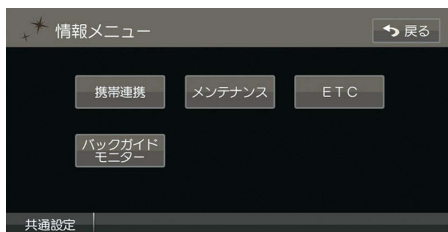


コミュ をタッチした場合

- 4 **共通設定** にタッチ。

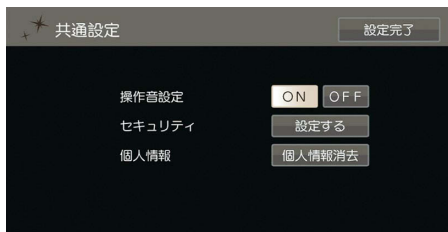


【設定メニュー画面】

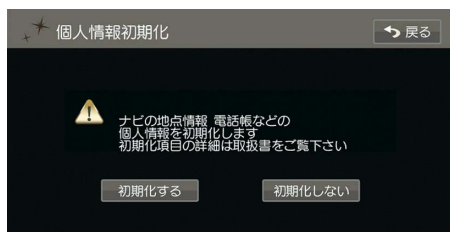


【情報メニュー画面】

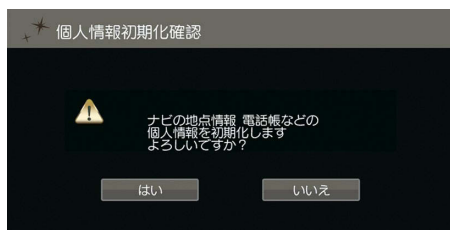
- 5 個人情報の **個人情報消去** にタッチ。



6 初期化する にタッチ。



7 はい にタッチ。



アドバイス

初期化が完了するまでパネルスイッチは操作できません。

オプション機能

01. VICSビーコンユニットを操作する	289	はじめのコツを表示する	321
VICSビーコンユニットでできること	289	駐車ガイド線の表示を設定する	322
渋滞考慮探索について	289	こんなときは	322
割り込み情報を表示する	289	システム初期化中の表示がでたときは	322
割り込み情報を手動で表示する	289	バッテリーの脱着や本機の載せ替えをしたときは	323
割り込み情報を自動で表示する	290		
割り込み情報表示を設定する	290		
02. ETCシステムを操作する	292	04. バックモニターを操作する	324
ETCとは	292	バックモニターについて	324
ETCシステムの状態を確認する	292	バックモニターの注意点	324
車両情報などをETC車載器に登録する(セットアップ)	292	カメラの注意点	325
ETCカードを入手する	292	画面に映る範囲について	326
ETCメニュー画面	293	画面と実際の路面との誤差	327
ETCメニュー画面を表示する	293	後方の映像を表示する	328
ETCカードの有効期限の案内について	293	画面の見方	328
走行中の案内について	294	後方の映像を表示する	328
ETCレーンの通過案内について	294	ガイドの表示を設定する	328
履歴情報を表示する	295	05. TVを見る	329
登録情報を表示する	296	TVをお使いになる前に	329
ETCシステムの設定をする	296	地上デジタルTV放送について	329
		緊急警報放送(EWS)を受信したときは	329
		TVを見る	330
		基本操作	331
		プリセット一覧で選局する	332
		番組表を見る	332
		データ放送を見る	332
		TVを止める	332
03. バックガイドモニターを操作する	297		
バックガイドモニターについて	297		
バックガイドモニターの注意点	297		
カメラについての注意点	298		
画面に映る範囲について	299		
画面と実際の路面との誤差	299		
立体物が近くにあるときの注意点	300		
ガイド方法について	301		
並列駐車(車庫入れ)をするとき	301		
縦列駐車をするとき	302		
並列駐車をする	303		
進路表示モードで駐車する	303		
駐車ガイド線表示モードで駐車する	306		
縦列駐車する	309		
縦列ガイドモードで駐車する	309		
駐車ガイド線表示モードで駐車する	318		
バックガイドモニターの設定をする	320		
縦列ガイドの音量を設定する	320		

VICSビーコンユニットを操作する

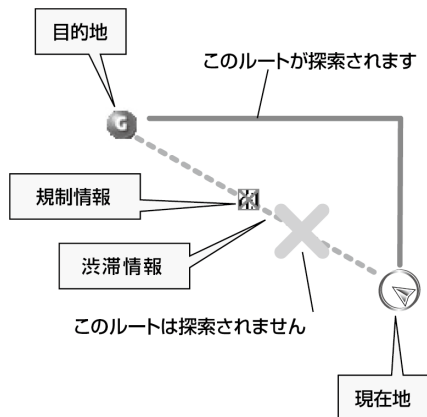
VICS ビーコンユニットを接続した場合の機能を説明します。

オプションのVICSビーコンユニットを接続している場合、FM多重放送だけでなく、電波ビーコンや光ビーコンからも情報を受信することができます。ビーコンから受信した最新情報をもとにルートを探索したり、VICS情報を受信することに表示することができます。

VICSビーコンユニットでできること

≫渋滞考慮探索について

目的地案内中にビーコンから受信した渋滞、規制情報を考慮したルートを探索することができます。



アドバイス

渋滞考慮探索は、現在地から約10km以内の渋滞・規制情報が考慮されます。

割り込み情報を表示する

≫割り込み情報を手動で表示する

受信した割り込み情報を表示することができます。一度表示した情報は、受信してから30分未満であれば再度表示することができます。

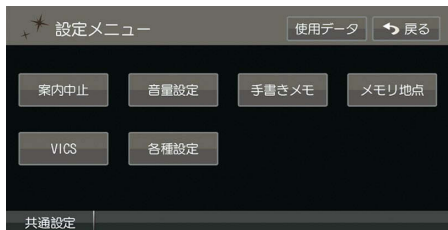
1 MENU DISP にタッチ。

2 ナビ にタッチ。

3 設定 にタッチ。



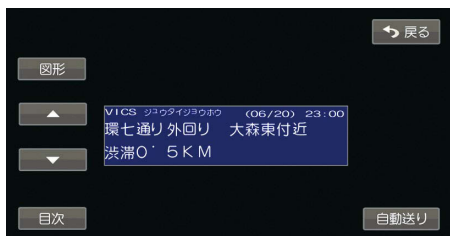
4 VICS にタッチ。



5 割込情報 にタッチ。



6 割り込み情報が表示される。



- **文字** ...文字情報を表示
- **図形** ...図形情報を表示
- ▶ 割り込み情報を再度表示した場合、**戻る** にタッチすると、もとの画面に戻ります。

》割り込み情報を自動で表示する

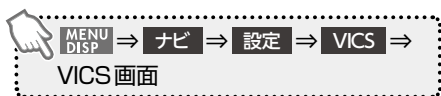
VICS自動割込(→290)を"する"に設定した場合、ビーコンから渋滞、規制情報を受信すると、自動で表示することができます。



- **文字** ...文字情報を表示
- **図形** ...図形情報を表示
- **表示消** ...もとの画面に戻す
- ▶ 自動割込みの表示時間は15秒です。

割り込み情報表示を設定する

割り込み情報の自動表示を"する"に設定した場合、ビーコンから渋滞、規制情報を受信したとき、VICS情報を自動で表示することができます。



1 割込設定 にタッチ。



2 する、またはしない にタッチ。



3 完了 にタッチ。

アドバイス

VICS自動割込を"しない"に設定している場合も、緊急情報を受信したときは自動で表示されます。



ETCシステムを操作する

ETCを接続した場合の機能を説明します。

オプションのナビゲーション対応ETC車載器を接続している場合、ETCカードの挿入状態や使用履歴を確認することができます。

ETCとは

ETC (Electronic Toll Collection System) システムは、有料道路の利用時に料金所、検札所の通過をスムーズに行うために、自動で料金を精算するシステムです。路側無線装置とETC車載器との間で通信を行い、料金はお客様が登録した銀行口座から後日引き落とされます。

ETCシステムの状態を確認する

ETCカードの挿入状態や、システムの状態をETCメニュー画面に表示されるメッセージで確認することができます。

》車両情報などをETC車載器に登録する (セットアップ)

ETC車載器のご利用には、取り付けられる車両情報などをETC車載器に登録する「セットアップ」が必要になります。

また、車両を変更する場合には、新しい車両の情報などをETC車載器に登録する「再セットアップ」が必要となります。詳しくは、ETC車載器をお買い上げの販売店にお問い合わせください。

》ETCカードを入手する

ETC車載器のご利用には、ETC車載器に挿入して使用するETCカードが必要となります。クレジット会社が発行するETCカードを利用する場合は、別途発行手続きに伴う審査・条件が必要となります。詳しくは、各ETCカード発行会社へお問い合わせください。

👉 アドバイス

ETC車載器の取り扱い、ご利用の方法は、ETC車載器の取扱書をお読みください。

ETCメニュー画面

》ETCメニュー画面を表示する

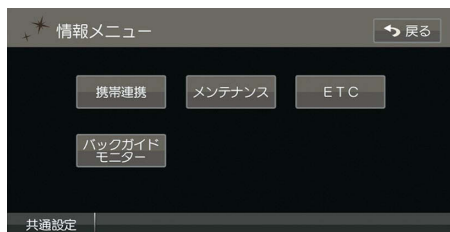
1 **MENU DISP** にタッチ。

2 **コミュ** にタッチ。

3 **情報** にタッチ。



4 **ETC** にタッチ。



5 ETCメニュー画面が表示される。



▶表示されるメッセージについて

メッセージ	状態
ETCカード未挿入	ETCカードが挿入されていない。
未セットアップ	ETCセットアップが完了していない。
システム異常	ETCシステムに異常がある(アンテナはずれなど)。
ETCカード異常	ETCカードを読み込めなかった。
ETCカード認証完了	ETCカードの挿入を確認できた。
認証中	ETCカードを読み込んでいる。
セットアップ完了	ETCセットアップが完了している。

》ETCカードの有効期限の案内について

ETCカードの有効期限が当月、または切れている場合、音声と画面表示で案内します。ETCカードを挿入する、または挿入した状態で車両のエンジンスイッチをACC、またはONにすると、「ETCカードの有効期限が切れています」などと案内されます。

⚠ 注意

本機能は、ETCカードの有効期限を確認するための補助手段として使用してください。ETCを使用する前は、必ずETCカードに記載されている有効期限を確認してください。

👉 アドバイス

ETCカードの有効期限は、ETC音声案内(→296)が"しない"に設定されている場合も案内されます。

走行中の案内について

⚠ 注意

- ETCレーン通過時にはETCレーン周辺に表示されている案内表示板や標識などにしたがって走行してください。
- ETCレーンに進入する場合は発進制御装置（開閉バー）の手前で十分止まれる速度まで減速し、開閉バーが開いて安全であることを確認してから通過してください。万一、開閉バーが開かないときには衝突する恐れがあります。また、前走車がいる場合は、前走車が急停車しても十分止まることができる車間距離を確保してください。万一、前走車が急停車したときに追突する恐れがあります。
- 走行中は、交通事故防止のためETC車載器からETCカードの抜き差しをしないでください。
- 走行中にETC車載器からETCカードの抜き差しを行うとETCカード内のデータが破損する恐れがあります。
- ETCレーンを通行する場合は路側表示器の表示にしたがって走行してください。路側表示器に停止の表示があった場合は車を停止し、係員の指示にしたがってください。
- ETCユニットを用いたサービス（スマートICなど）があります。サービス提供者から案内される利用方法をご確認ください。

👉 アドバイス

- ETCカードは必ず、入口料金所で使用したETCカードを使用して出口料金所を通過してください。他のETCカードに差し替えると入口料金所情報がETCカードに保持されていないため、出口料金所を通過できなくなります。
- 出口にETCレーンがない場合は、係員にETCカードを渡し精算処理を行ってください。
- ETCレーンを通過しても本機が無反応だった場合は通信が正常に行われておりません。係員の指示にしたがってください。係員が不在の場合にはお近くのインターホンにてお問い合わせください。
- ETCを利用するには、ETCカードをETC車載器に差し込んでおく必要があります。ETCカードが差し込まれていない状態ではETCを利用できません。

》ETCレーンの通過案内について

ETCレーン（精算用）通過時

ETCによる料金徴収が行われたときに画面表示で案内します。

アドバイス

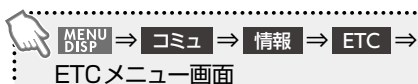
- 走行中、ETCゲートを通過する手前で、ETCゲートの通行の可否を音声と画面表示で案内します。
※センターからの情報がいない場合は通行可の案内は行われません。
- 予告アンテナおよび経路チェックアンテナを通過したときも料金所・検札所のETCレーンを通過した場合と同様の表示になります。
- 予告アンテナを通過したときにエラーが表示された場合は、その先の料金所ではETCを利用できません。ETC混在レーン、または一般レーンへ進入し、係員の指示にしたがってください。なお、予告アンテナが設置されていない料金所もあります。
- 払い戻しアンテナを通過したときに払い戻しを受ける場合も、精算用のETCレーンを通過した場合と同様の表示になります。
- ETCの利用料金は路側表示器に表示される場合があります。
- ETCの利用料金および利用履歴は、クレジットカード会社から発行される利用明細にてご確認ください。
- 地図データに情報のない料金所では、料金案内は行われません。
- 料金は設定した車両情報（→120）のナンバープレートの分類番号から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。また、ETCによる割引は考慮されません。

履歴情報を表示する

ETCを使用した履歴を最大100件まで確認することができます。

チェック

利用履歴の確認をする場合、料金支払いに使用したETCカードをETC車載器に差し込みます。



- 1 **履歴情報表示** にタッチ。
- 2 ETC履歴情報画面が表示される。

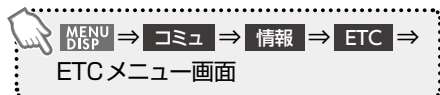


最新	利用日	料金	
▲ 前	2011年01月23日	210円	詳細
	2011年01月09日	210円	詳細
	2011年01月02日	140円	詳細
	2011年01月02日	530円	詳細
▼ 次	2011年01月02日	530円	詳細

- **最新** ... 最新の履歴を表示
- **詳細** ... 履歴の詳細情報を表示

登録情報を表示する

ETC車載器の機器情報や統一エラーコードを確認することができます。



- 1 **登録情報表示** にタッチ。
- 2 ETC登録情報画面が表示される。

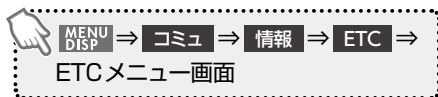


▶ 統一エラーコードは、最後に発生したエラーです。

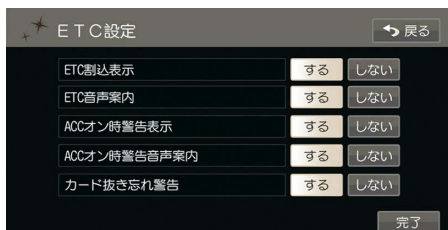
アドバイス

- エラーコードから、エラーの内容を確認することができます (→ 339)。
- ETCゲート付近で履歴を表示すると、路側アンテナとの通信ができないことがあります。

ETCシステムの設定をする



- 1 **設定** にタッチ。
- 2 各項目の **する**、または **しない** にタッチ。



項目	機能
ETC割込表示	ETCを利用する場合、画面にメッセージを表示することができます。路側から利用料金やエラーの情報を受信した場合、画面表示で案内します。
ETC音声案内	ETCを利用する場合、音声で案内することができます。路側から通行可否やエラーの情報を受信した場合、音声で案内します。
ACCオン時警告表示	エンジンスイッチをOFF (LOCK) からACCの位置にした場合、ETCカードやETC機器の異常を画面に表示して警告することができます。
ACCオン時警告音声案内	エンジンスイッチをOFF (LOCK) からACCの位置にした場合、ETCカードやETC機器の異常を音声で警告することができます。
カード抜き忘れ警告	エンジンスイッチをACCからOFF (LOCK)の位置にした場合、カードの抜き忘れを案内することができます。

- 3 **完了** にタッチ。

バックガイドモニターを操作する

バックガイドモニターを取り付けた場合の機能を説明します。

オプションのバックガイドモニターを接続している場合、駐車などの後退操作を補助することができます。車両の後方の映像にガイド線を表示したり、音声で案内することで、簡単に駐車することができます。

※ 車種により、バックガイドモニター機能が使用できないことがあります。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

バックガイドモニターについて

》バックガイドモニターの注意点

⚠ 注意

- 本機能を過信しないで注意して運転してください。道路固有の特性や路面などの状況、また運転操作のばらつきや、舵角センサーの補正状態などにより予測した位置に駐車できない場合があります。
- 本機能は、車種ごとの設定が必要です。したがってお車の買い換えなどのとき、本機を他の車へ付け替えるときは必ず販売店でバックガイドモニター設定値（車両データ）を変更してからご使用ください。（そのままでは本機能をご使用になれない車種があります）
- バックガイドモニターを過信しないでください。
一般の車と同様、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら慎重に後退してください。とくに周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。
- 画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。
画面に映っている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て後退すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こす恐れがあります。後退するときは、必ず目視やミラーなどで後方や周囲の安全を直接確認してください。
- 次のような状況では使用しないでください。車の進路が予想進路線から大きくはずれる可能性があります。
 - ・ 凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
 - ・ タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき
 - ・ バックドアが完全に閉まっていないとき
 - ・ 坂道など平坦でない道
- バックガイドモニターの各モードの操作手順はあくまでも一例であり、駐車時の道路事情・路面や車の状況などにより、ハンドル操作のタイミング・操作量は異なります。以上のことを十分理解したうえで、バックガイドモニターをご使用ください。また、駐車するときは、必ず駐車スペースに車を駐車できるかを確認してから操作を行ってください。
- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れることがあります。とくに動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- タイヤを交換するときは、販売店にご相談ください。タイヤを交換すると、画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じることがあります。

アドバイス

カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。

》カメラについての注意点

カメラは、車両の後方に取り付けられています。

⚠ 注意

バックガイドモニターが正常に作動しなくなる恐れがありますので次のことに注意してください。

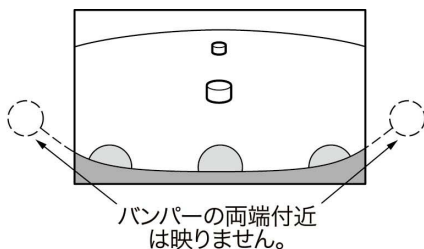
- カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃をあてえないでください。カメラの位置や取り付け角度がずれたり、故障などの恐れがあります。その場合、お早めに販売店で点検を受けてください。
- カメラ部は防水構造となっていますので、取り外し・分解・改造をしないでください。
- カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりすると、カバーが傷つき、映像に悪影響をおよぼすことがあります。
- カメラのカバーは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
- 寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化をあてえないでください。
- 高圧洗車機を使用する場合、カメラ、またはカメラの周囲に直接ノズルを向けることは避けてください。カメラが脱落する恐れがあります。また、内部に水が入り、故障の原因となることがあります。
- スチーム洗車機は、高温の蒸気が噴出するタイプがあるため、絶対に使用しないでください。

アドバイス

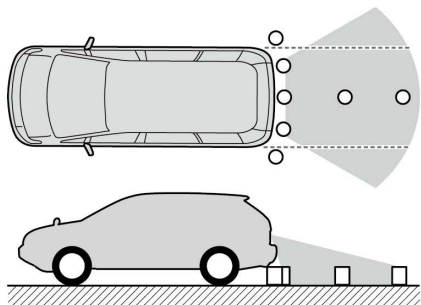
カメラのレンズが汚れていると、鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などの汚れが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。汚れがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。

》画面に映る範囲について

バンパー後端から車の後方を映すことができます。バンパーの両端付近やバンパーの下は映すことができません。



<映る範囲>



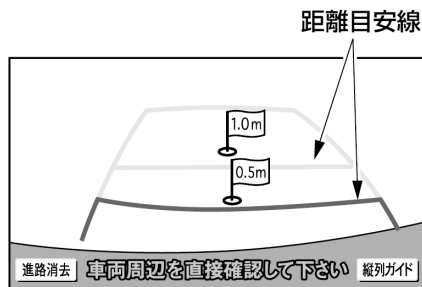
👉 アドバイス

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- 次のようなときは、画面が見づらくなる場合がありますが、異常ではありません。
 - ・ 暗いところ。(夜間など)
 - ・ レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
 - ・ カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき。(雨天時など)
 - ・ カメラ付近に異物(泥など)がついたとき。
 - ・ 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。

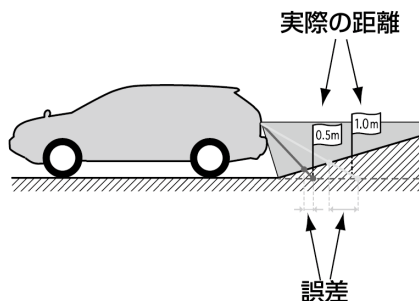
画面と実際の路面との誤差

次の場合、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。(イラストは標準的なカメラ取付位置の場合を示します)

■急な上り坂が後方にあるとき

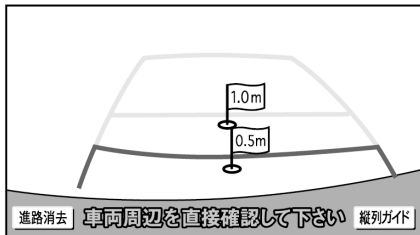


<車の状況>

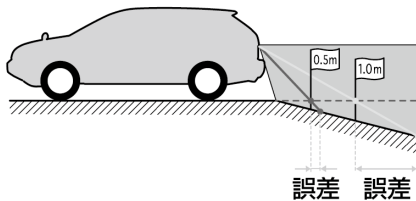


距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、上り坂が後方にあるときには、実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。例えば、上り坂に障害物があった場合には、実際より遠くに見えるように見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

■急な下り坂が後方にあるとき



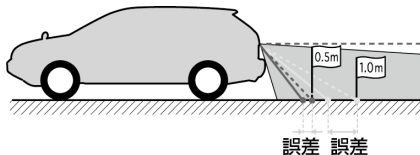
<車の状況>



下り坂が後方にあるときには、実際の距離よりうしろに距離目安線が表示されます。下り坂に障害物があった場合には、実際より近くに見えるように見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

■車が傾いているとき

<車の状況>



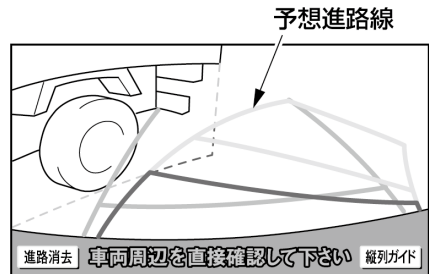
乗車人数、積載量などにより車が傾いているときは、実際の距離、進路と誤差が生じます。

立体物が近くにあるときの注意点

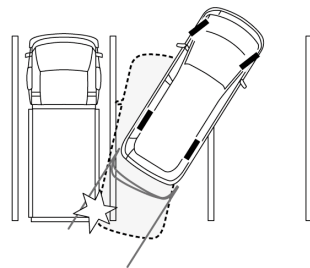
画面のガイドは平面物（道路など）を対象にしています。張り出しのある立体物（トラックの荷台のような障害物）が近くにあるときは、次のことに注意してぶつからないようにしてください。

■予想進路線

予想進路線は路面に対して表示されているため、立体物の位置を判断することはできません。



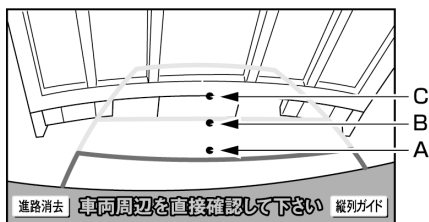
<車の状況>



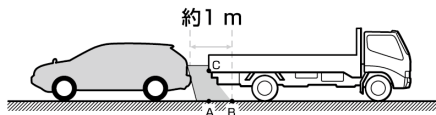
画面では、トラックの荷台が予想進路線の外側にあり、ぶつからないように見えますが、実際には荷台が進路上に張り出しているためぶつかることがあります。このように予想進路線が障害物の近くを通るときは、後方や周囲の安全を直接確認してください。

■距離目安線

距離目安線は路面に対して表示されているため、立体物との距離を判断することはできません。



<A,B,Cの位置>



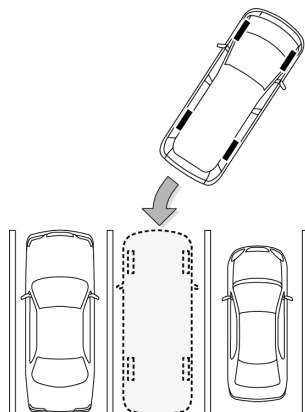
画面では、距離目安線により約1m先(Bの位置)にトラックが駐車してあるように見えますが、実際にはAの位置まで後退すると、ぶつかります。画面ではA、B、Cの順に近く見えますが、実際の距離はAとCは同じ距離で、BはA、Cより遠い距離にあります。

ガイド方法について

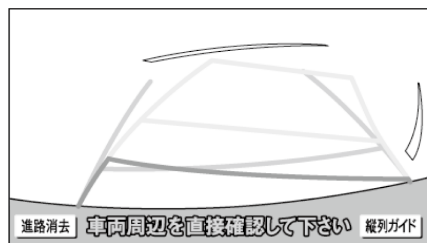
バックガイドモニターは、駐車するときのガイド方法を選ぶことができます。

》並列駐車(車庫入れ)をするとき

車庫入れなど並列駐車をするときは、進路表示モード、または駐車ガイド線表示モードを使用します。

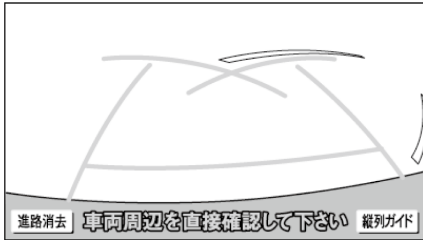


▶ 進路表示モードで並列駐車をする(→303)



ハンドル操作に連動した予想進路線などが表示されるモードです。

▶ 駐車ガイド線表示モードで並列駐車をする(→306)

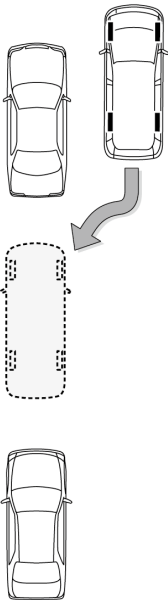


ハンドルの切り返し点（駐車ガイド線）が表示されるモードです。

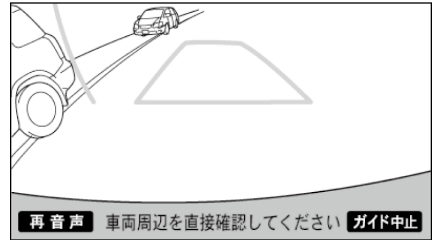
車両感覚に慣れた方（進路表示モードを必要とせずに駐車できる方）はご使用ください。

》縦列駐車をするとき

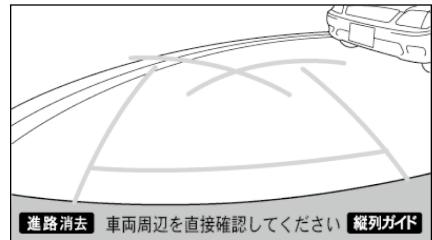
縦列駐車をするとき、縦列ガイドモード、または駐車ガイド線表示モードを使用します。



▶ 縦列ガイドモードで縦列駐車を（→309）



▶ 駐車ガイド線表示モードで縦列駐車を（→318）



ハンドルの切り返し点（駐車ガイド線）が表示されるモードです。

縦列ガイドモードを必要とせずに駐車のできる方や縦列ガイドモードが使用できないときなどにご使用ください。

並列駐車をする

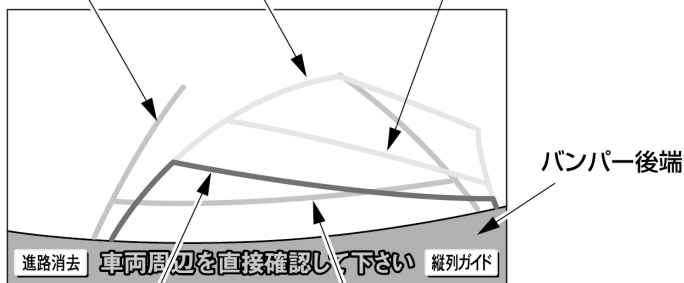
≫進路表示モードで駐車する

画面の見方

⚠ 注意

- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- ハンドルがまっすぐ（直進状態）で車幅延長線と予想進路線がずれているときは、できるだけ曲がり角・カーブなどがなく、渋滞の少ない道路を前進で約5分以上走行してください。それでも直らないときは、販売店で点検を受けてください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

- ②車幅延長線(緑色) ①予想進路線(黄色) ④距離目安線(黄色)約1 m先



- ④距離目安線(赤色)約0.5 m先 ③距離目安線(緑色)約0.5 m先
↓車の前方

①	予想進路線 (黄色)	車が後退していく進路の目安を示します。 ●ハンドル操作と連動します。
②	車幅延長線 (緑色)	車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。 ●実際の車幅より広く表示しています。 ●ハンドルがまっすぐ（直進状態）になっているときは、予想進路線と重なります。
③	距離目安線 (緑色)	車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。 ●約0.5m先を示します。
④	距離目安線 (赤色/黄色)	車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。 ●ハンドル操作と連動します。予想進路線とともに動きます。 ●それぞれの中心位置で、約0.5m先（赤色）・約1m先（黄色）を示します。 ●ハンドルがまっすぐ（直進状態）になっていないときは誤差が生じます。 上記の画面では、距離目安線が示す実際の距離（赤色:約0.5m先、黄色:約1m先）より、右側は近くの位置に、左側は遠くの位置に表示されます。

進路表示モードで駐車する

進路表示モードで駐車する場合、駐車ガイド線の表示を **しない** に設定します (→322)。次の説明と逆方向のスペースに駐車する場合、ハンドル操作が左右逆になります。

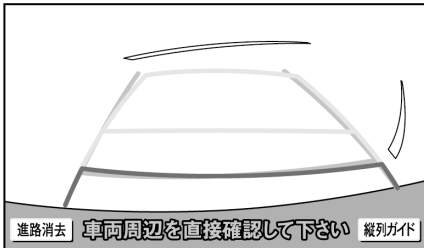
1 チェンジレバーをⓂにする。

- **進路消去** ... 予想進路線や車幅延長線を消す

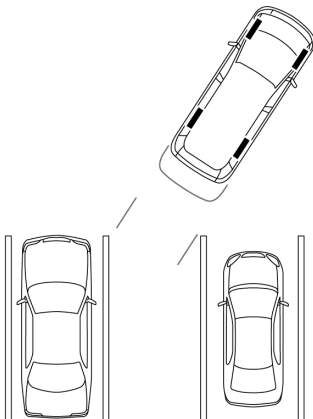
この場合、距離目安線はハンドル操作と連動しません。

- **進路表示** ... もとに戻す

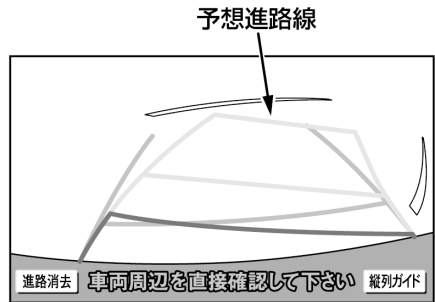
- ▶ 車両のチェンジレバーをⓂ以外にした場合、もとの画面に戻ります。



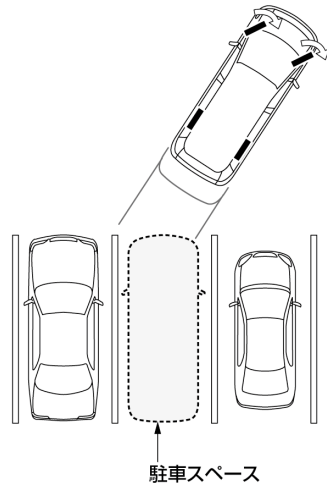
<車の状況>



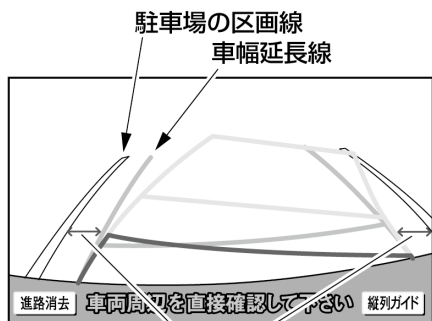
- ### 2
- 予想進路線が駐車スペースの中に入るようにハンドルを操作して、ゆっくり後退する。



<車の状況>

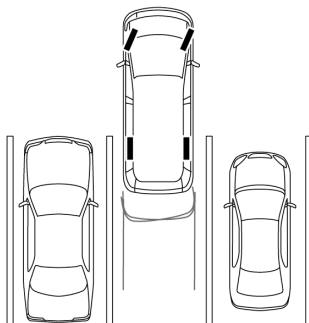


- 3** 車の後部が駐車スペースの中に入ったら、車幅延長線と駐車スペース左右の区画線との間隔が車の近くの位置で同じくらいになるようにハンドルを操作する。

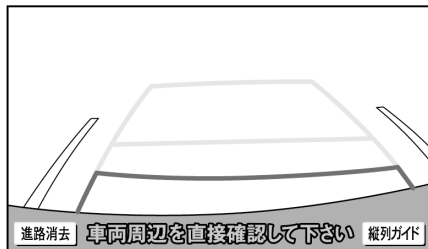


同じくらいの間隔にする

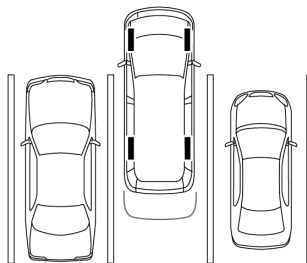
<車の状況>



- 4** 車幅延長線と駐車場の区画線が平行になったら、ハンドルをまっすぐ(直進状態)にして、車が駐車スペースに全部入るまで、ゆっくり後退する。



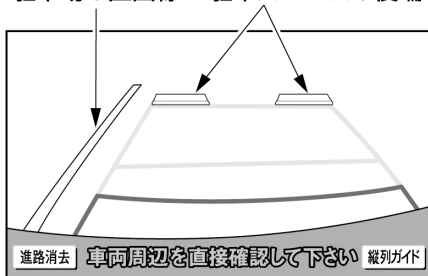
<車の状況>



アドバイス

- 距離目安線と駐車スペースの後端が画面では平行に見えても、実際には平行ではないことがあります。
- 駐車場の区画線が片側しかないときは、車幅延長線と駐車スペースの左端（右端）が画面では平行に見えても（下図参照）、実際には平行ではないことがあります。

駐車場の区画線 駐車スペースの後端

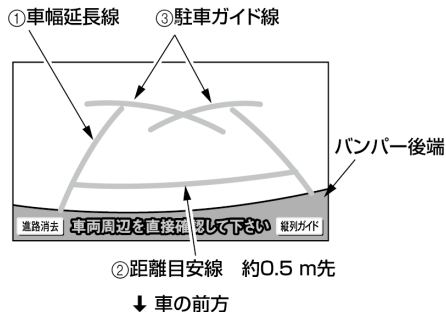


》駐車ガイド線表示モードで駐車する

画面の見方

注意

- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。



①	車幅延長線	車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。 ● 実際の車幅より広く表示しています。
②	距離目安線	車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。 ● 約0.5m先を示します。
③	駐車ガイド線	ハンドルをいっぱいまでまわして後退（最も小回り）したときの進路の目安を示します。 ● 駐車時にハンドルを操作する位置の目安となります。

駐車ガイド線表示モードで駐車する

駐車ガイド線表示モードで駐車する場合、駐車ガイド線の表示を **する** に設定します(→322)。次の説明と逆方向のスペースに駐車する場合、ハンドル操作が左右逆になります。

1 チェンジレバーをⓂにする。

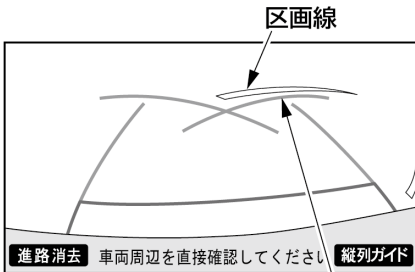
- **進路消去** ... 駐車ガイド線や車幅延長線を消す

この場合、距離目安線はハンドル操作と連動しません。

進路表示 ... もとに戻す

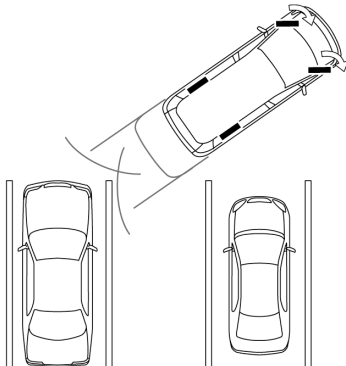
- ▶ 車両のチェンジレバーをⓂ以外にした場合、もとの画面に戻ります。

2 駐車ガイド線が駐車スペースの左端の区画線に合うまで後退したら止まる。

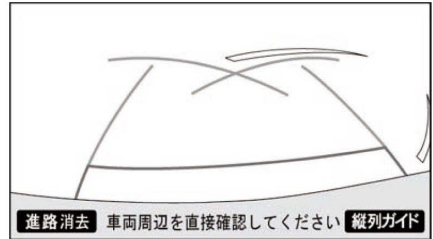


駐車ガイド線

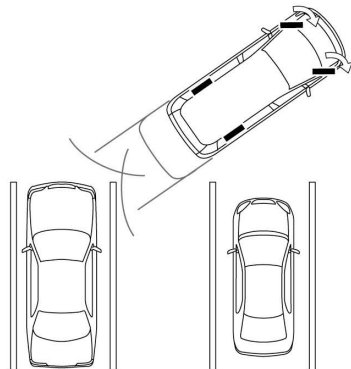
<車の状況>



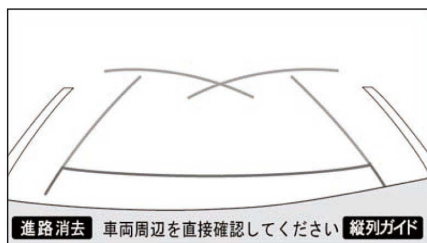
3 ハンドルを右いっぱいこまわして、ゆっくり後退する。



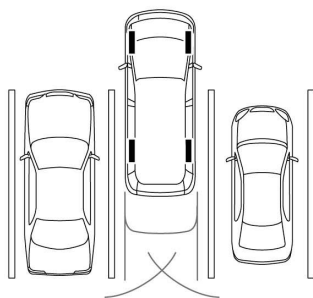
<車の状況>



- 4** 車が駐車スペースと平行になったら、ハンドルをまっすぐ(直進状態)にします。画面を参考に最適な位置まで後退し、駐車を終える。



<車の状況>



縦列駐車する

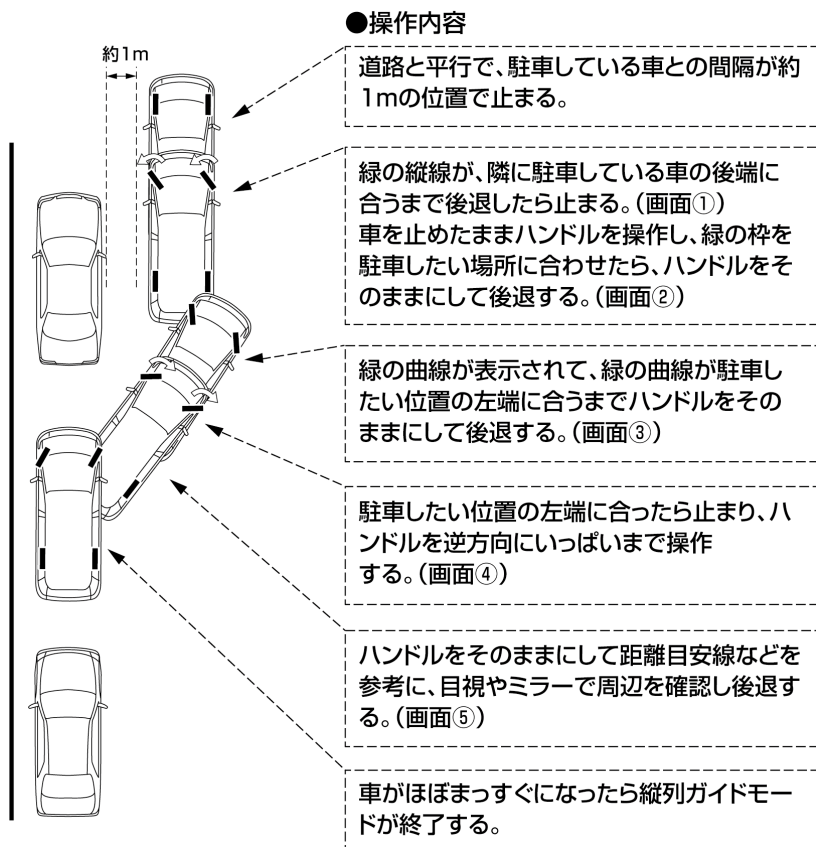
》縦列ガイドモードで駐車する

車の動きと画面・音声案内の流れ

⚠ 注意

- カーブや坂道など平坦・まっすぐではない道路では、使用しないでください。
- ハンドル操作は必ず車を止めた状態で行ってください。

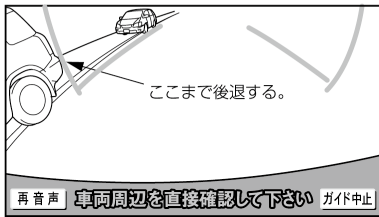
▶ 車の動き



▶ 画面・音声案内の流れ

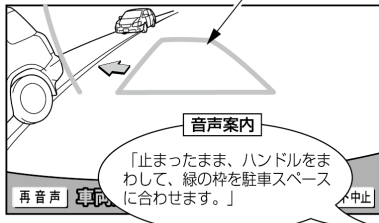
<画面①>

緑の縦線が、隣に駐車している車の後端に合うまで後退する。



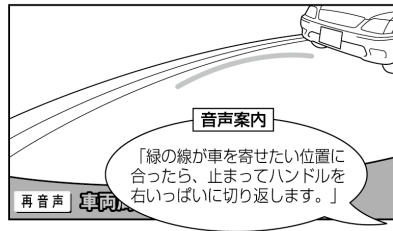
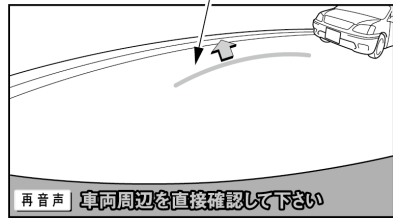
<画面②>

緑の枠を駐車したい場所に合わせる。



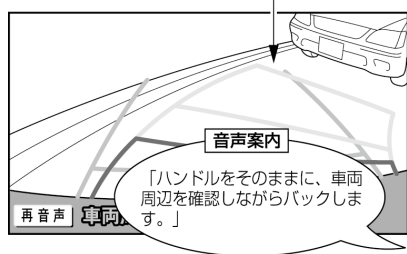
<画面③④>

緑の曲線が駐車したい場所の左端に合うまで後退する。



<画面⑤>

距離目安線などを参考に、目視やミラーで周辺を確認し後退する。



👉 アドバイス

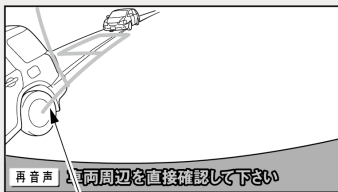
「駐車ガイド線の表示」(→322)

縦列ガイドモードで駐車する

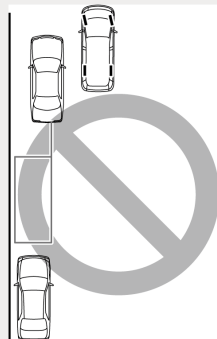
ここでは、左側の駐車スペースに駐車する場合の手順を説明します。右側の駐車スペースに駐車するときは、ハンドルの操作などが全て左右逆になります。

⚠ 注意

- 緑の枠の中に障害物がないことを必ず確認してください。緑の枠の中に障害物がある場合は、縦列ガイドモードは使用することができません。
- 緑の枠を駐車したい位置に合わせるときは、必ず手前に伸びている緑の線が前方に駐車している車のタイヤにかからないようにしてください。緑の枠を駐車したい位置に合わせてと前方に駐車している車にかかってしまう場合は、かからない範囲で合わせてください。



延長線がタイヤにかかっている



- 車の右前端を前方の障害物にぶつけないように注意して、ゆっくり後退してください。

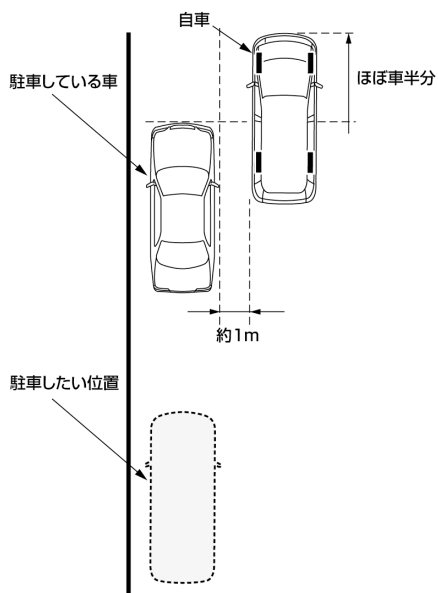


- 車の左前端を前方に駐車している車にぶつけないように注意して、ゆっくり後退してください。



- 1** 道路(または路肩)と平行で、駐車している車との間隔が約1mの位置に止まり、ハンドルをまっすぐ(直進状態)にする。

▶ 前後の位置は、駐車している車より車半分ほど前の位置にします。

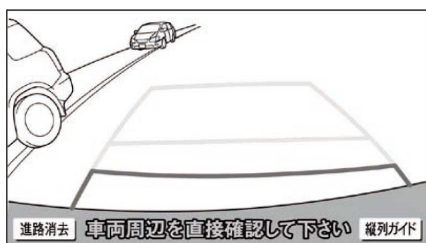


- 2** チェンジレバーをⓇにする。

▶ 車両のチェンジレバーをⓇ以外にした場合、もとの画面に戻ります。

- 3** 車の位置を確認し、**縦列ガイド** にタッチ。

▶ 画面で駐車している車のリヤタイヤよりうしろの部分が映っていることを確認します。映っていないときは車を正しい位置まで前進させ操作をやり直します。

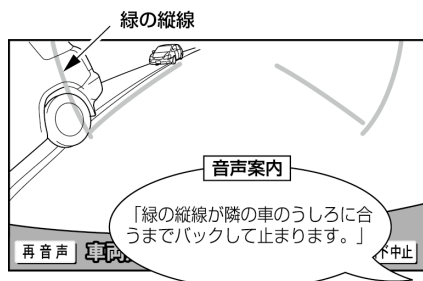


- 4** 表示された画面と同じ位置に車が止まっていることを確認したら、**次へ** にタッチ。



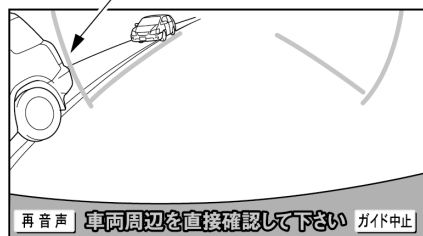
- **ガイド中止** ... 前の画面に戻す
次回からこの表示を省略 ... この画面を表示させない
 再度、表示させたい場合、はじめのコツ表示を **する** に設定します (→321)。

- 5** 音声で案内されたら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にしたまま緑の縦線が隣に駐車している車の後端に合う位置まで後退し、止まる。

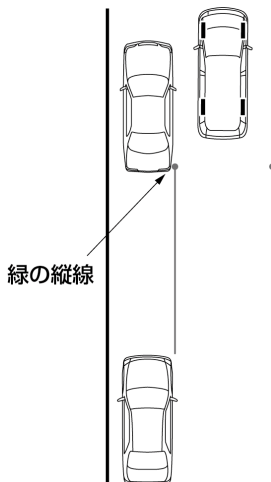


↓ 車を後退させる

ここまで後退し止まる

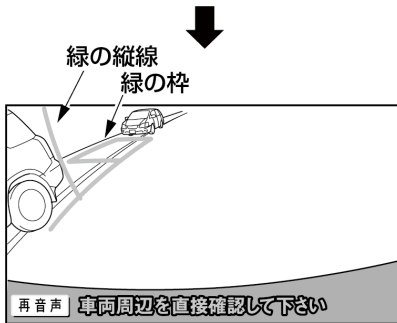
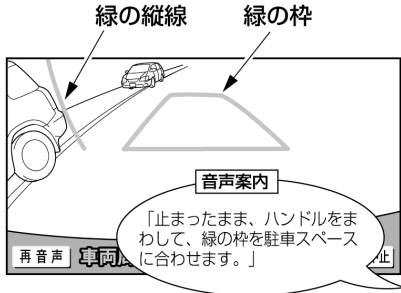


<車の状況>

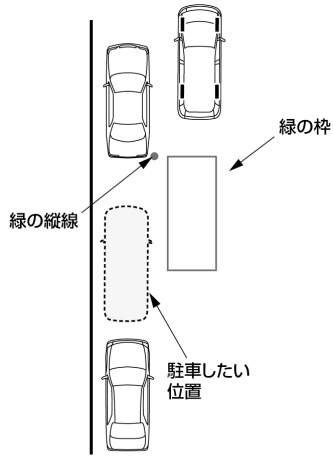


- **ガイド中止** ...最初の画面（車両のチェンジレバーを $\text{\textcircled{R}}$ にしたときの画面）を表示
- **再音声** ...音声案内を再度聞く
- ▶ ハンドルをまっすぐ（直進状態）にしないで後退すると、次の音声案内まで進んでしまうことがあります。その場合、最初に車を止めた位置まで車を前進させ、やり直します。
- ▶ チェンジレバーを $\text{\textcircled{R}}$ 以外にしても、約10秒以内にチェンジレバーを $\text{\textcircled{R}}$ に戻すと、この画面を表示することができます。

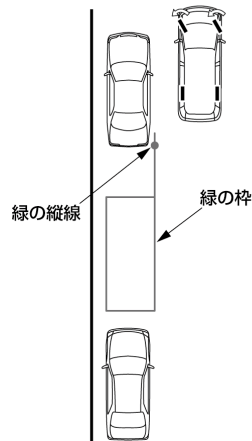
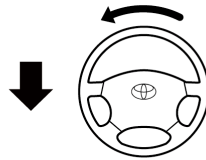
- 6 音声で案内され緑の枠が表示されたら、止まったままハンドルを左にまわして、緑の枠を駐車したい位置に合わせる。



<車の状況>



ハンドルを左にまわす



- 7** 緑の枠を合わせ、音声で案内されたら、ハンドルをそのままの状態にして後退する。

ハンドルはそのまま



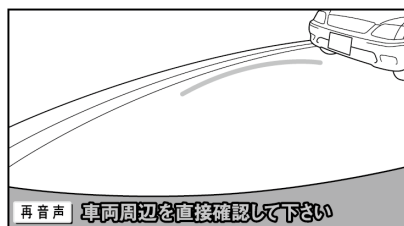
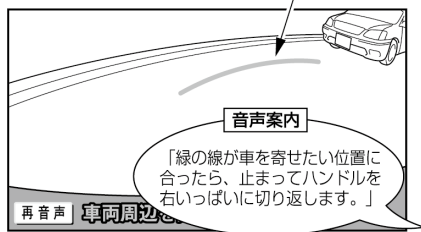
音声案内

「枠を合わせたら、ハンドルをそのままに車両周辺を確認しながらバックします。」

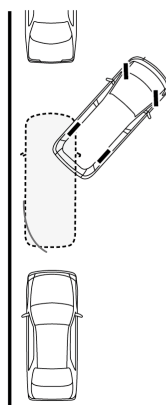
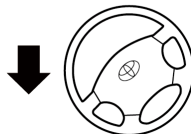
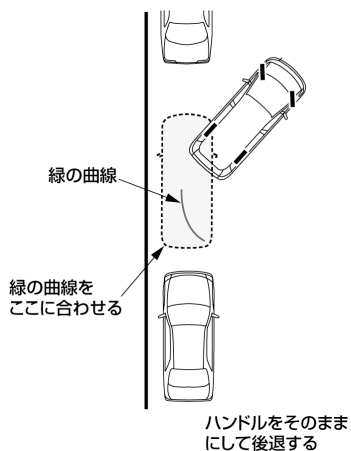
- 8** 音声で案内され、緑の曲線が表示されたら、ハンドルをそのままの状態にして後退する。緑の曲線が、駐車したい位置の左端の地点に合ったら止まる。

▶ 後退の速度が速すぎると、案内が間に合わないことがあります。

緑の曲線



<車の状況>



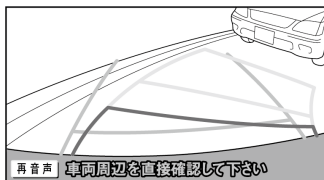
9 車を止めたまま、ハンドルを右いっぱいまでまわす。

▶必ず車を止めた状態でハンドルを操作してください。

ハンドルを右いっぱいまでまわす



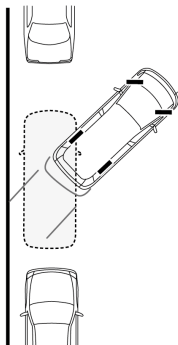
10 画面が切り替わり、音声で案内されたら、ハンドルをそのままの状態にして後退する。



音声案内

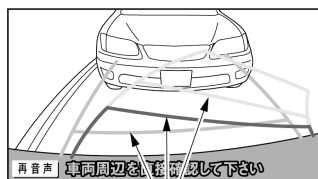
「ハンドルをそのままに、車両周辺を確認しながらバックします。」

<車の状況>



11 車が道路(または路肩)と平行になったら、ハンドルをまっすぐ(直進状態)に戻します。距離目安線を参考に、必ず目視やミラーで車の前後を確認し、ゆっくり後退して止まる。

▶車がほぼまっすぐになると、音声案内されて縦列ガイドモードが終了します。

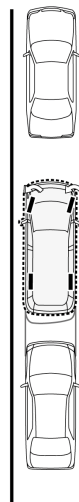


距離目安線

音声案内

「縦列ガイドを終了します。」

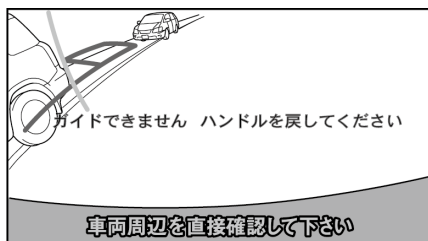
<車の状況>



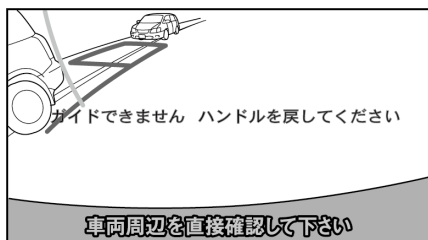
アドバイス

画面の中にメッセージが表示されることがあります。

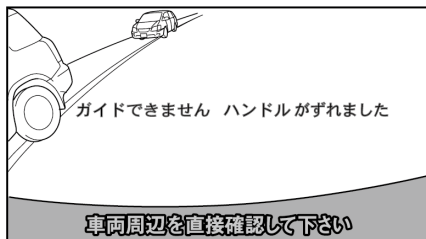
- ▶ 枠が赤くなって、次のようなメッセージが表示されたら、ガイドすることができませんので、ハンドルを戻してください。



- ▶ 枠が正しい駐車位置に合っている場合でも、次のようなメッセージが表示されることがあります。この場合、車が路肩から離れすぎていることが考えられますので、隣に駐車している車との間隔（約1m）を確認してください。



- ▶ 後退中にハンドルを操作すると、ガイドできません。
その場合、チェンジレバーをⓇ以外にしてから、再度チェンジレバーをⓇにして最初からやり直してください。
- ▶ ごく低速で後退すると、次の案内が行われないことがあります。



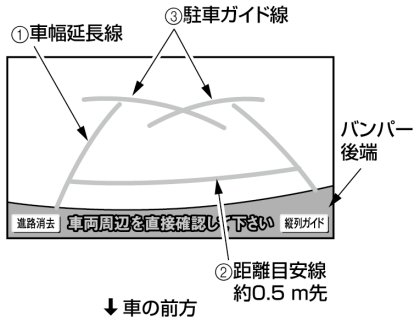
- ▶ 後退を開始すると、ガイド線が表示されなくなります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- ▶ 後退の速度が速すぎると、案内が間に合わないことがあります。

》駐車ガイド線表示モードで駐車する

画面の見方

⚠ 注意

- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。



①	車幅延長線	車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。 ●実際の車幅より広く表示しています。
②	距離目安線	車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。 ●約0.5m先を示します。
③	駐車ガイド線	ハンドルをいっぱいまでまわして後退（最も小回り）したときの進路の目安を示します。 ●駐車時にハンドルを操作する位置の目安となります。

駐車ガイド線表示モードで駐車する

駐車ガイド線表示モードで駐車する場合、駐車ガイド線の表示を **する** に設定します(→322)。

⚠ 注意

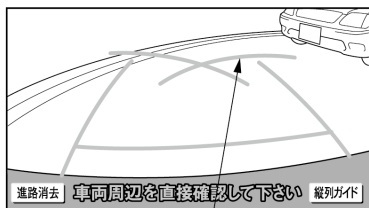
車の左前端を前方に駐車している車にぶつけないように注意して、ゆっくり後退してください。



① チェンジレバーをⓂにする。

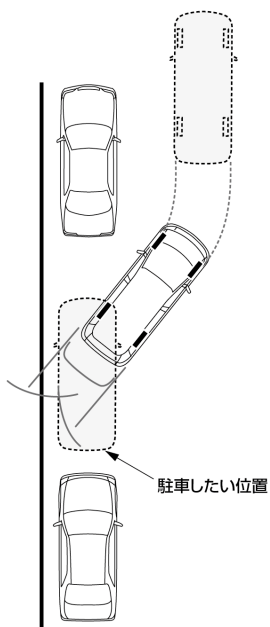
▶車両のチェンジレバーをⓂ以外にした場合、もとの画面に戻ります。

- 2** 駐車ガイド線が駐車したい位置の左端に合うまで後退したら止まる。

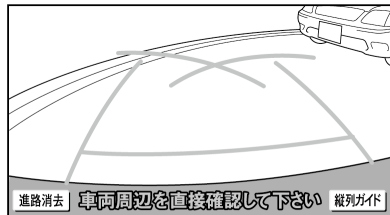


駐車ガイド線

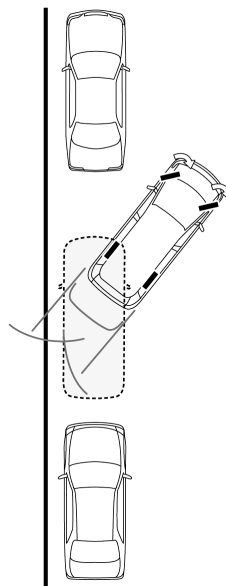
<車の状況>



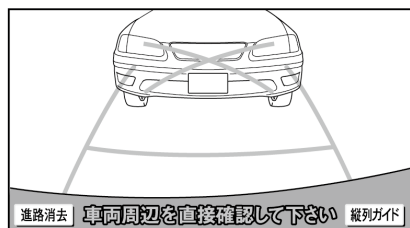
- 3** ハンドルを右いっぱいこまわし、ゆっくり後退する。



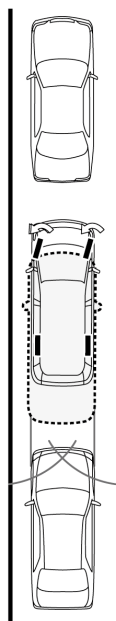
<車の状況>



- 4** 車が道路(または路肩)と平行になったら、ハンドルをまっすぐ(直進状態)にする。画面を参考に必ず目視やミラーで車の前後を確認し、最適な位置まで後退して駐車を終える。



<車の状況>



バックガイドモニターの設定をする

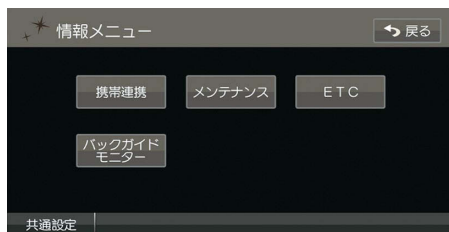
》縦列ガイドの音量を設定する

音声案内の音量を調整することができます。

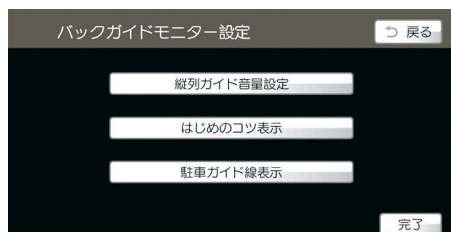
- 1** MENU DISP にタッチ。
- 2** コミュ にタッチ。
- 3** 情報 にタッチ。



- 4** バックガイドモニター にタッチ。



5 縦列ガイド音量設定 にタッチ。



6 消音、小、・、・、大 のいずれかにタッチ。



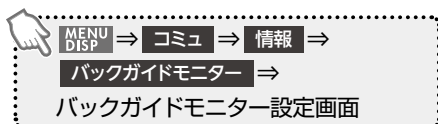
- 消音 ... 音声案内を出力させない

7 完了 にタッチ。

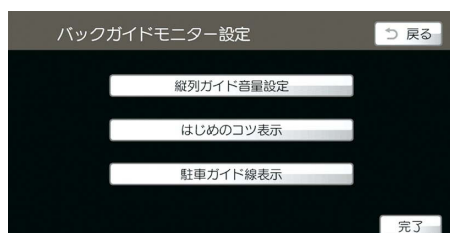
- 戻る ... 設定はキャンセルされ、バックガイドモニター設定画面に戻る

》はじめのコツを表示する

縦列ガイドモードで表示される「はじめのコツ」を表示するか、表示しないかを選ぶことができます。



1 最初のコツ表示 にタッチ。



2 する、または しない にタッチ。

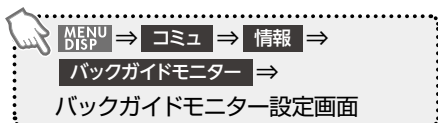


3 完了 にタッチ。

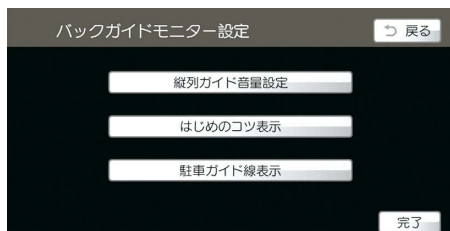
- 戻る ... 設定はキャンセルされ、バックガイドモニター設定画面に戻る

》駐車ガイド線の表示を設定する

駐車ガイド線表示モードにするか、進路表示モードにするかを選ぶことができます。



- 1 駐車ガイド線表示 にタッチ。



- 2 駐車ガイド線表示モードにしたいときは **する**、進路表示モードにしたいときは **しない** にタッチ。

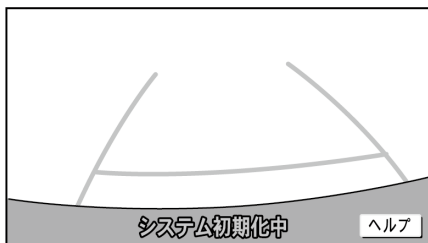


- 3 **完了** にタッチ。
 - **戻る** ...設定はキャンセルされ、バックガイドモニター設定画面に戻る

こんなときは

》システム初期化中の表示がでたときは

バッテリーの脱着やバッテリー能力が低下したなどの場合、システム初期化中画面が表示されます。この場合、次のどちらかの操作が必要です。



[システム初期化中画面]

- **ヘルプ** ...操作方法を表示



- **了解** ...もとの画面に戻る

アドバイス

システム初期化中、またはヘルプ画面が表示されたままの場合、販売店で点検を受けてください。

停車しての操作

車を止めた状態で、ハンドルを左いっぱいにまわしたあと、右いっぱいまでまわします。(左右どちらが先でも可)

アドバイス

システム初期化中画面が表示されたままの場合、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

走行しての操作

できるだけ曲がり角やカーブなどがなく、渋滞していない道路を前進で約5分以上走行します。

アドバイス

システム初期化中画面が表示されたままの場合、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

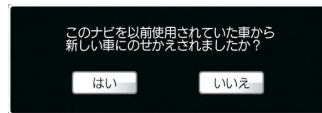
》バッテリーの脱着や本機の載せ替えをしたときは

バッテリーの脱着や本機を載せ替えた場合、チェンジレバーを $\text{\textcircled{R}}$ にすると確認画面が表示されます。

チェック

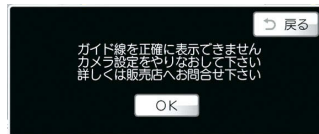
本機を載せ替えた場合、必ず販売店でバックガイドモニターの設定を行ってください。

1 **はい** にタッチ。



▶ 載せ替えをしていない場合、**いいえ** にタッチします。

2 **OK** にタッチ。



バックモニターを操作する

バックモニターを取り付けた場合の機能を説明します。

バックモニターについて

オプションのバックモニターを装着した場合、チェンジレバーをⓇにすると、本機のモニター画面に自動で後方のカメラ映像およびガイド線（車両の車幅や距離感覚を補う補助線）を映すことができます。（ご使用の車に合わせたガイド線の表示設定は販売店にて行います。）

- ▶ タイヤを交換するときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。タイヤを交換すると、画面に表示される距離目安線やガイド線の示す位置に誤差が生じることがあります。

》バックモニターの注意点

▲ 注意

- バックモニターを過信しないでください。
- 本機（バックモニター）は、障害物等の確認のための補助手段として使用してください。
- 自車の状況（乗車人数・積載量）により、画面のガイド線の示す位置は変化します。必ず、後方および周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- モニター画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。必ずルームミラー、ドアミラーを併用し、後方および周囲の安全を十分確認してください。
- 次のような状況では使用しないでください。
 - ・ 凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
 - ・ バックドアが完全に閉まっていないとき
 - ・ タイヤチェーン、応急タイヤを使用しているとき
 - ・ 坂道など平坦でない道路
 - ・ ディスプレイが冷えているときに、映像が尾を引いたり、通常より暗くなり認識しにくくなる場合があります。必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。

アドバイス

- 雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなる恐れがあります。
- カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。
- 太陽光を直接長時間撮像しないでください。焼き付け現象が残ることがあります。
- モニター画面に映る範囲は車種により異なります。
- 車両のチェンジレバーを $\text{\textcircled{R}}$ にした瞬間は、一端黒画面になりますが、その後次第に安定します。
- 太陽光やヘッドライトなど強い光が当たると上下に白帯が出る場合があります。
- 50Hz電源地域の蛍光灯下では、画面のちらつき（フリッカー現象）が起こりますが故障ではありません。
- バックモニターのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。

》カメラの注意点

⚠ 注意

バックモニターが正常に作動しなくなる恐れがありますので、次のことに注意してください。

- カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃をあたえないでください。カメラの位置や取り付け角度がずれたり、故障などの恐れがあります。その場合、早めに販売店で点検を受けてください。
- カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。
- カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりすると、カバーが傷つき、映像に悪影響をおよぼす恐れがあります。
- カメラのカバーやレンズは樹脂ですので、有機溶剤やボディワックス、油膜取り剤、ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
- 寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化をあたえないでください。
- 高圧洗車機を使用する場合、カメラ、またはカメラの周囲に直接ノズルを向けることは避けてください。カメラが脱落する恐れがあります。また、内部に水が入り、故障の原因となることがあります。
- スチーム洗車機は、高温の蒸気が噴出するタイプがあるため、絶対に使用しないでください。

》画面に映る範囲について

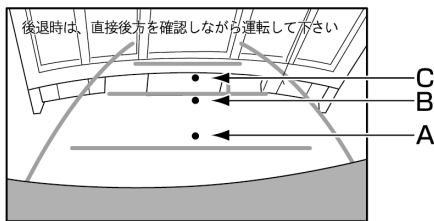
バンパー後端から車の後方を映すことができます。バンパーの両端付近やバンパーの下は映すことができません。

距離目安線

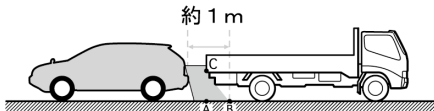
距離目安線は路面に対して表示されているため、立体物との距離を判断することはできません。画面では、距離目安線より約1m先（Bの位置）にトラックが駐車してあるように見えますが、実際にはAの位置まで後退すると、ぶつかります。

画面ではA、B、Cの順に近く見えますが、実際の距離はAとCは同じ距離で、BはA、Cより遠い距離にあります。

<画面>



< A、B、Cの位置 >



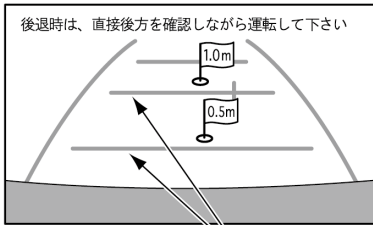
👉 アドバイス

- 次の場合、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
 - ・ 夜間などの暗いところ。
 - ・ レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
 - ・ カメラに水滴がついたときや、湿度が高い雨天時などのとき
 - ・ カメラ付近に泥などの異物がついたとき。
 - ・ 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- 後方の映像は実際の色合いと異なることがあります。
- 車両によりバックガイド線が左右にずれて表示されることがありますが、故障ではありません。

》画面と実際の路面との誤差

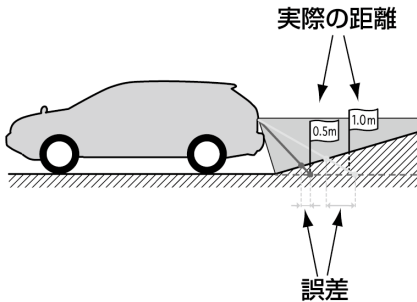
次の場合は、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。(イラストは標準的なカメラ取付位置の場合を示します。)

■急な上り坂が後方にあるとき



距離目安線

<車の状況>

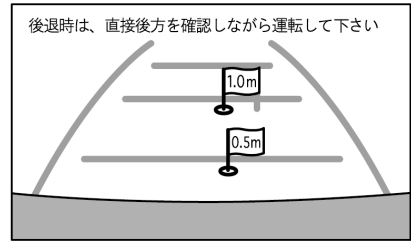


距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、上り坂が後方にあるときには、実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。例えば、上り坂に障害物があった場合には、実際より遠くに見えるようになります。

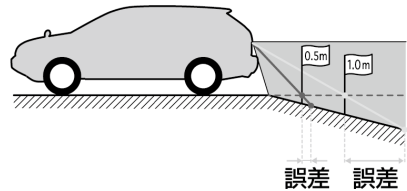
同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

■急な下り坂が後方にあるとき

<画面>



<車の状況>



下り坂が後方にあるときには、実際の距離よりうしろに距離目安線が表示されます。下り坂に障害物があった場合には、実際より近くに見えるようになります。

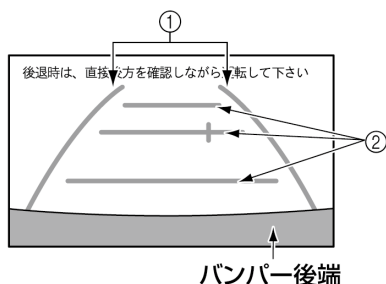
同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

後方の映像を表示する

⚠ 注意

車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

≫画面の見方



① 車幅延長線（黄色）

車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。

▶ 実際の車幅より広く表示しています。

② 距離目安線

車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。

▶ ハンドル操作と連動しません。

▶ それぞれの中心位置で、約0.5m先（1本目）・約1m先（2本目）・約2m先（3本目）を示します。

≫後方の映像を表示する

① 車両のチェンジレバーをⓇにする。

▶ 車両のチェンジレバーをⓇ以外にした場合、もとの画面に戻ります。

👉 アドバイス

後方の映像に表示されるガイド線は、表示を切り替えることができます。

ガイドの表示を設定する

後方の映像にガイド線を表示することができます。

① 車両のチェンジレバーをⓇにする。

② MENU を1秒以上タッチ。

③ ガイド ON、または ガイド OFF にタッチ。



- **ガイド ON** ... ガイド線を表示
- **ガイド OFF** ... ガイド線を消去

④ 調整完了 にタッチ。

TVを見る

地上デジタルチューナーを接続すると、フルセグ地上デジタル放送でテレビを見ることができます。

TVをお使いになる前に

車両のエンジンスイッチがON、またはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみ地上デジタルTV放送をご覧になることができます。

走行中は音声のみ聞くことができます。

本書に記載されている操作以外にも、いろいろな操作をすることができます（地上デジタルTVチューナーの取扱書参照）。

》地上デジタルTV放送について

車載器での地上デジタルTV放送の受信は受信場所により、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難なことがあります。この関係の主な例を次に説明します。

- ▶ 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで受信すると、映像が静止したり音声がとぎれることがあります。
- ▶ 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなる場合があります。
- ▶ ラジオ放送やアマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、映像が静止したり音声がとぎれることがあります。
- ▶ トンネル内に入ると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
- ▶ 放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
- ▶ 一部の地域において、アナログTV放送、ラジオ放送などの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像が静止したり音声がとぎれることがあります。

》緊急警報放送（EWS）を受信したときは

EWS（Emergency Warning System）とは、放送局が緊急警報信号を送信し、地震や津波などの情報をお知らせするシステムです。緊急警報放送は、警戒宣言、津波警報、知事からの要請があったときに放送されます。

TV映像画面を表示中に緊急警報放送を受信した場合、自動で放送内容が表示されます。放送が終了すると、自動的にもとの番組に戻ります。

なおTV映像画面以外を表示していた場合は、"緊急警報放送が開始されました"とオンスクリーン表示されます。

TVを見る

チェック

ご購入後、はじめてお使いになる場合は、TVを見るための設定が必要になります（地上デジタルTVチューナーの取扱書参照）。


- 1 **MENU DISP** にタッチ。
- 2 **オーディオ** にタッチ。
- 3 **TV** にタッチ。



アドバイス

- ハイビジョン放送の受信は可能ですが、表示は標準映像です。
- 電波の受信状態が悪くなった場合、画面が静止して音が出なくなることがあります。
- 地上デジタルTV放送では、5.1chをAAC方式で圧縮した番組（AAC5.1ch放送）を放送していることがあります。本機はAAC5.1ch放送には対応していません。AAC5.1ch放送を受信した場合、2ch再生となります。
- 双方向通信に対応していません。

基本操作

TVを視聴中にトラックバーの  または映像画面にタッチすると、次の画面が表示されます。



スイッチ	名称	機能
①	オーディオモードスイッチ	タッチすると、オーディオモード選択画面を表示します。
②	サービス切替 ^{*1}	タッチすることにより、番組が切り替わります。
③	放送局リストスイッチ	タッチすると、チャンネルを記憶されている放送局名の一覧が表示されます。(→332)
④	プリセットスイッチ ^{*2}	タッチすると、記憶されているチャンネルが受信されます。
⑤	AUTO.Pスイッチ	"ピーッ"と音がするまでタッチすると、今いる場所でチャンネルをスキャンし、一時的にプリセットスイッチに記憶します。再度タッチすると、もとのプリセットスイッチに戻ります。
⑥	エリアスイッチ	タッチすると、今いる地域のチャンネルを一時的にプリセットスイッチに記憶します。再度タッチすると、もとのプリセットスイッチに戻ります。

※1 ご覧のチャンネルが複数の番組を同時に放送している場合に使用できます。

※2 あらかじめチャンネルを記憶します。(→地上デジタルTVチューナーの取扱書を参照ください)

アドバイス

受信電波の弱い地域では、自動で選局できないことがあります。

プリセット一覧で選局する

プリセットされている放送局の一覧を表示して、選局します。

- 1 **放送局リスト** にタッチ。
- 2 お好みの放送局にタッチ。



- 3 **全画面** にタッチ。

番組表を見る

番組表を表示して見たい番組を探します。

- 1 **放送局リスト** にタッチ。
- 2 **番組** にタッチ。



- 3 番組表が表示。

▶ 番組表の操作については地上デジタルTVチューナーの取扱書を参照ください。

データ放送を見る

データ放送は、テレビ映像の他に、図形や文字の情報を付加した放送です。受信するデータ放送により、番組に連動した情報や独立した情報を見ることができます。

- 1 **d** にタッチ。
- 2 お好みの操作をする。(地上デジタルTVチューナーの取扱書参照)

TVを止める

- 1 **TRACK PWR** を1秒以上タッチ。
▶ 再度、**TRACK PWR** を1秒以上タッチすると、止める前のチャンネルが受信されます。

01. 困ったときは・・・	335	09. 索引	360
こんなメッセージが表示されたときは…	335		
共通操作関係	335		
ナビゲーション関係	335		
オーディオ・ビジュアル関係	337		
ガジェット／携帯電話関係	338		
オプション関係	338		
ETC統一エラーコード一覧	339		
故障とお考えになる前に	341		
共通操作関係	341		
ナビゲーション関係	342		
オーディオ・ビジュアル関係	343		
02. 機能のしくみ	345		
液晶パネルについて	345		
自車位置の精度と誤差について	345		
測位精度について	345		
GPS衛星の電波の性質と受信状態について	345		
現在地表示の誤差について	346		
タイヤによる誤差について	346		
マップマッチングによる自車位置検出の補正について	346		
現在地表示、ルート案内の精度について	347		
道路、地名データについて	348		
ルート案内について	348		
03. ナビの用語説明	350		
04. VICS情報有料放送サービス契約 約款	353		
05. バッテリーを交換すると…	354		
バッテリーを交換する前に	354		
06. お手入れをする	355		
本機のお手入れについて	355		
アンテナのお手入れについて	355		
07. 仕様	356		
08. 凡例	357		
画面に表示されるマークについて	357		
地図に表示されるVICS表示マークについて	359		

困ったときは・・・

エラーメッセージが表示されたときや困ったときの対処のしかたを説明します。

こんなメッセージが表示されたときは

下記のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

≫共通操作関係

メッセージ	原因	処置
高温のため、動作を停止します しばらく経ってから電源を入れなおしてください	本機内の温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままお待ちください。
SDカードが入っていません	地図データの入った"SDメモリーカード"が挿入されていないため。	カバーをはずし、地図専用SDメモリーカード差し込み口へ地図データが入った"SDメモリーカード"を挿入してください。
地図データが読めません SDカードが正しいかご確認下さい	地図データ以外のデータが入った"SDメモリーカード"を挿入しているため。	カバーをはずし、地図専用SDメモリーカード差し込み口へ地図データが入った"SDメモリーカード"を挿入してください。

≫ナビゲーション関係

メッセージ	原因	処置
施設情報は800m図より広域の地図には表示されません	施設（施設ランドマーク）表示中に800mスケール図より広域な地図にしたため。	800mスケール図以下の詳細な地図に切り替えてください（→39）。
周辺に該当する施設がありません	周辺の施設を検索するとき、近くに該当する施設が見つからないため。	場所を移動するか、他の施設で検索してください（→47）。
自宅が登録されていません 設定メニューのメモリ地点から登録できます	自宅が登録されていないときに、 自宅 にタッチしたため。	自宅を登録してからお使いください（→93）。
特別メモリ地点が登録されていません 設定メニューのメモリ地点から登録できます	特別メモリ地点が登録されていないときに、特別メモリ 1 ～ 5 にタッチしたため。	特別メモリ地点を登録してからお使いください（→93）。
該当する電話番号が検索できません 確認して修正して下さい	電話番号で地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	電話番号を入力し直しても地図が呼び出せないときは、他の方法で地図を呼び出してください。
該当するマップコードが収録されていません 確認して修正して下さい	マップコードで地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	マップコードを入力し直しても地図が呼び出せないときは、他の方法で地図を呼び出してください。

メッセージ	原因	処置
履歴が登録されていません	履歴で地図を呼び出すとき、過去に目的地を設定していないことが原因で、地図を呼び出せなかったため。	目的地を設定すると目的地履歴に登録されます。目的地履歴が登録されていないときは、他の方法で地図を呼び出してください(→52)。
この縮尺では位置が特定できません 詳細な地図に切り替えます	800mスケール図より広域の地図で目的地、メモリ地点などを設定・登録しようとしたため(ワンタッチメモリ地点登録のときを除く)。	目的地、メモリ地点などの設定・登録はできるだけ詳細な地図(800mスケール図以下)で行ってください。
ルートが探索できませんでした	長いルートを設定、もしくはルートをはける道路がないため。	目的地までの距離を3000km以内に設定、もしくは目的地の設定場所を変更してください。
これ以上設定できません 消去してからお使い下さい	目的地を設定した数が5カ所のときに、さらに設定(追加)しようとしたため。	不要な目的地を消去してから設定(追加)してください(→72)。
付近に案内可能な道路がありません 移動してから再操作をお願いします	通過道路を指定するときに、道路情報などにより、通過道路が指定されなかったため。	地図を移動して、道路付近に通過道路を指定してください。
メモリ地点が登録されていません メモリ地点を登録してからお使い下さい	メモリ地点が登録されていないときに、メモリ地点で地図を呼び出そうとしたため。	メモリ地点を登録してからお使いください(→93)。
これ以上登録できません 消去してからお使い下さい	メモリ地点や迂回メモリ地点を登録した数が限界数のときに、さらに登録しようとしたため。	不要なメモリ地点を消去してから登録してください(→100)。
VICS文字(図形)情報を受信中で しばらくお待ち下さい	VICSメニューを受信していないため。	しばらくしてもメッセージを表示する場合、受信可能な場所に移動してください。
VICS情報は800m図より広域の地図には表示されません	VICS表示中に800mスケール図より広域の地図にしたため。	800mスケール図以下の詳細な地図に切り替えてください。(→39)
VICSの文字(図形)情報を受信していません	FM多重放送を行っている放送局が選局されていないか、または情報を受信していないため。	受信可能な場所に移動してください。
走行中は自動送りでできません 停車してから自動送りを再開します	自動送り機能を走行中に行ったため。	停車してからご使用ください。

》オーディオ・ビジュアル関係

メッセージ	原因	処置
ディスクが入っていません	再生可能なディスクがスロットに入っていないため。	再生可能なディスクを入れてください。
ディスクをお確かめください	ディスクが汚れている、または裏返しになっているため。	ディスクが汚れているときはクリーニングしてください。裏返しの際は正しく入れてください。
異常検知でCD停止中です ^{※1}	何らかの原因でプレーヤーが動かないため。	イジェクト操作を行ってください。
異常検知でDVD停止中です ^{※1}	何らかの原因でプレーヤーが動かないため。	イジェクト操作を行ってください。
温度異常のためDVD停止中です ^{※2}	プレーヤーの温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままお待ちください。
このDVDは演奏できません	対応していないDVDを入れているため。	対応しているDVDを入れてください(→164)。
受け付けないコードです	DVDに対応していない言語コードを入力したため。	DVDに対応している言語コードを確認してください。
コード番号が正しくありません	暗証番号が正しく入力されなかったため。	正しい暗証番号を入力してください。
視聴制限がかかっており再生できません	視聴制限がかかっているため。	視聴制限の設定を変更して再生してください。
走行中は音声のみお楽しみください	走行中にTV(地上デジタルTV放送)、またはDVDを見ようとしたため。	車を安全な場所に停車させてパーキングブレーキをかけてからお楽しみください。
信号が受信できません	TV(地上デジタルTV放送)の受信エリア外にいるため。	TV(地上デジタルTV放送)を受信できるエリアに移動してください。エリアプリセットを設定してください。(→133)
受信できる放送局を探しています		

※1 イジェクト操作をしても動作しない場合、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

※2 この状態の場合、しばらくお待ちください。デッキ内部の温度が常温に復帰しますと、表示が消えて再生を再開します。長時間経過しても表示が消えない場合、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

≫ガジェット／携帯電話関係

メッセージ	原因	処置
追加するデータが存在しません 処理を中断します	SDメモリーカード、またはUSBメモリにガジェットデータが入っていないため。	ガジェットデータの入ったSDメモリーカード、またはUSBメモリを接続してください。
電話機が接続されていません	携帯電話が接続されていないため。	携帯電話を接続してください。(→223)
電話機をご確認下さい	<ul style="list-style-type: none"> ●携帯電話がBluetooth接続されていない。 ●携帯電話で発信制限を設定している。 ●携帯電話に異常がある。(携帯電話の電源OFF、携帯電話の充電不足、携帯電話の故障) ●携帯電話が動作確認済みの機種でない。 	<p>次の点を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●携帯電話とBluetooth接続されているか。 ●携帯電話が発信制限の設定をしていないか。 ●携帯電話の充電は十分であるか。 ●携帯電話が動作確認済みの機種であるか。
通話エリア外です 通話エリアに移動してご利用下さい	サービスエリア圏外にいる。	しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。
走行中はハンズフリー接続中の携帯電話からは受信できません	携帯電話とのデータの送受信を走行中に行つたため。	停車してからご使用ください。

≫オプション関係

メッセージ	原因	処置
ETCカードが挿入されていません	ETCカードが挿入されていないため。	ETCカードを挿入してお使いください。
ETCカードが読めません カードをお確かめ下さい	ETCカードが正しく読めないため。	お近くの販売店、もしくはカード発行会社にご相談ください。
ETCカードの有効期限は今月末です カードをお確かめ下さい	ETCカードの有効期限が今月末で切れるため。	お近くの販売店、もしくはカード発行会社にご相談ください。
ETCカードの有効期限が切れています	ETCカードの有効期限が切れているため。	お近くの販売店、もしくはカード発行会社にご相談ください。
ETCゲートを通過できません	ETC車載器の接続に異常があるか、セットアップがされていないため。	お近くの販売店にお問い合わせください。
ETCカードに書き込みできません カードをお確かめ下さい	ETCカードにデータを書き込むことができなかったため。	お近くの販売店、もしくはカード発行会社にご相談ください。
ETCゲートとの通信に失敗しました	ETC車載器と料金所間におけるデータ通信が失敗したため。	お近くの販売店、もしくはカード発行会社にご相談ください。
ETCに異常が発生しました ETCはご利用できません	ETC車載器に何らかの異常があるため。	お近くの販売店にお問い合わせください。

メッセージ	原因	処置
ETCゲートを通過できません 徐行して、料金所で一旦停止して下さい	路側アンテナ側から「ETCレーン通行不可&徐行」の通知があった場合に 表示されます。	料金所の係員の指示にしたがってください。 (末尾にエラーコードが表示されている場合) (→339)
ETCゲートを通過できません 徐行して下さい	路側アンテナ側から「ETCレーン通行可&徐行」の通知があった場合に 表示されます。	徐行して、ETCゲートを通過してください。
システム初期化中	バッテリーの脱着、またはバッテリーの能力が低下したため。	バッテリーを取り付けたあと、設定を行ってください (→354)。
ガイドできません	舵角センサーエラーのため。	お買い上げの販売店にお問い合わせください。
ガイドできません ハンドルを戻して下さい	縦列ガイドモード中、緑の枠の中に障害物があるため。	緑の枠の中に障害物が入らないように、車の位置を移動してください (→309)。
ガイドできません ハンドルがずれました	後退中にハンドルを操作したため。	車両のチェンジレバーをⓇ以外にしてから、再度チェンジレバーをⓇにして最初からやり直してください。

》ETC統一エラーコード一覧

エラーコード	原因	処置	お問い合わせ先
01	ETCカード挿入異常	ETCカードの挿入状態をご確認のうえ、再度挿入してください。	—
02	データの処理異常	「ETCカード挿入時」 挿入されたETCカードのデータが読み出せませんでした。再度挿入してください。 「ETC利用時」 料金所にて車両の停止が案内(表示)されることがあります。車両停止後、係員の指示にしたがってください。	お買い上げの販売店
03	ETCカード異常	挿入されたカードがETCカードであると認識できませんでした。正しいETCカードであること、および挿入方向などをご確認の上、再度挿入してください。	ETCカード発行会社
04	ETC車載器の故障	お買い上げの販売店にお問い合わせください。	お買い上げの販売店
05	ETCカード情報の異常	挿入されたカードがETCカードであると認識できませんでした。正しいETCカードであることをご確認の上、再度挿入してください。	お買い上げの販売店

エラーコード	原因	処置	お問い合わせ先
06	ETC車載器情報の異常	ETC車載器と料金所間におけるデータ処理にエラーが発生しました。係員の指示にしたがってください。	—
07	通信異常 (ETCアンテナ外れ検知時含む)	ETC車載器と料金所間におけるデータ処理にエラーが発生しました。係員の指示にしたがってください。	—
	ETCアンテナが正しく接続されていない	お買い上げの販売店にお問い合わせください。	お買い上げの販売店
—	ETCが利用不可	「予告アンテナ通過時」 ETCがご利用できません。ETC混在レーン、または一般レーンに進入し、係員の指示にしたがってください。	お買い上げの販売店
		「料金所通過時」 ETCがご利用できません。係員の指示にしたがってください。係員が不在の場合、お近くのインターホンにてお問い合わせください。	
	ETC車載器の未セットアップ	車両の情報などがETC車載器に登録されていません。ETC車載器のセットアップ作業をご依頼ください。	


故障とお考えになる前に

ちょっとした操作の違いで故障と間違えることがありますので、以下の表に基づき、まず、確認してください。処置をしても直らないときは、販売店で点検をお受けください。



》共通操作関係

症状	考えられること	処置
地図が表示されない。	地図"SDメモリーカード"が入っていますか？	同梱の地図"SDメモリーカード"を挿入してください。
エンジンスイッチをONの位置にしたあと、しばらく画面にムラがある。	寒冷時、液晶パネルのバックライトの特性上、光ムラが発生することがあります。	バックライトが温まれば、数分後には解消されます。
日中なのに画面が暗い。	夜画面になっていませんか？	昼画面に切り替えてください(→24)。
画面が見にくい。	画面のコントラスト、明るさ調整は適正ですか？	コントラスト、明るさを調整してください(→23)。
画面が乱れる、ノイズが入る。	電氣的なノイズを発生する電装品を本機のそばで使用していませんか？ 高電圧を発生させて作動するもの (例) マイナスイオン発生器 高電波を発生するもの (例) 携帯電話、無線機	本機からできるだけ遠ざけてご使用ください。遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。
低温時に電源をONにした場合、しばらく画面が暗い。	液晶の特性によるものです。	故障ではありませんので、しばらくそのままお待ちください。
ディスプレイに光る点がある。	液晶パネルは99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
ディスプレイが閉じない。	ディスク、または地図"SDメモリーカード"が正確に挿入できていますか？	ディスク、または地図"SDメモリーカード"が正確に挿入されていることをご確認ください。

》ナビゲーション関係

症状	考えられること	処置
走行しても地図が動かない。	現在地画面以外になっていませんか。	現在地画面を表示させてください(→38)。
自車マーク(▲)が表示されません。	現在地画面以外になっていませんか。	現在地画面を表示させてください(→38)。
GPSマークが表示されない。	GPS情報を利用できない状態ではありませんか。	周囲に障害物がないところへ移動するか、GPSアンテナのまわりに遮へい物があるときは、取り除いてください。
案内音声が出力されない。	案内中止になっていませんか。	目的地案内を中止したときは、目的地案内を再開させてください(→92)。
	案内の音量が小さく(音声OFF)になっていませんか。	音量を大きくしてください(→46)。
実際の現在地と異なる場所に自車マーク(▲)が表示されている。(▲がずれている。)	GPS衛星の状態、車両の状態(走行場所や運転条件)などにより、自車マーク(▲)がずれることがあります。また、新設道路など、地図データが実際の道路形状と異なる道路を走行すると、自車マーク(▲)がずれることがあります。	しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。(場合により、数分程度かかることがあります。)GPS情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所に一旦停車して、現在地の修正を行ってください(→120)。
リストの中に目的の市町村名がない。	リストを50音ごとにとばして動かしていませんか。	1項目ずつ動かしてください(→32)。
地図上にVICS情報が表示されない。	スクロールしても情報がない場合、情報をまだ受信していない。	受信状態が悪い場合、情報を受信するまで数分かかることがあります。
	VICS放送を行っている放送局を受信していない。	受信可能な場所へ移動してください。
	VICS表示が"OFF"になっている。	VICS表示を"ON"にしてください。
	表示情報の設定が全て"OFF"になっている。	表示情報の設定を"ON"にしてください。
	VICSサービスエリアをはずれているとき。	VICSの提供エリアは、「VICS情報有料放送サービス契約約款」を参照してください(→353)。
	地図データ情報が古い。 VICSエリアは毎年拡大され、そのエリアは地図データにより更新されます。	最新版の地図データにバージョンアップしてください。
VICS情報の表示が乱れる。	スクロールして表示する場合、そのエリアには情報がない。	情報を受信次第、表示されます。
	VICS放送が行われていない時間帯のとき。	情報を受信次第、表示されます。
	電波や光の情報がうまく受信されない。	情報を受信次第、表示が更新されます。
 の時間が時刻と違う。	時計ではなく、表示中のVICS情報の提供時刻を示しています。 VICS情報を長時間受信していない場合、古い時間が表示されます。	情報を受信次第、更新されます。

》オーディオ・ビジュアル関係

症状	考えられること	処置
音が出ない	音量が0になっていませんか？	VOLスイッチをタッチして確認してください。
片側（左右もしくは前後）のスピーカーだけ音が出る	スピーカーコードが正しく接続されていますか？	スピーカーコードの接続を確認してください。
	音量バランスは適切ですか？	左右（前後）音量調整をして確認してください。
音質調整をしても音質が変化しない	お聞きの放送、ディスクが調整した音質に対応していますか？	放送、ディスクを変更して確認してください。
CD・DVDが入らない	電源が入っていますか？	車のエンジンスイッチを「ACC」または「ON」の位置にしてください。
	すでに差込口に1枚入っていませんか？	すでに入っているCD・DVDをイジェクトしてから、お好みのCD・DVDを入れてください。
CD・DVDの再生ができない	本機が結露していませんか？	しばらく待ってから使用してください（→15）。
	CD・DVDに大きなキズやそりがありますか？	他のCD・DVDを入れてください。
	CD・DVDがひどく汚れていませんか？	クリーニングしてください（→25）。
	CD・DVDが裏返しになっていませんか？	CD・DVDを正しい向きで差し込んでください。
	本機に対応していないCD・DVDが差し込まれていませんか？	対応しているCD・DVDを差し込んでください（→135）、（→164）。
音声は出るが、映像が出ない	 にタッチして画面を消していませんか？	 をタッチしてください（→24）。
音声は出るが、DVD映像・TV映像やVTR映像が出ない（停車中）	パーキングブレーキが解除されていませんか？	パーキングブレーキを引いてください。
映像も音も出ない	電源が入っていますか？	車のエンジンスイッチを「ACC」または「ON」の位置にしてください。
	接続コードが正しく接続されていますか？	各接続コードの接続を確認してください。
ワンセグの映像が止まって音が出ない	ワンセグの受信状態は良好ですか？	サービスエリア内でも環境により受信できない場合がありますので、受信できる場所に移動してください。
ワンセグが受信できない	お車がワンセグを受信できない地域にありますか？	ワンセグを受信できる地域に移動してください。エリアプリセットを設定してください。（→133）

症状	考えられること	処置
iPodの充電ができない	電源が入っていますか？	車のエンジンスイッチを「ACC」または「ON」の位置にしてください。
	Dockコネクタが正しく接続されていますか？	Dockコネクタの接続をご確認ください。
Bluetoothオーディオ機器と接続できない	正しく設定されていますか？	登録したオーディオ機器を削除してから、登録し直してください。
	オーディオ機器のパスキー、設定を確認してください。	オーディオ機器の設定を確認してください。

02 機能のしくみ

液晶パネルについて

- ▶ 液晶パネルは斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりすることがあります。
- ▶ 太陽の光などの外光が表示部に当たると画面が見えにくくなります。
- ▶ 偏光レンズを使用したサングラスなどを装着すると、画面が暗く見えたり、見にくくなったりします。

自転車位置の精度と誤差について

》測位精度について

GPS 衛星は米国国防総省によって管理されている非常に精度の高いものですが、建物などの反射によるマルチパスがあると誤差が生じることがあります。

》GPS 衛星の電波の性質と受信状態について

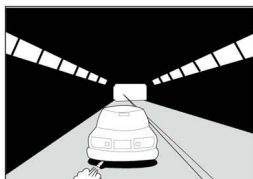
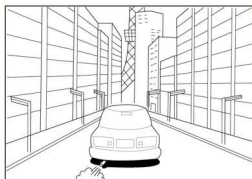
GPS アンテナと GPS 衛星の間に障害物があると、衛星からの電波を受信できなくなります。また、測位するには3個以上の電波を同時に受信する必要がありますので、下記のような場所ではGPSによる測位ができなくなることがあります。

さらに、GPS アンテナの上、または周囲に障害物（積載物など）がある場合も、衛星からの電波を受信できなくなることがあります。

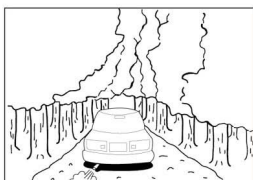
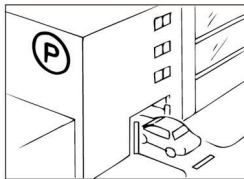
チェック

- GPS 衛星は地球を周回していますので、同じ場所でもそのときの位置によって電波の受信状態が変化します。また、水平線に近い衛星の電波は障害物の影響を受けやすくなります。
- GPS 衛星は米国国防総省によって管理されており、故意に測位精度を落とすことがあります。

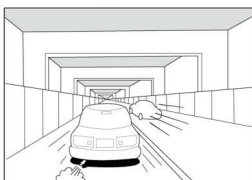
トンネルの中

高層ビルなどの障害物で
周囲を囲まれたところ

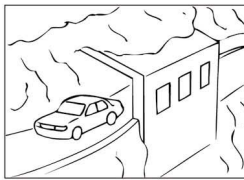
建設物の中や地下、屋内駐車場



樹木などが密集しているところ



高架道路の下



崖下の道、洞門

≫現在地表示の誤差について

本機は現在地を測位するために、GPS衛星電波、車速センサーおよび振動ジャイロセンサーからの情報を使用していますが、それぞれには誤差が含まれているため、表示している現在地が実際の位置と一致しないことがあります。

チェック

実際の位置と一致しない場合は、表示している現在地を修正することができます。安全な場所に停車してから行ってください。(→120)

≫タイヤによる誤差について

本機では自転車の移動した距離を車速センサーで測定(タイヤの回転数に比例)しているのですが、次の場合には誤差が大きくなって現在地を正しく測定できなくなることがあります。

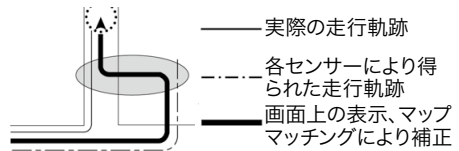
- ▶ 規格外のタイヤを使用したとき。
- ▶ 雪道や砂利道などのスリップしやすい道を走行しているとき。
- ▶ タイヤの空気圧が適正圧でないとき。
- ▶ 新品のタイヤを装着したとき。(自動で距離補正が行われます。)

≫マップマッチングによる自転車位置検出の補正について

マップマッチングとは、GPSなどで得られた現在地の情報と今までに走行してきた道路を比較して、最も適切な道路上に現在地を補正させるシステムです。

本機では、自立航法と衛星航法を組み合わせで得られた現在地の情報を、道路形状に合わせて補正させています。

しかし、現在地の誤差はどうしても避けられない為、マップマッチングで補正しても現在地が実際の位置からずれる場合があります。また、地図データと実際の道路形状が異なる道路を走行すると自転車マークがずれる場合があります。

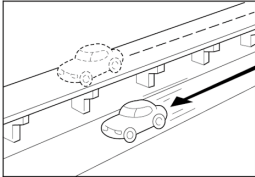


アドバイス

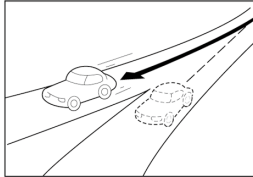
本機の電源を入れた直後は、動作が安定していない為、お車を動かすと、自転車マークが実際と異なる動きをする場合があります。しばらく走行すると、動作が安定するため、通常の動きに戻ります。

》現在地表示、ルート案内の精度について

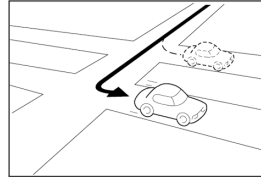
次にあげるように、本機の故障ではありませんが、道路条件や走行状態によっては、正確な現在地表示やルート案内が行われない場合があります。



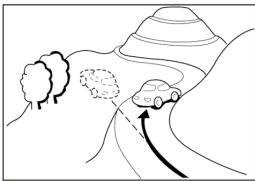
並走している道路に現在地が表示される。



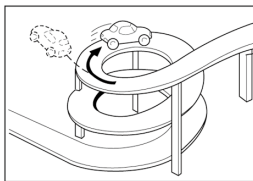
角度の小さなY字路を曲がったとき、他方の道路に現在地が表示される。



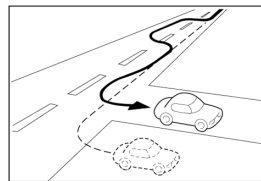
左右折のとき、手前または先の道路に現在地が表示される。



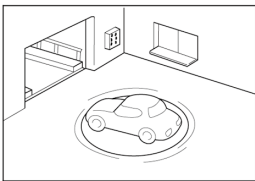
急勾配の道路を走行したとき、現在地がずれて表示される。



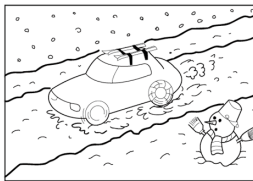
同一方向のカーブが連続する道路を走行したとき、現在地がずれて表示される。



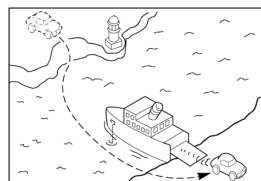
車線変更など蛇行運転をしたとき、現在地がずれて表示される。



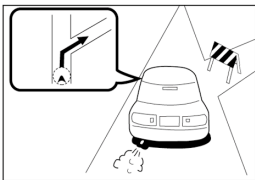
駐車場のターンテーブルなどで、ACC OFF の状態で旋回したとき、現在方位がずれて表示される。



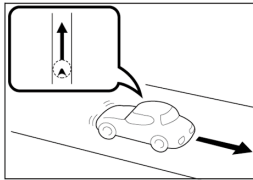
雪道などのすべりやすい路面を走行しているときや、タイヤチェーンなどを装備して走行しているとき、現在地がずれて表示される。



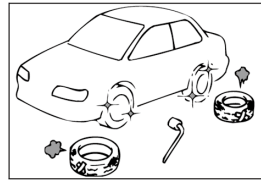
フェリーなど、自転車走行以外で移動、GPS による測位ができるまで移動前の場所に現在地が表示される。



実際には通行できない道路（進入禁止など）を案内する。



後退時に現在地がずれて表示される。

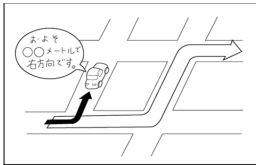


タイヤを交換した場合、自転車マークがずれて表示される。

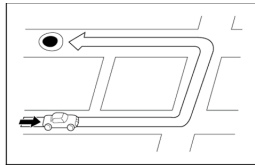
》道路、地名データについて

道路や地名は、地図データ作成後に変更される場合がありますので、実態と合わない場合があります。

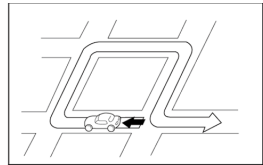
》ルート案内について



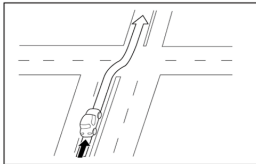
案内ルートはずれて手前の交差点などで曲ったときなど音声案内が誤ってでる場合があります。



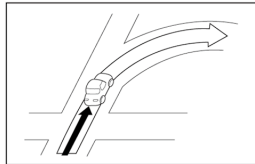
ルート探索時に、ルートが遠回りになる場合があります。



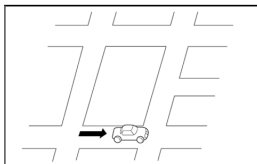
Uターンするルートを案内する場合があります。



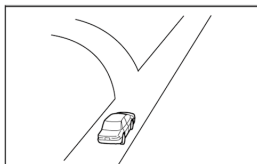
直線道路を走行中に、直進の案内が出る場合があります。(交差点の形状がわかりにくい場合など)



交差点で曲がるのに案内のない場合があります。



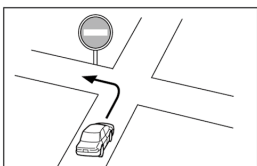
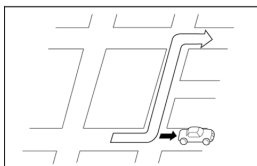
ルート探索時のルート表示が、次の右左折までに間に合わない場合があります。



方面の案内で、いくつもの地名を表示する場合があります。



ルート探索完了



実際の交通規則にしたがって運転してください。

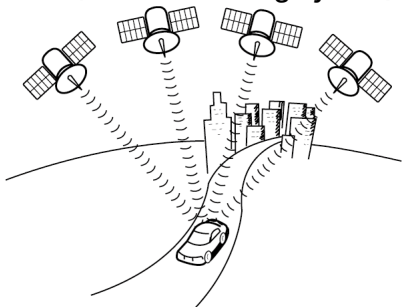
- ▶ 高速走行時の再探索時間が長い場合があります。
- ▶ 自車マークを手動で修正したときに、正しい位置に修正しない状態で走行すると、その後正しく位置を表示しません。
- ▶ 再探索しても、ルートが変わらない場合があります。
- ▶ 離島や周囲に案内可能な道路がないところが現在地・目的地として設定されている場合に、ルートが探索されないことがあります。
- ▶ 現在地と目的地が近い場合にルートが表示されない場合があります。
- ▶ 有料優先を選択しても必ず有料道路を通るわけではありません。同様に優先しない条件でも有料道路を使うルートが表示されることがあります。
(「有料道路を優先する、しない」とは、有料道路と一般道路のいずれの道を選ぶことも可能な場合、どちらを優先するかを設定するものです)

03 ナビの用語説明

ナビゲーションシステムに関する用語を説明します。

より楽しく有効に利用していただくために、次に出てくる用語の説明をご一読ください。

▶ GPS (Global Positioning System)



GPSは、高度約21000kmの軌道上を周回する通常4個以上、場合により3個のGPS衛星から地上に放射される電波を受信して、現在の位置（緯度、経度、高度）を知ることができるシステムです。

この衛星は、主として軍事利用のために米国国防総省によって打ち上げられ管理されていますが、民間の使用も解放されています。本機では、GPSの情報や各種センサー、道路地図データなどを利用してナビゲーションを行っています。

▶ 自立航法

車速センサー、振動ジャイロセンサーからのデータによって自車走行軌跡を求め、現在地を表示する技術です。トンネルや高架下道路などでも自車の現在地を表示できます。

▶ 振動ジャイロセンサー

走行中に右や左にどれだけ曲がったかを電氣的に検出する振動ジャイロセンサーと路面の傾斜を検出する傾斜計で現在地を割り出しています。

本機の自立航法では、このセンサーが非常に重要な役割を果たしています。

▶ 広域地図、詳細地図

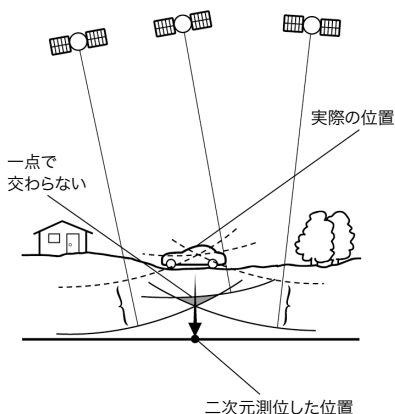
広域地図とは範囲の大きな地図で、詳細地図とは範囲の小さな地図のことです。地図の縮尺は1/2048万、1/1024万、1/512万、1/256万、1/128万、1/64万、1/32万、1/16万、1/8万、1/4万、1/2万、1/1万、1/5000です。

▶ 測位



3個以上のGPS衛星からの電波を受信して、自車の現在地を測定することです。本機では、地図画面の左上にGPSマークを表示しています。また、GPS衛星の受信状態により、GPSマークの表示/非表示が切り替わります。(メニュー画面、設定や登録の画面では、「GPS」は表示しません。)

▶ 2次元測位と3次元測位



GPSは3点測量の原理にしたがって位置を計算しています。

1個の衛星から電波を受信するとその衛星との距離がわかり、3個の衛星から受信すると現在地が測位できます。

しかし、実際にはGPS衛星およびナビユニットに誤差があるので、3個のGPS衛星からの電波しか受信できないときには、緯度と経度の2次元で測位しています。この場合は精度が低くなります。また、4個以上のGPS衛星からの電波を受信したときは、緯度、経度、高度の3次元で測位しています。3次元測位は2次元測位より精度が上がります。自車位置の表示の誤差も少なくなります。

▶ スーパーオーディオCD (SACD)

原音のアナログ波形に極めて近い形で音をデジタル記録するDSD (Direct Stream Digital) 方式を採用した高音質オーディオディスクの規格です。

スーパーオーディオCDには以下の種類があります。

- ・ シングルレイヤーディスク
HD層*が1層のみのディスク
- ・ デュアルレイヤーディスク
HD層*が2層のみのディスク
- ・ ハイブリッドレイヤーディスク

※HD層：スーパーオーディオCDの高密度信号層

CD層：既存のCDプレーヤーで読み取り可能な層

▶ CD-EXTRA

音楽用の音楽データトラックとパソコン用のPCデータトラックを1枚のメディアの中にマルチセッションで書き込んだものです。この場合、第1セッションには音楽データトラックを記録し、第2セッション以降にPCデータトラックを記録するため、音楽CDプレーヤーは第2セッション以降のPCデータトラックを再生することがなくなります。

▶ Mixed Mode CD

音楽用の音楽データトラックとパソコン用のPCデータトラックを1枚のメディアの中にシングルセッションで書き込んだものです。この場合、第1トラックにはPCデータトラックを記録し、第2トラック以降に音楽データトラックを記録するため、音楽CDプレーヤーは第1トラックのPCデータを再生してしまい、大きなノイズが出力されてしまいます。これは音楽CDプレーヤーがマルチセッションに対応しているため、マルチセッションのCDを再生すると第1セッションしか認識せず、これが再生されてしまうためです。

▶ ワンセグ放送

ワンセグ放送とは、1セグメントを使用した携帯端末向けの放送のことです。1セグメントのみ使用するため解像度は低いですが、視聴可能な範囲が広いのが特長です。

▶ データ放送

通常の番組とは他に、様々な情報を提供する放送のことです。例えば、天気予報やニュース、道路の混雑状況を見ることができます。

▶ ハイビジョン

高精細度テレビジョン (HDTV : HighDefinitionTV) のことです。地上デジタル放送ではハイビジョン映像と標準映像の2種類の映像を配信することができます。標準映像の縦横比が4:3なのに対して、ハイビジョン映像は16:9と、横長になっています。走査線の数も標準映像が525本なのに対して、ハイビジョン映像は倍以上の1125本となっており、細部まできれいに表現することができます。これにより、画面と融合しているかのような臨場感溢れる映像を楽しむことができます。本機はハイビジョン放送の受信は可能ですが、表示は標準映像となります。

▶ MP3

MP3はMPEG Audio Layer III の略で、MPEG Audio Layer IIIは音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3は人間の聞きとれない音声、不可聴帯域を圧縮するため、もとのファイルを約1/10サイズにすることができます。

▶ ID3タグ

MP3ファイルには、ID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

ID3タグに対応したプレーヤーでID3タグ情報の表示や編集が可能です。

▶ WMA

WMA (Windows Media™ Audio) はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3よりも小さいサイズに圧縮することができます。

▶ WMAタグ

WMAファイルには、WMAタグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

▶ Bluetooth

2.4GHz帯域を用いて、Bluetooth搭載機器間で無線通信を行うことができます。

本機は、Bluetoothを搭載した携帯電話やポータブルオーディオとの無線通信によりハンズフリーや音楽ファイルの再生ができます。

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

- (1) VICS サービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
- (2) VICS サービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
- (3) 加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者
- (4) VICS デスクランブラー
FM多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICS サービスの種類)

第4条 VICS サービスには、次の種類があります。

- (1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (3) 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICS サービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICS サービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICS デスクランブラー1台毎に1のVICS サービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICS サービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICS サービスは、VICS 対応FM受信機（VICS デスクランブラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICS サービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICS サービスの種類に対応したVICS 対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICS サービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICS サービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者がVICS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有するVICS デスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条

- 1 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。
- 2 第11条又は第12条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。
なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していたております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条

- 1 当センターは、放送設備の保守上又は工事にやむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。
- 2 当センターは、前項の規定によりVICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICS サービスの放送を再放送又は再配分することはできません。

(免責)

第17条

- 1 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICS サービスの視聴が不可能になった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。
- 2 VICS サービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表]

視聴料金 300円（税抜き）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

バッテリーを交換すると

バッテリーを交換した場合に初期化される設定を説明します。

バッテリーを交換する前に

バッテリーの交換を行うと、下記項目以外の設定が初期化（消去）されます。記憶される項目は下記になります。

⚠ 注意

一度初期化（消去）された内容（データ）はもとに戻せません。ご注意ください。

項目	記憶される内容
メンテナンス	各種項目・自動通知設定
メモリ地点	登録したメモリ地点（自宅を含む）
迂回メモリ地点	登録した迂回メモリ地点
販売店の設定	設定した販売店の情報
電話帳	登録した電話帳データ
ワンタッチダイヤル	設定したワンタッチダイヤル
発信／着信履歴	記憶された発信／着信履歴
ガジェット	ガジェットに関する設定

👉 アドバイス

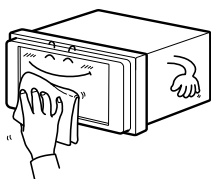
セキュリティを設定している場合、表示される画面は異なります。

お手入れをする

日ごろのお手入れのしかたを説明します。

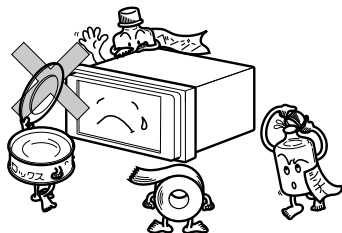
本機のお手入れについて

- ▶ 汚れを落とすときは、柔らかい布（シリコンクロスなど）、または水を含ませた綿の布をお使いください。



タッチパネルはキズがつきやすいのでご注意ください。

- ▶ ベンジンやシンナーなどの揮発性のある薬品は使用しないでください。変質したり、塗装がはげることがあります。



アンテナのお手入れについて

- ▶ 掃除をするときは、タオルや柔らかい布などで軽く押さえるようにして拭いてください。爪などでこするとアンテナパターン線がはがれる原因となります。
- ▶ アンテナ部からコードを取り外すことはできません。無理に取り外すと動作できなくなり、再使用もできません。
- ▶ コードのコネクタ部分に力をかけないでください。
- ▶ 一部の車種に採用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムには電波を反射させる性質があり、受信感度が極端に低下する場合があります。またお車のフロントガラスにミラータイプ等のフィルムを貼っている場合、受信感度が落ちることがあります。
- ▶ 受信状態が良くなる角度に調整してください。
- ▶ カーウィンドフィルムの上からフィルムアンテナを貼った場合、フィルムアンテナをはがす際にカーウィンドフィルムを傷めることがありますのでご注意ください。

07 仕様

製品の仕様および外観等の変更により、本書の内容が本機と一致しない場合がありますのでご了承ください。

<ディスプレイ>

液晶パネル	7.0型ワイドVGAパネル
画面寸法	157.2 (W) × 82.32 (H) mm
画素数	1152000個 (800 (H) × 480 (V) × 3)
有効画素率	99.99%以上
表示方法	透過型カラーフィルター方式
駆動方式	TFT (薄膜トランジスタ) アクティブマトリクス方式
動作温度範囲/保存温度範囲	-30°C ~ +65°C / -40°C ~ +85°C

<ラジオ・チューナー部>

受信周波数	AM522 ~ 1,629kHz / FM76 ~ 90MHz
実用感度	AM25dB μ V (S / N20dB) / FM8dBf (S / N30dB)

<CD部>

ワウ・フラッタ	測定限界以下
高調波歪み率	0.08% (0dB, 1kHz)
周波数特性	20 ~ 20,000Hz (\pm 3dB)
S/N比	70dB (1kHz)

<DVD部>

高調波歪み率	0.02% (0dB, 1kHz)
周波数特性	20 ~ 20,000Hz (\pm 3dB)
S/N比	70dB (1kHz)

<共通部>

定格出力	25W×4 (4 Ω , 1kHz, 10% THD以下)
最大出力	40W×4 (試験電圧14.4V)
適合負荷インピーダンス	4 Ω (各チャンネル)
電源電圧	DC14.4V (10.5-16V)
消費電流	●1W×4出力時 約4A ●最大約15A
外形寸法	横幅205.5mm・高さ104mm・奥行176mm
質量 (重量)	約2.6kg

















<ワンセグ・チューナー部>

受信周波数	470MHz ~ 770MHz (UHF帯 : 13ch ~ 62ch)
インピーダンス	75 Ω
アンテナ	1ch














08 凡例










画面に表示されるマークについて

地図画面には、次のマークが表示されます。

表示①	表示②	内容
 (緑)	 (緑)	高速・都市高・有料道路
		国道
		県道
 (濃い灰色)	 (肌色枠の灰色)	その他の道路 (巾5.5m以上)
 (薄い灰色)	 (肌色)	その他の道路 (巾3.0m以上)
		私鉄
		JR
		水域
		都道府県界
		緑地
		駅舎・敷地

表示①：スタイリッシュ表示 表示②：ノーマル表示

表示	内容
	踏切
	官公庁
	都道府県庁・市役所・町村役場・区役所
	警察署
	消防署
	郵便局
	インターチェンジ スマートインターチェンジ
	サービスエリア
	パーキングエリア
	信号機
	駐車場
	駅
	道の駅




















表示	内容
	フェリーターミナル
	港湾
	空港・飛行場
	小学校・中学校
	高等学校
	大学 (短期大学)
	その他の学校
	幼稚園
	病院・医院
	電力会社・発電所
	電話局
	銀行・信用金庫・農協
	デパートなど
	ホテル・旅館など
	ビル
	工場
	灯台
	神社
	寺院
	教会
	霊園・墓地
	城・城跡
	名所・観光地など
	ゴルフ場
	スキー場
	海水浴場
	アイススケート場
	マリナー・ヨットハーバー
	陸上競技場・体育館
	キャンプ場

表示	内容
	公園
	温泉
	山
	その他の施設
	トヨタ販売店・共販店
	ネット店
	トヨタL&F
	ダイハツ
	レクサス店
	エレベータ
	駐車場入口
	駐車場出口
	料金所
	トイレ
	男性用トイレ
	女性用トイレ
	上り
	下り
	階段

表示されるマークの位置は実際と異なることがあります。また、複数の施設を代表して1つのマークで表示することがあります。

地図に表示される VICS 表示マークについて

VICS 情報の中で使用されるマークの代表的な例を示します。

表示	情報内容	表示	情報内容
	事故	 (青色)	駐車場空
	故障車	 (赤色)	駐車場満
	路上障害	 (橙色)	駐車場混雑
 (青色)	注意	 (黒色)	駐車場不明
 (黒色)	注意 (地震警戒宣言)		駐車場閉鎖
	工事		対面通行
	火災		車線規制
	雨		徐行
	凍結		入り口閉鎖
	雪		大型通行止め
	作業		入り口規制
	通行止め		出口規制
	右折禁止		速度規制 30km/h
	左折禁止	 (青色)	SA PA 情報空
	直進禁止	 (赤色)	SA PA 情報満
	片側交互通行	 (橙色)	SA PA 情報混雑
	チェーン規制	 (黒色)	SA PA 情報不明
	進入禁止		イベント

表示されるマークは実際と異なることがあります。また、複数の規制を代表して1つのマークで表示されることがあります。

索引

50音順とアルファベット順の索引を掲載しています。「CD」「Bluetooth」などアルファベット表記が一般的になっているものは、アルファベットから探してください。

あ行

あ

アングルを切り替える	172
アンテナ	
お手入れする	355
案内画面の見方	83

い

イコライザを変更する	128
------------	-----

う

迂回メモリ地点	
修正する	96
消去する	100
登録する	94

お

お手入れする	
アンテナ	355
音域	178
音質を調整する	
オーディオ	128
音声案内する	
規制情報	111
渋滞情報	111
音声を切り替える	171
音声 (DVD)	
切り替える	171
音量バランス	
音量を調整する	129
音量を調整する	
音量バランス	129
オーディオ	126
縦列ガイド	320
電話音量	235
ナビゲーション	46
オーディオ	
音質を調整する	128
音量を調整する	126
基本操作	125

切り替える	125
情報を見る	125
電源を切る	126

か行

か

拡大図を表示する	84
画質	
調整する	23
ガジェット	
確認する	269
削除する	272
情報を表示する	270
操作する	273
追加する	270
配置する	269
ガジェット機能	
ダウンロードする	266
ポータルサイトへアクセスする	266
メディアへダウンロードする	266
画面サイズを切り替える	
DVD	179
iPodビデオ	202
VTR	212
画面の角度	
調整する	22
画面の表示 (DVD)	
切り替える	171
画面の表示 (昼画面・夜画面)	
切り替える	24
き	
聞く	
交通情報	134
ラジオ	130
Bluetoothオーディオ	153
CD	136
iPodオーディオ	190
MP3 (CD)	143
SDメモリーカード	149

USB オーディオ	207
WMA (CD)	143
規制情報	
音声案内する	111
着せ替えデザインを選択する	276
機能の使用条件一覧	21
基本操作	
オーディオ	125
本体	22
文字の入力	31
ラジオ	131
ワンセグ	184
Bluetooth オーディオ	157
CD	137
DVD	167
iPod オーディオ	193
iPod ビデオ	200
MP3 (CD)	144
SD メモリーカード	150
TV (オプション)	331
USB オーディオ	208
VTR	211
WMA (CD)	144
切り替える	
字幕言語 (ワンセグ)	189
字幕言語 (DVD)	172
緊急警報放送 (EWS)	
ワンセグ	181
TV (オプション)	329
け	
携帯電話	
接続する	223
登録する	221
携帯連携機能	
画面を表示する	246
目的地を設定する	247
言語コード一覧	180
こ	
交通情報	
聞く	134
地図に表示する	109

表示の設定をする	110
故障	
オーディオ関係	343
共通操作	341
ナビゲーション関係	342
ビジュアル関係	343
個人情報	
初期化する	285

さ行

さ

再生可能データ	
CD	135
DVD	164
MP3 (CD)	139
MP3 (USB メモリ)	203
WMA (CD)	139
WMA (USB メモリ)	203
作動インジケータを点滅させる	283

し

視聴制限	177
周辺施設を表示する	47
主音声を切り替える	186
消去する	
迂回メモリ地点	100
手書きメモ	278
メモリ地点	100
メンテナンス	259
目的地	72
初期化する	
個人情報	285
初期設定	
機器の初期設定	7
進路表示モード	303
自宅	
目的地を設定する	53
字幕言語 (DVD)	
切り替える	172

字幕言語 (ワンセグ)	
切り替える	189
渋滞考慮探索	289
渋滞情報	
音声案内する	111
縦列ガイドモード	309
受信レベルを表示する	219

す

スイッチ操作音	
設定する	275
スイッチの名称	
タッチスイッチ	18
パネルスイッチ	18
ステアリングスイッチで操作する	262

せ

セキュリティ	
解除する	282
作動させる	280
設定する	280
停止する	283
設定する	
スイッチ操作音	275
セキュリティ	280
中継局サーチ	189
ナビゲーション	116
ハンズフリー	235
バックガイドモニター	320
メンテナンス	255
目的地	52
選曲する	
iPodオーディオ	194
SDメモリーカード	151
USBオーディオ	209

た行

た

タッチスイッチ	19
---------	----

ち

地図	
動かす	38
現在地を表示する	38
縮尺を切り替える	39
操作する	38
向きを切り替える	40
中継局サーチ	
設定する	189
駐車ガイド線表示モード	318
調整する	
画質	23
画面の角度	22

て

手書きメモ	
作成する	277
消去する	278
データを移行する	279
登録する	277
電源	
入れる	20
切る	20
電池残量を表示する	220
電話音量	
音量を調整する	235
電話設定画面	235
電話帳	
転送画面を表示する	240
データを削除する	243
データを転送する	241
履歴を削除する	245
電話を受ける	230
電話をかける	
携帯電話本体から発信する	230
ダイヤルから発信する	226
ダイヤル画面を表示する	226
電話帳から発信する	227
発信を中断する	230
履歴から発信する	228
ワンタッチ発信する	229

と

到着予想時刻を表示する	90
登録した場所	
修正する	96
目的地を設定する	53
登録する	
迂回メモリ地点	94
携帯電話	221
手書きメモ	277
メモリ地点	93
Bluetoothオーディオ	154
特別メモリ	
目的地を設定する	53

な行

な

ナビゲーション	
設定する	116
ナビゲーション本機	
お手入れする	355
ナビの設定を変える	
音声	118
画面の自動表示	117
詳細設定	116
地図表示	116

は行

は

ハンズフリー	
機器名称を変更する	237
準備する	221
設定する	235
操作する	217
パスキーを変更する	237
マイクを使う	217

バックガイドモニター	
車庫入れをする	301
縦列駐車する	302
設定する	320
並列駐車をする	303
バッテリー交換	354
番組表を見る	
ワンセグ	185
TV (オプション)	332
パネルスイッチ	18

ひ

表示マーク	
VICISマーク	359

ふ

副音声を切り替える	186
-----------	-----

ま行

ま

マルチアングル表示	177
-----------	-----

め

メッセージ	
オプション関係	338
オーディオ関係	337
ガジェット関連	338
共通操作	335
携帯電話関係	338
ナビゲーション関係	335
ビジュアル関係	337

メディア

入れる	25
取り出す	25
メディアの取り扱い	25

メモリ地点

修正する	96
消去する	100
登録する	93

メンテナンス

消去する	259
------	-----

設定する	255
店舗を消去する	261
店舗を設定する	260
メンテナンス時期	
案内する	257
更新する	258
自動通知設定する	257
も	
目的地	
案内する	69
消去する	72
設定する	52
追加する	70
並び替える	73
変更する	70
ルートを決める	66
ルートを変更する	74
目的地へのルート	
案内中に変更する	91
再開する	92
中止する	92
目的地を検索する	
50音	55
主要施設	60
ジャンル	62
住所	61
地図の呼び出し	54
電話番号	58
登録した場所	62
マップコード	63
メモリ地点	62
目的地の履歴	60
目的地を設定する	
携帯連携機能	247
自宅	53
地図スクロール	52
登録した場所	53
特別メモリ	53
文字の入力	
基本操作	31
変換する	32

ら行

ら

ラジオ	
エリア局を表示する	133
聞く	130
基本操作	131
止める	134
放送局を記憶する	132
ランドマークを表示する	47

り

リスト画面を切り替える	32
-------------	----

わ行

わ

ワンセグ	
画像サイズを切り替える	187
基本操作	184
緊急警報放送 (EWS)	181
設定を変更する	188
止める	189
番組表を見る	185
放送局名で選局	185
見る	183
ワンタッチダイヤル	
削除する	244
登録する	243

アルファベット

B

Bluetooth オーディオ	
聞く	153
基本操作	157
再生する	156
手動で接続する	156
自動で接続する	155

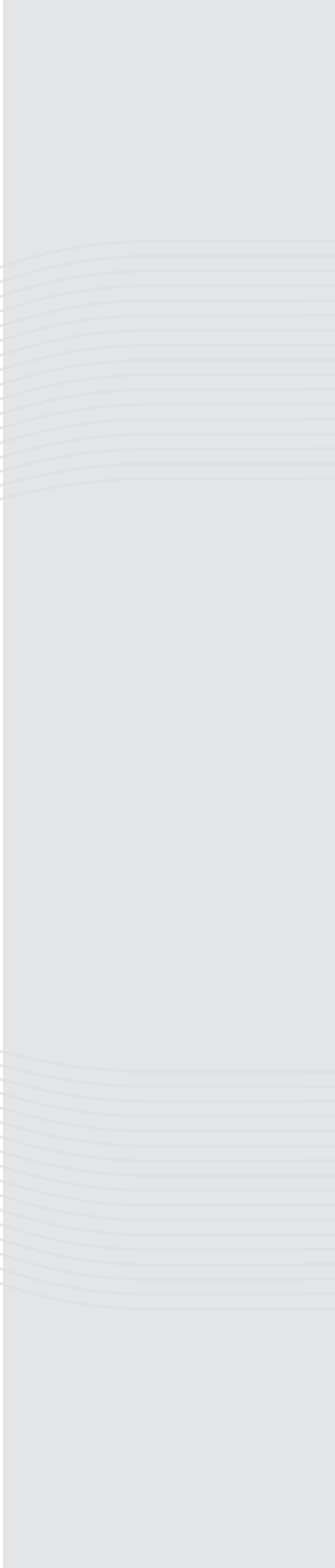
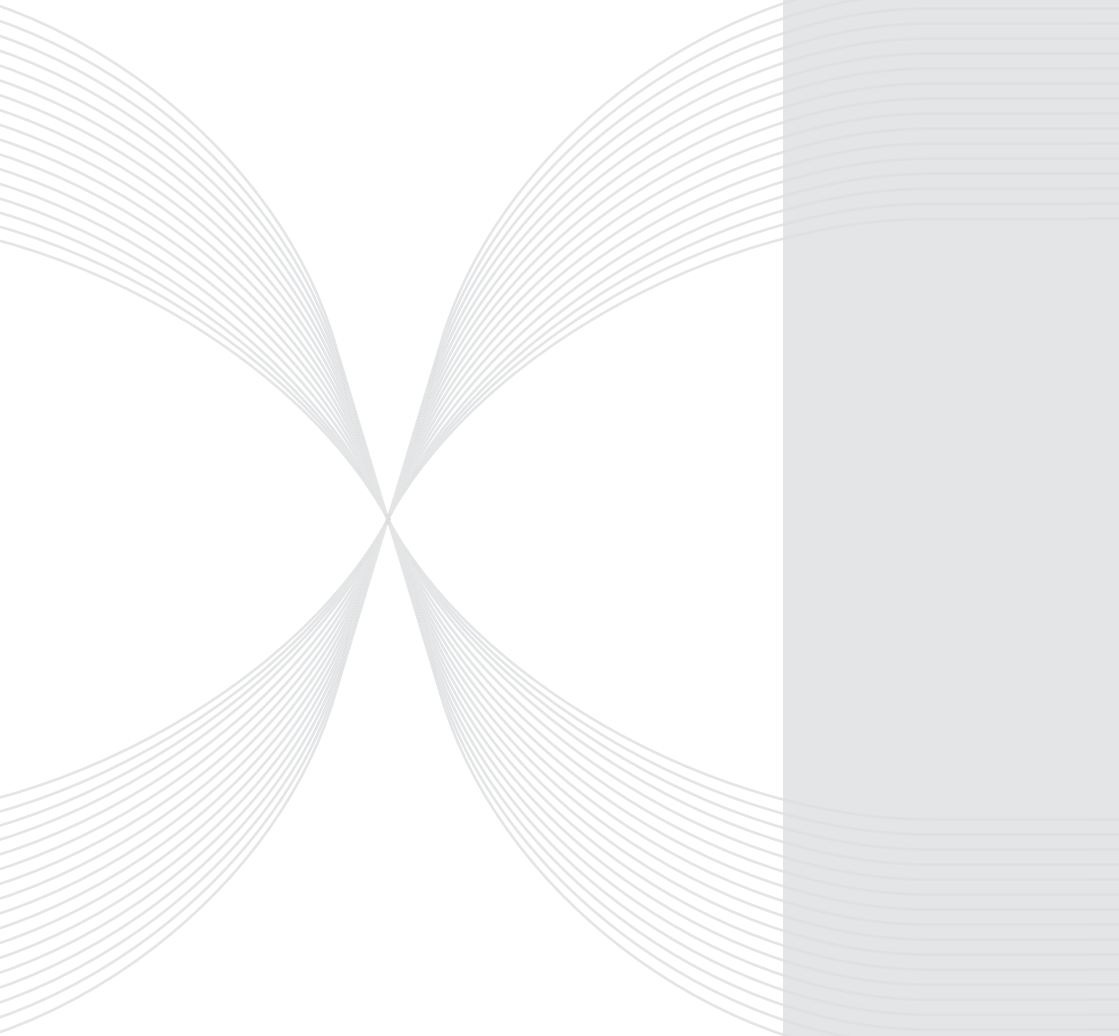
設定を変更する	160	操作する	253
接続する	154	iPod	
対応可能機器	153	再生可能機器	196
登録する	154	接続する	191
止める	163	取りはずす	191
Bluetooth 接続状態を表示する	220	iPod オーディオ	
C		聞く	190
CD		基本操作	193
入れる	28	止める	195
聞く	136	iPod ビデオ	
基本操作	137	画面サイズを切り替える	202
再生可能データ	135	基本操作	200
止める	138	止める	202
取り出す	29	見る	197
D		M	
DVD		MP3 (CD)	
入れる	28	聞く	143
画面サイズを切り替える	179	基本操作	144
基本操作	167	再生可能データ	139
再生可能データ	164	対応可能ディスク	141
再生モードを切り替える	179	対応可能ファイル	139
タッチスイッチから操作する	169	止める	146
ダイレクトスイッチから操作する	169	MP3 (SDメモリーカード)	
止める	173	対応可能ファイル	147
取り出す	29	対応可能SDメモリーカード	148
プレイヤーを設定する	174	MP3 (USBメモリ)	
見る	166	再生可能データ	203
メニューを操作する	169	S	
E		SDメモリーカード	
ETC		入れる	28
確認する	292	聞く	149
カードを入手する	292	基本操作	150
システム設定をする	296	初期化する	104
セットアップ	292	選曲する	151
走行中の案内について	294	データを移行する	105
登録情報を表示する	296	止める	152
履歴情報を表示する	295	取り出す	29
レーンの通過案内について	294	パスワード設定をする	103
I		パスワードを初期化する	105
iPhone ナビ		保存する	102
起動する	252	SDメモリーカードについて	101

T		
TV (オプション)		
基本操作	331	
緊急警報放送 (EWS)	329	
止める	332	
番組表を見る	332	
見る	329	
U		
USB オーディオ		
聞く	207	
基本操作	208	
選曲する	209	
止める	209	
USB メモリ		
接続する	206	
対応ファイル	203	
対応USBメモリ	205	
取りはずす	206	
V		
VICS		
詳細情報を見る	111	
情報提供内容	107	
図形情報	107	
地図情報	108	
問い合わせ先	115	
放送局を選ぶ	114	
文字情報	107	
用語説明	114	
VICS ビーコンユニット	289	
VTR		
画面サイズを切り替える	212	
基本操作	211	
再生する	210	
止める	212	
見る	210	
W		
WMA (CD)		
聞く	143	
基本操作	144	
再生可能データ	139	
対応可能ディスク	141	
対応可能ファイル	139	
止める	146	
WMA (SDメモリーカード)		
対応可能ファイル	147	
対応可能SDメモリーカード	148	
WMA (USBメモリ)		
再生可能データ	203	

SDナビゲーション 取付け記録簿

取付け販売店名および取付け店名	
取付け日	
取付け時走行キロ	
備考 (修理メモ・保証継承情報等)	

保証期間を判定する記録簿です。必ず記載し大切に保管してください。



464400-3053

464481-3044
52900771JB
2014年1月発行



トヨタ自動車株式会社
株式会社 **デンソー**